1. はじめに

鹿児島県喜界町城久遺跡群大ウフ遺跡の発掘調査において 多数のガラス玉類が出土した。古代のガラス玉類については 製作技法や化学組成から研究が進み、当時の日本列島には南 アジアや東南アジア、中国大陸などを起源とする多様なガラ ス玉が流通していたことが明らかとなってきている。

今回,当遺跡出土ガラス小玉について,観察および分析化学的手法により製作技法および基礎ガラスの種類,着色因子の調査をおこなった。以下,その結果について報告する。

2. 資料と方法

本調査の対象とした資料は、大ウフ遺跡た -7 区 P370 (掲載 587) 出土ガラス玉 1 点、た -7 区包含層出土ガラス玉 (掲載 532) 1 点、B-7 区土坑墓 3 号出土ガラス玉 22 点、く -99 区土坑墓 5 号出土ガラス玉 (掲載 263) 1 点である。

これらのガラス玉について、実体顕微鏡観察により保存状態の把握および製作技法の推定をおこなった。次に、全資料について蛍光 X 線分析法をもちいてガラス玉表面の定性分析をおこなった。さらに、保存状態の良好な一部の資料(た-7区包含層出土ガラス玉、B-7区土坑墓3号出土ガラス玉77、く-99区土坑墓5号出土ガラス玉)ついては、表面の風化層を除去した上で、未風化部分の測定をおこなった。未風化部分の測定結果については、ガラス標準試料を用いてFP(Fundamental Parameters)法によって規格化し、酸化物重量百分率で表示した。分析に用いた装置は、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置(EDAX 社製 EAGLE III)である。蛍光 X 線分析の測定条件を表1に示す。また、保存状態が良好な資料についてはアルキメデス法により比重を測定した。

表 138 表 蛍光 X 線分析法の測定条件

測定条件項目	概要
X 線源	Mo 管球
X 線照射径(μm)	φ 112
管電圧(kV)	20、40
電流(µA)	100
測定時間(秒)	300
試料室雰囲気	真空

3. 結果と考察

た-7区 P370 出土ガラス玉は表面が黄褐色の風化成生物に 薄く覆われているものの、濃緑色透明を呈する本来の色調を 確認することができた(第 198 図)。孔と直交方向にめぐる 蝕像が認められ、芯棒に溶融したガラスを巻きつけることに よって製作されたものと考えられる。た-7区包含層出土の ガラス玉は、比較的遺存状態が良好で、濃緑色透明を呈する (第199図)。孔と直交方向にめぐる蝕像から同じく巻き付け 法で製作されたことが分かる。

これら、た-7区出土のガラス玉 2点は蛍光 X線分析の結果、ケイ素(Si)、鉛(Pb)、カリウム(K)が顕著に検出された(第 $200 \cdot 201$ 図)。このうち保存状態がよく、比重測定と未風化部分の蛍光 X線分析をおこなった包含層出土ガラス小玉は、比重が 3.18 で、SiO2 を約 61.8%、K2O を 7.7%、PbO を 19.3%含有することが示された(第 139 表)。やや風化の進行した P370 出土ガラス小玉についても類似の XRF スペクトルが得られていることから、これらのガラス小玉はいずもカリ鉛ガラスであると考えられる。着色に関与する成分としては、鉄(Fe)および銅(Cu)が検出された。ただし鉄については基礎ガラスの原料にも不純物として含まれる可能性があるため、着色材として意図的に添加されたかどうかは不明である。また、わずかに錫(Sn)が検出された。

B-7 区土坑墓 3 号出土ガラス玉 22 点は 77 を除きいずれも 風化が著しく、表面は白色または褐色の腐食成生物に覆われ ている (第202図)。製作技法については孔と直交方向に筋 状の蝕像が認められることから、巻き付け法によって製作さ れたものと考えられる。風化が著しいガラス玉類は、蛍光X 線分析の結果、いずれもケイ素および鉛が顕著に検出された ことから、これらのガラス玉の基礎ガラスは鉛系ガラス(鉛 ケイ酸塩ガラスまたは鉛アルカリケイ酸塩ガラス)であると 推定される。また、表面付近においては鉛やリン (P) の検 出強度が高く、ケイ素の検出強度が低い傾向が認められる。 埋蔵中におけるガラスの風化にともなって表面に鉛に富む二 次的な化合物が形成されているものと考えられる。いっぽう、 カリウムの検出強度は低く、わずかに検出される資料もある が、ほとんど検出されない資料も認められた。カリ鉛ガラス の場合、表面では風化によりカリウムが溶脱して非常に少な くなることが知られていることから、これらのガラス玉につ いてもカリ鉛ガラスである可能性は考えられる。着色に関す る成分については、鉄 (Fe)、銅 (Cu) などが検出される資 料(第203図)が認められるものの。風化層が厚くガラス本 来の色調も分からないため、詳細は不明である。

いっぽう,77 は遺存状態が良好で淡青色半透明を呈する。 円筒状を呈し,孔の位置が偏っているのが特徴である。大小の気泡を多く含むが,配列に規則性は認められず,気泡は散在するようである。孔の内面は凹凸が多い。以上のことから巻き付け法や引き伸ばし法で製作された可能性は低いと推察される。鋳型法の可能性は残されるものの,本資料は筒状を呈しており,一般的に知られる小玉の成型用鋳型である上面に多数の型穴があり,中央に芯棒を立てる孔(芯持ち孔)を もつ所謂「たこ焼き型鋳型(田中2007)」を用いて製作されたとは考えにくい。端面が研磨されていることから本来は孔と平行方向がさらに長い管玉であった可能性も残される。さらに、孔の位置が偏っていることや孔の断面が直線でなく僅かに屈曲していることから穿孔の可能性も考えられるものの、詳細な製作技法の特定には至らなかった(第204·205図)。

77 は比較的保存状態が良好であったため、比重測定およ び未風化部分の蛍光 X 線分析をおこなった結果、比重が 2.39 で、SiO2 を約71%、K2O を17%含有する一方、PbO の含 有量は 0.17% と少ないことが示された。このことから No.25 は K2O を融剤とするカリガラスであることが明らかとなっ た (第 206 図・139 表)。CuO を 1.62 % 含有することから 銅イオンが主要な着色要因であると考えられる。わずかに PbO および SnO2 が含まれており、着色剤としての銅原料 に付随した不純物である可能性が考えられる。このような化 学組成のガラスは弥生時代後期~古墳時代の前期を中心とす る時期に日本列島で大量に流通することが知られるが、当時 のものは引き伸ばし法による小玉がほとんどである。融着と 穿孔によって製作された管玉が僅かに知られる(大賀 2010) ものの、前者に比べると圧倒的に数は少ない。しかし、奈良 時代以降このような化学組成のガラスの流通は途絶えてお り、当遺跡出土のガラス小玉の履歴が注目されるところであ る。現状では喜界町において弥生時代後期~古墳時代に相当 する時期の遺構は希薄であり、本資料と類似のガラス小玉の 出土例もないことから、詳細は不明である。

く -99 区土坑墓5号出土ガラス玉は、淡黄色透明を呈し、内部に含まれる気泡が少なく透明感が高い。一部が欠損しており、内部に亀裂が多数認められるものの、保存状態は良好である。表面に孔と直交方向にめぐる触像が僅かに認められることから、巻き付け法で製作されたと推察される(第 207 図)。

比重測定および未風化部分の蛍光 X 線分析の結果, 比重が 4.1 で, SiO2 を約 38.7%, K2O を 1.8%, PbO を 56.8%含有することが示された (第 208 図・139 表)。PbO 含有量が多いことから鉛系ガラスであることが確認されたものの, 一般的なカリ鉛ガラスと比較すると K2O 含有量が少なく, 典型的なカリ鉛ガラスとは異なる特徴を示した。いっぽう, 奈良時代を中心に流通した二成分系の鉛ガラスの K2O 岩湯量は 1 %未満である (肥塚 1997) ことを考慮すると, 本資料の K2O 含有量は二成分系の鉛ガラスよりは明らかに多い。以上ことから,本資料は K2O 含有量の少ないカリ鉛ガラスと判断した。カリ鉛ガラスの組成のばらつきや組成差による分類などの研究は進んでおらず, 今後の課題といえる。

着色に関与する成分としては鉄(Fe)および銅(Cu)が 検出された。鉄については基礎ガラスの原料にも不純物とし て含まれる可能性があるため、着色材として意図的に添加さ れたかどうかは不明であるものの、これらの元素によって淡 黄色を呈しているものと推察される。

4. まとめ

以上の結果から、大ウフ遺跡出土ガラス玉類のうち、カリガラス製であることが判明したB-7区土坑墓3号出土ガラス玉 77以外はいずれも鉛系ガラスであることが明らかとなった。比較的保存状態の良好な資料からはカリウムが顕著に検出されることから、表層の分析ではカリウムがほとんど検出されなかった風化の進んだガラス玉についてもカリ鉛ガラスの可能性が高いと考えられる。ただし、く-99区土坑墓5号出土ガラス玉は未風化部分を測定したにもかかわらず、カリウムの含有量が少ないことから基礎ガラスの分類にはやや疑問が残った。

カリ鉛ガラスは、少なくとも宋代の中国では存在していたことが知られている(安 1984)。日本列島においては 10 世紀頃から流通が開始し、12世紀以降かなり流通したものと推定されている(肥塚 1997)。大ウフ遺跡出土ガラス玉は風化が著しい資料が多く、分析結果から得られた情報は限定的であったが、本調査結果が南西諸島におけるカリ鉛ガラスの流通を解明する手掛かりとなれば幸いである。

参考文献

大賀克彦 2010「弥生時代におけるガラス製管玉の分類的検討」『小羽山墳墓群の研究』福井市立歴史博物館・小羽山墳墓群研究会 213-230 頁。

肥塚隆保・田村朋美・大賀克彦 2010「材質とその歴史的変遷」 『月刊文化財』 No. 566 13-25 頁。(雑誌)

肥塚隆保 1997『日本で出土した古代ガラスの歴史的変遷に 関する科学的研究』(博士学位論文)

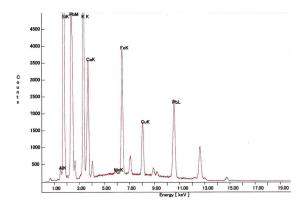
田中清美 2007「「たこ焼き型鋳型」によるガラス小玉の生産」 『大阪歴史博物館研究紀要』第6号 1-24 頁。

安家瑶 1984「中国早期玻璃器皿」『考古学報』1984 年第 4 期 (谷一尚(訳) 1992「中国の古代ガラス」『世界ガラス美術 全集』4. 中国・朝鮮 193-227 頁所収)

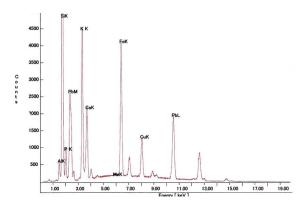


第 198 図 た-7 区 P370 出土ガラ ス玉 (587)

第 199 図 た-7 区包含層出土ガラス玉 (532)



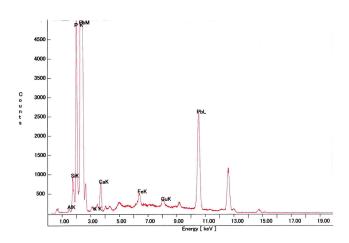
第 200 図 た-7 区 P370 出土ガラス玉の蛍光 X 線スペクトル



第 201 図 た-7 区包含層出土ガラス玉の蛍光 X 線スペクトル



第202図 B-7区土坑墓3号出土ガラス玉 (風化の著しいもの)(66)



第203 図 B-7 区土坑墓3号出土ガラスの蛍光 X 線スペクトル (風化の著しい資料の表面測定結果の一例)



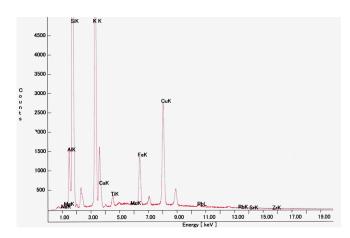
第204図 B-7区土坑墓3号出土ガ



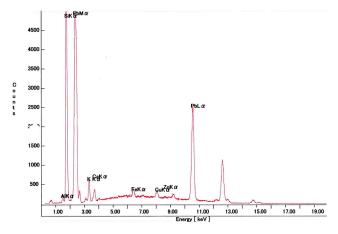
第205図 B-7区土坑墓3号出土ガラス 玉(77)の X 線透過画像



第 207 図 く -99 区土坑墓 5 号出土ガラス玉 (263)



第 206 図 B-7 区土坑墓3号出土ガラス (77) の蛍光 X 線スペクトル



第 208 図 く -99 区 SK51 出土ガラス玉の蛍光 X 線スペクトル

第 139 表 蛍光 X 線分析結果 (FP 法による定量値)

資料	☆ 無						重量濃度	€ (wt%)						備考
其科	色調	Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	K2O	CaO	TiO	MnO	Fe2O3	CuO	ZnO	PbO	1
た -7 区包含層	濃緑	-	tr	2.13	61.80	7.71	3.15	tr	0.05	2.88	0.99	-	21.29	Sn 検出
B-7 区土坑墓 3 号(77)	淡青	0.28	0.66	7.60	71.19	16.96	0.52	0.20	0.02	0.64	1.62	-	0.17	Sn 検出
く-99 区土坑墓5号(263)	淡黄	-	tr	1.05	38.74	1.82	0.80	tr	-	0.32	0.33	0.11	56.83	

-:検出限界以下 tr:定量限界以下

第8節 城久遺跡群大ウフ遺跡出土製鉄・鍛冶関連遺物の分析調査

九州テクノリサーチ・TAC センター 大澤 正己・鈴木 瑞穂

1. いきさつ

城久遺跡群は鹿児島県大島郡喜界町に所在する。山田中西・山田半田・半田口・小ハネ・前畑・大ウフ・半田・赤連遺跡からなる10~15世紀頃にかけての複合遺跡である。このうち大ウフ遺跡では30基の焼跡が検出されており、それに伴い鉄滓や砂鉄、粒状滓、鍛造剥片などの微細遺物も出土している。当遺跡での鉄器生産の実態を知ることは、喜界島内にとどまらず、南島全体の政治・経済的な問題とも密接に関連する問題である。そこで出土関連遺物の分析調査を実施する運びとなった。

2. 調查方法

2-1. 供試材

Tablel に示す。出土鍛冶関連遺物 19 点の調査を行った。

2-2. 調査項目

(1) 肉眼観察

分析調査を実施する遺物の外観の特徴など、調査前の 観察所見を記載した。

(2) マクロ組織

本来は肉眼またはルーペで観察した組織であるが、本稿では顕微鏡埋込み試料の断面を、低倍率で撮影したものを指す。当調査は顕微鏡検査よりも、広範囲で組織の分布状態、形状、大きさなどが観察できる利点がある。

(3) 顕微鏡組織

鉱滓の鉱物組成や金属部の組織観察,非金属介在物の 調査などを目的とする。

試料観察面を設定・切り出し後, 試験片は樹脂に埋込み, エメリー研磨紙の #150, #240, #320, #600, #1000, 及びダイヤモンド粒子の $3~\mu$ と $1~\mu$ で鏡面研磨した。

また観察には金属反射顕微鏡を用い,特徴的・代表的 な視野を選択して写真撮影を行った。

(4) 化学組成分析

出土遺物の性状を調査するため、構成成分の定量分析 を実施した。

全鉄分(Total Fe),金属鉄(Metallic Fe),酸化第一 鉄(FeO):容量法。

炭素(C)、硫黄(S):燃焼容量法、燃焼赤外吸収法 二酸化硅素(SiO₂)、酸化アルミニウム(Al_2O_3)、酸化カルシウム(CaO)、酸化マグネシウム(MgO)、酸化カリウム(K_2O)、酸化ナトリウム(Na_2O)、酸化マンガン(MnO)、二酸化チタン(TiO_2)、酸化クロム(Cr_2O_3)、五酸化燐(P_2O_5)、バナジウム(V)、銅(Cu)、二酸化ジルコニウム(ZrO_2):ICP(Inductively Coupled Plasma Emission Spectrometer)法:誘導結合プラズマ発光分光分析。

3. 調査結果

3-1. 燒土跡 2号出土遺物

OOU-1:鍛冶滓

- (1) 肉眼観察:15gとごく小形で不定形の鍛冶滓破片である。滓部は黒灰色で、着磁性がある。表面は弱い流動状を呈する。側面2面は破面で、気孔は少なく緻密である。また上下面には灰褐色~橙色の被熱粘土が固着しており、鍛冶炉床土の可能性が考えられる。
- (2) 顕微鏡組織: Photo.1 ①~③に示す。①左上の暗色部は滓に付着する粘土である。全体に熱影響は弱く、素地の粘土鉱物もガラス質化している部分はみられない。また内部には非常に微細な粒状滓が含まれている。②左側の白色粒はその拡大である。
 - 一方①右下の明灰色粒は滓部で、②右側および③はその拡大である。滓全体には白色樹枝状結晶ウスタイト(Wustite:FeO),淡灰色盤状結晶ファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂)が晶出する。また③左上の表層付近に確認される淡褐色多角形結晶は、結晶の色調と形状、および後述の化学組成から、ウルボスピネル(Ulvöspinel: 2FeO·TiO₂)とヘルシナイト(Hercynite: FeO·Al₂O₃)を端成分とする固溶体と推定される。
- (3) 化学組成分析: Table2に示す。全鉄分(Total Fe) 31.06%に対して、金属鉄(Metallic Fe) 0.06%、酸化第1 鉄(FeO)30.03%、酸化第2鉄(Fe2O₃)10.95%の割合であった。 造滓成分(SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は 49.69% と高値であるが、これは付着粘土の影響も受けた値である。このうち塩基性成分(CaO + MgO) は 2.05% と低値であった。製鉄原料の砂鉄(含チタン鉄鉱^(注1)) 起源の二酸化チタン(TiO₂)は 1.50%、バナジウム(V)が 0.04%であった。酸化マンガン(MnO)は 0.15%、銅(Cu) 0.01%と低値である。また五酸化燐(P₂O₅)は 1.11% と高値傾向が著しい。

当鉄滓中には砂鉄起源の脈石成分(TiO₂, V)の影響が残ることから,砂鉄起源の不純物(製錬滓)を含む鍛冶原料(鉄塊系遺物)を熱間で処理した時に生じた,精錬鍛冶滓に分類される。

OOU-2: 粒状滓 (注2)

OOU-2-1 (2.9mm径)

(1) 肉眼観察:色調は黒灰色でやや歪な球状を呈する。表面には気孔がほとんどなく、平滑である。

- (2) マクロ組織: Photo.1 ④に示す。内部にはごく微細な 気孔が多数散在する。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.1 ⑤に示す。白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。また微細不定形明白色部は金属鉄である。

OOU-2-2 (2.1mm径)

- (1) 肉眼観察:色調は黒灰色で歪な球状を呈する。表面には 気孔はほとんどないが、ごく微細な棘状の突起が点在する。
- (2) マクロ組織: Photo.1 ⑥に示す。内部は大きく空洞化しており、その周囲にも微細な気孔が点在する。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.1 ⑦に示す。表面の灰褐色層はマグネタイト (Magnetite: Fe_3O_4) で、その内側には白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。非常に微細な明白色部は金属鉄である。

OOU-2-3 (1.9mm径)

- (1) 肉眼観察:色調は黒灰色で,歪な球状を呈する。表面 には気孔が若干点在しており,一個所大きな棘状の突起 もみられる。
- (2) マクロ組織: Photo.2 ①に示す。表層部に気孔による 凹部が複数観察される。また内部にも微細な気孔が多数 散在する。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.2 ②に示す。素地の暗黒色ガラス 質滓中に白色粒状結晶ウスタイトが凝集気味に晶出す る。また非常に微細な明白色部は金属鉄である。

OOU-2-4 (1.6mm径)

- (1) 肉眼観察:色調は黒灰色で歪な球状を呈する。表面には気孔が若干点在する。
- (2) マクロ組織: Photo.2 ③に示す。表層部に気孔による 凹部が複数観察される。また中央部に比較的大きな空洞 があり、その周囲にも微細な気孔が多数散在する。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.2 ④に示す。白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。

OOU-2-5 (1.4mm径)

- (1) 肉眼観察:色調は黒灰色で歪な球状を呈する。表面は 比較的平滑であるが、非常に微細な棘状の突起が1個所 確認される。
- (2) マクロ組織: Photo.2 ⑤に示す。内部が大きく空洞化 している。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.2 ⑥に示す。白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。

OOU-2-6 (1.3mm径)

(1) 肉眼観察:色調は黒灰色で歪な球状を呈する。表面は 比較的平滑である。

- (2) マクロ組織: Photo.2 ⑦に示す。内部にはごく微細な 気孔が多数散在する。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.2 ⑧に示す。白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。

今回調査を実施した6点はすべて、鉄酸化物〔ウスタイト(Wustite:FeO)〕主体の組成であった。鉄素材を熱間で鍛打加工した時、表層の酸化物が飛散、球状化した微細遺物と判断される。

OOU-3:鍛造剥片(注3) 様遺物

OOU-3-1 $(4.7 \times 3.1 \times 0.35 \text{mm})$

- (1) 肉眼観察:表裏面とも色調は黒灰色で,緩やかな波状の凹凸がみられる。
- (2) マクロ組織: Photo.3 ①に示す。比較的平坦であるが、 表裏面の凹凸による厚みの変動がみられる。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.3 ②に示す。白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。またごく微細な明灰色部は金属鉄である。鍛錬鍛冶滓の鉱物組成であり、鍛錬鍛冶作業に伴う微細遺物であることは確実である。ただし通常鍛造剥片の表層に観察されるヘマタイト(Hematite: Fe₂O₃)、マグネタイト(Magnetite:Fe₃O₄)層は不明瞭であった。

OOU-3-2 $(3.9 \times 3.6 \times 0.6 \text{mm})$

- (1) 肉眼観察:表裏面とも色調は黒灰色である。表面は比較的平滑であるが、裏面には細かい凹凸がみられる。
- (2) マクロ組織: Photo.3 ③に示す。非常に厚手で、内部には微細な気孔が多数点在する。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.3 ④に示す。素地の暗黒色ガラス質 滓中に白色粒状結晶ウスタイトが晶出する。3-1 と同様鍛 錬鍛冶滓の晶癖であり、鍛錬鍛冶工程に伴う微細遺物で あるが、ヘマタイト、マグネタイト層は見られなかった。

OOU-3-3 $(2.8 \times 2.7 \times 0.30 \text{mm})$

- (1) 肉眼観察:表裏面とも色調は黒灰色で,僅かに緩やかな波状の凹凸がみられる。
- (2) マクロ組織: Photo.3 ⑤に示す。非常に厚手で、気孔 はほとんどなく緻密である。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.3 ⑥に示す。白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。また微細な点状の青灰色部は銹化鉄と推定される。3-1,2 と同じく、鍛錬鍛冶滓の晶癖であるが、やはりヘマタイト、マグネタイト層は見られなかった。

OOU-3-4 $(3.6 \times 3.4 \times 0.30 \text{mm})$

- (1) 肉眼観察:表裏面とも色調は黒灰色で、比較的平坦で
- (2) マクロ組織: Photo.3 ⑦に示す。写真左側が厚めで右側が薄手の片減り剥片であるが、比較的平坦な遺物である。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.3 ⑧に示す。白色粒状結晶ウスタ

イトが凝集して晶出する。 $3.1 \sim 3$ と同様鍛錬鍛冶滓の 晶癖であるが、ヘマタイト、マグネタイト層は不明瞭であった。

OOU-3-5 $(2.0 \times 1.7 \times 0.30 \text{mm})$

- (1) 肉眼観察:表裏面とも色調は黒灰色で、比較的平坦である。
- (2) マクロ組織: Photo.4 ①に示す。非常に平坦な遺物で ある
- (3) 顕微鏡組織: Photo.4②に示す。表層にはごく薄く灰 褐色のマグネタイト層が確認される。その内側の灰色部 はウスタイトで、粒状結晶の痕跡がかすかに残る。

OOU-3-6 $(1.9 \times 1.7 \times 0.30 \text{mm})$

- (1) 肉眼観察:表裏面とも色調は黒灰色で, 比較的平坦である。
- (2) マクロ組織: Photo.4 ③に示す。写真左側が厚めで右側が薄手の片減り剥片であるが、比較的平坦な遺物である。
- (3) 顕微鏡組織: Photo.4 ④に示す。表層には灰褐色のマグネタイト層が確認される。その内側の灰色部は凝集肥大のウスタイトで、粒状結晶の痕跡がかすかに残る。

分析調査を実施した6点には、通常鍛造剥片の断面で観察されるヘマタイト (Hematite: Fe2O3)、マグネタイト (Magnetite:Fe3O4)、ウスタイト (Wustite: FeO) の3層構造が明瞭なものが確認できなかった。しかしいずれも薄膜状の鉄酸化物であり、熱間での鍛錬鍛冶作業に伴う微細遺物に分類される。この場合のウスタイト非晶質剥片の少ない鍛錬鍛冶は、板状・棒状半製品留りの粗仕上であった可能性が高い。

3-2. 燒土跡 4号 (右側) 出土遺物

OOU-4:製錬滓(炉底塊)

- (1) 肉眼観察:焼土跡4号の炉床から出土した厚手で椀状の鉄滓である。破面はなくほぼ完形の滓である。滓の色調は黒灰色で、着磁性は弱く重量感のある滓である。上面は長さ10mm前後の小形の木炭痕が散在するが、比較的平坦で弱い流動状を呈する。また下面には広い範囲で灰褐色の炉床土が固着する。103×93×57mmの大きさで563gの小型容量の滓塊である。
- (2) 顕微鏡組織: Photo.4 ⑤~⑦に示す。滓中には発達した淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル (Ulvöspinel: 2FeO·TiO2)が凝集している。さらに淡灰色柱状結晶ファヤライト (Fayalite: 2FeO·SiO2) も晶出する。砂鉄製錬滓の晶癖である。また滓中の微細な青灰色部は銹化鉄である。金属鉄組織痕跡は不明瞭で、鉄中の炭素含有量を推定する手がかりは得られなかった。

下面表層にはごく微細な木炭破片が付着する。⑦はその拡大である。内部に導管が分布しており、広葉樹の散 孔材の黒炭と推定される。 (3) 化学組成分析: Table2 に示す。全鉄分 (Total Fe) 39.49% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.34%、酸化第 1 鉄 (FeO) 32.40%、酸化第 2 鉄 (Fe2O₃) 19.97% の割合であった。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) 28.60% で、このうち塩基性成分 (CaO + MgO) は 3.54% である。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO₂) は 12.17%、バナジウム (V) 0.24% と高値である。酸化マンガン (MnO) は 0.37%、銅 (Cu) 0.01%であった。また五酸化燐 (P₂O₅) は 0.52% とやや高めである。当鉄滓は砂鉄起源の脈石成分 (TiO₂, V) の高値傾向が顕著であり、製錬滓に分類される。

OOU-5:製錬滓(炉内滓)

- (1) 肉眼観察:80gの炉内滓の小破片である。側面4面は全面破面。滓の色調は暗灰色である。部分的に茶褐色の 鉄銹化物が付着しているが着磁性はごく弱い。やや大形 の気孔が若干点在するが、非常に緻密で重量感のある滓 である。また下面には灰褐色の炉床土がごく薄く付着する。
- (2) 顕微鏡組織: Photo.5①~③に示す。滓中には発達した淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル,淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。炉底塊(OOU-4)と同様,砂鉄製錬滓の晶癖である。また滓中には熱影響を受けて分解・滓化しかけた状態の砂鉄(含チタン鉄鉱)粒子も複数確認された。②はその拡大で、内部には縞状の離溶組織が残存する。
- (3) 化学組成分析: Table2 に示す。全鉄分 (Total Fe) 45.46% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.33%、酸化第 1 鉄 (FeO) 44.26%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 15.34% の割合であった。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) 28.88% で、このうち塩基性成分 (CaO + MgO) は 2.32% であった。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO₂) は 7.40%、バナジウム (V) 0.18%であった。また酸化マンガン (MnO) は 0.24%、銅 (Cu) < 0.01% と低値である。また五酸化燐 (P₂O₅) は 0.51% とやや高めであった。

以上の鉱物・化学組成から、当鉄滓も炉底塊(OOU-4)と同様砂鉄製錬滓に分類される。

OOU-9:微細遺物

- (1) 肉眼観察:当初焼土跡4号から採取された砂鉄として 調査対象に選択された。水洗後実体顕微鏡にて観察した ところ(Photo.7左上),砂鉄の割合は低く,微細な鉄滓 破片や銹化鉄粒,粒状滓,鍛造剥片など,製鉄・鍛冶関 連遺物が多数含まれることが明らかとなった。
- (2) 顕微鏡組織: Photo.7 ①~⑤に示す。②中央の薄板状の白色部は鍛造剥片である。焼13 出土の鍛造剥片様遺物 (OOU-3-1~6) とは異なり、ヘマタイト、マグネタイト、ウスタイトの3層構造が確認された。また周囲の微細な明

灰色粒は粒状滓である。同様の粒状滓は④⑤中でも多数 撮影されており、サンプル中に非常に多く含まれている。

③の青灰色粒は銹化鉄である。内部には針状セメンタイト(Cementite: Fe_3C)の痕跡が残存しており、炭素含有量は 1.3% 程度の高炭素鋼であったと推定される。

②~⑤の灰褐色粒は砂鉄(含チタン鉄鉱)である。角張った粒とやや丸みを帯びた粒とが混在する。また全く熱影響のない生砂鉄と、製鉄炉内に装入されて還元、滓化しかけたものとが確認される。また⑤の右側は微細な砂鉄製錬滓である。内部には熱影響をうけて還元、滓化の進んだ砂鉄(含チタン鉄鉱)が多数点在する。

上述のように、当サンプル中には砂鉄製錬に伴う微細遺物と熱間での鍛冶加工に伴う微細遺物の双方が混在する。共伴する鉄滓(OOU4,5)から、焼26は製鉄炉跡と推定されるが、近接した場所で鍛冶作業も行われていた可能性が高いと考えられる。

3-3. 燒土跡 10 号出土遺物

OOU-6:鍛冶滓(流動状)

- (1) 肉眼観察:35g 弱の細長い鍛冶滓破片である。滓の色調は黒灰色で着磁性は弱い。表面は滑らかな流動状で、数条流動滓が重なった状態で凝固したものと考えられる。気孔はほとんどなく非常に緻密である。また表面には灰褐色~橙色の被熱粘土が点々と固着する。
- (2) 顕微鏡組織: Photo.5 ④~⑥に示す。非常に微細な白色樹枝状結晶ウスタイト,淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。鍛錬鍛冶滓の晶癖である。また滓中の明白色粒は金属鉄である。
- (3) 化学組成分析: Table2に示す。全鉄分(Total Fe) 44.11%に対して、金属鉄(Metallic Fe) 0.35%、酸化第1 鉄(FeO) 50.58%、酸化第2鉄(Fe₂O₃) 6.35%の割合であった。造滓質成分(SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O)39.60%と高値で、塩基性成分(CaO + MgO)も6.64%と高めであった。また製鉄原料の砂鉄(含チタン鉄鉱)起源の二酸化チタン(TiO₂)は1.02%、バナジウム(V)0.02%と低減傾向が顕著であった。酸化マンガン(MnO)も0.13%、銅(Cu) < 0.01%と低値である。五酸化燐(P₂O₅)は0.71%と高めであった。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石成分(TiO₂, V)の低値傾向が顕著であること、滓中に鉄チタン酸化物の結晶がみられないことから、鍛錬鍛冶滓と推定される。ただし鍛錬鍛冶滓としてはチタン含有率がやや高めであり、製鉄原料の砂鉄起源の不純物が若干残る状態の鉄素材を熱間で加工していた可能性が考えられる。

3-4. 燒土跡 4号(左側) 出土遺物

OOU-7:製錬滓(炉内滓)

(1) 肉眼観察:85gの炉内滓の破片である。側面4面は全

面破面。下面が緩やかな椀状を呈しており、近接する焼26 の炉床から出土した炉底塊(OOU-4)と同様の椀状の炉底塊の破片と推定される。滓の色調は暗灰色で、着磁性はごく弱い。やや大形の気孔が若干点在するが、非常に緻密で重量感のある滓である。また下面には灰褐色の炉床土がごく薄く付着する。

- (2) 顕微鏡組織: Photo.6 ①~③に示す。発達した淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル,淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。砂鉄製錬滓の晶癖である。また滓中のごく微細な明白色粒は金属鉄である。
- (3) 化学組成分析: Table2に示す。全鉄分(Total Fe) 44.96%に対して、金属鉄(Metallic Fe) 0.08%、酸化第1 鉄(FeO)48.07%、酸化第2鉄(Fe₂O₃)10.75%の割合であった。 造滓成分(SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は 30.28%で、このうち塩基性成分(CaO + MgO) は 2.44%と低めである。製鉄原料の砂鉄(含チタン鉄鉱)起源の二酸化チタン(TiO₂) は 7.26%、バナジウム(V) 0.16%であった。また酸化マンガン(MnO) は 0.27%、銅(Cu) < 0.01%と低値であった。五酸化燐(P₂O₅) は 0.54%と高めである。以上の鉱物・化学組成から、当鉄滓も焼 26 出土鉄滓(OOU-4、5)と同様、砂鉄製錬滓に分類される。

OOU-8:製錬滓(炉内滓)

- (1) 肉眼観察:32g 弱のやや偏平な炉内滓の小破片と推定される。滓の色調は暗灰色で、着磁性はほとんどない。 上面は長さ5mm程の微細な木炭痕による凹凸が目立つ。 下面には灰褐色の炉床土がごく薄く付着する。側面4面は全面破面で気孔は少なく緻密である。
- (2) 顕微鏡組織: Photo.6 ④~⑥に示す。発達した淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル,淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。砂鉄製錬滓の晶癖である。また滓中には熱影響を受けて還元,滓化しかけた状態の砂鉄(含チタン鉄鉱)も確認された。⑥はその拡大である。
- (3) 化学組成分析: Table2 に示す。全鉄分 (Total Fe) 42.46% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.05%、酸化第 1 鉄 (FeO) 47.06%、酸化第 2 鉄 (Fe2Os) 8.34% の割合であった。造滓成分 (SiO2 + Al2O3 + CaO + MgO + K2O + Na2O) は 36.75% と高めであるが、塩基性成分 (CaO + MgO) は 2.54% と低めである。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO2) は 4.54%、バナジウム (V) 0.09% と当遺跡出土製錬滓としては若干低めであった。また酸化マンガン (MnO) は 0.21%、銅 (Cu) は 0.01% と低値である。五酸化燐 (P2O5) は 0.65% と高めであった。当鉄滓は鉱物組成および内部に還元、滓化しかけた砂鉄(含

当鉄滓は鉱物組成および内部に還元, 滓化しかけた砂鉄(含チタン鉄鉱)を含むことから、砂鉄製錬滓に分類される。当遺跡出土製錬滓(OOU-4, 5, 7)と比較すると若干チタン含有率が低めであるが, これは炉材粘土起源の造滓成分(SiO₂, Al₂O₃)の割合が高いためと考えられる。

4. まとめ

大ウフ遺跡から出土した遺物群を調査した結果, 炉容積小さく小規模ながら当遺跡内で砂鉄製錬から鍛造鉄器製作までの一連の作業が集中して行われていたことが明らかとなった。南西諸島で中世前期の製鉄遺構・遺物が揃って確認されたのは今回が初例であり, この時期の南島での生産・流通の実態を考えるうえで, 非常に注目される結果が得られた。詳細は以下の通りである。

〈1〉 焼土跡 4 号から出土した鉄滓 4 点 (OOU-4, 5, 7, 8) はすべて砂鉄製錬滓に分類される。なかでも炉底塊 (OOU-4) はやや傾斜のある楕円状の焼跡 (焼 26) の中央から出土している。この出土状況から焼 26 は製鉄炉の炉床部分, 隣接する焼 35 は前庭部に当たると考えられる。こうした炉遺構の平面形は中世期の中九州~南九州地域に分布する竪形炉と類似しており,技術的な関連が窺える。

出土製錬滓のチタン含有率はばらつきがある $(TiO_24.54\% \sim 12.17\%)$ が、高いものは 10% を越えており、火山噴出物起源の砂鉄(含チタン鉄鉱)が製鉄原料であったと推測される。また鹿児島県(本土地域)に分布する砂鉄は粒内に多数の燐灰石 [Apatite: Cas (PO_4) %F] を含む事例が多く、高燐 (P) 傾向が著しいことが知られている(注4)。当遺跡出土鉄滓の五酸化燐 (P_2O_5) の割合も高め傾向を示しており、共通する特徴を有する。

比較のため、鹿児島県下の製鉄遺跡出土砂鉄・製錬 滓の化学組成を Fig.1 (注5) に示した。鹿児島県下の出 土製錬滓は全体に鉄酸化物 (FeO) の割合が高いが (注6), 当遺跡出土製錬滓は比較的鉄酸化物の割合が低い。 鉄歩留まりがよい操業が行われていた可能性が考えられる。ただし炉壁の耐火性が低く、より多くの造滓成分が供給されたていた可能性も考えられる。喜界島内の製鉄技術の詳細を検討していくためには、原料、炉材、鉄滓、鉄塊系遺物といった一連の製鉄関連遺物群の確認と分析調査データの蓄積が望まれる。

- 〈2〉 焼土跡 4 号から出土した微細遺物 (OOU-9) 中には、砂鉄や製錬滓などの製鉄関連遺物多数含まれている。これらは製鉄炉の操業に伴う微細遺物と判断される。また過共析組織痕跡の残る銹化鉄粒が確認された。この1点で生産された鉄(製錬鉄塊系遺物)の性状全体を言及することはできないが、少なくとも生産された鉄塊のなかに高炭素鋼が含まれていたことは明らかとなった。
 - 一方で非常に微細な粒状滓や鍛造剥片など、熱間での鍛打加工に伴う遺物群も多数混在していた。これは近接地域で製鉄〜鍛冶作業が連続して行われていたことを示すものといえよう。
- 〈3〉 焼土跡 2 号から出土した鉄滓 (OOU-1) は、精錬鍛冶滓に分類される。砂鉄起源のチタン (TiO_2) の影響が若干残り、燐 (P_2O_5) の高値傾向も顕著であった。

遺跡内で生産された鍛冶原料(製錬鉄塊系遺物)を熱間で処理した時の反応副生物と仮定しても矛盾のない特徴を有する。

さらに粒状滓(OOU-2),鍛造剥片様遺物(OOU-3)など, 鉄素材を熱間で鍛打加工した時に生じる微細遺物も確認 された。焼13では精錬鍛冶〜鍛錬鍛冶作業が連続して 行われていた可能性が高い。ただし鍛錬鍛冶は最終製 品ではなく粗仕上半製品(板状・棒状)留りであろう。

《4》 焼土跡 10 号から出土した鉄滓(OOU-6) は鍛錬鍛 冶滓と推定される。当鉄滓も鍛錬鍛冶滓としてはチタン(TiO2)の影響が高めで,高値傾向も顕著であった。 流動状で高温操業が想定される。

(注)

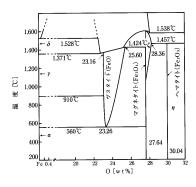
(1) 木下亀城・小川留太郎『岩石鉱物』保育社 1995 チタン鉄鉱は赤鉄鉱とあらゆる割合に混じりあった固 溶体をつくる。(中略)チタン鉄鉱と赤鉄鉱の固溶体には、 チタン鉄鉱あるいは赤鉄鉱の結晶をなし、全体が完全に 均質なものと、チタン鉄鉱と赤鉄鉱が平行にならんで規 則正しい縞状構造を示すものとがある。

チタン鉄鉱は磁鉄鉱とも固溶体をつくり、これにも均質なものと、縞状のものとがある。(中略)このようなチタン鉄鉱と赤鉄鉱、または磁鉄鉱との固溶体を含チタン鉄鉱 Titaniferous iron ore という。

- (2) 粒状滓は鍛冶作業において凹凸を持つ鉄素材が鍛冶炉の中で赤熱状態に加熱されて, 突起部が溶け落ちて酸化され, 表面張力の関係から球状化したり, 赤熱鉄塊に酸化防止を目的に塗布された粘土汁が酸化膜と反応して, これが鍛打の折に飛散して球状化した微細な遺物である。
- (3) 鍛造剥片とは鉄素材を大気中で加熱, 鍛打したとき, 表面酸化膜が剥離, 飛散したものを指す。俗に鉄肌(金肌) やスケールとも呼ばれる。鍛冶工程の進行により, 色調 は黒褐色から青味を帯びた銀色(光沢を発する)へと変 化する。粒状滓の後続派生物で, 鍛打作業の実証と, 鍛 冶の段階を押える上で重要な遺物となる。

鍛造剥片の酸化膜相は、外層は微厚のヘマタイト (Hematite: Fe_2O_3)、中間層マグネタイト (Magnetite: Fe_3O_4)、大部分は内層ウスタイト (Wüstite: FeO) の 3層から構成される。このうちのヘマタイト相は 1450 で越えると存在しなく、ヴスタイト相は 570 以上で生成されるのは Fe-O 系平衡状態図から説明される。

鍛造剥片を王水(塩酸 3:硝酸 1)で腐食すると、外層 ヘマタイト(Hematite: Fe_2O_3)は腐食しても侵されず、中間層マグネタイト(Magnetite: Fe_3O_4)は黄変する。内層のウスタイト(Wüstite:FeO)は黒変する。鍛打作業前半段階では内層ウスタイト(Wüstite:FeO)が粒状化を呈し、鍛打仕上げ時になると非晶質化する。鍛打作業工程のどの段階が行われていたか推定する手がかりともなる。



Fe-O系平衡状態図

鍛造剝片3層分離型模式図



- (4) 鈴木瑞穂「鹿児島県下の採取砂鉄の分析調査結果」 『ミュージアム知覧紀要・官報11号』ミュージアム知覧 2007
- (5) Fig.1 に示した鹿児島県下の出土製鉄関連遺物の分析 データは、以下の文献より引用した。
 - ①中山光夫・上田耕「小坂ノ上遺跡出土の古代の蔵骨器と 埋納鉄滓について」『ミュージアム知覧紀要第1号』1995
 - ②大澤正己・鈴木瑞穂「宝満製鉄遺跡出土製鉄関連遺物 の金属学的調査」『宝満製鉄遺跡』 鹿児島県曽於郡志 布志町教育委員会 2004
 - ③大澤正己「上加世田遺跡出土製鉄一貫体制遺物と鋳銅遺物の金属学的調査」『上加世田遺跡1』加世田市教育委員会 1985

- ④大澤正己・鈴木瑞穂「一ツ木遺跡出土製鉄・鍛冶関連 遺物の金属学的調査」『一ツ木地区(A・B)遺跡』鹿 児島県宮之城町教育委員会 2001
- ⑤大澤正己・鈴木瑞穂「古原遺跡出土鉄滓・青銅製品の 金属学的調査」『古原遺跡』さつま川内市教育委員会 2005 年度分析調査実施
- ⑥大澤正己・鈴木瑞穂「厚地松山遺跡出土製鉄・鍛冶関連遺物の金属学的調査」『厚地松山製鉄遺跡』 鹿児島県知覧町教育委員会 2000
- ⑦大澤正己・鈴木瑞穂「中原鉄生産関連(前畑西)遺跡 出土製鉄・鍛冶関連遺物の金属学的調査」『中原鉄生 産関連遺跡(前畑西)遺跡』鹿児島県知覧町教育委員 会 2007
- ⑧「宝満製鉄遺跡出土鉄滓の分析調査(予備調査)~周 辺地域(東谷・吉原・花房)を比較して~」『宝満寺 跡 宝満製鉄遺跡 牟田遺跡 弓場ヶ尾遺跡』鹿児島 県曽於郡志布志町教育委員会 2003
- ⑨鈴木瑞穂「南九州地域の中世〜近世の製鉄技術について」 『鉄の歴史 - その技術と文化 - フォーラム第12回公開研究発表会論文集』(社)日本鉄鋼協会 社会鉄鋼工学部会「鉄の歴史 - その技術と文化 - | フォーラム 2009
- ⑩大澤正己・鈴木瑞穂「上水流遺跡出土製鉄・鍛冶関連 遺物の金属学的調査」『上水流遺跡 4』中小河川改修 事業(万之瀬川)に伴なう埋蔵文化財発掘調査報告書 (VI) 鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (159) 鹿児島県立埋蔵文化財センター2010
- ①大澤正己・鈴木瑞穂「出土製鉄・鍛冶・鋳造関連遺物の金属学的調査」『渡畑遺跡2』中小河川改修事業(万之瀬川)に伴なう埋蔵文化財発掘調査報告書(IX)鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(159)鹿児島県立埋蔵文化財センター2011(6)前掲注(5)⑨

Table1 供試材の履歴と調査項目

					計測	値				調	查	項	目			
符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	大きさ (mm)	重量 (g)	メタル度	マクロ 組 織	顕微鏡 組 織	ピ ッカース 断面硬度	X線 回折	EPMA	化学 分析	耐火度	カロリー	備考
OOU-1	城久遺跡群	焼土跡2号	鍛冶滓	11c 後半	$36 \times 33 \times 18$	15.0	なし		0				0			
OOU-2	(大ウフ遺跡)		粒状滓	~ 12 c	-	-	なし	0	0							
OOU-3			鍛造剥片		-	-	なし	0	0							
OOU-4		焼土跡 4号	製錬滓 (炉底塊)]	103 × 93 × 57	563.0	なし		0				0			
OOU-5		(右側)	製錬滓 (炉内滓)]	54 × 23 × 30	79.6	なし		0				0			
OOU-6		焼土跡 10 号	鍛冶滓 (流動状)]	74 × 32 × 17	34.7	なし		0				0			
OOU-7		焼土跡 4号(左側)	製錬滓 (炉内滓)		48 × 35 × 42	85.3	なし		0				0			
OOU-8		焼土跡 4号(左側)	製錬滓 (炉内滓)		39 × 35 × 16	31.5	なし		0				0			
OOU-9		焼土跡 4号(右側)	微細遺物		-	-	なし		0							

微細遺物サイズ (mm)

粒 岁	字 :	鍛	造 剥 片
OOU-2-1	2.9	OOU-3-1	$4.7 \times 3.1 \times 0.35$
OOU-2-2	2.1	OOU-3-2	$3.9 \times 3.6 \times 0.60$
OOU-2-3	1.9	OOU-3-3	$2.8 \times 2.7 \times 0.30$
OOU-2-4	1.6	OOU-3-4	$3.6 \times 3.4 \times 0.30$
OOU-2-5	1.4	OOU-3-5	$2.0 \times 1.7 \times 0.30$
OOU-2-6	1.3	OOU-3-6	$1.9 \times 1.7 \times 0.30$

Table 2 供試材の化学組成

									*	*	*	*	*	*										∑ *		
符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	全鉄分 (Total Fe)	金属鉄 (Metallic Fe)	酸化 第1鉄 (FeO)	酸化 第2鉄 (Fe ₂ O ₃)	二酸化 珪素 (SiO ₂)	酸化7ル ミニウム (Al ₂ O ₃)	酸化加 inl (CaO)	酸化マグ ネシウム (MgO)	酸化 かりかム (K ₂ O)	酸化扑 リウム (Na ₂ O)	酸化マン ガン (MnO)	二酸化 †9ン (TiO ₂)	酸化 704 (Cr ₂ O ₃)	硫黄 (S)	五酸 化燐 (P ₂ O ₅)	炭素 (C)	パナジ ウム (V)	釗 (Cu)	二酸化 ジルコニウム (ZrO₂)	造滓成分	造滓成分 Total Fe	TiO ₂ Total Fe
OOU-1	城久遺跡群 (大ウフ)	焼土跡2号	鍛冶滓	llc 後半 ~ 12 c	31.06	0.06	30.03	10.95	33.67	12.44	0.92	1.13	1.13	0.40	0.15	1.50	0.03	0.037	1.11	0.11	0.04	0.01	0.03	49.69	1.600	0.048
00U-4		焼土跡4号 (右側)	製錬滓 (炉底塊)		39.49	0.34	32.40	19.97	17.54	6.29	1.51	2.03	0.81	0.42	0.37	12.17	0.04	0.071	0.52	0.16	0.24	0.01	0.04	28.60	0.724	0.308
OOU-5		(1114)	製錬滓 (炉内滓)		45.46	0.33	44.26	15.34	19.24	6.30	1.04	1.28	0.69	0.33	0.24	7.40	0.04	0.079	0.51	0.10	0.18	< 0.01	0.03	28.88	0.635	0.163
00U-6		焼土跡 10 号	鍛冶滓 (流動状)		44.11	0.35	50.58	6.35	23.59	7.54	5.17	1.47	0.86	0.97	0.13	1.02	0.03	0.038	0.71	0.07	0.02	<0.01	0.02	39.60	0.898	0.023
OOU-7		焼土跡4号 (左側)	製錬滓 (炉内滓)		44.96	0.08	48.07	10.75	20.36	6.45	1.05	1.39	0.70	0.33	0.27	7.26	0.04	0.062	0.54	0.10	0.16	< 0.01	0.03	30.28	0.673	0.161
OOU-8		(.1.14)	製錬滓 (炉内滓)		42.46	0.05	47.06	8.34	24.63	8.05	1.35	1.19	1.03	0.50	0.21	4.54	0.04	0.051	0.65	0.08	0.09	0.01	0.02	36.75	0.866	0.107

Table3 出土遺物の調査結果のまとめ

								1	と 学 組	成 (%)			
符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	顕微鏡組織	Total Fe	Fe ₂ O ₃	塩基性 成分	TiO ₂	V	MnO	造滓 成分	Cu	所 見
00U-1	城久遺跡群 (大ウフ遺跡)	焼土跡2号	鍛冶滓	llc後半 ~	付着粘土 (微小粒状滓を含む)、 滓部:W+F+UとHの固溶体	31.06	10.95	2.05	1.50	0.04	0.15	49.69	0.01	宰部:精鍊鍛冶滓(始発原料:砂鉄)
OOU-2			粒状滓	12 c	1、3 ~ 6:W、2:W+M	-	-					-	-	鉄素材を熱間で鍛打加工した時に生じた微細遺物
OOU-3			鍛造剥片		1 ~ 4:W、5·6:W+M	-	-	-	-	-	-	-	-	鉄素材を熱間で鍛打加工した時に生じた微細遺物
00U-4		焼土跡4号 (右側)	製錬滓 (炉底塊)		滓部:U+F、木炭破片: 広葉樹散孔材	39.49	19.97	3.54	12.17	0.24	0.37	28.60	0.01	製錬滓(原料:砂鉄)
OOU-5		(1174)	製錬滓 (炉内滓)		被熱砂鉄(含チタン鉄鉱)分解・溶化進行、 滓部:U+F、微小金属鉄	45.46	15.34	2.32	7.40	0.18	0.24	28.88	< 0.01	製錬滓(原料:砂鉄)
OOU-6		焼土跡 10 号	鍛冶滓 (流動状)		滓部:W+F、微小金属鉄粒	44.11	6.35	6.64	1.02	0.02	0.13	39.60	<0.01	鍛錬鍛冶滓
OOU-7		焼土跡4号 (左側)	製錬滓 (炉内滓)		滓部:U+F、微小金属鉄粒	44.96	10.75	2.44	7.26	0.16	0.27	30.28	< 0.01	製錬滓(原料:砂鉄)
00U-8			製錬滓 (炉内滓)		被熱砂鉄(含チタン鉄鉱)分解・滓化進行、 滓部:U+F、微小金属鉄	42.46	8.34	2.54	4.54	0.09	0.21	36.75	0.01	製錬滓 (原料:砂鉄)
OOU-9		焼土跡4号 (右側)	微細遺物		砂鉄 (含チタン鉄鉱、熱影響なし・あり)、砂鉄製錬滓、銹化鉄粒: 過共析組織痕跡、粒状滓、鍛造剥片	-	-	-	-	-	-	-	-	砂鉄製錬〜銀錬鍛冶作業に伴う微細遺物混在

W:Wustite (FeO), F:Fayalite (2FeO·SiO2), U:Ulv?spinel (2FeO·TiO2), H:Hercynite (FeO·Al2O3), M:Magnetite (Fe3O4)

城久遺跡群(大ウフ遺跡)出土製錬滓 ●

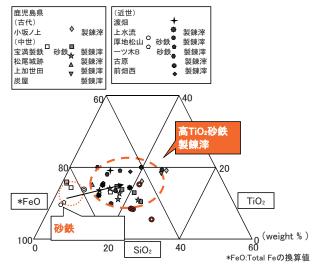


Fig.1 鹿児島県下の製鉄遺跡出土砂鉄・製錬滓の化学組成

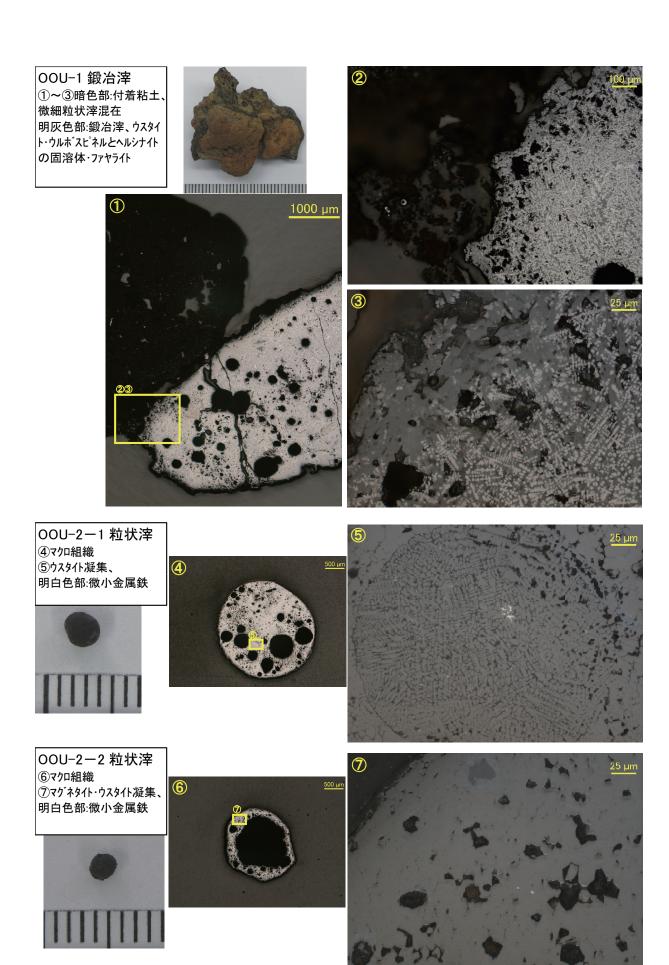
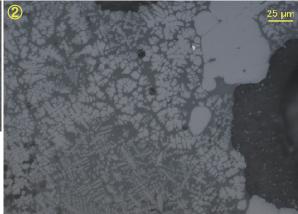


Photo.1 鍛冶滓·粒状滓の顕微鏡組織

OOU-2-3 粒状滓 ①マクロ組織 ②ウスタイト 微細明白色部:金属鉄

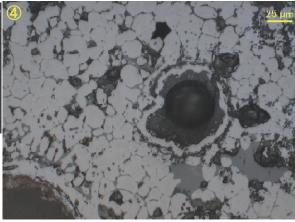




OOU-2-4 粒状滓 ③マクロ組織 ④ウスタイト、銹化鉄

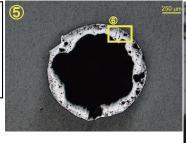






OOU-2-5 粒状滓 ⑤マクロ組織 ⑥ウスタイト凝集







OOU-2-6 粒状滓 ⑦マクロ組織 ®ウスタイト凝集



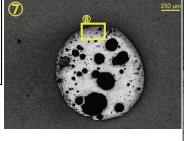




Photo.2 粒状滓の顕微鏡組織

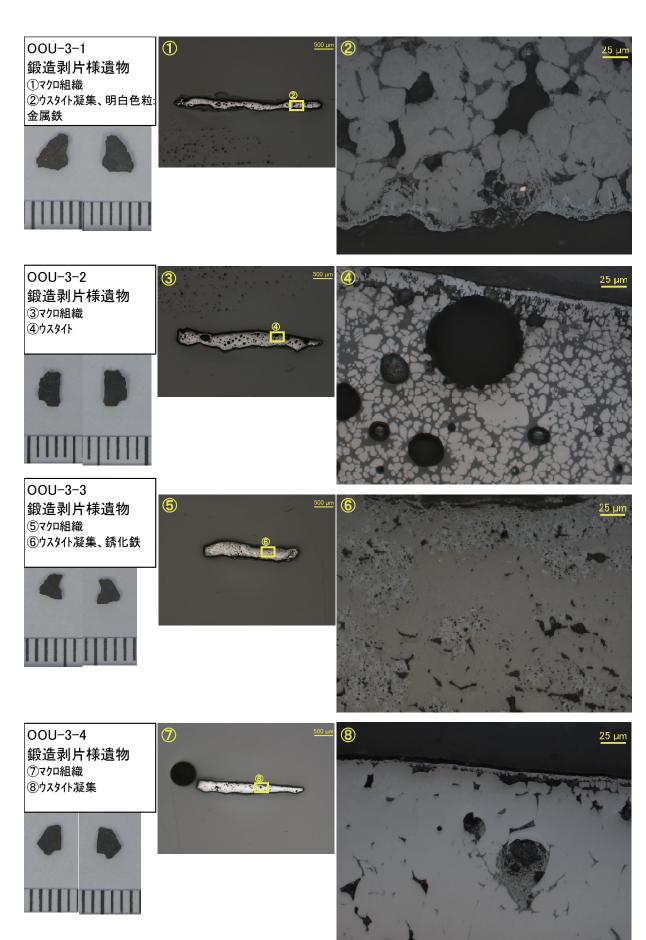


Photo.3 鍛造剥片様遺物の顕微鏡組織

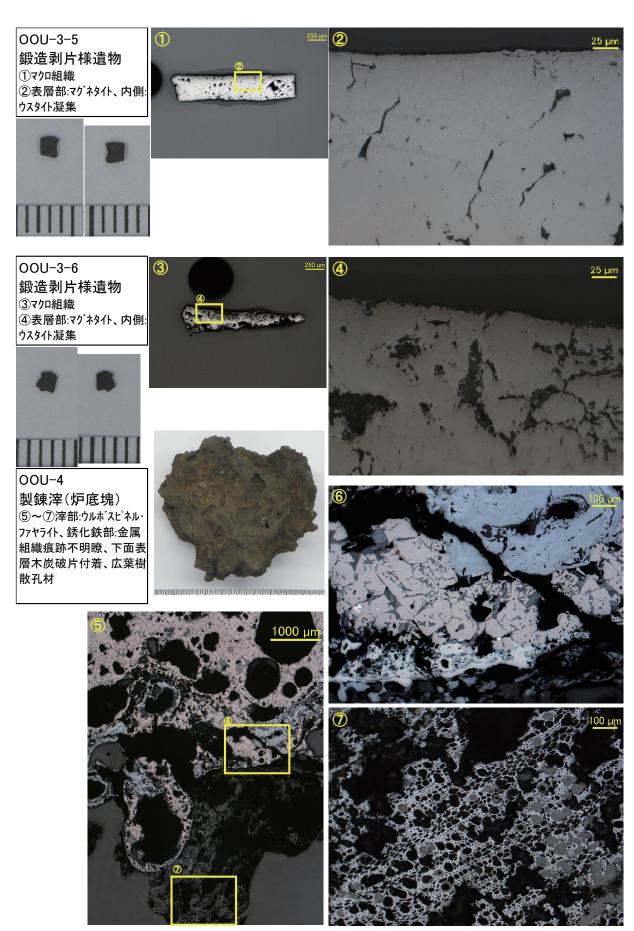


Photo.4 鍛造剥片様遺物·製錬滓(炉底塊)の顕微鏡組織

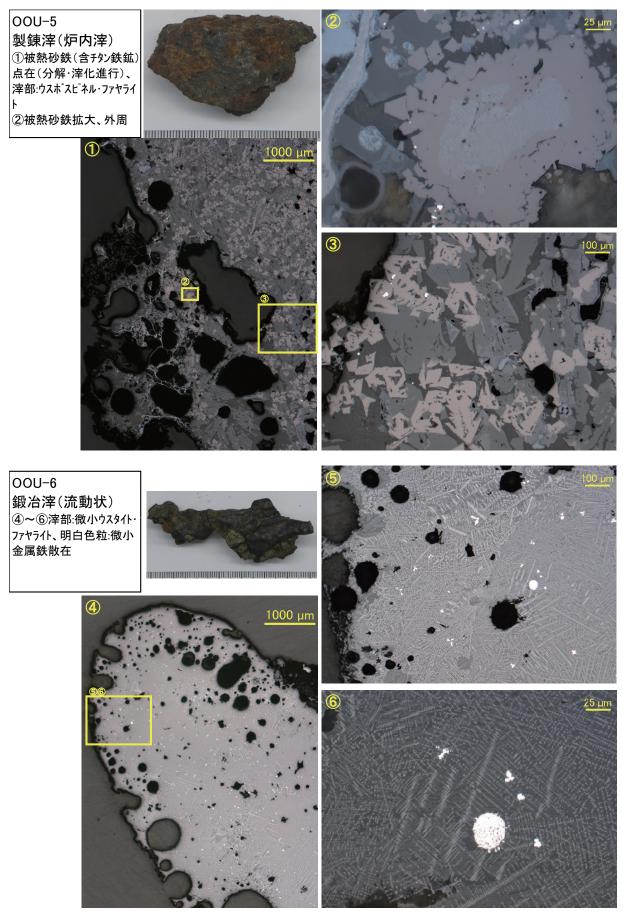


Photo.5 製錬滓(炉内滓)・鍛冶滓の顕微鏡組織

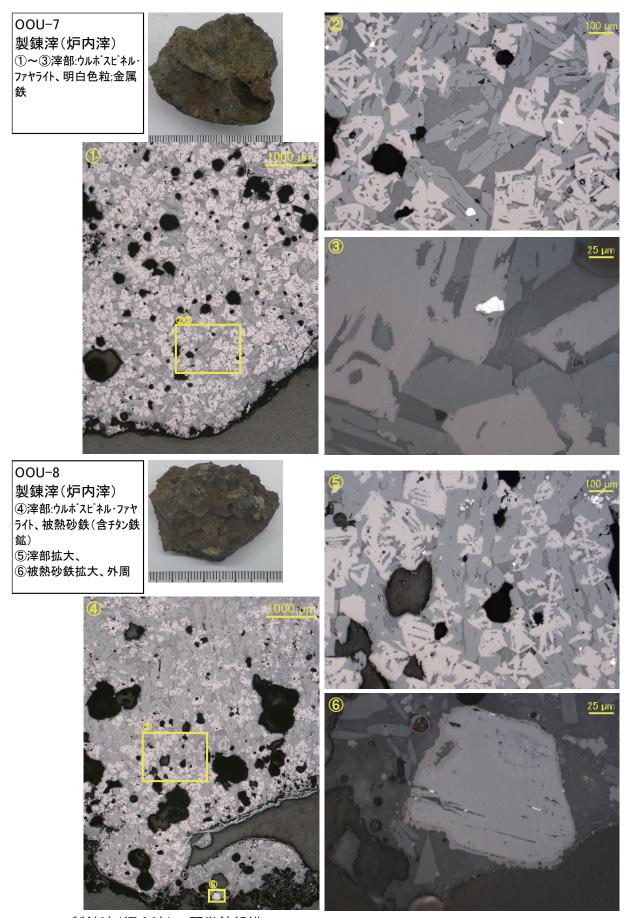


Photo.6 製錬滓(炉内滓)の顕微鏡組織

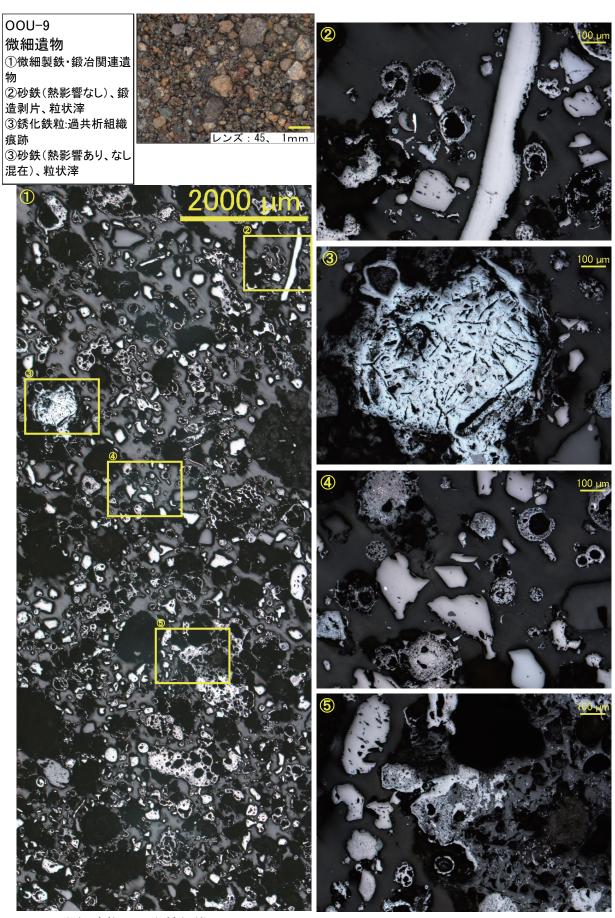


Photo.7 微細遺物の顕微鏡組織

覚張隆史·米田穣 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先史人類学研究室

【はじめに】

過去の人々の食生活の復元は当時の人々がどの様にその地域に適応したかを知る上で重要な研究テーマといえる。過去の食生活を復元する手法は、動物資源を評価する動物考古学、植物資源を評価する植物考古学などが挙げられる。これらの分析手法では、獣骨は遺物として残りやすいが、植物は遺物として残りにくいため、当時の人々がどの程度の比率で動物と植物を利用していたかを評価することは困難であった。1970年代後半から、人骨および獣骨に含まれるコラーゲン(タンパク質)の炭素・窒素安定同位体比によって、動物の1個体ごとの平均的な食性復元が可能になった(1。このコラーゲンの炭素・窒素安定同位体分析はコラーゲンを代謝合成する際に必要なアミノ酸の供給源をタンパク質寄与率として評価する方法である。

奄美諸島喜界島の古代から中世の遺跡群である城久遺跡群は大宰府から出土した考古遺物と類似したものや中国産の磁器なども出土しており、奄美諸島において喜界島が重要な行政拠点であった可能性が指摘されている。また、城久遺跡群からはアワなどの雑穀類とイネの炭化種子が検出されており、当時の人々が農耕を行っていた可能性が高いことが分かってきた。この城久遺跡群からは数多くの人骨および家畜種の獣骨も検出されており、当時の人々が農耕とともに動物を飼育する文化を営んでいたことが明らかになっている。これらの出土骨の炭素・窒素安定同位体分析を実施することで、埋葬された人々がどの様な食生活を営んでいたかを復元することが可能である。さらに、家畜の飼育様式を復元することでヒトと動物の関係を議論することができる。

【コラーゲンの炭素・窒素安定同位体分析】

同位体とは、同じ元素であるが原子核に含まれる中性子の数が異なる原子のことをいう。そのうち安定同位体とは、放射性炭素同位体の様に放射壊変する不安定な原子核ではなく、放射壊変しない安定な原子核をもつ同位体を指す。例えば、窒素原子の中でも、中性子が7個と8個の窒素安定同位体がある。中性子の数の違いは質量の違いを意味するが、化学的な性質には影響しない。ただし、軽い同位体は反応が速く、重い同位体は反応が遅いといった、反応速度の違いによって、天然に存在する物質では、生態系における物質循環で経験した化学反応によって様々な同位体の比率(同位体比)を持つ。

生態系中で同位体比が偏る反応の代表的なものに植物における炭酸同化作用(光合成)がある。具体的にはハッチ・スラッ

ク回路で光合成するトウモロコシ、アワ、キビ、ヒエなどの C4 植物という植物群は、カルビン・ベンソン回路で光合成するイネや樹木などの C3 植物よりも炭素安定同位体比が高い ⁽²⁾。さらに、様々な同位体比をもつ食物を動物が摂取した場合、動物が体内で代謝・合成する動物性タンパク質の多くは、摂取した食物に含まれるアミノ酸に由来し、再利用される。そのため、C4 植物を摂取した動物と C3 植物を摂取した動物と では体を構成する炭素安定同位体比がそれぞれ異なり、体組織の同位体比を比較する事で両者の食性の違いを区別することができる。すなわち、動物遺存体でタンパク質(例えば、コラーゲン)の炭素同位体比を求めることができれば、過去の動物にどの程度 C4 植物の雑穀を飼業として与えられたかを評価できる ⁽³⁾。また、窒素安定同位体比の場合、植物、草食動物、肉食動物の順で重たい同位体の割合が高くなり、生態系における栄養段階を反映することが知られている ⁽⁴⁾。

【試料と方法】

本分析では、城久遺跡群に属する複数遺跡のうち、前畑遺跡、半田遺跡および大ウフ遺跡から出土した骨試料のコラーゲン抽出を実施した。これらの試料は、コラーゲン抽出した後に、炭素・窒素安定同位体分析を実施した。東京大学先史人類学研究室において実施されるコラーゲン抽出で使用されるガラス器具類は、マッフル炉において480℃で2時間以上高温燃焼することで外部からの汚染を最小限にするように心がけている。また、試料が直接触れる器具も同様に、外部汚染の影響に対する対策を講じている。

(骨コラーゲン抽出)

まず、歯科技工士用デンタルドリルを用いて、人骨および 獣骨から骨片を採取した。採取した骨の表面はサンドブラス ターで土壌物質を除去した。超純水中で超音波洗浄し、表面 の微細な汚染を除去した。洗浄した試料は 0.2N NaOH に浸 し、4℃下で 12 時間反応させ、表面に付着する有機物汚染の 影響を除去した。0.2N NaOH を除去し、超純水で洗浄する。 試料を浸した超純水の酸性度が中性になったことを確認し、 凍結乾燥器にて 12 時間乾燥させた。乾燥させた試料は粉砕 器具にて粉末化した。粉砕した試料はセルロースチューブ内 で 1.2N HCI に反応させ、炭酸カルシウムを除去した。反応 が終わったことを確認し、1.2N HCI 内にて 4℃下で 12 時間 の脱灰反応を行った。脱灰後は、1.2N HCI を除去し、セルロー スチューブ内が中性に戻るまで超純水を繰り返し交換した。 中性に戻した後に、12 時間超純水内に入れた。脱灰後の試 料溶液をガラス管に移し、遠心分離して上澄みを凍結保存した。沈殿物に超純水を加え、ブロックバスにて90℃で12時間の反応を行い、コラーゲンをゼラチン化させた。ガラス管を遠心分離し、上澄みに溶解しているゼラチン化したコラーゲンをガラスフィルターにて濾過した。濾過された試料溶液は2日間凍結乾燥させた。

(炭素・窒素安定同位体測定)

抽出されたコラーゲンは国立科学博物館の元素分析計一安定同位体比質量分析計(EA-IRMS)を用いて δ 13C、 δ 15N および炭素・窒素比(C/N)を測定した。EA-IRMS の測定系は、まず、元素分析計(FLASH2000, Thermo)において試料の燃焼・還元され、生じたガスはキャピラリーガスクロマトグラフによって二酸化炭素・窒素ガスに分離される。分離されたそれぞれのガスを安定同位体比質量分析計(MAT253, Thermo)に導入するために、ガスの流量を調節するインターフェイス(ConFlo IV,Thermo)を接続することで、元素分析計で分離したガスから直接的に安定同位体比の測定は測定用の精製コラーゲン 0.5mg をスズ箔に包み、上述したEA-IRMS で測定を実施した。

測定された安定同位体比は国際標準物質の値を基準に補正した値を後の解析に用いる。炭素同位体比の標準物質はPDB、窒素同位体比は現代大気(AIR)を基準とし、これらの標準物質の同位体比からの差分を千分率(‰:パーミル)で表記する。この値はδ(デルタ)と表記する。安定同位体比の補正計算は式1の通りである。また、本分析における安定同位体比の測定精度は、炭素同位体比は標準偏差±0.1‰、窒素同位体比は標準偏差±0.1‰であった。

土壌由来の有機物汚染の影響がある分析試料を除外するために、生体のコラーゲンがもつ C/N=2.9~3.6 の基準から 逸脱した試料は、安定同位体比の比較には用いなかった(5。

【分析結果】

城久遺跡群出土人骨からコラーゲン抽出した結果、13 試料中の12 試料からコラーゲンが抽出された。コラーゲン抽出された試料のうち、安定同位体分析を行うために十分な試料量が得られた10 試料を分析に供した。また、抽出されたコラーゲンの炭素・窒素のモル比は4 試料を除いて2.9~3.6の範囲を示したことから、これら6 試料は埋没時における土壌有機物の汚染程度は低いことが示された。土壌有機物の汚染程度が低い試料は前畑遺跡の人骨では2点、半田遺跡の人骨では3点、川尻遺跡の人骨1点、大ウフ遺跡の牛骨では3点であった。

炭素安定同位体比はヒトで-19.0%~-15.5%、ウシで-15.0%~-14.3%であった(第 140 表・第 209 図)。また、窒素安定同位体比はヒトで 9.4%~11.2%、ウシで 3.6%~6.4%であった。各遺跡の人骨コラーゲンの炭素安定同位体比は、前畑遺跡は平均値-18.6%、標準偏差 0.56%、半田遺跡は平均値-16.5%、標準偏差 0.82%であった。窒素安定同位体比は、前畑遺跡は平均値 11.1%、標準偏差 0.18%、半田遺跡は平均値 9.4%、標準偏差 0.01%であった。人骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比に遺跡間の差異があるかを評価するために、2群間で炭素・窒素安定同位体比の平均値の差の検定を行った。その結果、前畑遺跡と半田遺跡出土人骨の炭素・窒素安定同位体比はそれぞれ有意に異なることが示された(P < 0.05)。

【考察】

本分析は、人骨および獣骨の安定同位体分析に基づいて、 城久遺跡群から出土した人々の摂取食物と家畜牛の飼育形態 の復元を試みた。第一に、現代の食物試料に基づいて、城久 遺跡群出土人骨が摂取していた食物資源の推定を行った。コ ラーゲンを構成するアミノ酸は植物よりも動物の可食部の含 有率が高いことを考慮し、C3 植物と海生魚類を摂取した際 にとりうる安定同位体比を曲線式で示した(第210回)。そ の結果、前畑遺跡出土人骨は C3 植物と海生魚類の中間に位 置しており、両者を主に食物資源として摂取していたと考え られる。一方、半田遺跡および川尻遺跡出土人骨の安定同位 体比は前畑遺跡出土人骨よりも炭素同位体比が高く、窒素同 位体比は若干低い傾向にあった。この場合、海生魚類だけで は説明ができないため、C3植物と海生魚類よりも炭素同位 体比が高い食物資源を摂取したと評価できる。半田遺跡およ び川尻遺跡出土の人々が摂取したと考えられる食物資源とし て C4 植物と干潟やラグーンなどの沿岸部に生息する海生貝 類などが候補に挙げられる。C4 植物は粟や稗などの雑穀類 があり、これらの植物は城久遺跡群の植物遺存体分析によっ て検出されている。また、川尻遺跡からは海生貝類を利用し た貝符の出土が確認されており、両者の食物資源が利用され ている可能性は考古学的な証拠からも支持される。これら二 つの食物資源を摂取していた場合、前畑遺跡の人々は半田遺 跡の人々よりも雑穀類もしくは海生貝類に依存していた程度 が相対的に低かった可能性が考えられる。残念なことに、コ ラーゲンの炭素・窒素安定同位体分析のみでは C4 植物と海 生貝類の識別が困難なため、両者の摂取程度を評価すること はできなかった。陸生資源と海産物の摂取程度を評価するた めには、グルタミン酸とフェニルアラニンの炭素・窒素安定 同位体分析を実施する必要があり、今後のさらなる研究が期

$$\delta^*X = \left[\left\{\binom{*X/X}_{\text{sample}}/\binom{*X/X}_{\text{standard}}\right\} - 1\right] \times 1000 (‰) \cdot \cdot \cdot (式 1)$$
 X は同位体、 $^*X>X$

待される。

本分析では人骨以外に同遺跡群から出土した家畜牛の安定同位体分析を実施し、ヒトよりも炭素同位体比が非常に高い値を示した(第209回参照)。これは、当時の家畜牛がC4植物を積極的に摂取していた可能性が考えられる。琉球列島では主に沿岸部において半自然放牧で家畜牛を管理しており、この様な草地ではC3植物よりもC4植物が優占している。つまり、沿岸部の半自然草原で飼育されていたウシが城久遺跡群まで持ち込まれていたと考えられる。この結果は、家畜牛の飼育形態が半自然草原を利用して管理されていたことを示唆する。

本分析から、城久遺跡群を形成した当時の人々の中で、食性が異なる集団が混在していた可能性は指摘された。この遺跡ごとの食性差が生じる理由は、①時代ごとに食文化が異なっていた、②生存していた年代は同じだが喜界島内で食文化が異なっていた、③食文化の異なる島外の人々が移入していた、の3つの可能性が考えられる。島外からの移入者がいたかを識別するためには、食性に関わる情報ではなく、生活圏の情報となるストロンチウムおよび鉛の安定同位体比を測定することで評価ができる。これら複数の分析手法を実施することで、喜界島における当時の人々の生活が客観的かつ具体的に復元できると期待される。

【参考文献】

- 1) van der Merwe & Vogel (1978) , Nature, 276, pp. 815-
- 2) O'Leary (1981), Phytochemistry, 20, 4, pp. 553-567
- 3) Barton et al. (2009), PNAS, 106, 14, pp. 5523-5528
- 4) Minagawa and Wada (1984), Geochimica et Cosmochimica Acta, 48, 5, pp. 1135-1140
- 5) Deniro (1985), Nature, 317, pp. 806-809

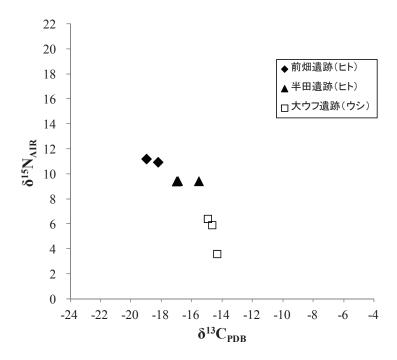
※本文及び表中の川尻遺跡は島内で現在発掘調査中の遺跡である。城久遺跡群内の遺跡ではないが、島内での比較検討のため、今回同時に分析を行うこととした。

第140表 城久遺跡群出土人骨の安定同位体分析 結果一覧表

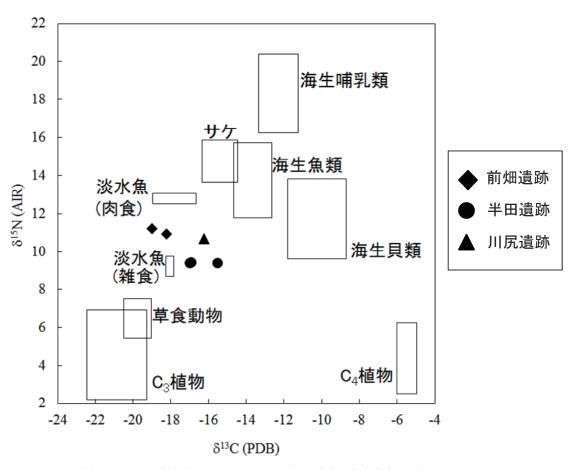
Lab. Code	Sample Name	Site	Skeletal Element	Collagen Extraction (%)	$\delta^{13}C_{PDB}$	$\delta^{15} N_{Air}$	C/N
UT1115-1	①土坑墓7号	前畑遺跡	左第6肋骨	1.4	-18.2	10.9	3.5
UT1116-2	③土坑墓8号 2号人骨	前畑遺跡	頸椎	1.7	-19.0	11.2	3.5
UT1115-2	④土坑墓3号	大ウフ遺跡	頭骨	0.2	ND	ND	ND
UT1115-3	⑤土坑墓8号	大ウフ遺跡	右大腿骨	ND	ND	ND	ND
UT1115-4	⑥土坑墓7号	大ウフ遺跡	頭骨	0.2	ND	ND	ND
UT1115-5	⑦1号墓	半田遺跡	頭骨	0.2	-19.2	11.5	12.3
UT1115-6	⑧2号墓	半田遺跡	頭骨	2.3	-15.5	9.4	3.3
UT1115-7	⑨3号墓一1号人骨	半田遺跡	頭骨	0.2	-19.0	12.2	11.0
UT1115-8	⑩3号墓一2号人骨	半田遺跡	頭骨	0.2	-19.8	12.8	15.6
UT1115-9	⑫国庫補助3T-B人骨	半田遺跡	右肋骨	3.5	-16.9	9.4	3.3
UT1115-10	⑬国庫補助3T-C人骨	半田遺跡	頭骨	3.7	-17.0	9.4	3.3
UT1116-3	⑪国庫補助3T-A人骨	半田遺跡	頭頂骨	0.5	-18.9	10.6	5.0
TG126101	-	川尻遺跡	肋骨	3.9	-16.2	10.7	3.2

第 141 表 城久遺跡群出土獣骨(ウシ)の安定同位体分析 結果一覧表

Lab. Code	Sample Name	Site	Skeletal Element	Collagen Extraction (%)	$\delta^{13}C_{PDB}$	$\delta^{15} N_{Air}$	C/N
TG110801	そ-6 溝20号	大ウフ遺跡	左肩甲骨	0.4	-13.0	6.7	4.3
TG110802	そ-6 溝20号	大ウフ遺跡	右大腿骨	2.8	-14.7	5.9	3.5
TG110803	ち-7 溝21号	大ウフ遺跡	左頸骨	2.5	-14.3	3.6	3.6
TG110804	ち-4 包含層	大ウフ遺跡	右橈尺骨	0.4	-11.7	7.2	5.2
TG110805	そ-7 P521	大ウフ遺跡	左上顎骨	1.6	-15.0	6.4	3.6
TG110806	せ-10 P636	大ウフ遺跡	右上顎骨	0.3	-15.9	8.0	7.5



第209図 城久遺跡群出土骨のコラーゲンの炭素・窒素安定同位体比



第210図 城久遺跡群出土人骨のコラーゲンの炭素・窒素安定同位体比

第10節 大ウフ遺跡より検出された植物遺体

高宮広土(札幌大学) 千田寛之(札幌大学古食性分析室)

遺跡調査の概要

a: 遺跡の所在 喜界町大字城久字大ウフ

b: 遺跡名称 大ウフ遺跡

c: 調査機関 喜界町教育委員会 d: 調査担当者 澄田直敏・野崎拓司 後藤法宣・具志堅亮

e: 発掘調査期間 2007 年 4 月~ 2009 年 12 月

f. 文化グスク文化g. 遺跡の年代10 ~ 15 世紀

1) バックグラウンド

大ウフ遺跡は城久遺跡群八遺跡のうちの一遺跡である。同 遺跡群からは、山田中西遺跡、山田半田遺跡、小ハネ遺跡、 および前畑遺跡より植物遺体回収のために土壌サンプルが採 取され、フローテーション処理が行われた。これらの遺跡か ら回収された植物遺体は約30(粒/片)~400(粒/片)と それほど多くはない。その少量の植物遺体からは四遺跡の 人々が主に栽培植物を摂取していたことが明らかとなった。 少量の植物遺体からみえつつあることは、四遺跡において栽 培植物利用の傾向が異なっていた可能性があることである。 たとえば、山田半田遺跡ではイネ(高宮 2009)、前畑遺跡 ではオオムギ、ムギ類およびアワ (高宮・千田 2011a)、小 ハネ遺跡ではオオムギとアワ (高宮・千田 2011b)、また 土壌サンプルの極端に少なかった山田中西遺跡ではイネとオ オムギが検出された主な栽培植物であった(高宮 2008)。今 回、計853.91の土壌をサンプリングし、フローテーション処 理された。その浮遊物計 652.1g が同定のために札幌大学古 食性分析室へ送付された (第142表)。分析の結果以下の植 物遺体が確認された。

2) 検出された炭化種子

イネ Oryza sativa L. (第 142 表)

イネ穎果(写真1)が計76(粒)とその破片を計120(片)が検出された。このうちサイズの計測が可能だったのは計2(粒)で、その平均サイズ(高さ×幅×厚さ)は4.0mm×2.6mm×1.7mmであった(第143表)。イネ穎果全体の重量は0.67gである(第147表)。このほかにもイネの小穂軸(写真2)が計34(片)と籾(写真3)が計125(片)確認されている。また、イネの穎果と思われるが保存状態がよくないため、断定できなかった植物遺体をイネ?に分類し、計19(片)をこのカテゴリーに含めた。同様に、イネの小穂軸と思われるが特定できるほどの特徴を有していない計3(片)をイネ小穂軸?に分類した。

コムギ Triticom aestivum L. (第 142 表)

コムギ穎果(写真 4)が計 92(粒)とその破片計 35(片)が出土した。このうちサイズの計測が可能であったのは計 18(粒)で、その平均サイズ(高さ×幅×厚さ)は $3.0 \,\mathrm{mm} \times 2.1 \,\mathrm{mm} \times 1.7 \,\mathrm{mm}$ であった(第 144 表)。破片を含めたコムギの重量は $0.56 \,\mathrm{g}$ であった(第 148 表)。このほかにコムギの穂軸が 1(片)検出されている。

オオムギ Hordeum vulgare L. (第 142 表)

オオムギ穎果(写真5)が計 273(粒)とその破片を計 175(片)確認した。このうちサイズの計測が可能であった穎果は 12(粒)で、その平均サイズ(高さ×幅×厚さ)は $4.8 \,\mathrm{mm} \times 2.3 \,\mathrm{mm} \times 1.7 \,\mathrm{mm}$ であった(第 145 表)。検出されたオオムギ穎果全体の重量は $2.58 \,\mathrm{g}$ であった(第 148 表)。オオムギの穎果だと思われるものの、断定するには特徴が乏しい 1(片)をオオムギ?に分類している。

ムギ類およびムギ類穂軸 (第142表)

コムギまたはオオムギと思われるが、種子の保存状態が悪いため同定困難な計111(片)をムギ類に分類した。出土したムギ類の重量は0.31gである(第148表)。このほかムギ類の穂軸(写真6)が計9(片)検出されている。

アワ Setaria italica (L.) Beauv. (第 142 表)

アワ穎果(写真 7)計 126(粒)、穎果破片計 35(片)、および内外穎計 4(片)を同定した。検出されたアワ穎果のうちサイズの計測が可能であったのは 7(粒) で、平均サイズ(高さ×幅×厚さ)は $1.0 \text{mm} \times 0.9 \text{mm} \times 0.6 \text{mm}$ であった(第 146 表)。アワ穎果全体の重さは 0.05 g である(第 148 表)。このほか、アワ穎果だと思われるが保存状態が悪く、アワ穎果と断定するには特徴が乏しい計 16(片)をアワ?に分類した。

キビ Panicum miliaceum L. (第 142 表)

キビ穎果 (写真 8) とその破片計 32 (粒/片) が検出された。そのうちサイズの計測が穎果可能であったキビは 3 粒で、その平均サイズ(高さ×幅×厚さ)は $1.5\text{mm} \times 1.1\text{mm} \times 0.9\text{mm}$ であった(第 147 表)。全体の重さは 0.03g であった(第 148 表)。また、キビ穎果と思われるが保存状態が悪く断定できなかった種子 1 (片)をキビ?に分類した。

ミレット (第 142 表)

アワまたはキビだと思われるが、種のレベルで同定できなかった種子をミレットと分類した。計14(粒/片)出土している。

堅果皮? (第142表)

堅果類の外皮だと思われるが、断定できなかったものを堅 果皮?に分類した。計6(片)が検出されている。

タデ科 Polygonaceae (第 142 表)

タデ科痩果(写真9)を計34(粒/片)確認した。種子は 断面が三角形状の広倒卵形を成している。

マメ科 Fabaceae (第142表)

- ・マメ科破片(写真10):マメ科の豆果片が計10(片)出土 している。これらは破片で、マメ科であることは確認でき たが、属や種のレベルで同定するには特徴を欠いていた。
- ・マメ科タイプA(写真11): No.620、No.631、No.663より7 (粒)確認された。破片に分類した種子とは明らかに形状が異なるのでタイプAとした。種子の形状は楕円形を成す。腹面の中央付近のやや凹んでいる所が臍と思われるが、保存状態や土を被っているため、その形状は確認できない。また、その凹みの上部に釣り針の返しのような形状をした丸みを帯びた幼根が認められる。

また、マメ科の破片と思われるが保存状態が悪く断定できない種子をマメ科?とし1(片)を分類した。

ブドウ属 Vitis sp. (第 142 表)

ブドウ属(写真12)の種子を計4(粒)検出した。種子の 形状は広卵形で腹面の両側に長楕円形状の凹みが確認できる。

オトギリソウ科 Clusiaceae (第 142 表)

オトギリソウ科 (写真 13) の種子が計 31 (粒/片) 回収 されている。種子は長楕円形を成しており、種皮には縦方向の隆線が数本存在する。

ナス科 Solanaceae (第 142 表)

ナス科 (写真 14) の種子が 1 (粒) 出土した。種子は横卵型状をしている。種皮には円形の凹点が無数に存在し編目模様を成している。

イネ科 Poaceae (第 142 表)

イネ科 (写真 15) の穎果が計 7 (粒/片) 検出された。種子の形状は線状長楕円形で片端へ向かって細くなっていく。下部には粒長の 3 分の 1 または 4 分の 1 程度の大きさを占める胚が存在する。

カヤツリグサ科 Cyperaceae (第 142 表)

カヤツリグサ科 (写真 16) の種子を計 2 (粒) 確認した。種子は広倒卵形を成しており側面観は両側凸レンズ状である。

テンツキ属? Fimbristylis? (第142表)

テンツキ属 (写真 17) と思われる種子を No.634 より 1 (粒)

回収した。種子の形状は広倒卵形で側面観は片側凸レンズ状を成している。種皮表面は無数の凹点によって構成された編目模様に覆われている。形態的特徴はテンツキ属の特徴にほば一致している。しかしながら、サイズが極端に小さいことや現生サンプルとの比較検討を行えなかったことからテンツキ属?とした。

サルカケミカン? Toddalia asiatica?

サルカケミカン (写真 18) と思われる種子を 3 (粒) 同定した。種子は半円形で平坦な部分の中心に円形で小穴状のへそが存在する。現生サンプルとの比較では形態的特徴がほぼ一致しているが、今回はサルカケミカン?とした。この種子がサルカケミカンであるとすれば、琉球列島の先史・原史時代遺跡からの最初の出土例になると思われる。初島 (1975) によると、果実は脂くさいが生食できるという。

不明種子

- ・不明種子A(写真19): No.220より1(粒)出土した。種子 は線状長楕円形を成している。下部にはサイズが粒長の4 分の1ほどの胚らしきものが存在する。保存状態が悪く、 不明種子とした。
- ・不明種子B (写真20) : No.620より4 (粒/片) 回収された。種子の形状は球状である。種皮の状態は確認できなかった。
- ・不明種子C(写真21): No.578より1(粒)検出した。種子は両端が尖った線状楕円形を成している。種皮表面には複雑に入り組んだ線状の溝が存在する。なんらかの核片だと思われる。

同定不可能

保存状態が非常に悪いため、種の同定が不可能だった計 1,580(片)をこのカテゴリーに分類した。

3) まとめ

計853.91 の土壌サンプルをフローテーション処理し、その 浮遊物を分析した結果、不明種子を含め約20種類の炭化種 子が確認された。今回も野生植物より栽培植物が大半を占め ていた。大ウフ遺跡においては、個数・重量ともにオオムギ が最も多かった(それぞれ448(粒/片)・2.58g)。イネがオ オムギに続く。個数でいえばアワがイネに次ぐが、重量から みるとコムギの割合がイネに続いていた(第148表)。

「はじめに」に記したように、山田半田遺跡、山田中西遺跡、小ハネ遺跡および前畑遺跡からは予想したほど多くの植物遺体は含まれていなかったが、同定されたその殆どが栽培植物であったこと、および各遺跡における栽培植物の出土傾向が異なることが示唆された。大ウフ遺跡からは 2,989 (粒/片)

とこれまで分析した城久遺跡群の遺跡の中では最も多くの植物遺体が回収された。その分析結果は前述の四遺跡と同様に栽培植物が最も多かったが、これら四遺跡と異なり、大ウフ遺跡においてはオオムギが際立っていた。やはり今回の分析結果においても城久遺跡群における栽培植物利用の傾向を明示することは出来なかった。各遺跡において異なる栽培植物利用のパターンがあったのであろうか。今後も同時期の遺跡で地道にフローテーションを実施しなければ、この時期の栽培食利用は解明できないであろう。

謝辞

この様な機会を与えてくださった喜界町教育委員会澄田直 敏氏および野﨑拓司氏に心より感謝申し上げます。本研究の 一部は文部科学省科研費(課題番号 21101225)の助成を受 けて行なった。

参考文献

高宮広土

2008 「第4節 山田中西遺跡出土の植物遺体:速報」 『城久遺跡群 山田中西遺跡 II』喜界町教育委 員会(編) pp.99-100. 喜界町教育委員会:喜界 町

2009 「第4節 山田半田遺跡より出土した植物遺体」 『城久遺跡群 山田半田遺跡』喜界町教育委員 会(編) pp.177-182. 喜界町教育委員会:喜界町

高宮広土・千田寛之

2011a 「第7節 城久遺跡群前畑遺跡出土の植物遺体」 『城久遺跡群 前畑遺跡・小ハネ遺跡』喜界町 教育委員会(編) pp.175-178. 喜界町教育委員会: 喜界町

2011b 「第4節 城久遺跡群小ハネ遺跡出土の植物 遺体」『城久遺跡群 前畑遺跡・小ハネ遺跡』 喜界町教育委員会(編)pp.276-278. 喜界町教 育委員会:喜界町

初島住彦

1975 『琉球列島植物誌』沖縄生物教育研究会:那覇市

第 142 表 大ウフ遺跡出土の植物遺体

整理番号 №	層序	サンプル地点	グリッド	サンプル量 (ℓ)	浮遊物量(g)※	イネ	<u>=</u> :: ()	モ <i>!!!</i> (dr)	イネ?	イネ小穂軸?	コムギ	コムキ穂軸		オオムギ	オオムギ?	ムギ類	ムギ類穂軸	アワ	7	アワ?	アワ内外穎	キビ	キビ?	ミレット	堅果皮?		プ A	マメ科?	ブドウ属	オトギリソウ科	ナス科	イネ科	カヤツリグサ科	テンツキ属?	サルカケミカン?	不明種子	司定不可能	合計
				٥	1	粒 .		十片	片	片	粒	片片		片	片	片	片		片	片	片	粒 / 片	片	粒 / 片	片	粒 / 片	粒 / 片	片	粒	粒	粒	粒 / 片	粒 / 片	粒	粒		+	粒 / 片
582	埋土	1	た-6.7	11	0.5			3	1				2			1		1																		1	13 2	21
242	II c層埋土	P1035	B-8	9	1.24																																1	1
637	pit 内埋土	P1051	5-4	13	14.36		2						15	6		1		3	1			1		2			1									2	25	57
635	pit 内埋土	P1052	5-4	2.5	0.45						П															1	П									\Box	1	2
649	pit 内埋土	P1053	5-4	9	2.09							1	1						1											1							2	6
209	I 層	P1095	B-6	0.2	0.26						\neg					1																					1	2
216	埋土	P1109	B-7	不明	1.98								1					6		1		4		1		1											3	17
224	_	P1118 柱痕中炭化物	B-7.8	0.5	2.15	П					T												T				T				T						3	3
218	埋土	P1191	B-7	5	1.91																															\Box		0
660	埋土	P1777	< −98	6	2.49	11	17 1	1			T	1	6	3		1			T			2	T				T				一					4	19 1	101
673	埋土	P2243	_	7	2.2								1																							\Box	1	2
200		P644 柱痕	B-6	3	0.69																																T	0
260	_	P660	B-6	1	0.01						T								T		T	T	T				T									\top	T	0
210	b 層	P688 柱痕?	B-6	1.2	0.06																															\Box	T	0
202	_	P694	B-6	6	2.44		2	1			\neg			2		1		10	2			4		1	1		\neg									1	9 4	43
576	_	P694	た-11	2	0.54																																2	2
220	II a 層埋土	P763	B-6	8	1.52	1	1				T		1					1		1												1				1	7	14
234	_	P805	B-7	0.8	N/A																															\top	T	0
219	埋土	P894	B-7	9	3.52	4	5 3	37	2		2	1	3	1		2		4	1																	3	31 9	93
227	埋土	P894	B-7	11	8.67	1	4 2	24 4			1	2	2					4	T		T	T	T				T			1						1	16	59
223	埋土	P959	B-7	3	0.47														1											1							1	3
264	埋土	P959 ?	_	1	0.11						\neg								2								\neg									\Box	Т	2
217	_	P996 柱痕	B-7	3	1.3																																	0
630	埋土	古銭出土 pit	た-4	6	0.91		1				T			1																						\Box	Т	2
225	I 層埋土	焼土跡	B-7	11	2.01		1	1			1			1				3							5											1	11 :	23
231	埋土	焼土跡	B-7	9	1.57								3							2																	3	8
233	埋土	焼土跡	B-7	1	0.01						T												T				\neg									\top	\top	0
235	_	焼土跡	B-7	0.2	0.03	П	\top				\dashv						П		\neg			T	\neg	\exists			\dashv	T			\neg				\neg	\top	\top	0
240	埋土	焼土跡	B-7	0.3	0.03		\top				\dashv								\neg	\neg	\neg		\neg				\neg		\neg		\neg				\neg	\Box	T	0
241	層埋土	焼土跡	B-7	0.09	0.03	\Box	\top				\dashv						П		\dashv	\neg	\dashv	\exists	\neg	\exists	\neg		\dashv	\dashv		\dashv	\dashv				\neg	\top	\top	0
254	埋土	焼土跡	C-7	2	0.17		\top				\dashv						П		\neg	\neg	\neg		\neg		\neg		\neg	T	\dashv		\neg				\neg	\top	十	0
249	埋土	焼土跡 炉壁?	C-7	0.1	0.01		\top				\neg								\neg										\neg							\top	T	0
236	埋土	焼土跡 黒	B-7	0.5	0.05												П			T							T		\exists		T				T		1	1
																																						_

整理番号№	層序	サンプル地点	グリッド	サンプル量 (ℓ)	浮遊物量(g)※	イネ	, i	モミ(片)	イネ小恵軸	イネ小穂軸?	- <u>/</u>	7.4.4	コムギ穂軸	オオムキ	-	オオムギ?	ムギ類	ムギ類穂軸	7,	7	アワ?	アワ内外穎	キビ	キビ?	ミレット	堅果皮?	タデ科	マメ科およびタイプ A	マメ科?	ブドウ属	オトギリソウ科	ナス科	イネ科	カヤツリグサ科	テンツキ属?	サルカケミカン?	不明種子	同定不可能	合計
				٤	1	粒	片	片片	十片	片	粒	片	片	粒	片	片	片	片	粒	片	片	片	粒 / 片	片	粒 / 片	片	粒 / 片	粒 / 片	片	粒	粒	粒	粒 / 片	粒 / 片	粒	粒	粒	片	粒 / 片
238	埋土	焼土跡 黒	B-7	1.3	0.06																																		0
253	埋土	焼土跡 10号	_	7.5	0.68		_		_					_	\dashv										\dashv		\dashv			_							\dashv	_	0
258 271	I 層	焼土跡 10 号 焼土跡 10 号		0.6	0.12	Н	+	-	+					-											\dashv		\dashv			_							\dashv	1	0
272		焼土跡 10 号	_	1	1.88	Н	+	+	+					_											\dashv		\dashv										\dashv	+	0
266	層	焼土跡 11 号	_	4	0.83		1											1																				3	5
269	1層	焼土跡 11号	_	0.7	0.04		4		\perp																													\dashv	0
270 263		焼土跡 11 号 焼土跡 11号炉壁?		0.3	0.02 N/A	\vdash	+		+					\dashv	\dashv	\dashv			1		_				\dashv		\dashv		-	-	_		_	-			-	+	0
237		焼土跡 12 号	B-7	0.9	N/A	\Box	\dashv		+																		\dashv										\exists	+	0
251	埋土	焼土跡 13 号	B-7	0.1	0.04																																	\Box	0
248	埋土	焼土跡 13号	B-7	0.3	0.01		_		_																_		_											_	0
197 232	埋土 層	焼土跡 17 号 焼土跡 17 号	C-7	3	4.34 0.21	\vdash	+	-	+		1			\dashv	1	\dashv	3		10	1	_		2		\dashv		\dashv		-	-	_	-	_	-	_		-	16	34
226	川層	焼土跡 19号	C-7	1	0.32	Н	+		+		i i				-		,		10	-					1		\dashv											-	0
244	埋土	焼土跡 19 号	C-7	10	0.81																																	1	1
246		焼土跡 19号	C-7	0.2	0.52		4		\perp						_										_		_											\dashv	0
247	層埋土	焼土跡 19 号 焼土跡 1 号	C-7 B-6	0.1	0.03	Н	+	+	+	+			\dashv	\dashv	\dashv						_		Н		\dashv	-	\dashv		\dashv	\dashv	_	-	_	-	_		\dashv	+	0
214	埋土	焼土跡 1号	B-6	0.1	0.01	Н	+		+																		1											+	0
215	埋土	焼土跡 1 号	B-6	0.1	0.52																																	\exists	0
647		焼土跡 21号	そ-98	11.5	13.06		4		+																													1	1
654 586	埋土 炭化物層	焼土跡 22 号 焼土跡 26 号	そ-98 た-6	7	5.33 17.43	Н	+		+					1	\dashv										\dashv	\dashv	\dashv			_							\dashv	16	17
584	炭化物層	焼土跡 28 号	て-7	3	0.9		\dashv		+					1											\dashv		\dashv										\dashv	10	0
606	_	焼土跡 29 号	た-7	12	1.2				3 1						4		2	1	1	1																		14	27
608	埋土	焼土跡 29 号	た-7	7	0.69	Н	+		+					_	_										\dashv	_	\dashv			_							\dashv	1	1
199 203	埋土 埋土	焼土跡2号 焼土跡2号	B-6 B-6	4.5	2.01 0.09		+		+																\dashv		\dashv							-				+	0
265	Ⅲ層埋土	焼土跡 2 号	B-6	0.5	0.03	П	\top		+																		\dashv										\neg	+	0
605	_	焼土跡 30 号	た-8	11	3.83						1	1		1			4		2																				23
607	埋土	焼土跡 30 号	た-8	10	2.76	Н	+		+			1	\dashv	1	2		1		1	1					1		\dashv			_	1						\dashv		13
627 672	炭化物層埋土	焼土跡 31 号 焼土跡 32 号	た・そ-11た-12	7	4.47 0.8	Н	+		+		1	1		1	2		1		1				1		\dashv		\dashv			1								3	7
619	川層	焼土跡 33 号	た-12	3	0.19	1	2		\top					3	Ī		2		2				Ė		\exists		\exists			Ť							\neg		61
632	I 層	焼土跡 33 号	た-12	3	0.3		2	1						2					7	2			1															25	40
212	Ⅲ層 埋土	焼土跡 3 号 焼土跡 3 号	B-6 B-6	0.1	0.02		+		+						\dashv				1				2		\dashv		\dashv			_								+	3
261	一	焼土跡 3 号	B-6	1	0.02	\Box	1		+					\dashv	\dashv										\dashv		\dashv										\dashv	4	5
268	層	焼土跡3号	B-6	0.1	0.15																																	\Box	0
262	埋土	焼土跡 4号	B-7	0.5	0.06		4		\perp				_	_	4		_								\dashv		4			_								_	0
267 252		焼土跡 4 号 焼土跡 4 号	B-7 B-7	0.5	1.33	1	+		+		6	1					2								\dashv		\dashv											3	12 5
229	埋土	焼土跡9号炉底?	B-7	3	0.56	H	\top		+																		\dashv										\neg	Ť	0
659	_	焼土域 1	そ-99		0.46																																	1	1
578	埋土	土坑	せ-9	5	4.9	1	7	_	1			2	\dashv	\rightarrow	3				6	-					\dashv		\dashv			1							1	\rightarrow	67
583 585	I 層 —	土坑 土坑	そ-8 そ-8		1.8	4	_	1 :	2	+	1	2		5	5	\dashv	3		9	3			1		\dashv	-	\dashv	\dashv	\dashv	2		\vdash		\vdash		Н	\dashv	_	17 76
638	埋土	土坑	す-2	4	0.52				士	I																													0
640	埋土	土坑	け-98		1.37	1	\perp	1	1		5	5		\rightarrow	5		2		1																			_	51
664	層 層	土坑 土坑	す-2		0.17		-		+					2	\dashv				3	1					\dashv		\dashv			_								4	10
677	川層	土坑	す-2	4.5	0.17	\Box	\dashv		+					\dashv	\dashv					1					\dashv		\dashv										\dashv	3	4
634	С	土坑1号東北側	_	9	2.7	2	5 2	24	4 2		4			14	11		3		8					1	4		27	1			19		2	1	1			73	206
657		土坑 1号 南西側	け-98		2.24	Ш	3	_	\perp			2		9	$\overline{}$		9	2	2								2				_		_				\rightarrow	\rightarrow	66
662		土坑1号南西側土坑1号北東側	_	9.5	2.3 1.46	\Box	5		+		2	1		10 12	-		5		3	2			1				\dashv	1			1		1					_	71
655		土坑 1 号 南側	_	7	3.21	1	+	+	+					1	5		2						1		\dashv		\dashv	-			_		_				\dashv	_	30
621	_	土坑 2 号	た-5	_	2.27			2	1			Ш		2					1																			-	17
	埋土No. 1	土坑 3 号	_	11	1.7		_		_					_	\dashv										\dashv		\dashv			_							\dashv	\dashv	0
650	埋土 層埋土	土坑 3 号 土坑 4 号	<u>ー</u> ち-9	9.5	1.85	2	+	+	+	+	4	6		15	7		2	1		1					-	-	+	1	-							Н	\dashv	75	114
611		土坑4号	5-9	_	0.29	-	+		+	t	ŕ	2		3	$\overline{}$	\exists	_	Ė		H		H	Н		\dashv		\dashv	1	\exists			\vdash				Н	\dashv	\rightarrow	19
613	Ⅱ層埋土	土坑 4号	5-9	7	1.34										1																							1	2
	層埋土	土坑 4 号	5-9	_	6.23	_	3	_	+	-	25	-	$\overline{}$	52	-	-	-	3	-	-	1	1	2		_		1	7	_	_		\square	2	\square		3	\rightarrow	237	_
	層埋土 層埋土	土坑 4 号 土坑 4 号	ち-9 ち-9	7.5	4.36 1.7	7	2	3	+	+	4	2	1	64	22	1	19	\vdash	1	2		1	3		\dashv	+	1	5	\dashv	\dashv	_	\vdash	2	\vdash		Н	\rightarrow	211 I	60
188		土坑墓1号	B-5	2.5	1.32		1	_		T	Ė				_				1		1		Ħ															-	5
222	埋土	土坑墓1号	B-5	7	0.87			\perp					\Box								1						\Box										\Box	2	3

整理番号 No.	層序	サンプル地点	グリッド	サンプル量 (ℓ)	浮遊物量(g)※	1 1	(モミ (片)	イネ小穂軸	イネ?	イネ小穂軸?		1	コムギ穂軸	77 <i>L</i> +	- 4	オオムギ?	ムギ類	ムギ類穂軸	7	7	アワ?	アワ内外穎	キビ	キビ?	ミレット	堅果皮?	タデ科	マメ科およびタイプ A	マメ科?	ブドウ属	オトギリソウ科	ナス科	イネ科	カヤツリグサ科	テンツキ属?	サルカケミカン?	不明種子	同定不可能	合計
					1	粒	片	片	片	片	片	粒	片	片	粒	片	片	片	片	粒	片	片	片	粒 / 片	片	粒 / 片	片	粒 / 片	粒/片	片	粒	粒	粒	粒/片	粒 / 片	粒	粒	粒	片	粒 / 片
256	埋土	土坑墓1号	B-5	0.5	2.87	1	1																																2	4
257 186	埋土 層	土坑墓1号①	B-5 B-5	4.5 6	2.15	6	4	_		1		-		\dashv						3	Н	1													1			H	15	0 31
189	炭化物層	土坑墓1号①	B-5	6.5	68.71	3	1			1										2	1	İ						1							Ė				18	27
193	炭化物層	土坑墓1号①	B-5	0.5	3.08	1								_																									1	2
196	埋土	土坑墓 1 号① 須恵器底部付近	B-5	0.1	0.85																																			0
190	II a 層	土坑墓1号②	B-5	6	39.53	4	1																																17	22
194 274	②	土坑墓 1 号② 土坑墓 1 号②	B-5 B-5	3 0.1	12.73 2.28	1		_		-				\dashv																								H	8	9
191	11 ①	土坑墓1号③	B-5	7.5	40.4	1	11			1				\dashv								1		1															14	29
192	11②	土坑墓1号③	B-5	0.1	0.09																																			0
195 255	② 埋土	土坑墓 1 号③ 土坑墓 1 号③	B-5 B-5	6 0.3	47.17 0.27	2	3	-		1		-		\dashv							Н		Н															\vdash	6	12 0
185	11①	土坑墓1号④	B-5	7	48.08	5	9	\dashv		3		\dashv	\dashv	\dashv		\dashv			\vdash		Н	2	\vdash									\vdash		\vdash		\vdash		Г	25	44
187	11 ②	土坑墓1号④	B-5	8.5	72.99	6	\rightarrow			3											1	1	1																26	49
245 273	埋土埋土	土坑墓2号 土坑墓3号	C-7 B-7	13 7	2.3	1	1	1	14	_				\dashv	1	1				1	2		Н			1													11	34
642	埋土	土坑墓4号	⟨ -99	5	2.46 1.81		1	-		-				\dashv	2	1					Н					1						1							3	9
646	埋土	土坑墓 4号	< -99	11	2.61	1	İ	1			1	1			1	İ		1		1												Ė							9	16
679	埋土	土坑墓 4 号	< -99	8.5	1.74		1								1	1		1																					1	5
651 656	埋土埋土	土坑墓5号	< -99 < -99	5 8	8.87 1.92	Н	_	_		_	1			\dashv							Н											1						\vdash	1	3
658	埋土	土坑墓 5 号	< −99	12	2	Н				1				\dashv	2	1				1	1																	Г	10	16
579	埋土	土坑墓7号	ち-7	13	1.5										2					2						1													18	23
574	埋土	土坑墓8号	_	10.5	14.99			1				1		\dashv	1	2		1		1																			5	12
577 667	埋土埋土	土坑墓8号 波板状遺構 № 1	ー た-99	10 3	4.5 0.28		\dashv	-		-		\dashv		\dashv							Н		Н													_			H	0
624	埋土		た-98	11	2.49		3						1		2	1																							4	11
670	埋土		た-98	5	0.54											1																							2	3
612 678	_	波板状遺構 Na. 12 波板状遺構 Na. 13		10.5	9.69	\vdash	1	_		_				\dashv							Н		Н															\vdash	1	2
625	_	波板状遺構 № 14		9	1.23	2	┧	\dashv	1	\neg	1	\dashv	_	\dashv						1	Н	_	Н													_		г	2	7
614	埋土	波板状遺構 No. 15	た-98	5	0.34		1																																2	3
668	埋土	波板状遺構 № 2		8	2.19	1		_						\dashv							Ш			1															3	_
675 644	埋土埋土	波板状遺構 No. 2 波板状遺構 No. 4		11.5	0.07		_	_						-		1					Н	1																	6	8
671	埋土	波板状遺構 No. 5		7.2	1.85			1	1					\exists		Ť		1			П	Ť												Т				Г	5	8
676	埋土	波板状遺構 No. 5/6 の溝?	た-99	2	0.14																																			0
645		波板状遺構 № 6			1.01											2				1		1																	5	9
669		波板状遺構 No. 8			0.32		_							\dashv		1		_																					2	3
	II a 層埋土 II a 層埋土		B-6.7 B-6.7		7.01 8.56	Н	2	1		\dashv		\dashv	-	\dashv	1	2	_	3		_	Н	_	Н			1		1						_		_		Н	7	13 13
618	層埋土	溝 14 ベルト④	5-5-4	6	1.31		_	İ						\exists	Ė	3		1		1		1				_		Ė											3	9
		溝14ベルト④			1.73	1			1						4	4		2		2				1						1									13	
		溝 15 ベルト 溝 17 ベルト	た・ち・4	10	1.07 2.63		1	2	1			1	1	\dashv	1			2						1		1						3						H	6	20
		溝 17 ベルト②			_	H	-		-			_	-	+	-									_		1						3						Н	4	4
628	Ⅲ層埋土	溝 17 ベルト③	_	12	7.85		1	2								1		1		1																			12	18
652		溝 19	_	3	0.38																																			0
643		溝 19ベルト② 溝 26	ー す-99	6 8	0.63	H	\dashv	\dashv	\vdash	-		\dashv	\dashv	\dashv	1	1			\vdash	_	Н	_	Н		H		H			H		H		H		<u> </u>			2	0
661	埋土	連列土坑 No.	た-99		0.08													1																					1	2
		0/9 0/再 :				Н	_	_	\square	_			4	_	-	-		_	\vdash		Н		Н						_	\vdash	_	\vdash	_	\vdash	_	_	_		\sqcup	0
205		焼土跡2号	B-6 B-6	0.2 1.7	0.27	\vdash	\dashv	-		-			\dashv	\dashv	1	\dashv					Н	1	Н	2								\vdash		_					2	6
207	埋土	焼土跡 2号	B-6	不明											1						1																	Г	1	3
208		焼土跡2号	B-6	0.1	0.08																																		Д	0
243 609	埋土	_	B-8 た-6	8	1.89 0.61	Н	1	\dashv	\vdash	\dashv		1	+	\dashv	2	2		2	\vdash	_	Н		Н		\vdash					\vdash		\vdash		_		_			5	11 7
636		_	せ-1	1	0.01	H	-					\dashv	\dashv	\dashv					\vdash		Н		H									\vdash		\vdash		\vdash		П	ر	0
641	埋土		< −98		3.22											1				1			1									1						\Box	2	9
		合計		853.89	652.14	76	120	125	34	19	3	92	35	1	273	175	1	111	8	126	35	16	4	32	1	14	6	34	17	1	4	31	1	7	2	1	3	6	1580	2989

※ 1: 0.01g 未満は N/A と表記

第 143 表 イネのサイズ

LF No.	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)
640	4	2.7	1.7
646	3.9	2.4	1.7
平均	4.0	2.6	1.7

第 145 表 オオムギのサイズ

LF No.	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)
605	4.9	2.8	2.1
620	5	2.4	2.2
//	4.1	2.2	1.4
631	5	2.2	1.7
//	5.2	2.6	2.3
//	4.7	2	1.5
//	5	2	1.5
//	5.5	2.6	2
//	4.8	2.4	1.8
640	3.4	1.3	0.7
641	4.7	2.4	1.5
672	4.9	2.5	1.9
平均	4.8	2.3	1.7

第 146 表 アワのサイズ

LF No.	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)
202	1	0.8	0.4
232	1.2	0.9	1
585	1	0.9	0.6
//	1.1	0.9	0.6
620	1.1	1.1	0.6
//	1	1.1	0.7
633	0.6	0.6	0.4
平均	1.0	0.9	0.6

第 144 表 コムギのサイズ

第 144 衣 □ 1	ユーのライス		
LF No.	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)
232	3.2	2.4	1.9
267	2.5	1.9	1.5
//	3.1	2.3	2.1
610	2.7	2.6	1.4
620	3.3	2.2	2.1
//	3	2.1	1.8
//	2.9	2.1	2
//	3.6	1.8	1.4
//	2.6	2.4	1.7
631	3.1	1.7	1.7
//	3.5	2.4	2.1
//	3.2	2.3	1.8
//	2.7	1.7	1.4
//	2.7	1.5	1.3
//	2.7	1.6	1.5
//	3.3	2.1	1.7
640	3.7	2.4	2.3
//	2.8	1.4	1.1
平均	3.0	2.1	1.7

第 147 表 キビのサイズ

LF No.	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)
202	1.6	1.2	1
216	1.3	1	0.8
585	1.6	1.2	0.8
平均	1.5	1.1	0.9

第 148 表 栽培植物の割合

	個数(粒/片)	割合 (%)	重量 (g)	割合 (%)
イネ	196	18.2	0.67	16
コムギ	127	11.8	0.56	13.3
オオムギ	448	41.7	2.58	61.4
ムギ類	111	10.3	0.31	7.4
アワ	160	14.9	0.05	1.2
キビ	32	3.0	0.03	0.7
合計	1074	99.9	4.2	100.0

大ウフ遺跡出土の植物遺体(1)









 $(3.8 \text{mm} \times 2.7 \text{mm} \times 2 \text{mm})$

写真2 イネ小穂軸 $(0.6\text{mm}\times0.7\text{mm})$

写真4コムギ $(1.8 \text{mm} \times 0.6 \text{mm})$ $(3.1 \text{mm} \times 2.5 \text{mm} \times 2.5 \text{mm})$



写真5 オオムギ $(4.6 \text{mm} \times 2.5 \text{mm} \times 2.1 \text{mm})$



写真6 ムギ類小穂 $(1.1\text{mm}\times1.3\text{mm})$ $(1.3\text{mm}\times1\text{mm}\times1.1\text{mm})$ $(1.6\text{mm}\times1.2\text{mm}\times1.2\text{mm})$



写真7アワ



写真8 キビ



 $(0.8mm \times 0.7mm \times 0.7mm)$



写真10マメ科破片 側面 腹面 $(2.4\text{mm} \times 1.6\text{mm} \times 1.4\text{mm})$



写真11 マメ科タイプA 腹面 側面 $(1.4\text{mm}\times0.8\text{mm}\times0.8\text{mm})$



写真12 ブドウ属 $(3.3 \text{mm} \times 2.7 \text{mm} \times 2.4 \text{mm})$



写真13オトギリソウ科 $(1mm \times 0.6mm \times 0.5mm)$



写真14 ナス科 $(1mm \times 1mm \times 0.6mm)$

大ウフ遺跡出土の植物遺体(2)



写真15 イネ科 (1.6mm×0.6mm×0.4mm)



写真16 カヤツリグサ科 (1.5mm×1mm×0.8mm)



写真17 テンツキ属? (0.8mm×0.7mm×0.5mm)



写真18 サルカケミカン? (3mm×2.1mm×1.4mm)



写真19 不明種子A (2.7mm×1.1mm×1mm)



写真20 不明種子B (1.8mm×1.6mm)



写真21 不明種子C 内側 外側 (6mm×2.7mm×2mm)

第Ⅵ章 大ウフ遺跡 基礎資料

本遺跡では包含層の堆積が一部を除いて薄く表土直下で遺構が検出される状況であった。出土遺物については小片が多いが可能な限り分類を行い一覧表を作成した。

ピット内の出土遺物一覧表については以下の表に示す通り である。

なお、ピット番号については1から始まる共通の通し番号で採番されている。

第 149 表 ピット内出土遺物(1)

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0016	A-9	土師器(1), 滑石製石鍋(2), 土器(1), 軽石(1)	掘立柱建物 22 号(P1)
P0026	B-9	鉄滓(2),軽石(1)	
P0030	B-9	土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1), 石器(2)	
P0032	B-9	石器(1)	
P0041	A-8	鉄滓(1),粘土塊(2)	
P0042	B-8	鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0048	B-8	朝鮮系無釉陶器(1)	
P0050	B-8	鉄滓(4), 鞴の羽口(1)	
P0051	B-8	鉄滓(4),粘土塊(1),石器(1)	
P0058	B-8	土師器(1)	掘立柱建物 19号(P12)
P0060	B-8	土師器(1)	掘立柱建物 19号(P1)
P0064	B-8	土師器(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P0067	B-8	鉄滓(15), 鞴の羽口(2), 粘土塊(7), 石器(1)	
P0068	B-8	布目圧痕土器(1), 鉄滓(12), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6)	
P0069	A-8	鉄滓(1)	
P0071	B-8	土師器(1),粘土塊(2)	
P0072	B-8	鉄滓(1)	
P0079	B-8	布目圧痕土器(1), 鉄滓(13), 鞴の羽口(7), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0081	B-8	土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(71), 鞴の羽口(6), 粘土塊(5)	
P0082	B-8	粘土塊(1)	
P0084	B-8	鉄滓(2), 鞴の羽口(2)	
P0085	B-8	鉄滓(22), 鞴の羽口(4), 粘土塊(11), 軽石(1)	
P0086	B-8	土師器(2), 須恵器(3), 粘土塊(28), 石器(2)	
P0088	B-8	鞴の羽口(2), 粘土塊(1)	
P0089	B-8	鞴の羽口(1)	掘立柱建物 20号(P11)
P0092	B-8	滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(2)	
P0094	B-8	鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	掘立柱建物 21号(P4)
P0096	B-8	須恵器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物 20号(P18)
P0097	B-8	鉄製品(1), 鉄滓(5)	
P0098	B-8	鞴の羽口(1), 粘土塊(2)	
P0099	B-8	鉄滓(1),粘土塊(1)	
P0100	B-8	土師器(3), カムィヤキ(1), 白磁(1), 鉄滓(6), 鞴の羽口(3), 粘土塊(11), 石器(2)	
P0101	B-8	鉄滓(3), 粘土塊(3)	

整理作業にあたっては、発掘調査時にピット番号が付与されていなかったものがあった。それについては、整理作業時に ID"P9xxx"を付与して番号を作成した。

また、この ID は詳細遺構配置図、ピット内出土遺物一覧表に示した。

なお,詳細遺構配置図は S=1:100 で作成している。土坑などの位置はトーンを貼って表示しているため,一部見づらくなっている柱穴がある。

第 150 表 ピット内出土遺物(2)

P0102 B-8 土師器(2),滑石二次加工品(1),鉄滓(2), 鞴の羽口(2),粘土塊(1) P0104 B-8 土師器(1),滑石製石鍋(1),粘土塊(1),石器(1), 器(1) P0109 B-8 土師器(1) P0110 B-6 土師器(3),須恵器(1),滑石製石鍋(1),白磁(1), 鉄滓(1),鞴の羽口(2),粘土塊(3),石器(2) P0112 B-8 土師器(3),布目圧痕土器(1),石器(2) P0113 B-8 土師器(1),石器(2)	柱建物;(P14)
P0102 B-8 鞴の羽口(2), 粘土塊(1) P0104 B-8 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1), 石器(1) P0109 B-8 土師器(1) P0110 B-6 土師器(3), 須恵器(1), 滑石製石鍋(1), 白磁(1), 会 ((P14)
P0104 B-8 器(1) P0109 B-8 土師器(1) P0110 B-6 土師器(3), 須恵器(1), 滑石製石製(1), 白磁(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(3), 石器(2) P0112 B-8 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) P0113 B-8 土師器(1), 石器(2) P0121 B-8 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(3), 粘土塊(1)	(P14)
P0110 B-6 土師器(3), 須恵器(1), 滑石製石鍋(1), 白磁(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(3), 石器(2) P0112 B-8 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) P0113 B-8 土師器(1), 石器(2) P0121 B-8 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(3), 粘土塊(1)	(P14)
P0110 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(3), 石器(2) P0112 B-8 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) P0113 B-8 土師器(1), 石器(2) 掘立20号 P0121 B-8 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(3), 粘土塊(1)	(P14)
P0113 B-8 土師器(1), 石器(2) 掘立. 20号 P0121 B-8 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(3), 粘土塊(1)	(P14)
P0113 B-8 土師器(1), 石器(2) 20 号 P0121 B-8 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(3), 粘土塊(1)	(P14)
	
D0122 D Q +	杜建 物
FUIZZ D-O 工即給件/,用口袋口蛔(1),虾/羊(10),口酪件/	杜雅州
P0127 C-8 土器(1)	社建 伽
P0128 C-9 鉄製品(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 掘立. 19 号	性建物 { (P9)
1201/91 (-9)264整有栅门 秩序门 整有门 1****	柱建物 } (P8)
P0133 C-8 カムイヤキ(1) 18号	柱建物 } (P10)
120135 (-8 石柴(1)	柱建物 号(P24)
P0141 B-8 土師器(2)	
P() 4/ B-8	柱建物 H (P14)
POTAX K-X 定在整在搬送	柱建物 H(P16)
PO15 / K-X	柱建物 } (P8)
P0154 B-8 H66(1)	柱建物 } (P1)
P0158 C-9 カムイヤキ(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 石 器(1)	
PUI 59 U-8 工副 数 / 1	柱建物 } (P7)
	柱建物 } (P4)
P0174 C-8 石器(1)	
	柱建物 H (P18)
P0181 C-8 土師器(1), 粘土塊(2)	
PU 82 B-8 丁丽泰四 To =	柱建物 H (P17)
P0184 C-8 粘土塊(1)	
P0197 C-8 土師器(1)	
P(1) 1/13 (-8	柱建物 } (P4)
P0212 C-8 白磁(1), 石器(1) 掘立. 18 号	柱建物

第 151 表 ピット内出土遺物(3)

第 151	表 ピッ	ト内出土遺物(3)	
	グリッド	出土遺物	備考
P0213	B-8	土師器(1), 鉄滓(4), 粘土塊(1)	
P0216	C-8	鉄滓(6), 粘土塊(4)	
P0233	C-7	鉄滓(1)	
P0234	C-7	土師器(3), 鉄滓(4), 鞴の羽口(6)	
P0237	C-7	滑石二次加工品(1)	
P0240	C-7	土師器(2), 粘土塊(1)	
P0243	C-7	土師器(2), 鉄滓(3), 鞴の羽口(2), 粘土塊(7), 石器(7)	掘立柱建物 15号 (P6)
P0244	C-7	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1)	
P0246	C-7	布目圧痕土器(1), 鉄滓(2)	
P0247	C-7	土師器(5), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	
P0249	C-7	土師器(1), 鉄滓(2), 石器(1), 軽石(2)	
P0253	C-7	鉄滓(2)	
P0254	C-7	鉄滓(1),石器(1)	+
P0255	C-7	石器(2)	掘立柱建物 15号(P4)
P0257	C-7	鉄滓(2), 鞴の羽口(2)	
P0258	C-7	鞴の羽口(2)	
P0259	C-7	粘土塊(1)	+□ +- +-> 7=±+-
P0261	C-7	土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄製品(1), 鉄 滓(1)	掘立柱建物 15号(P2)
P0262	C-7	石器(2)	
P0263	C-7	土師器(1), 粘土塊(2)	
P0264	C-7	土師器(3), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(8), 鞴の羽口(2), 粘土塊(4), 石器(3)	
P0266	C-7	土師器(2), 鉄製品(3), 粘土塊(2)	
P0267	C-7	土師器(3), カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1), 石器(1)	掘立柱建物 14号(P3)
P0269	C-7	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0270	C-7	土師器(1)	
P0274	C-7	滑石製石鍋(1)	
P0275	C-7	粘土塊(2)	
P0280	C-6	土師器(1)	掘立柱建物 13号(P6)
P0281	C-6	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(2)	
P0282	B-7	越州窯系青磁(1),鉄滓(1)	掘立柱建物 13 号(P5)
P0283	C-6	土師器(2)	
P0284	C-6	土師器(1), 須恵器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物 14号(P2)
P0286	C-6	鉄滓(1), 石器(1)	
P0290	C-6	鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(1)	掘立柱建物 12号(P5)
P0291	C-6	土師器 (12), 須恵器(1), 白磁(1), 鉄滓 (10), 鞴の羽口(3), 粘土塊(4), 石器(2)	掘立柱建物 10号(P8)
P0292	C-6	滑石製石鍋(1),石器(1)	掘立柱建物 13 号(P2)
P0293	C-6	鉄滓(1)	
P0294	C-6	鉄滓(1)	
P0295	C-6	土師器(5), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), 粘土塊(3), 石器(1)	
P0298	C-6	兼久式土器(1),鉄滓(2),粘土塊(2)	掘立柱建物 14号(P1)
P0299	C-6	土師器(3),滑石製石鍋(1),粘土塊(4),石 器(3)	掘立柱建物 13号(P1)
P0300	C-6	土師器(1), 須恵器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄 滓(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P0301	C-6	土師器(3), 鉄滓(4)	

第 152 表 ピット内出土遺物(4)

遺権旧 プリッド 出土連物 偏考 P0302 C-6 規(1) 持不製石製石鍋(1)、鉄淬(5)、粘土 場合 P0305 B-6 粘土塊(4)、軽石(1) 無立柱建物 担立柱建物 11号(P17) P0307 B-6 共師器(2)、粘土塊(5) 掘立柱建物 11号(P17) 振立柱建物 11号(P17) P0308 B-6 鉄率(1)、鞴の羽口(1)、石器(1) 振立柱建物 12号(P17) 2号(P7) P0319 B-6 共師第(2)、鞴の羽口(1)、粘土塊(4) 振立柱建物 11号(P12) 2号(P12) 2日(P12) 2日(P1	第 152		ト内出土遺物(4) 	
P0306 B-6 松土塊(4) 軽石(1) 軽石(1) 軽石(1) 軽石(1) 標立柱建物 11号(P17) 振立柱建物 11号(P17) 振立柱建物 11号(P16) 振立柱建物 12号(P7) P0309 C-6 鉄滓(1)、鞴の羽口(1)、石器(1) 振立柱建物 12号(P7) P0310 C-6 鉄滓(1)、鞴の羽口(1)、粘土塊(4) 加立柱建物 11号(P12) 振立柱建物 11号(P12) 振立柱建物 11号(P12) 振立柱建物 11号(P12) 振立柱建物 11号(P12) 振立柱建物 11号(P12) F0327 C-6 鉄滓(1)、粘土塊(1)、石器(1) 振立柱建物 11号(P15) F0327 C-6 須惠器(1)、鉄滓(2)、石器(1) 振立柱建物 10号(P4) F0338 B-6 岩布製石鋼(2) 振立柱建物 10号(P4) F0338 B-6 岩布製石鋼(2) 振立柱建物 10号(P4) F0339 B-5 土師器(1) ボロ柱建物 10号(P5) F0340 C-6 粘土塊(1) 和田社社社会 振立柱建物 10号(P5) F0344 C-6 滑石製石鋼(1) 振立柱建物 11号(P8) F0345 C-6 土師器(1)、鉄滓(1)、鞴の羽口(1) 振立柱建物 10号(P6) F0351 C-6 土師器(1)、鉄滓(1)、鞴の羽口(1) 振立柱建物 10号(P6) F0352 C-6 土師器(1)、鉄滓(3) 振立柱建物 10号(P6) F0353 C-6 石器(2) 振立柱建物 10号(P6) F0355 C-6 土師器(1)、滑石製石鋼(1) 兼久土土器(1) 振立柱建物 10号(P3) F0356 C-6 土師器(1)、石器(1) F0366 C-6 土師器(1)、石器(1) F0367 C-6 土師器(1)、石器(1) F0367 C-6 土師器(1)、石器(1) F0369 C-7 土師器(1)、猫の羽口(1)、軽石(3) 振立柱建物 10号(P9) F0370 C-6 土師器(1) 禁石製石鋼(1) 軽立柱建物 10号(P9) F0378 B-6 土師器(1) 鉄淬(2)、粘土塊(4) ボロ号(P9) F0378 B-6 土師器(1) 鉄淬(2)、粘土塊(4) ボロ号(P9) F0378 B-6 土師器(1) 鉄淬(2)、粘土塊(4) ボロ柱建物 11号(P1) F0394 B-6 土師器(1) 鉄淬(2)、粘土塊(4) ボロ号(P3) F0394 B-6 土師器(1) 鉄淬(2)、粘土塊(4) ボロ号(P3) F0395 B-6 土師器(1) 大証社業物 10号(P3) F0395 B-6 土師器(1) 大証はま物 10号(P3) F0395 B-6 土師器(1) 大証はま物 10号(P3) F0396 B-6 土師器(1) 大証はま物 10号(P3) F0397 B-6 土師器(1) 大証はま物 10号(P3) F0397 B-6 土師器(1) 鉄淬(2) 株土塊(4) ボロ号(P3) F0397 F0397 B-6 土師器(1) 大証はま物 10号(P3) F0397	遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0307 B-6 土師器(2)、粘土塊(5) 掘立柱建物 11号(P17) P0308 B-6 鉄率(1)、鞴の羽口(1) 掘立柱建物 11号(P16) P0309 C-6 鉄率(1)、鞴の羽口(1)、石器(1) 掘立柱建物 11号(P16) P0310 C-6 鉄率(1) 振立柱建物 11号(P17) P0319 B-6 力ムイヤキ(1) 振立柱建物 11号(P12) P0324 B-6 土師器(2)、鞴の羽口(1)、粘土塊(4) 掘立柱建物 11号(P15) P0325 C-6 鉄率(2) 掘立柱建物 11号(P15) P0327 C-6 鉄率(2) 掘立柱建物 11号(P15) P0328 C-6 石器(2) 堀立柱建物 12号(P12) P0337 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 12号(P12) P0338 B-6 岩部器(1)、鉄淬(2)、石器(1) 掘立柱建物 12号(P12) P0339 B-5 土師器(1)、鞴の羽口(1)、粘土塊(2) 加2号(P5) P0340 C-6 松土塊(1) 振立柱建物 12号(P5) P0341 C-6 大部器(1)、鞴の羽口(1)、粘土塊(2) 加2台(P5) P0342 C-6 土師器(1)、鉄淬(3)、布国(1) 掘立柱建物 11号(P8) P0351 C-6 土師器(1)、接入(3) 地域(1) 掘立柱建物 11号(P8) P0352	P0302	C-6		
PO307 B-6	P0306	B-6	粘土塊(4), 軽石(1)	
Possible Possibl	P0307	B-6	土師器(2), 粘土塊(5)	3777-1-7-113
Po310 C-6 鉄澤(I)	P0308	B-6	鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	
P0319 B-6 力ムイヤキ(1) 掘立柱建物 11 号 (P12) P0324 B-6 土師器(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11 号 (P12) P0327 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 11 号 (P12) P0327 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 12 号 (P12) P0332 C-6 須惠器(1), 鉄滓(2), 石器(1) 掘立柱建物 10 号 (P4) P0333 B-6 井師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0339 B-5 土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0340 C-6 粘土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0343 C-6 禁率(1), 石器(1) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0344 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10 号 (P6) P0345 C-6 岩面器(1) 掘立柱建物 10 号 (P6) P0351 C-6 岩面器(1), 鉄滓(3) 掘立柱建物 10 号 (P6) P0352 C-6 大師器(1), 禁衛(2) 掘立柱建物 10 号 (P3) P0353 C-6 大師器(1), 基土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P3) P0354 C-6 鉄澤(2) 掘立柱建物 10 号 (P3) P0355 C-6 株土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 10 号 (P3)	P0309	C-6	鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1)	
P0324 B-6 土師器(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11 号 (P12) 据立柱建物 11 号 (P12) 据立柱建物 11 号 (P15) P0327 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 12 号 (P12) P0329 C-6 石器(2) 掘立柱建物 12 号 (P12) P0332 C-6 須恵器(1), 鉄滓(2), 石器(1) 掘立柱建物 12 号 (P12) P0333 B-6 土師器(1), 鎌郊羽口(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 10 号 (P4) P0338 B-6 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0340 C-6 粘土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0341 C-6 鉄滓(1), 石器(1) 掘立柱建物 11 号 (P5) P0342 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0344 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0345 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 10 号 (P6) P0351 C-6 岩師器(1), 海石製石鍋(1) 加速工柱建物 10 号 (P6) P0352 C-6 大師器(1), 海型石鍋(1) 加速工柱建物 10 号 (P3) P0353 C-6 大師器(1), 海石製石鍋(1), 新久式土器(1), 日号 (P3) P0354 C-6 大師器(1), 海石製石鍋(1), 新久式土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P3) P0355 C-6 粘土塊(1) 掘立	P0310	C-6	鉄滓(1)	
P0324 B-6	P0319	B-6	カムィヤキ(1)	
P0327 C-6	P0324	B-6	土師器(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4)	
P0329 C-6 石器(2) 掘立柱建物 12 号 (P12) P0337 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 12 号 (P12) P0338 B-6 井師器(1) 掘立柱建物 10 号 (P4) P0339 B-5 土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0340 C-6 粘土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0343 C-6 鉄滓(1), 石器(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0344 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0345 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(3) 掘立柱建物 10 号 (P6) P0350 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(3) 掘立柱建物 10 号 (P6) P0351 C-6 土師器(1), 鉄滓(3) 上面 2 上面 2 上面 2 上面 2 上面 2 上面 2 上面 2 上面 2	P0326	B-6	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(2)	
P0329 C-6 有額は 有数は	P0327	C-6	鉄滓(2)	
P0337 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 10 号 (P4) P0338 B-6 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0340 C-6 粘土塊(1) 堀立柱建物 10 号 (P5) P0341 C-6 鉄滓(1), 石器(1) 堀立柱建物 11 号 (P8) P0345 C-6 土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 堀立柱建物 11 号 (P8) P0350 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 堀立柱建物 10 号 (P6) P0351 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 坪の353 C-6 七師器(1), 滑石製石鍋(1) ボの353 C-6 七師器(1), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), P0353 C-6 大師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), P0354 C-6 鉄滓(2) 堀立柱建物 10 号 (P3) P0355 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), P0366 C-6 土師器(1), 石器(1) 堀立柱建物 10 号 (P1) P0367 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 堀立柱建物 10 号 (P1) P0369 C-7 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 堀立柱建物 10 号 (P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 堀立柱建物 10 号 (P9) P0370 R-6 土師器(1), 鎌の羽口(1), 軽石(3) 堀立柱建物 10 号 (P9) P0371 R-6 土師器(1) 坂京県 (1), 野の37日(1), P0380 R-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 堀立柱建物 11 号 (P1) P0391 R-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 堀立柱建物 7号 (P6) P0392 R-6 土師器(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P6) P0395 R-6 土師器(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P6) P0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) R0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) R0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) R0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) R0397 R0	P0329	C-6	石器(2)	
P0337 B-6 土師器(1) 10 号 (P4) P0338 B-6 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0340 C-6 粘土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P5) P0341 C-6 鉄滓(1),石器(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0342 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0343 C-6 土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 11 号 (P8) P0345 C-6 土師器(1), 鉄滓(3) 堀立柱建物 10 号 (P6) P0351 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 堀立柱建物 10 号 (P6) P0353 C-6 石器(3) 堀立柱建物 10 号 (P3) P0354 C-6 鉄滓(2) 堀立柱建物 10 号 (P3) P0355 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), P0365 C-6 土師器(1), 石器(1) 堀立柱建物 10 号 (P1) P0366 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 堀立柱建物 10 号 (P1) P0367 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 堀立柱建物 10 号 (P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 軽石(3) 堀立柱建物 10 号 (P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 堀立柱建物 10 号 (P9) P0371 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) 堀立柱建物 11 号 (P1) P0392 B-6 土師器(1), 鎮薬(2), 粘土塊(4) 堀立柱建物 7号 (P6) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P6) P0395 B-6 土師器(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P6) P0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 7号 (P5)	P0332	C-6	須恵器(1), 鉄滓(2), 石器(1)	
PO339 B-5 土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 10 号 (P5) PO340 C-6 粘土塊(1)	P0337	B-6	土師器(1)	3777-1-7-13
PO339 B-5	P0338	B-6	滑石製石鍋(2)	
P0343 C-6 鉄滓(1), 石器(1) 据立柱建物 P0344 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 P0345 C-6 土師器(2), 布目圧痕土器(1) 掘立柱建物 P0350 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 P0351 C-6 土師器(1), 鉄滓(3) P0352 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1) P0353 C-6 石器(3) P0354 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 P0355 C-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), 新の羽口(1), 粘土塊(1) P0365 C-6 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 10 号 (P1) P0365 C-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 10 号 (P1) P0366 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 「本土塊(1) 掘立柱建物 10 号 (P2) P0367 C-6 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0370 C-6 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0370 B-6 井師器(1) 掘立柱建物 10 号 (P9) P0370 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11 号 (P1) P0371 B-6 土師器(1) 無立柱建物 7号 (P0339	B-5	土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2)	
P0344 C-6 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 11号(P8) P0345 C-6 土師器(2), 布目圧痕土器(1) 掘立柱建物 11号(P8) P0350 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 10号(P6) P0351 C-6 土師器(1), 禁不(3) 掘立柱建物 10号(P6) P0352 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 10号(P3) P0354 C-6 共部器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), 無立柱建物 10号(P3) P0355 C-6 粘土塊(1), 石器(1) 堀立柱建物 10号(P1) P0363 C-6 粘土塊(2), 石器(1) 堀立柱建物 10号(P1) P0365 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 加・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日・日	P0340	C-6	粘土塊(1)	
P0345 C-6 土師器(2), 布目圧痕土器(1) 掘立柱建物 11号 (P8) P0350 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 10号 (P6) P0351 C-6 土師器(1), 鉄滓(3) P0352 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1) P0353 C-6 石器(3) P0354 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 10号 (P3) P0355 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), 備の羽口(1), 粘土塊(1) P0365 C-6 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 10号 (P1) P0365 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) P0366 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) P0367 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 軽石(3) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 軽石(3) P0370 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0378 B-6 井師器(1) 掘立柱建物 11号 (P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 加工程建物 7号 (P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 7号 (P5) P0395 B-6 <td>P0343</td> <td>C-6</td> <td>鉄滓(1), 石器(1)</td> <td></td>	P0343	C-6	鉄滓(1), 石器(1)	
P0350 C-6 工即盛(2), 布目圧浪工商(1) 11号(P8) P0350 C-6 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 10号(P6) P0351 C-6 土師器(1), 鉄滓(3) P0352 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1) P0353 C-6 石器(3) P0354 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 10号(P3) P0355 C-6 禁御の羽口(1), 粘土塊(1) P0356 C-6 粘土塊(1), 石器(1) P0367 C-6 粘土塊(2), 石器(1) P0367 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0369 C-7 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号(P9) P0376 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石製石鍋(1) 堀立柱建物 10号(P9) P0378 B-6 土師器(1) 堀立柱建物 11号(P6) P0391 B-6 土師器(9), 須惠器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号(P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 7号(P5) P0394 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘	P0344	C-6	滑石製石鍋(1)	
P0350 C-6 清石製石鋼(I), 鉄滓(3) T0 号 (P6) P0351 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1)	P0345	C-6	土師器(2),布目圧痕土器(1)	
P0352 C-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 据立柱建物 10号 (P3) P0353 C-6 伝器(3) 据立柱建物 10号 (P3) P0354 C-6 鉄滓(2) 据立柱建物 10号 (P3) P0355 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), 輔の羽口(1), 粘土塊(1) 振立柱建物 10号 (P1) P0365 C-6 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 10号 (P1) P0365 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 加号 (P1) P0366 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0367 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0370 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 11号 (P1) P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11号 (P1) P0391 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号 (P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 7号 (P6) P0394 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 振立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 振立柱建物 6号 (P2)	P0350	C-6	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	
P0353 C-6 石器(3) 掘立柱建物 10号(P3) P0354 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 10号(P3) P0355 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) 加号(P1) P0356 C-6 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 10号(P1) P0365 C-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 10号(P1) P0366 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 10号(P1) P0367 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 10号(P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号(P9) P0370 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) 掘立柱建物 11号(P1) P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11号(P1) P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号(P6) P0391 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 据立柱建物 7号(P6) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 振立柱建物 7号(P5) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 振立柱建物 6号(P2)	P0351	C-6	土師器(1), 鉄滓(3)	
P0354 C-6 鉄滓(2) 掘立柱建物 10号 (P3) P0355 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 兼久式土器(1), P0366 C-6 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 10号 (P1) P0367 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 10号 (P1) P0369 C-7 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 堀立柱建物 10号 (P9) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0378 B-6 土師器(1), 鎌淬(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11号 (P1) P0391 B-6 土師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11号 (P1) P0392 B-6 土師器(2), 鉄淬(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 7号 (P6) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号 (P6) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 7号 (P5) 掘立柱建物 7号 (P5)	P0352	C-6	土師器(1),滑石製石鍋(1)	
P0354 C-6 軟件(2) 10 号 (P3)	P0353	C-6	石器(3)	
P0355 C-6 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) P0363 C-6 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 P0365 C-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 P0365 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 P0366 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 鞴の羽口(1), 鞴かっ羽口(1), 大器土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 P0369 C-7 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) 掘立柱建物 P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 P0378 B-6 井師器(1) 堀立柱建物 P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0354	C-6	鉄滓(2)	
P0363 C-6 粘土塊(2),石器(1) 掘立柱建物 10号(P1) P0365 C-6 土師器(1),石器(1) 掘立柱建物 10号(P1) P0366 C-6 土師器(2),須恵器(1),粘土塊(1) P0367 C-6 土師器(8),滑石製石鍋(1),鞴の羽口(1),松土塊(2),石器(1) 掘立柱建物 10号(P9) P0370 C-6 土師器(1),鞴の羽口(1),軽石(3) 掘立柱建物 10号(P9) P0376 B-6 滑石製石鍋(2),滑石混入土器(1) 堀立柱建物 11号(P9) P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11号(P1) P0391 B-6 土師器(9),須恵器(1),鉄滓(2),粘土塊(4) 掘立柱建物 7号(P6) P0392 B-6 土師器(2),鉄滓(5),粘土塊(3) 掘立柱建物 7号(P6) P0394 B-6 土師器(1),石器(1) 掘立柱建物 6号(P3) P0395 B-6 土師器(3),鉄製品(7),粘土塊(1),石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0355	C-6		
P0365 C-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 10号(P1) P0366 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) (2.6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1) (3.7 (4.6	P0356	C-6	粘土塊(1), 石器(1)	
P0365 C-6 土師器(1), 石器(1) 10号(P1) P0366 C-6 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1) P0367 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 鞋石(3) P0370 C-7 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0370 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) P0378 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) P0378 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物11号(P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物7号(P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物6号(P3) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物6号(P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物6号(P2)	P0363	C-6	粘土塊(2),石器(1)	
P0367 C-6 土師器(8), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1) P0369 C-7 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10 号 (P9) P0376 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) 掘立柱建物 10 号 (P9) P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11 号 (P1) P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11 号 (P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7 号 (P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 6 号 (P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7 号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6 号 (P2)	P0365	C-6	土師器(1), 石器(1)	
P0369 C-7 土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3) P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0376 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11号 (P1) P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11号 (P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号 (P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 7号 (P6) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 振立柱建物 6号 (P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号 (P2)	P0366	C-6	土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1)	
P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 10号 (P9) P0376 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) P0378 B-6 土師器(1) P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11号 (P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号 (P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 6号 (P3) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 振立柱建物 6号 (P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号 (P2)	P0367	C-6		
P0370 C-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1) 10号(P9) P0376 B-6 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1) P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11号(P1) P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11号(P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号(P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 6号(P3) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0369	C-7	土師器(1), 鞴の羽口(1), 軽石(3)	
P0378 B-6 土師器(1) 掘立柱建物 11号(P1) P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11号(P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号(P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 6号(P3) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 6号(P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0370	C-6	土師器(2),滑石製石鍋(1)	
P0380 B-7 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4) 掘立柱建物 11 号 (P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号 (P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 6号 (P3) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 6号 (P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号 (P2)	P0376	B-6	滑石製石鍋(2),滑石混入土器(1)	
P0380 B-7 滑石製石鋼(1), 鉄淬(2), 粘土塊(4) 11号(P1) P0391 B-6 土師器(9), 須恵器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4) 掘立柱建物 7号(P6) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 6号(P3) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 6号(P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0378	B-6	土師器(1)	
P0391 B-6 粘土塊(4) P0392 B-6 土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3) 掘立柱建物 7 号 (P6) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 6 号 (P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7 号 (P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6 号 (P2)	P0380	B-7		
P0392 B-6 土師器(2), 鉄泽(5), 粘土塊(3) 7号(P6) P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物 6号(P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0391	B-6		
P0394 B-6 土師器(1), 石器(1) 6号(P3) P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 7号(P5) P0397 C-6 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0392	B-6	土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(3)	7号 (P6)
P0395 B-6 土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1) 7号(P5) B-0 土師器(3) 掘立柱建物 6号(P2)	P0394	B-6	土師器(1), 石器(1)	6号 (P3)
P039/ C-6 土即器(3) 6号 (P2)	P0395	B-6	土師器(3), 鉄製品(7), 粘土塊(1), 石器(1)	7号 (P5)
P0403 B-6 土師器(1)	P0397	C-6	土師器(3)	
	P0403	B-6	土師器(1)	

第 153 表 ピット内出土遺物(5)

第 153		ト内出土遺物(5)	/++ ±-
2113.1	グリッド	出土遺物	備考
P0411	B-6	土師器(1)	掘させき
P0412	C-6	土師器(6),粘土塊(1)	掘立柱建物 12号(P3)
P0430	B-6	土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1)	掘立柱建物 9号 (P2)
P0432	B-5	土師器(1)	掘立柱建物 9号(P8)
P0438	B-6	土師器(3), 鉄滓(3), 粘土塊(3)	掘立柱建物 9号(P7)
P0439	B-6	土師器(1), 須恵器(2), 鉄滓(1)	
P0440	B-6	土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	
P0443	B-6	土師器(2), 鉄滓(6), 鞴の羽口(1), 粘土塊 (7)	
P0444	-	鉄滓(1),粘土塊(1)	
P0446	B-6	鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P0456	B-4	土師器(8),鉄滓(1)	掘立柱建物 5 号(P4)
P0457	A-2	須恵器(1),滑石製石鍋(4),粘土塊(3),石 器(1)	掘立柱建物 3号(P7)
P0458	B-4	滑石製石鍋(1)	
P0463	B-4	土師器(1)	掘立柱建物 5号(P3)
P0464	B-4	石器(1)	掘立柱建物 5号(P2)
P0466	B-4	鉄滓(2), 粘土塊(2)	
P0467	B-4	土師器(1)	掘立柱建物 3号(P12)
P0468	B-4	石器(1)	掘立柱建物 4号(P8)
P0469	B-4	土師器(1), 鞴の羽口(1)	
P0472	A-4	布目圧痕土器(1), 鉄滓(16), 鞴の羽口(7), 石器(6)	
P0476	A-4	粘土塊(4),石器(1)	
P0479	A-4	土師器(1)	In L INstall
P0485	B-4	土師器(4), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1)	掘立柱建物 5号(P6)
P0486	B-4	鉄滓(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0489	B-4	白磁(1), 鞴の羽口(1)	
P0501	B-4	土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2), 石器(2)	
P0502	B-4	土師器(1) 土師器(2) 左日圧原土器(1) カルマヤキ(1)	
P0511	-	土師器(2), 布目圧痕土器(1), カムィヤキ(1), 滑石混入土器(1), 鉄製品(2), 鉄滓(4), 鞴 の羽口(1), 粘土塊(8), 石器(1)	
P0512	B-3	土師器(2)	掘立柱建物 3号(P13)
P0513	A-3	土師器(1), 朝鮮系無釉陶器(1), 石器(2), 砂鉄(1)	
P0514	B-3	石器(1)	掘立柱建物 3 号(P14)
P0517	B-3	土師器(1), 鉄滓(1)	
P0523	B-3	土師器(1)	
P0525	B-3	布目圧痕土器(1)	
P0530	C-3	土師器(1)	
P0533	B-3	布目圧痕土器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(2), 石 器(3)	
P0538	A-3	石器(1)	
P0539	A-3	土師器(2), 土器(1), 鉄滓(4)	
P0541	A-3	鞴の羽口(1), 石器(1)	
P0542	A-3	土師器(1), 布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(4)	
P0544	A-3	滑石製石鍋(3)	
P0545	A-3	石器(7)	

第 154 表 ピット内出土遺物(6)

 遺構ID グリッド A-2 土器(1) PO549 A-2 土器(1) PO551 A-3 土師器(2)、白磁(1)、粘土塊(9) PO552 A-2 滑石二次加工品(1)、鉄率(1) PO555 A-2 石器(1) PO559 A-2 持石製力(1)、鉄率(1)、粘土塊(4) PO559 A-2 持石製力(1)、鉄率(1)、粘土塊(4) PO560 A-2 持石製力(1)、鉄率(1)、粘土塊(4) PO561 A-2 石器(1) PO562 A-2 大師器(1)、安本(1)、株土塊(4) PO563 A-2 社師器(1)、安本(1)、株土塊(4) PO564 A-2 石器(1) PO565 A-2 社師器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄率(3)、獣骨(7)、大土土塊(12)、石器(1)、大石製(1)、大土土塊(12)、石器(1)、大工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	/中# ID			
P0551 A-3	退愽 IU	グリッド	出土遺物	備考
P0552 A-2 滑石二次加工品(), 鉄澤(1) P0554 A-3 粘土塊(利, 石器(2), 族(化物(2)) P0555 A-2 石器(1) P0559 A-2 岩布製石鍋(1), 鉄澤(1), 粘土塊(4) P0562 A-2 土師器(1) P0563 A-2 土師器(1) P0564 A-2 石器(1) P0565 A-2 土師器(1) P0571 A-2 越地繁采养育磁(1), 新自圧療土器(1), 炭化物(1) P0571 A-2 越地繁采养育磁(1), 新自圧療土器(1), 炭化物(1) P0572 A-2 起地螺(2), 石器(1), 数(2), 大田東(2) P0573 A-2 土師器(2), 石器(1), 数(2), 基土塊(2) P0581 A-2 土師器(1), 数(2), 数(2), 基土塊(2) P0581 A-2 土師器(1), 数(2), 数(2), 基土塊(2) P0581 A-2 土師器(1), 数(2), 数(2), 基土塊(2) P0582 A-2 土師器(1), 数(2), 基土塊(2) P0593 A-2 土師器(2), 裁(2), 基土塊(2) P0595 A-2 土師器(2), 基計塊(1) P0602 A-2 土師器(2), 基計塊(3) P0604 B-2 石器(3) P0605 B-2 石器(1)	P0549	A-2	土器(1)	
P0554 A-3 粘土塊(A) 石部(2), 炭化物(2) P0555 A-2 石部(1) P0562 A-2 共命器(1) P0563 A-2 枯土塊(1) P0564 A-2 石部(1) P0566 A-2 石部(1) P0569 A-2 共命器(1), 有口型石鍋(1), 鉄淬(3), 數骨(1) P0571 A-2 越州梁系青磁(1), 有目圧療土器(1), 白磁(2), 粘土塊(12), 石器(1), 數骨(1), 炭化物(1) P0571 A-2 越州梁系青磁(1), 有目圧療土器(1), 白磁(2), 粘土塊(12), 石器(1), 數骨(1), 炭化物(1) P0572 A-2 杜市器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(2), 貓の羽口(1), 粘土塊(1), 數骨(1) P0573 A-2 土師器(1), 排土塊(1), 數骨(1) P0581 A-2 土師器(1), 粘土塊(1), 數骨(1) P0591 A-2 土師器(1), 数涂率(1), 粘土塊(9) P0593 A-2 土師器(1), 数涂率(1), 粘土塊(9) P0597 A-2 土師器(3) P0698 A-2 土師器(3) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0607 A-2 數骨(1), 炭化物(1) P0607 A-2 數骨(1), 炭化物(1) P0618 B-2 滑石製石鍋(1), 石部(1) P0619 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 共師器(2), 石部(1), 新染(2), 粘土塊(1) P0642 B-6 土師器(1), 辨率(2), 粘土塊(1) P0643 B-6 土師器(1), 辨率(2), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1), 辨率(2), 粘土塊(1) P0645 B-6 土師器(1), 辨率(2), 粘土塊(1) P0646 B-6 共師器(1), 滑石製石鍋(1), 新溶(1), 施釉 内の砂(2), 素土地側(1) P0647 B-6 中面器(2), 炭化物(1), 精土地(1) P0648 B-6 土師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0650 B-6 土師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0652 B-6 共師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0653 B-6 土師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0654 B-6 土師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0655 B-6 土師器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0656 B-6 土部器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0657 B-6 土部器(2), 炭化物(1), 粘土塊(1) P0658 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0659 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 糙の羽口(2), 粘土塊(1) P0661 B-6 土部器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0663 B-6 土部器(1), 鉄淬(1), 土地(1) P0664 B-6 土部器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0665 B-6 土部器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0666 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0667 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1), 石器(1) P0668 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0669 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0660 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0661 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0662 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0663 B-6 土部器(1), 残石剁(1), 残石製(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0664 B-6 土部器(1), 残石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土丸(1) P0665 B-6 土部器(1), 残石(1), 残石(1), 残石(1), 残石(1), 残石(1), 大口(1), P0551	A-3	土師器(2), 白磁(1), 粘土塊(9)		
P0555 A-2 石器(1) P0559 A-2 滑石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土塊(4) P0562 A-2 土師器(1) P0563 A-2 粘土塊(1) P0564 A-2 石器(1) P0569 A-2 計師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(3), 獸骨(1) P0571 A-2 起州窯系青磁(1), 布目圧痕土器(1), 白磁(2), 粘土塊(12), 石器(1), 獸骨(1), 炭化物(1) P0572 A-2 粘土塊(12), 石器(1), 獸骨(1), 炭化物(1) P0573 A-2 粘土塊(12), 石器(1), 獸骨(1), 炭化物(1) P0574 A-2 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) P0581 A-2 土師器(1), 粘土塊(1) P0591 A-2 土師器(1), 針淬(2), 粘土塊(2) P0593 A-2 土師器(1), 針淬(2), 粘土塊(2) P0593 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0595 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0596 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0597 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0598 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0698 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0601 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0602 A-2 財骨(1), 炭化物(1) P0603 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0615 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0616 B-6 共師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 大師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(1) P0643 B-6 土師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1), 鉄淬(2), 粘土塊(1) P0645 B-6 大師器(1), 大凉(1), 株土塊(1) P0646 B-6 大部器(2), 大瓜(1), 大凉(1), 株土塊(1) P0647 B-6 内醫級(2), 大瓜(1), 大凉(1), 株土塊(2) P0658 B-6 大師器(2), 大瓜(1), 粘土塊(3), 軽石(2), 大凉(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(2), 大瓜(1), 粘土塊(3), 軽石(2), 大碗(2), 千碗(2), 0552	A-2	滑石二次加工品(1), 鉄滓(1)		
P0559 A-2 清石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土塊(4) P0562 A-2 土師器(1) P0563 A-2 粘土塊(1) P0564 A-2 石器(1) P0569 A-2 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(3), 獸骨(1) P0571 A-2 結土塊(12), 石器(1), 獸骨(1), 炭化物(1) P0572 A-2 粘土塊(12), 石器(1), 獸骨(1), 炭化物(1) P0573 A-2 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) P0581 A-2 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) P0581 A-2 土師器(1), 粉土塊(2) P0581 A-2 土師器(1), 数淬(1), 粘土塊(2) P0591 A-2 土師器(1), 数淬(1), 粘土塊(2) P0593 A-2 土師器(1), 鼓淬(1), 粘土塊(2) P0593 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0594 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0595 A-2 土師器(2), 粉土塊(1) P0606 A-2 土師器(2), 粉土塊(1) P0607 A-2 財骨(1), 炭化物(1) P0607 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0618 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0619 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0610 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0611 B-2 滑石製石鍋(1), 五器(1) P0612 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0649 B-6 土師器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0640 B-6 土師器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0641 B-6 共師器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1) P0642 B-6 土師器(1), 大水土塊(1) P0643 B-6 土師器(1), 大水土塊(1) P0644 B-6 土師器(1), 大水土塊(1) P0645 B-6 共師器(2), カムイヤキ(1), 鉄淬(1), 施釉 内磁器(1), 不可配(1), 大部間(1), 不可配(1), 大部間(1), 大部間(1), 大田部配(1), 大田部配(2), 大田和配(2), 大田和田(3), 大田和田(3), 大田和田(4), 北土塊(3), 軽石(6) P0650 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 大田木地(1) P0651 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 大田土塊(1) P0652 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 大田木塊(1) P0653 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 大田土塊(1) P0664 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 大田土塊(1) P0665 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 大田土塊(1) P0666 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 鞴口(2), 粘土塊(1) P0667 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 鞴口(2), 粘土塊(1) P0667 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 鞴口(2), 粘土塊(1) P0667 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 鞴口(2), 粘土塊(1) P0667 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 鞴口(2), 粘土塊(1) P0668 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 鞴口(2), 粘土塊(1) P0669 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 靴口(2), 粘土塊(1) P0660 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 靴土塊(1) P0661 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 靴土塊(1) P0662 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 靴土塊(1) P0663 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 靴土塊(1) P0664 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0665 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0666 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0667 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0668 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0669 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0661 B-6 場合(10), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0662 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0663 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0664 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0665 B-6 共師器(1), 鉄淬(10), 粘土塊	P0554	A-3	粘土塊(74),石器(2),炭化物(2)	
P0562	P0555	A-2	石器(1)	
PO564	P0559	A-2	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土塊(4)	
P0564 A-2 石器(1)	P0562	A-2	土師器(1)	
上師器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄滓(3)、獣骨	P0563	A-2	粘土塊(1)	
POS71	P0564	A-2	石器(1)	
PO572 A-2 粘土塊 (12), 石器(1), 獣骨(1), 炭化物(1) PO575 A-2 粘土塊(2), 石器(2) PO581 A-2 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 鞴の 別口(1), 粘土塊(1) PO584 A-2 滑石製石鍋(1) PO591 A-2 土師器(1), 粘土塊(1), 獣骨(1) PO592 A-2 土師器(1), 粘土塊(1), 獣骨(1) PO593 A-2 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) PO594 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) PO595 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) PO596 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) PO600 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) PO601 B-2 滑石製石鍋(1) PO611 B-2 滑石製石鍋(1) PO613 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) PO614 B-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) PO647 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) PO648 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) PO649 B-6 土師器(1), 資石製石鍋(1), 五器(1) PO640 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 B 上師器(2), 为ムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) PO650 B-6 土師器(2), 炭化物(1) PO651 B-6 土師器(2), ガムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) PO652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) PO653 B-6 土師器(2), 炭化物(1) PO654 B-6 土師器(2), 炭化物(1) PO655 B-6 土師器(2), 湯石製石鍋(1), 粘土塊(1) PO656 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) PO657 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) PO667 B-6 大師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) PO667 B-6 大師器(2), 獨石製石鍋(1), 鉄滓(1), 株土塊(1) PO667 B-6 大師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 株土塊(1) PO667 B-6 大師器(1), 鉄溶(1), 株土塊(1), 石器(1) PO667 B-6 大師器(1), 鉄溶(1), 株土塊(1), 石器(1) PO667 B-6 大師器(1), 鉄溶(1), 株土塊(1), 石器(1) PO667 B-6 大師器(1), 鉄溶(1), 株土塊(1), 大土塊(1) PO672 B-6 大師配(1), 鎌溶(1), 株土塊(1), 大土塊(1) PO673 R-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO674 R-6 大師(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO675 R-6 大師配(1), 鎌沼(1), 株土丸(1), 大土丸(1) PO677 R-6 大師配(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO678 R-6 大師配(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO679 R-6 大師配(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO671 R-6 大師配(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO672 R-6 大師配(1), 滑石製石鍋(1), 鉄字(1), 粘土丸(1) PO673 R-6 土師配(1), 滑石製石鍋(1), 大土丸(1) PO674 R-6 土師配(1), 発力(1), 大土丸(1) PO675 R-6 大師配(1), 大田(1), 大田(1) PO675 R-6 大師配(1), 大田(1)	P0569	A-2		
P0575 A-2 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 鞴の別口(1), 粘土塊(4) P0581 A-2 土師器(1), 粘土塊(1), 獣骨(1) P0591 A-2 土師器(1), 粘土塊(1), 獣骨(1) P0592 A-2 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0593 A-2 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(9) P0597 A-2 土師器(3) P0598 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) P0602 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0607 A-2 獣骨(1) 掘立柱建物 1号(P2) P0608 B-2 石器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 1号(P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 1号(P2) P0613 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) 加速は 1) P0628 C-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 中の647 P0637 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 中の648 P0640 B-6 土師器(1), 鉄澤(1), 粘土塊(1) 上師器(1) P0643 B-6 土師器(2), ガ石製石(3), 鉄滓(1), 糖油 地塊(1), 株土塊(2) P0644 B-6 土師器(2), カムイヤキ(1), 鉄澤(1), 株土塊(3)	P0571	A-2		
POS PO	P0572	A-2	粘土塊(2),石器(2)	
P0584 A-2 滑石製石鍋(1)	P0575	A-2		
P0591 A-2 土師器(1)、粘土塊(1)、賦骨(1) P0592 A-2 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(9) P0593 A-2 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(9) P0597 A-2 土師器(2)、粘土塊(1) P0598 A-2 土師器(2)、粘土塊(1) P0599 A-2 石器(3) P0602 A-2 土師器(2)、朝鮮系無釉陶器(1)、鉄滓(2)、粘土塊(3) P0604 B-2 石器(1)、炭化物(1) P0607 A-2 賦骨(1) P0618 B-2 滑石製石鍋(1) P0619 C-7 粘土塊(3) P0610 C-7 粘土塊(3) P0611 B-2 滑石製石鍋(1)、石器(1) P0612 C-6 土師器(2)、石器(1)、銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1)、鉄滓(2)、粘土塊(1) P0640 B-6 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(1) P0641 B-6 土師器(1)、 鎌海(1)、 大澤(1)、施釉 P0642 B-6 土師器(1)、満の羽口(1)、石器(1) P0643 B-6 土師器(2)、カムイヤキ(1)、鉄滓(1)、糖土塊(3) P0644 B-6 土師器(2)、炭化物(1) P0650 B-6 土師器(2)、炭化物(1) P0651 B-6 土師器(2)、炭化物(1) P0652 B-6 <td>P0581</td> <td>A-2</td> <td>土師器(2)</td> <td></td>	P0581	A-2	土師器(2)	
P0592 A-2 土師器(4)、鉄滓(2)、粘土塊(2) P0593 A-2 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(9) P0597 A-2 土師器(2)、粘土塊(1) P0598 A-2 土師器(3) P0599 A-2 石器(3) P0602 A-2 土師器(2)、朝鮮系無釉陶器(1)、鉄滓(2)、 粘土塊(3) P0607 A-2 獸骨(1) P0611 B-2 冯石製石鍋(1) P0613 B-2 滑石製石鍋(1) P0614 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(1)、鉄滓(2)、粘土塊(1) P0641 B-6 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(1) P0642 B-6 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(1) P0643 B-6 土師器(1) P0644 B-6 共師器(1)、満つ羽口(1)、石器(1) P0645 B-6 共師器(2)、共康と(3)、鉄滓(1)、鞴の羽口(1)、 粘土塊(1)、五部の羽口(1)、株土塊(3) P0650 B-6 土師器(2)、カムイヤキ(1)、鉄滓(1)、粘土塊(3) P0651 B-6 土師器(2)、炭化物(1) P0652 B-6 共師器(2)、炭冷(物(1) P0653 B-6 共師器(2)、満の羽口(4)、粘土塊(3)、軽石(10) P0663 B-6 共師器(1)、鉄滓(1)、株土塊(1)、	P0584	A-2	滑石製石鍋(1)	
P0593 A-2 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0597 A-2 土師器(2), 粘土塊(1) P0598 A-2 土師器(3) P0599 A-2 石器(3) P0602 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0607 A-2 獣骨(1) 掘立柱建物 1号 (P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1) 場合 (P2) P0613 B-2 滑石製石鍋(1) 場合 (P2) P0614 B-6 土師器(1), 長澤(1), 銅製品(1) 日本 (P2) P0637 B-6 土師器(1), 鉄澤(1), 新土塊(1) 日本 (P2) P0641 B-6 鉄澤(1) 株土塊(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄澤(1), 粘土塊(1) 日本 (P2) P0644 B-6 共師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄澤(1), 施油 (P2) P0645 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄澤(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1) P0648 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0650 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 共師器(2), 満石製石鍋(1), 粘土塊(3), 軽石(1)	P0591	A-2	土師器(1), 粘土塊(1), 獣骨(1)	
P0597 A-2 土師器(2)、粘土塊(1) P0598 A-2 土師器(3) P0599 A-2 石器(3) P0602 A-2 土師器(2)、朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) P0604 B-2 石器(1), 炭(化物(1) P0607 A-2 獣骨(1) 据立柱建物 1号 (P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1) 石器(1) P0613 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0628 P0617 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) P0641 P0641 B-6 鉄滓(1) サル土塊(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0643 B-6 土師器(1), 鉄湾(1), 新の羽口(1), 石器(1) P0645 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), ガムイヤキ(1), 鉄湾(1), 粘土塊(3) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 共師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0653 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 禁溶(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1), 石器(1)	P0592	A-2	土師器(4),鉄滓(2),粘土塊(2)	
P0598 A-2 土師器(3) P0599 A-2 石器(3) P0602 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0607 A-2 獣骨(1) 掘立柱建物 1号 (P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0617 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0643 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 隔磁器(1) P0648 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), カムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2), 石器(1) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 共師器(1), 第つ羽口(1), 粘土塊(3), 軽石(1) P0653 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 新土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 禁婦(1), 鞴の	P0593	A-2	土師器(1),鉄滓(1),粘土塊(9)	
PO599	P0597	A-2	土師器(2), 粘土塊(1)	
P0602 A-2 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3) P0604 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0607 A-2 獣骨(1) 掘立柱建物 1号 (P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0613 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0628 C-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 共師器(1), 鎌の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 大師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 大師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), ガムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(3) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0653 B-6 共師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0654 B-6 共師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(3) P0667 B-6 共師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0668 B-6 土師器(1), 鎌河羽口(3), 粘土塊(1), 共速(1), 粘土塊(1) P0667 B-6 大師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(10), 、土師器(2)	P0598	A-2	土師器(3)	
P0602 A-2 粘土塊(3) P0607 B-2 石器(1), 炭化物(1) P0611 B-2 滑石製石鍋(1) P0613 B-2 滑石製石鍋(1), 石器(1) P0614 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0643 B-6 共師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 P0644 B-6 鉄溶(1), 端の羽口(1), 石器(1) P0645 B-6 共師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), ガムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0653 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(0) P0658 B-6 鉄溶(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(0) P0661 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(10), 鞴の羽口(3) P0666 B-6 土師器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 大師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(10), 粘土塊(1) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊	P0599	A-2	石器(3)	
B-0607 A-2 獣骨(1) 掘立柱建物 1号 (P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1)	P0602	A-2		
P0607 A-2 歌育(1) 1 号 (P2) P0611 B-2 滑石製石鍋(1) 1 号 (P2) P0613 B-2 滑石製石鍋(1),石器(1) P0617 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(1),銀滓(2),粘土塊(1) P0637 B-6 土師器(1),鉄滓(1),粘土塊(1) P0641 B-6 鉄等(1) P0642 B-6 土師器(1), 装字(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0645 B-6 鉄淳(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 土師器(2), 排工塊(1), 近半塊(1), 統字(1), 施土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), 力ムイヤキ(1), 鉄淳(1), 粘土塊(1) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄淳(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0653 B-6 鉄淳(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 第の羽口(1) P0663 B-6 土師器(1), 鉄淳(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0666 B-6 土師器(1), 鉄淳(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淳(1), 粘土 P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淳(1), 粘土	P0604	B-2	石器(1),炭化物(1)	
P0613 B-2 滑石製石鍋(1),石器(1) P0617 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(2),石器(1),銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1),鉄滓(2),粘土塊(1) P0641 B-6 鉄淬(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄淬(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 大師器(2), 排乙製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶器(2), 并工塊(1), 石器(1) P0648 B-6 土師器(2), 并乙イヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 大土塊(2) P0650 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄淬(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0658 B-6 鉄淬(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 輔の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(10), 鞴の羽口(3) P0666 B-6 土師器(1), 鉄淬(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄淬(1), 粘土	P0607	A-2	獣骨(1)	
P0617 C-7 粘土塊(3) P0628 C-6 土師器(2),石器(1),銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1),鉄滓(2),粘土塊(1) P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1),鉄滓(1),粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄滓(1),鞴の羽口(1),石器(1) P0647 B-6 土師器(1),滑石製石鍋(1),鉄滓(1),施釉 P0648 B-6 土師器(2), 力ムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 粘土塊(1),石器(1) P0650 B-6 土師器(2), 力ムイヤキ(1), 鉄滓(1),粘土塊(3) P0651 B-6 土師器(2),炭化物(1) P0652 B-6 共師器(2),炭化物(1) P0653 B-6 共師器(4),滑石製石鍋(1),粘土塊(3),軽石(10) P0663 B-6 鉄滓(1),鞴の羽口(4),粘土塊(3),軽石(10) P0663 B-6 共師器(2),滑石製石鍋(1), 鉄滓(10),鞴の羽口(3),粘土塊(1),石器(1) P0667 B-6 共師器(1),猴河(3), 粘土塊(1),石器(1) P0672 B-6 共師器(1),滑石製石鍋(1), 鉄滓(1),粘土地(1) P0673 B-6 土師器(1),滑石製石鍋(1), 鉄淬(1),粘土	P0611	B-2	滑石製石鍋(1)	
P0628 C-6 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) P0637 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 協器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉隔磁器(1) P0648 B-6 土師器(2), 数製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), カムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0668 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0667 B-6 清石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 井師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土丸(1)				
P0637 B-6 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 大師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1), 石器(1) P0648 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), カムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0653 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 鞴の羽口(3) P0666 B-6 土師器(1), 鎌湾(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0613	B-2	滑石製石鍋(1), 石器(1)	
P0641 B-6 鉄滓(1) P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 協磁器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 協磁器(1) P0648 B-6 土師器(2), 装製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), 力ムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0653 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土				
P0642 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 山師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) P0648 B-6 上師器(2), 数製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), 力ムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 輔の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1), 石器(1) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土 P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617	C-7	粘土塊(3)	
P0644 B-6 土師器(1) P0646 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) P0648 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), 力ムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0653 B-6 共師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1), 石器(1) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 井師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628	C-7 C-6	粘土塊(3) 土師器(2),石器(1),銅製品(1)	
P0646 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) P0647 B-6 出師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) P0648 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), カムイヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3), 軽石(10) P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1), 石器(1) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637	C-7 C-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2),石器(1),銅製品(1) 土師器(1),鉄滓(2),粘土塊(1)	
P0647 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) P0648 B-6 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641	C-7 C-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1)	
P0648 B-6 陶磁器(1) 上師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 上師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 上師器(2), 炭化物(1) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) 上師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0668 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) 上師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土地(1)	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0648 B-6 粘土塊(1), 石器(1) P0650 B-6 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0651 B-6 土師器(2), 炭化物(1) P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1), 石器(1) P0666 B-6 土師器(1), 鎌湾(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2),石器(1),銅製品(1) 土師器(1),鉄滓(2),粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1),鉄滓(1),粘土塊(1) 土師器(1)	
P0650 B-6 塊(2) P0651 B-6 土師器(2),炭(比物(1) P0652 B-6 鉄滓(7),鞴の羽口(1),粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4),滑石製石鍋(1),粘土塊(1) P0658 B-6 鉄滓(1),鞴の羽口(4),粘土塊(3),軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 対部器(2),滑石製石鍋(1),鉄滓(10),鞴の羽口(3),粘土塊(1),石器(1) P0666 B-6 大師器(1),鎌湾(1),粘土塊(1),石器(1) P0672 B-6 滑石製石鍋(2),鞴の羽口(3),粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1),滑石製石鍋(1),鉄滓(1),粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉	
P0652 B-6 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 丑師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0672 B-6 井師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土 P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0657 B-6 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0672 B-6 井師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土 P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0658 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0648	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土 塊(2)	
P0661 B-6 鞴の羽口(1) P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0648 P0650	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土 塊(2)	
P0663 B-6 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0648 P0650 P0651	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3)	
P0663 B-6 羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) P0666 B-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0648 P0650 P0651 P0652 P0657	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鞴の羽口(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土 塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)	
P0667 B-6 鉄滓(1), 鞴の羽口(3) P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0650 P0651 P0652 P0657	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鎌溶(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10)	
P0672 B-6 滑石製石鍋(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1) P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0650 P0651 P0652 P0657 P0658 P0661	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) 鞴の羽口(1) 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(1)	
P0673 B-6 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土	P0617 P0628 P0637 P0641 P0642 P0644 P0646 P0647 P0650 P0651 P0652 P0657 P0658 P0661 P0663	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鎌溶(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) 鞴の羽口(1) 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(1)	
	P0617 P0628 P0637 P0641 P0644 P0646 P0647 P0650 P0651 P0652 P0657 P0658 P0663 P0663	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鎌湾(1), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) 鞴の羽口(1) 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の 羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
	P0617 P0628 P0637 P0641 P0644 P0646 P0647 P0650 P0651 P0652 P0657 P0658 P0661 P0663 P0666	C-7 C-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B-6 B	粘土塊(3) 土師器(2), 石器(1), 銅製品(1) 土師器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1) 鉄滓(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 施釉 陶磁器(1) 土師器(2), 鉄製品(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 土師器(2), 炭化物(1) 鉄滓(7), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3) 土師器(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3), 軽石(10) 鞴の羽口(1) 土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(10), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(2) 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1) 鉄滓(1), 鞴の羽口(3)	

第 155 表 ピット内出土遺物(7)

\ф.)++ ·= Т		ト内出土遺物(7)
	グリッド	
P0674	B-6	土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1)
P0675	B-6	土師器(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1)
P0680	C-7	土師器(1), 鉄製品(1), 石器(4)
P0682	B-6	鉄製品(7), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1)
P0683	B-6	土師器(2), 鉄滓(8), 鞴の羽口(1), 石器(1)
P0684	B-6	土師器(1), 鉄製品(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1)
P0686	B-6	黒色土器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3)
P0687	B-6	鉄滓(1), 粘土塊(2)
P0688	B-6	土師器(1), 鉄滓(10), 粘土塊(8)
P0689	B-6	鉄滓(8)
P0690	B-6	鞴の羽口(1)
P0693	B-6	滑石製石鍋(1)
P0696	B-4	石器(1)
P0701	B-6	土師器(IS), 須恵器(1), 鞴の羽口(1), 粘土 塊(16), 軽石(1)
P0704	B-6	鉄滓(1)
P0708	B-6	鞴の羽口(1)
P0710	B-6	土師器(1)
P0711	B-6	鉄滓(4)
P0713	B-6	土師器(5), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(4), 石器(3)
P0716	B-6	土師器(3), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1)
P0717	B-6	土師器(5), 鉄滓(11), 粘土塊(13), 施釉陶磁器(1), 石器(5), 軽石(1), 炭化物(3)
P0718	C-7	土師器(1), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(13), 粘土 塊(5)
P0719	B-6	石器(1)
P0721	B-6	須恵器(1), 軽石(1)
P0726	B-6	鉄滓(1), 粘土塊(1), 炭化物(1)
P0728	B-6	鉄滓(1)
P0729	B-6	粘土塊(1)
P0731	B-6	土師器(1), 滑石製石鍋(1), 土製品(1), 鞴 の羽口(1)
P0734	B-6	土師器(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1)
P0735	B-6	土師器(1), 鉄滓(2), 石器(1)
P0736	B-6	布目圧痕土器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 施釉陶磁器(1)
P0737	B-6	土師器(1), 鉄滓(1)
P0739	B-6	鉄滓(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(1)
P0741	B-6	土師器(1), 鉄滓(4), 鞴の羽口(2), 粘土塊(9), 石器(1)
P0743	B-6	土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(2), 軽石(1)
P0747	B-6	鉄滓(2), 粘土塊(1)
P0749	B-6	土師器(5), 鉄滓(1), 粘土塊(4), 石器(2)
P0750	B-6	鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3), 石器(1)
P0751	B-6	土師器(2), 鉄滓(1)
P0752	B-6	土師器(1), 鉄滓(4), 粘土塊(1), 石器(2)
FU/32		
P0752	B-6	布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(2), 粘土塊(4), 石器(1)

第 156 表 ピット内出土遺物(8)

遺構 ID 2 P0756 P0757		出土遺物	備考
	D 7		
P0757	B-7	布目圧痕土器(7), 粘土塊(2), 石器(3), 炭 化物(2)	
	B-7	布目圧痕土器(1)	
P0758	B-6	土師器(1),布目圧痕土器(1),鉄滓(7)	
P0760	B-6	鉄滓(1),石器(2),獣骨(2),炭化物(1)	
P0763	B-6	土師器(1),石器(2)	
P0766	B-7	土師器(1), 鉄滓(5), 鞴の羽口(2), 粘土塊 (5)	
P0767	B-7	土師器(2)	
P0768	B-7	土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(18), 鞴の 羽口(2), 石器(2)	
P0772	B-6	鉄滓(4), 石器(1), 軽石(1)	
P0773	B-6	土師器(5), 滑石製石鍋(1), 滑石混入土器(2), 鉄滓(9), 鞴の羽口(1), 粘土塊(10), 石器(1)	
P0774	B-6	土師器(2),滑石製石鍋(1),粘土塊(10),石 器(1)	
P0775	B-6	土師器(3), 鉄滓(1), 軽石(1)	
P0776	B-6	鉄滓(4), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P0777	B-6	粘土塊(1), 石器(2)	
P0778	B-7	鉄滓(1)	
P0780	B-7	石器(1)	
P0782	B-7	土師器(1)	
P0784	B-7	土師器(1),土製品(1)	
P0785	B-7	粘土塊(1)	
P0790	B-7	土師器(4), 鉄滓(12), 鞴の羽口(1), 粘土塊(15), 石器(4)	
P0794	B-7	黒色土器(1),土師器(1),石器(1)	
P0795	B-7	鉄滓(5), 鞴の羽口(1), 石器(2)	
P0797	B-7	鞴の羽口(1)	
P0798	B-7	粘土塊(1),石器(1)	
P0799	B-7	土師器(3), 鉄滓(8), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1), 石器(2), 軽石(1)	
P0800	B-7	土師器(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P0801	B-7	鉄滓(4),粘土塊(1)	
P0803	B-7	土師器(1)	
P0804	B-7	土師器(1)	
P0806	B-7	越州窯系青磁(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(2)	
P0808	B-7	土師器(5), 鉄滓(26), 鞴の羽口(3), 石器(1)	
P0810	B-7	鞴の羽口(2), 石器(1)	
P0811	B-7	土師器(3), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(10), 粘土塊(12), 石器(2)	
P0812	B-7	土師器(3), 鉄製品(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(11), 石器(3), 炭化物(1)	掘立柱建物 17号(P2)
P0814	B-7	カムィヤキ(1)	
P0818	B-7	粘土塊(2)	
P0820	B-7	鉄滓(1)	
P0822	B-7	布目圧痕土器(1),滑石製石鍋(1),土器(1), 炭化物(1)	
P0823	B-7	越州窯系青磁(1)	
P0825	B-7	カムィヤキ(1), 粘土塊(1), 石器(1), 炭化 物(1)	
P0826	B-7	土師器(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P0827	B-7	滑石製石鍋(1), 白磁(1), 鉄滓(10), 粘土塊(2), 石器(1), 軽石(2)	

第 157 表 ピット内出土遺物(9)

		下闪出工退物(9)	/##.#z
	グリッド		備考
P0829	B-7	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0833	B-7	カムィヤキ(1)	
P0834	B-7	土師器(1),滑石製石鍋(1)	
P0835	B-7	石器(2)	
P0836	B-7	土師器(1),鉄滓(11),粘土塊(2),石器(10)	
P0839	B-7	鉄滓(2),粘土塊(1),石器(1),軽石(1)	
P0840	B-7	土師器(5), 越州窯系青磁(1), 滑石製石鍋(3), 兼久式土器(1), 鉄滓(5), 鞴の羽口(2), 粘 土塊(4), 炭化物(1)	掘立柱建物 16号(P3)
P0848	B-7	布目圧痕土器(1), カムィヤキ(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(4), 鞴の羽口(3), 粘土塊(4), 石器(3)	掘立柱建物 17 号(P1)
P0850	B-7	滑石製石鍋(2), 滑石二次加工品(1), 白磁(1), 鉄滓(4), 粘土塊(1), 石器(3), 軽石(1)	
P0854	B-7	鉄滓(1),粘土塊(1)	
P0855	B-7	土師器(2),粘土塊(6)	
P0857	B-7	土師器(4), 鉄滓(18), 鞴の羽口(4), 粘土塊(1), 石器(6)	
P0860	B-7	土師器(2), 鉄製品(3), 鞴の羽口(1), 軽石 (1)	掘立柱建物 17 号(P3)
P0861	B-7	鉄滓(2), 粘土塊(1)	
P0869	B-7	土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	
P0879	B-7	黒色土器(1), 土師器(2), 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(2), 鞴の羽口(1), 粘 土塊(2), 魚骨(1), 炭化物(2)	
P0880	B-7	カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P0883	B-7	白磁(1), 鉄滓(1), 石器(2)	
P0885	B-7	鉄滓(2)	
P0887	B-7	土師器(4),滑石製石鍋(1),鉄滓(10),鞴の羽口(1),粘土塊(6),施釉陶磁器(1),石器(2),軽石(1)	
P0889	B-7	鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1)	
P0894	B-7	白磁(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(4), 粘土塊(15)	掘立柱建物 17号(P4)
P0895	B-7	土師器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(2), 石器(2)	
P0896	B-7	土師器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P0897	B-7	土師器(1), 須恵器(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(2)	
P0898	B-7	土師器(2), 須恵器(1), 鉄滓(3), 軽石(5)	
P0899	B-7	黒色土器(1), 土師器(2), 須恵器(1), 鉄滓(6), 粘土塊(2), 軽石(2)	
P0901	B-7	鉄滓(1), 石器(1)	
P0902	B-7	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0903	B-7	土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(2), 石器(2)	
P0904	B-7	石器(1)	
P0908	B-7	土師器(1), 鉄滓(5), 石器(3)	
P0909	B-7	土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	
P0912	B-7	土師器(2),滑石製石鍋(1),鉄滓(5),鞴の羽口(2),粘土塊(4)	
P0913	B-7	鉄滓(1), 石器(1)	
P0914	B-7	鉄滓(2), 鞴の羽口(1)	
P0915	B-7	上師器(2),土製品(3),粘土塊(1)	
		The second of th	

第 158 表 ピット内出土遺物(10)

第 158	表 ピッ	ト内出土遺物(10)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0916	B-7	滑石製石鍋(1), 白磁(1), 粘土塊(1), 石器 (1)	
P0918	B-7	黒色土器(1), 鉄滓(6), 鞴の羽口(3), 石器 (3)	
P0920	B-7	土師器(6), 越州窯系青磁(1), 滑石製石鍋(1), 白磁(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(4), 粘土塊(4), 軽石(1)	
P0922	B-7	滑石製石鍋(1), 石器(1)	
P0924	B-4	須恵器(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(2)	
P0927	B-7	土師器(2), 粘土塊(32)	
P0928	B-7	土師器(3), 鉄滓(3), 粘土塊(1), 石器(2), 軽石(1)	
P0930	B-7	鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0931	B-7	土師器(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(2), 石器(3)	
P0932	B-7	布目圧痕土器(1)	
P0936	B-7	カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(2), 土製品(2), 粘土塊(2)	
P0940	B-8	土師器(2), 須恵器(1), 滑石混入土器(2), 鉄滓(4), 鞴の羽口(1), 粘土塊(13), 炭化物 (1)	
P0941	B-8	土師器(1),滑石製石鍋(1),粘土塊(1),炭化物(1)	
P0944	B-7	土師器(1), 鞴の羽口(1)	
P0945	B-8	土師器(1), 布目圧痕土器(1), 鉄滓(8), 鞴 の羽口(2), 粘土塊(4), 石器(3)	
P0946	B-8	土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P0947	B-8	株	掘立柱建物 21 号(P1)
P0948	B-7	粘土塊(1)	
P0949	B-7	土師器(1),越州窯系青磁(1)	
P0950	B-7	鉄滓(26), 鞴の羽口(1), 粘土塊(46)	
P0951	B-7	土師器(1)	
P0953	B-7	土師器(17), 粘土塊(1)	
P0954	B-7	土師器(1), 滑石二次加工品(1), 鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(3), 石器(4)	
P0955	B-7	須恵器(2), 鉄滓(2), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0956	B-7	鉄滓(15), 石器(1)	
P0957	B-7	石器(1)	
P0958	B-7	土師器(2), 鉄滓(4), 鞴の羽口(1)	
P0962	B-7	土師器(1), 白磁(1), 鉄滓(5), 鞴の羽口(2), 石器(1), 軽石(1)	
P0963	B-7	土師器(3), 滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4), 石器(1)	
P0964	B-7	土師器(2), 白磁(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P0965	B-7	滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1)	
P0966	B-7	土師器(1), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(4), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0967	B-7	鞴の羽口(1)	
P0968	B-7	鉄滓(1)	
P0971	B-7	滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(2), 粘土塊(5), 軽石(1), 獣骨(1)	
P0972	B-7	土師器(4),粘土塊(1)	
P0989	B-7	土師器(1),滑石製石鍋(1),粘土塊(1),石 器(1)	

第 159 表 ピット内出土遺物(11)

		ト内出土遺物(11)	/++
	グリッド		備考
P0991	B-7	土師器(3), 鞴の羽口(2)	
P0992	B-7	土師器(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P0994	B-7	須恵器(1)	
P0996	B-7	土師器(1), 須恵器(2), 白磁(1), 土器(1), 鉄滓(5), 鞴の羽口(4), 石器(1), 軽石(3)	
P0997	B-8	土師器(2), 鞴の羽口(1)	
P0998	B-8	鉄滓(2)	
P0999	B-8	土師器(5),滑石混入土器(1),石器(1)	
P1000	B-8	須恵器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2), 石器(1)	掘立柱建物 20 号(P6)
P1001	B-8	石器(1)	
P1003	B-8	鉄滓(1)	
P1005	B-8	土師器(3), 布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(4), 粘土塊(2), 石器(1)	
P1010	B-8	土師器(1)	
P1012	B-8	滑石製石鍋(1)	
P1013	B-8	鞴の羽口(4), 粘土塊(1)	掘立柱建物 20 号(P7)
P1018	B-8	土師器(23), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(1)	
P1019	B-8	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物 20 号(P4)
P1023	B-8	土師器(1), 土器(1)	
P1030	B-8	土師器(1), 兼久式土器(1), 鉄滓(3), 軽石(3)	
P1031	B-8	滑石製石鍋(1), 鞴の羽口(1)	
P1035	B-8	土師器(3), カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(1)	
P1037	B-8	土師器(7), 須恵器(4), 布目圧痕土器(3), 滑石製石鍋(1), 土器(1), 鉄滓(23), 鞴の羽 口(2), 粘土塊 (16), 石器(1)	
P1038	B-8	鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(3)	
P1039	B-7	土師器(4), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 軽石(2)	
P1042	B-7	土師器(1), 鉄滓(1)	
P1043	B-7	土師器(1), 石器(1)	
P1049	C-7	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1)	掘立柱建物 13 号(P8)
P1050	C-7	土師器(1),粘土塊(1),軽石(2)	掘立柱建物 13 号(P9)
P1053	C-6	鉄滓(3), 粘土塊(1)	
P1056	C-6	土師器(1)	
P1057	C-6	鉄滓(1), 粘土塊(3)	掘立柱建物 13号 (P10)
P1059	C-7	土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6)	
P1061	C-6	土師器(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(1)	
P1063	B-6	土師器(2), 鉄滓(5), 粘土塊(1)	掘立柱建物 14号(P4)
P1065	B-6	土器(1), 石器(2)	
P1069	B-7	黒色土器(1), 土師器(5), 土器(1), 鉄滓(4), 鞴の羽口(8), 粘土塊(5), 石器(1)	
P1070	B-7	土師器(1), 須恵器(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P1072	B-7	鞴の羽口(2)	
P1075	B-7	炭化物(1)	
P1080	B-6	土師器(3), 鉄滓(5), 粘土塊(1), 軽石(2)	

第 160 表 ピット内出土遺物(12)

		ト内出土遺物(12)	
遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P1081	B-7	黒色土器(1),土師器(2),布目圧痕土器(1), 朝鮮系無釉陶器(1),鉄滓(1),粘土塊(2)	
P1082	B-7	土師器(1)	
P1087	B-6	滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 粘土塊(1)	
P1088	B-7	カムィヤキ(1), 土器(1), 粘土塊(3), 石器(3), 軽石(1)	
P1089	B-7	粘土塊(4),石器(1)	
P1090	B-7	土師器(1),滑石製石鍋(1),鉄滓(2),鞴の羽口(2),粘土塊(2),石器(1),軽石(1)	
P1092	B-6	布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(2), 粘土塊(6), 石器(2)	
P1093	B-6	土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P1095	B-6	滑石製石鍋(2)	
P1096	B-6	粘土塊(1),石器(1)	
P1097	B-7	土師器(7), 布目圧痕土器(1), 鉄製品(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(11), 施釉陶磁器(1), 石器(1)	
P1098	B-7	土師器(10),滑石製石鍋(2),鉄滓(6),鞴の羽口(13),粘土塊(12),石器(1)	
P1099	B-6	土師器(3), 鉄滓(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(11), 石器(5), 軽石(1)	
P1100	B-6	土師器(1), 須恵器(1), 鉄滓(11), 粘土塊(6), 石器(1)	
P1101	B-6	土師器(1), 須恵器(1), 白磁(2), 鉄滓(37), 鞴の羽口(2), 石器(3)	
P1102	B-6	土師器(4),滑石製石鍋(3),鉄滓(42),鞴の羽口(3),粘土塊(9),石器(1),炭化物(2)	
P1104	B-7	土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1)	
P1105	B-7	土師器(4),滑石混入土器(1),鉄滓(3),鞴 の羽口(2),粘土塊(5),石器(3),軽石(2)	掘立柱建物 16 号(P1)
P1106	B-7	カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(2), 白磁(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P1107	B-7	朝鮮系無釉陶器(1),滑石製石鍋(3),滑石二次加工品(2),粘土塊(1)	
P1108	B-7	土師器(1), 布目圧痕土器(2), 滑石製石鍋(18), 白磁(1), 龍泉窯系青磁(1), 鉄滓(5), 粘土 塊(4), 施釉陶磁器(1), 石器(5), 軽石(2)	掘立柱建物 16号(P4)
P1109	B-7	土師器(3), 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(9), 白磁(1), 鉄滓(19), 鞴の羽口(2), 粘土塊(16), 石器(4), 軽石(2)	
P1110	B-7	滑石製石鍋(1), 土器(4), 鉄滓(4), 粘土塊(8)	
P1113	B-6	布目圧痕土器(1),鉄滓(2),粘土塊(1)	
P1115	B-7	須恵器(1), 鉄滓(7), 粘土塊(1), 軽石(2)	
P1116	B-7	滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(1)	
P1118	B-8	土師器(3), 須恵器(3), 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘 土塊(4), 石器(1)	掘立柱建物 21号(P2)
P1119	B-8	鞴の羽口(1), 石器(1)	掘立柱建物 20 号(P9)
P1120	B-8	粘土塊(1)	
	_		

第 161 表 ピット内出土遺物(13)

		ト内出土遺物(13)	
遺構 ID	グリッド		備考
P1121	B-8	土師器(1), 布目圧痕土器(1), 鉄滓(5), 粘 土塊(3), 石器(10), 軽石(1), 炭化物(1)	掘立柱建物 21号(P3)
P1126	B-7	滑石二次加工品(1), 鉄滓(2), 粘土塊(2), 石器(1)	
P1127	B-7	土師器(2), 鉄滓(37), 鞴の羽口(1), 粘土塊(10), 石器(3)	
P1129	B-6	鉄滓(2)	
P1131	B-7	鉄滓(25), 鞴の羽口(5), 軽石(2)	
P1132	B-6	粘土塊(1)	
P1133	B-6	鉄滓(1), 軽石(1), 炭化物(2)	
P1134	B-7	土師器(7), 土器(1), 鉄滓(25), 粘土塊(2), 石器(1), 軽石(3)	
P1138	A-3	土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(3)	
P1139	A-3	石器(1)	
P1140	A-3	布目圧痕土器(1),滑石製石鍋(1),粘土塊(1)	
P1141	A-3	須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(4), 粘土 塊(1), 石器(2)	
P1142	A-3	土師器(2), 土製品(2), 粘土塊(2)	
P1143	A-3	鞴の羽口(1), 粘土塊(2)	
P1145	A-3	粘土塊(3)	
P1148	A-3	土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(5), 石器(2)	
P1149	A-3	粘土塊(1)	
P1151	A-3	土師器(4), 鞴の羽口(1), 石器(1)	
P1152	B-6	土師器(6), 鉄滓(1)	
P1153	B-6	土師器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊 (3)	
P1154	B-6	土師器(4), 須恵器(1), カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1), 鉄滓(6), 鞴の羽口(2), 粘土塊(5), 軽石(1)	
P1155	B-6	鉄滓(3), 鞴の羽口(1), 施釉陶磁器(1)	
P1161	B-7	土師器(2), 鞴の羽口(2), 石器(2)	
P1162	B-6	布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(1), 炭 化物(1)	
P1163	B-6	粘土塊(1), 石器(2)	
P1164	B-6	カムィヤキ(1), 滑石混入土器(7), 鉄滓(3), 粘土塊 (19), 獣骨(4)	
P1165	B-6	土師器(1)	
P1166	B-6	土師器(2)	
P1167	B-7	土師器(3), 滑石製石鍋(3), 鉄滓(5), 鞴の 羽口(2), 粘土塊(8)	掘立柱建物 16 号(P2)
P1169	B-7	鉄製品(2), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1), 石器(1), 軽石(1)	
P1170	B-7	土師器(11), 須恵器(2), 鉄滓(10), 鞴の羽口(3), 粘土塊(3), 石器(3), 炭化物(1)	
P1171	B-6	土師器(1),石器(1)	
P1172	B-6	鉄滓(1)	
P1174	B-7	鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(1)	
P1175	B-7	土師器(1), 滑石製石鍋(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(1)	
P1179	B-7	滑石製石鍋(1), 白磁(1), 鞴の羽口(2), 石 器(1)	
P1180	B-7	土師器(1),滑石製石鍋(1),鉄滓(55),鞴の 羽口(1),粘土塊(1),石器(2)	
P1181	B-7	滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
	_		

第 162 表 ピット内出土遺物(14)

 満橋ID グリッド 出土達物 焼寒(1)、 中日に渡出器(1)、 滑石製石鍋(5)、 大率(1)、 私土塊(2) P1183 B-7 白磁(1)、石器(1) P1185 B-7 白磁(1)、石器(1) P1187 B-7 石器(2)、鉄率(9)、粘土塊(8)、陶磁器(1)、 を経石(1) P1188 B-7 浸石製石鍋(1)、鉄率(5)、粘土塊(8)、陶磁器(1)、 が高くの)、炭(た物(4)、 大変(5)、粘土塊(8)、石器(3)、炭(た物(4)、 大変(5)、 株土塊(8)、石器(3)、炭(た物(4)、 大変(5)、 株土塊(8)、石器(3)、炭(た物(4)、 大変(5)、 株土塊(8)、石器(3)、炭(た物(4)、 大変(4)、 li>			ト内出土遺物(14)	
P1183 B-7 無数(1)、粘土塊(2) 無数(8)、陶磁器(1)、 P1185 B-7 上部器(2)、鉄淬(9)、粘土塊(8)、陶磁器(1)、 P1187 B-7 石器(2) 須恵銀(2)、鉄淬(9)、粘土塊(8)、石器(3)、炭化物(4) 上部器(1)、鉄淬(1)、加入イヤキ(1)、滑石製石鍋(1)、鉄淬(1)、土地の(3)、炭化物(4) 上部器(4)、須恵器(1)、滑石型石鍋(1)、大豆(4)、大豆(4)、一口(4) 上部器(4)、須恵器(1)、滑石型石鍋(1) P1192 B-7 上部器(4)、須恵器(1)、滑石二次加工品(1)、 上部器(4)、須恵器(1)、石器(2) 上部器(4)、須恵器(1)、石器(2) 上部器(4)、 (4) 上部器(1) 上部器(2) 表土塊(1) 上部器(2) 表土塊(1) 上部器(2) 表土塊(1) 上部器(2) 表土塊(1) 上部器(2) 表土塊(2) 東京 (2) 東	遺構 ID	グリッド		備考
P1185 B-7 其師器(2)、 鉄澤(9)、粘土塊(8)、陶磁器(1)、 軽石(1) P1187 B-7 石器(2) P1188 B-7 石器(2) P1188 B-7 有限(2) P1189 B-7 有限(2) 九人不中丰(1)、滑石製石鍋(1)、 上師器(1)、鉄澤(1)、精石(2)、粘土塊(6)、石器(1) P1190 B-7 白盛(1)、鉄澤(1)、精石(2)、 長澤(2)、施釉陶磁器(1)、石器(2) 基本塊(1) P1197 A-9 土師器(1) 無力(2) P1397 A-9 土師器(1)、鉄澤(1)、石器(1) 掘立柱建物(1) P1400 A-9 土師器(1)、鉄澤(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物(2)(2) P0001 世-12 土師器(1)、石器(1) 掘立柱建物(2)(2) P0004 世-12 土師器(1)、石器(1) 掘立柱建物(2) P0005 世-11 土師器(2)、鉄澤(1) 粘土塊(2)、 掘立柱建物(2) P0012 た-98 施棚園器(1)、石器(1) 無立柱建物(2) 掘立柱建物(2) P0022 世-11 土師器(1)、五部(1) 無立柱建物(2)、 無立性建物(2)、 無立社建物(2) 無立柱建物(2) 無立社建地(2) 加速立柱建物(2) (P2) P0024 た-6 粘土塊(2)、施土塊(2)、施制(2) 掘立柱建物(2) (2) 掘立柱建物(2) (2) (P1182			
P1187 B-7 石部2 日本語	P1183	B-7		
P1188 B-7 須惠報21,越州窯系青磁1),カムィヤキ(1), 	P1185	B-7		
P1188 B-7	P1187	B-7	石器(2)	
P1189 B-7 白磁(1)、鉄淬(1)、鞴の羽口(3)、粘土塊(6)、	P1188	B-7	滑石製石鍋(1), 鉄滓(5), 粘土塊(18), 石器(3),	
PT 192 B-7	P1189	B-7	白磁(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(3), 粘土塊(6), 石器(1)	
P1397 A-9 土師器(1), 鉄字(1), 石器(1) P1400 A-9 土師器(1), 鉄字(1), 石器(1) P0001 世-12 土師器(5), 鉄字(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 81 号 (P4) P0003 世-12 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 81 号 (P2) P0005 世-11 土師器(2), 粘土塊(3), 軽石(1) P0008 世-11 土師器(2), 鉄字(1) P0012 た-98 土師器(2), 鉄字(1) P0013 そ-11 土師器(1), 石器(4) P0020 世-11 白磁(1), 粘土塊(7), 石器(1) P0021 世-11 白磁(1), 指土塊(7), 石器(1) P0022 世-11 土師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑石製石鍋(2), 鉄字(3), 粘土塊(5), 軽石(1) 掘立柱建物 79 号 (P7) P0024 た-6 粘土塊(2) 掘立柱建物 80 号 (P1) P0027 世-11 土師器(1), 粘土塊(3) P0033 世-11 加工中半(1) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0035 世-11 土師器(4), 石器(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0041 世-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0048 世-11 力ムイヤキ(1), 妖字(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0051 世-11 土師器(2) <td>P1192</td> <td>B-7</td> <td></td> <td></td>	P1192	B-7		
P1398 A-9 土師器(1), 鉄滓(1), 石器(1) P1400 A-9 土師器(1) P0001 せ-12 土師器(5), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物81号 (P4) P0003 せ-12 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物81号 (P2) P0005 せ-11 土師器(2), 粘土塊(3), 軽石(1) 掘立柱建物81号 (P2) P0008 せ-11 土師器(2), 线滓(1), 数滓(1), 粘土塊(2), 施納陶磁器(1), 石器(4) 掘立柱建物79号 (P2) P0012 た-98 拖納陶磁器(1), 石器(4) 掘立柱建物79号 (P2) P0018 そ-11 土師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(3), 粘土塊(5), 軽石(1) 掘立柱建物79号 (P7) P0023 せ-11 土師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(3), 粘土塊(5), 軽石(1) 掘立柱建物79号 (P2) P0024 た-6 粘土塊(2) 掘立柱建物79号 (P3) P0025 せ-11 土師器(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物79号 (P5) P0031 せ-11 土師器(1), 石器(1) 掘立柱建物79号 (P5) P0042 せ-11 カムイヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物78号 (P9) P0043 せ-11 カムイヤキ(1), 大部塊(1) 掘立柱建物78号 (P8) P0045 せ-11 力ムイヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物78号 (P8) P0050 せ-11	P1396	A-9	粘土塊(1)	
P1400 A-9 土師器(1) 掘立柱建物 81 号 (P4) P0001 世・12 土師器(5), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 81 号 (P4) P0003 世・12 粘土塊(1) 掘立柱建物 81 号 (P2) P0005 世・11 土師器(2), 粉率(1) 掘立柱建物 81 号 (P2) P0008 世・11 土師器(2), 鉄率(1) P0012 た・98 土師器(1), 石器(4) P0012 た・98 土師器(1), 石器(1) P0012 た・98 上師器(1) P0013 で・11 土師器(1) 無力域(1) P0024 た・12 上師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑 掘立柱建物 79 号 (P2) P0024 た・6 粘土塊(2) 掘立柱建物 80 号 (P1) P0025 せ・11 力ムイヤキ(1) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0033 せ・11 粘土塊(7) 掘車機器(1) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0041 せ・11 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0042 せ・11 カムイヤキ(1), 5 禁深(1) 石器(1) 軽石(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0045 せ・11 カムイヤキ(1) 鉄深(1) 石器(1) 軽石(1) 掘立柱建物	P1397	A-9	土師器(1)	
POOO1 世-12 土師器(5), 鉄滓(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 81 号 (P4) POO03 世-12 粘土塊(1)	P1398	A-9	土師器(1), 鉄滓(1), 石器(1)	
P0001 世 -12 土師器(5)、 鉄洋(1)、 粘土塊(1) R1 号 (P4)	P1400	A-9	土師器(1)	
P0003 世-12 粘土塊(1) 石器(1) P0004 世-12 粘土塊(1) 掘立柱建物81号(P2) P0005 世-11 土師器(2)、料土塊(3)、軽石(1) P0012 た-98 土師器(2)、須恵器(1)、鉄津(1)、粘土塊(2)、施釉陶磁器(1)、石器(4) P0018 そ-11 土師器(1) P0022 世-11 白磁(1)、粘土塊(7)、石器(1) P0023 世-11 土師器(1)、須恵器(1)、カムイヤキ(2)、滑石製石鍋(2)、鉄津(3)、粘土塊(5)、軽石(1) 79号(P7) P0024 た-6 粘土塊(2) 掘立柱建物80号(P1) P0027 世-11 土師器(1)、粘土塊(3) P0028 た-7 龍泉窯系青磁(1)、石器(7) P0033 世-11 粘土塊(7)、施釉陶磁器(1) 掘立柱建物79号(P5) P0041 世-11 土師器(4)、石器(1) 掘立柱建物79号(P5) P0042 世-11 土師器(4)、石器(1) 掘立柱建物78号(P9) P0045 世-11 カムイヤキ(1)、鉄津(1)、石器(1)、軽石(1)、軽石(1) 掘立柱建物78号(P8) P0048 世-11 カムイヤキ(1)、石器(1) 掘立柱建物78号(P8) P0051 世-11 土師器(1)、粘土塊(1) 堀立柱建物78号(P6) P0052 世-11 土師器(2) 堀立柱建物78号(P7) P0056 世-11 <th< td=""><td>P0001</td><td>せ-12</td><td></td><td></td></th<>	P0001	せ-12		
P0004 世 -12 松工塊() 81号 (P2)	P0003	せ-12	粘土塊(1),石器(1)	2 (1 1)
P0005 世-11 土師器(2)、粘土塊(3)、軽石(1) P0012 た-98 施釉陶磁器(1)、須恵器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(2)、施釉陶磁器(1)、石器(4) P0018 そ-11 土師器(2)、須恵器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(2)、 施釉陶磁器(1)、石器(1) P0022 世-11 土師器(1) 加工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	P0004			
中の12 た -98 上師器(2)、須恵器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(2)、施釉陶磁器(1)、石器(4) 中の18 そ -11 上師器(1) 中の22 せ -11 白磁(1)、粘土塊(7)、石器(1) 中の23 せ -11 土師器(1)、須恵器(1)、カムィヤキ(2)、滑石製石鋼(2)、鉄滓(3)、粘土塊(5)、軽石(1) 中の24 た -6 粘土塊(2) 掘立柱建物80 号 (P1) 中の27 せ -11 土師器(1)、粘土塊(3) 中の28 た -7 龍泉窯系青磁(1)、石器(7) 中の32 せ -11 カムィヤキ(1) 中の33 せ -11 粘土塊(7)、施釉陶磁器(1) 掘立柱建物80 号 (P2) 中の35 せ -11 粘土塊(7)、施釉陶磁器(1) 掘立柱建物79 号 (P5) 中の41 せ -11 土師器(1)、粘土塊(1) 中の42 せ -11 土師器(1)、粘土塊(1) 中の45 せ -11 カムィヤキ(1)、鉄滓(1)、石器(1)、軽石(1) 掘立柱建物78 号 (P9) 中の48 せ -11 カムィヤキ(1)、石器(1) 掘立柱建物78 号 (P8) 中の49 せ -11 鉄滓(2) 中の51 せ -11 土師器(1)、粘土塊(1) 中の52 せ -11 粘土塊(1) 中の53 せ -11 土師器(2)、指立柱建物78 号 (P7) 中の54 せ -11 土師器(2) 掘立柱建物78 号 (P7) 中の55 せ -11 土師器(2) 掘立柱建物78 号 (P7) 中の56 せ -11 土師器(2) 掘立柱建物78 号 (P7) 中の57 せ -11 須恵器(2) 中の58 せ -11 土師器(5)、粘土塊(1)、石器(2) 中の61 せ -11 粘土塊(1) 掘立柱建物78 号 (P6) 中の62 せ -10 土師器(1) 掘立柱建物79 号 (P3)	P0005	せ-11	土師器(2), 粘土塊(3), 軽石(1)	
P0012 72-98 施釉陶磁器(1), 石器(4) P0018 そ-11 土師器(1) P0022 せ-11 白磁(1), 粘土塊(7), 石器(1) P0023 せ-11 土師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑 掘立柱建物 79 号 (P7) P0024 た-6 粘土塊(2) 掘立柱建物 80 号 (P1) P0027 せ-11 土師器(1), 粘土塊(3) P0028 た-7 龍泉窯系青磁(1), 石器(7) P0032 せ-11 カムィヤキ(1) 掘立柱建物 80 号 (P2) P0033 せ-11 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0041 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 堀立柱建物 79 号 (P5) P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 堀立柱建物 78 号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 堀立柱建物 78 号 (P8) P0049 せ-11 大師器(1), 粘土塊(1) 堀立柱建物 78 号 (P8) P0051 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 堀立柱建物 78 号 (P7) P0053 せ-11 土師器(2) 堀立柱建物 78 号 (P7) P0054 せ-11 土師器(2) 堀立柱建物 78 号 (P7) P0055 せ-11 土師器(2) 堀立柱建物 78 号 (P6) P0056 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0057 せ-11 米土塊(1) 堀立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 堀立柱建物 78 号 (P6) P0064 せ-11 土師器(1) 堀立柱建物 78 号 (P6) P0065 せ-11 土師器(1) 堀立柱建物 78 号 (P6) P0066 せ-11 土師器(1) 堀立柱建物 78 号 (P6) P0066 せ-11 土師器(1) 堀立柱建物 78 号 (P6)	P0008	せ-11	土師器(2), 鉄滓(1)	
P0018 そ -11 土師器(1) P0023 せ -11 白磁(1)、粘土塊(7)、石器(1) P0024 た -6 粘土塊(2) 掘立柱建物 79 号 (P7) P0027 せ -11 土師器(1)、粘土塊(3) P0028 た -7 龍泉窯系青磁(1)、石器(7) P0032 せ -11 力ムイヤキ(1) P0033 せ -11 粘土塊(7)、施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 79 号 (P2) P0041 せ -11 土師器(1)、布器(1) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0042 せ -11 土師器(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P9) P0048 せ -11 カムイヤキ(1)、鉄滓(1)、石器(1)、軽石(1)、軽石(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0049 せ -11 鉄滓(2) P0051 せ -11 土師器(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0052 せ -11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0056 せ -11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0057 せ -11 土師器(5)、粘土塊(1)、石器(2) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0061 せ -11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ -10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3)	P0012	た-98	土師器(2), 須恵器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2),	
P0023 せ-11 土師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑 掘立柱建物 79号 (P7) P0024 た-6 粘土塊(2) 掘立柱建物 80号 (P1) P0027 せ-11 土師器(1), 粘土塊(3) P0028 た-7 龍泉窯系青磁(1), 石器(7) P0031 せ-11 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 80号 (P2) P0035 せ-11 粘土塊(7) 掘立柱建物 79号 (P5) P0041 せ-11 土師器(14), 石器(1) 掘立柱建物 79号 (P5) P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78号 (P8) P0050 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0051 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P7) P0050 せ-11 土師器(2) P0051 せ-11 土師器(2) P0052 せ-11 土師器(3), 粘土塊(2), 石器(2) P0051 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0052 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 土師器(1) 掘立柱建物 78号 (P6)	P0018	そ-11		
P0023 せ-11 土師器(1), 須恵器(1), カムィヤキ(2), 滑 掘立柱建物 79号 (P7) P0024 た-6 粘土塊(2) 掘立柱建物 80号 (P1) P0027 せ-11 土師器(1), 粘土塊(3) P0028 た-7 龍泉窯系青磁(1), 石器(7) P0031 せ-11 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 80号 (P2) P0035 せ-11 粘土塊(7) 掘立柱建物 79号 (P5) P0041 せ-11 土師器(14), 石器(1) 掘立柱建物 79号 (P5) P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78号 (P8) P0050 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0051 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P7) P0050 せ-11 土師器(2) P0051 せ-11 土師器(2) P0052 せ-11 土師器(3), 粘土塊(2), 石器(2) P0051 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0052 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 土師器(1) 掘立柱建物 78号 (P6)	P0022	せ-11	白磁(1), 粘土塊(7), 石器(1)	
P0027 せ-11 土師器(1)、粘土塊(3) P0028 た-7 龍泉窯系青磁(1)、石器(7) P0032 せ-11 カムィヤキ(1) P0033 せ-11 粘土塊(7)、施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 79号 (P2) P0035 せ-11 土師器(1)、施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 79号 (P5) P0041 せ-11 土師器(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0045 せ-11 カムィヤキ(1)、鉄滓(1)、石器(1)、軽石(1) 掘立柱建物 78号 (P8) P0048 せ-11 数字(2) 掘立柱建物 78号 (P8) P0051 せ-11 土師器(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P7) P0052 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P7) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P7) P0056 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P6) P0057 せ-11 類患器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0023	せ-11		
P0028 た-7 龍泉窯系青磁(1), 石器(7) P0032 せ-11 カムィヤキ(1) P0033 せ-11 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 80 号 (P2) P0035 せ-11 粘土塊(7) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0041 せ-11 土師器(1), 石器(1) 地立柱建物 78 号 (P9) P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0049 せ-11 共師器(1), 粘土塊(1) 地土銀土塊(1) P0051 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0056 せ-11 丸師器(2) 地立柱建物 78 号 (P6) P0057 せ-11 類恵器(2) 地立柱建物 78 号 (P6) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0024	た-6	粘土塊(2)	
P0032 せ-11 カムィヤキ(1) 掘立柱建物80号 (P2) P0033 せ-11 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物79号 (P5) P0041 せ-11 土師器(1), 石器(1) 地立柱建物79号 (P5) P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物78号 (P9) P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 妖滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物78号 (P9) P0048 せ-11 鉄滓(2) 虚立柱建物78号 (P8) P0049 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 虚立柱建物78号 (P7) P0051 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物78号 (P7) P0053 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) 虚立柱建物78号 (P6) P0057 せ-11 須恵器(2) 虚立柱建物78号 (P6) P0058 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号 (P6) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 押金柱建物79号 (P3)	P0027	せ-11	土師器(1), 粘土塊(3)	
P0033 せ-11 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物80号(P2) P0035 せ-11 粘土塊(7) 掘立柱建物79号(P5) P0041 せ-11 土師器(14), 石器(1) ボロイヤキ(17) P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物78号(P9) P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 妖津(1), 石器(1), 軽石(1), 軽石(1) 掘立柱建物78号(P8) P0049 せ-11 鉄滓(2) 生の51 土師器(1), 粘土塊(1) P0051 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物78号(P7) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物78号(P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) ボロ村建物78号(P6) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) 掘立柱建物78号(P6) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号(P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物79号(P3)	P0028	た-7	龍泉窯系青磁(1),石器(7)	
P0033 ゼ-11 粘土塊(7), 施細陶磁器(1) 80 号 (P2) P0035 ゼ-11 粘土塊(7) 掘立柱建物 79 号 (P5) P0041 ゼ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0042 ゼ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P9) P0048 ゼ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0049 ゼ-11 共師器(1), 粘土塊(1) ボロイ建物 78 号 (P8) P0051 ゼ-11 土師器(1) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0053 ゼ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0056 ゼ-11 丸師器(2) ボロイ建物 78 号 (P6) P0057 ゼ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0061 ゼ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 ゼ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3) P0064 ゼ-11 土師器(2)	P0032	せ-11	カムィヤキ(1)	
P0035 セ-11 粘工塊() 79号 (P5) P0041 せ-11 土師器(1), 石器(1) 据立柱建物 78号 (P9) P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78号 (P8) P0049 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 地土地域(1) P0051 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P7) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P7) P0056 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P6) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) 掘立柱建物 78号 (P6) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0033	せ-11	粘土塊(7),施釉陶磁器(1)	
P0042 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物 78 号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78 号 (P8) P0049 せ-11 鉄滓(2) P0051 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0052 せ-11 粘土塊(1) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0035	せ-11	粘土塊(7)	
P0045 せ-11 カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1) 掘立柱建物 78号 (P9) P0048 せ-11 カムィヤキ(1), 石器(1) 掘立柱建物 78号 (P8) P0049 せ-11 鉄滓(2) P0051 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0052 せ-11 粘土塊(1) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78号 (P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0041	せ-11	土師器(14), 石器(1)	
P0048 セ-11 ガムイヤキ(1), 妖澤(1), 石器(1) 78号 (P9) P0049 せ-11 鉄滓(2) P0051 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0052 せ-11 粘土塊(1) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物78号 (P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物79号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0042	せ-11	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0048 ゼ-11 カムイヤキ(1), 石器(1) 78号(P8) P0049 ゼ-11 鉄滓(2) P0051 ゼ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0052 ゼ-11 粘土塊(1) P0053 ゼ-11 土師器(2) P0056 ゼ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 ゼ-11 須恵器(2) P0058 ゼ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 ゼ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号(P6) P0062 ゼ-10 土師器(1) 掘立柱建物79号(P3) P0064 ゼ-11 土師器(2)	P0045	せ-11	カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 石器(1), 軽石(1)	
P0051 せ-11 土師器(1), 粘土塊(1) P0052 せ-11 粘土塊(1) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物78号(P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号(P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物79号(P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0048	せ-11	カムィヤキ(1), 石器(1)	
P0052 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0049	せ-11	鉄滓(2)	
P0053 せ-11 土師器(2) 掘立柱建物 78 号 (P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 押り号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0051	せ-11	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0053 セ-11 土師器(2) 78号 (P7) P0056 せ-11 土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2) P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 据立柱建物 78号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 振立柱建物 79号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0052	せ-11	粘土塊(1)	
P0057 せ-11 須恵器(2) P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物78号(P6) 掘立柱建物79号(P3) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物79号(P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0053	せ-11	土師器(2)	
P0058 せ-11 土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2) P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0056	せ-11	土師器(9), 粘土塊(2), 石器(2)	
P0061 せ-11 粘土塊(1) 掘立柱建物 78 号 (P6) P0062 せ-10 土師器(1) 掘立柱建物 79 号 (P3) P0064 せ-11 土師器(2)	P0057	せ-11	須恵器(2)	
P0061 ゼー11 粘土塊(1) 78号 (P6) P0062 ゼー10 土師器(1) 掘立柱建物 79号 (P3) P0064 ゼー11 土師器(2)	P0058	せ-11	土師器(5), 粘土塊(1), 石器(2)	
P0062 ゼ-10 工師器(1) 79号 (P3) P0064 ゼ-11 土師器(2)	P0061	せ-11	粘土塊(1)	
	P0062	せ-10	土師器(1)	
P0065 せ-11 鉄滓(1)	P0064	せ-11	土師器(2)	
	P0065	せ-11	鉄滓(1)	

第 163 表 ピット内出土遺物(15)

P0066 せ-11 粘土塊(1) 掘立: 79号 P0067 そ-11 土師器(1), 粘土塊(3), 石器(2) P0071 せ-11 粘土塊(5) 掘立:	柱建物
P0066 ゼーII 粘土塊(1) 79号 P0067 そ-11 土師器(1), 粘土塊(3), 石器(2) P0071 ゼー11 粘土塊(5)	
P0071 せ-11 粘土塊(5) 掘立	P2)
	柱建物 } (P2)
P0072 そ -11 粘土塊(2)	
P10.074 行 -	柱建物 } (P3)
1 20075 位 - 1 1 私工 場(3)	柱建物 (P5)
P0077 せ-11 土師器(1)	()
P0078 せ-11 土師器(1), 粘土塊(3)	
P0079 せ-11 土師器(2)	
P0082 せ-10 土師器(2)	
P0089 せ-10 土師器(1)	
P0091 せ-10 土師器(2), 須恵器(1), 鞴の羽口(1)	
P0093 せ-10 土師器(2)	
P0095 せ-11 石器(1)	
P0097 せ-11 土師器(12), 粘土塊(3)	
P0101 せ-10 鞴の羽口(1), 粘土塊(6)	
P0103 せ-10 土師器(2), 粘土塊(1)	
P0105 世-10 土師器(2), 鉄滓(5)	
P0106 せ-10 土師器(1), 粘土塊(5), 石器(1)	
P0107 せ-10 軽石(1)	
TOTAL CONTRACTOR	柱建物
71号 P0111 そ-9 粘土塊(1)	(P6)
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	柱建物
120114 ケ-9 幅(/):31 /1	性) (P8)
P0115 せ-9 龍泉窯系青磁(1), 粘土塊(1), 施釉陶磁器 掘立; [1] 74号	柱建物 } (P4)
DN ハ ケ = Q 十四天 ハ ****	柱建物 } (P10)
120177 ゲ-9 村工場(1)	柱建物 } (P8)
POT ス ケ -9 石表(I) 「****	柱建物 } (P5)
P(I) /5 ゲ-9 石表	柱建物 } (P4)
P0126 そ-9 鉄滓(1), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0128 せ-9 土師器(2), 鉄製品(1), 鞴の羽口(1), 粘土 塊(7)	
P0129 せ-9 粘土塊(3), 石器(1)	
[P0]31 7-9	柱建物 } (P4)
P() 3/ - 秩冷 粘土塊	柱建物 } (P1)
120 34 ケ-9 澄石型石器 秩文 石表	柱建物 } (P2)
P0135 天-9 黒色土器(1), 土師器(3), 粘土塊(4), 石器 掘立	
P0139 そ-9 ガムイヤキ(1), 鉄滓(3), 粘土塊(1), 石器(6), 72 号 軽石(2)	柱建物 ; (P4)
10 14	柱建物 H(P10)
120143 1 7 -9 1石器(3)	柱建物 H (P2)
101145 ゲ-9 私工場口	柱建物 (P4)
P(1) 46 ケ-× 9 秩文(1) 精工場(6)	柱建物 ; (P1)
P0151 そ-8 粘土塊(4)	

第 164 表 ピット内出土遺物(16)

第 164	天 ヒツ	ト内出土遺物(16)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0156	そ-8	土師器(1),滑石二次加工品(1),石器(2)	
P0169	そ-8	粘土塊(1)	掘立柱建物 68 号(P1)
P0172	そ-8	土師器(1), カムィヤキ(1)	掘立柱建物 67号(P8)
P0174	そ-8	土師器(1), 粘土塊(2)	
P0177	せ-8	粘土塊(2)	
P0179	せ-8	粘土塊(1)	掘立柱建物 68 号(P7)
P0181	せ-8	滑石製石鍋(1),粘土塊(7)	
P0183	せ-8	粘土塊(1)	掘立柱建物 68 号(P5)
P0186	せ-8	粘土塊(1), 施釉陶磁器(2), 石器(1)	
P0195	せ-8	粘土塊(2)	
P0199	せ-8	土師器(2)	
P0200	せ-8	土師器(1), カムィヤキ(1), 鞴の羽口(2), 石器(1)	掘立柱建物 75 号(P2)
P0201	せ-8	カムィヤキ(1), 粘土塊(9), 炭化物(1)	掘立柱建物 73 号(P3)
P0208	そ-9	石器(4)	掘立柱建物 70 号(P5)
P0209	そ-9	鉄滓(1)	
P0210	そ-9	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	掘立柱建物 70号(P4)
P0212	そ-9	土師器(1)	掘立柱建物 70 号(P3)
P0213	そ-9	土師器(1)	掘立柱建物 70 号(P2)
P0214	-	炭化物(1)	掘立柱建物 70 号(P1)
P0215	た-9	黒色土器(1)	
P0220	そ-9	粘土塊(4)	掘立柱建物 70号 (P13)
P0221	そ-9	土師器(6)	掘立柱建物 70号(P14)
P0226	そ-9	越州窯系青磁(1)	
P0230	そ-8	龍泉窯系青磁(1)	
P0232	そ-8	粘土塊(1)	
P0235	そ-9	粘土塊(1)	
P0236	そ-9	石器(1)	
P0243	そ-9	白磁(1)	
P0244	た-9	土師器(1)	
P0247	た-9	粘土塊(4), 炭化物(1)	
P0248	た-9	土師器(3), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0249	そ-9	鉄滓(40)	
P0265	そ-8	土師器(11), 越州窯系青磁(1), 龍泉窯系青磁(1), 鞴の羽口(3), 石器(1)	
P0266	そ-8	土師器(14), 須恵器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1), 軽石(1)	
P0267	そ-8	鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0273	た-8	須恵器(1)	
P0275	そ-8	カムィヤキ(1)	
P0281	た-8	粘土塊(1)	
P0284	た-8	粘土塊(3)	
P0294	た-8	滑石製石鍋(1)	
P0297	そ-7	鉄滓(1)	
P0299	た-8	龍泉窯系青磁(2)	
P0301	そ-8	滑石製石鍋(1), 龍泉窯系青磁(2), 粘土塊(2)	
P0302	た-8	龍泉窯系青磁(1)	掘立柱建物 69 号 (P6)
P0303	は-8	 龍泉窯系青磁(1)	07 7 (FU)
L 0303	10. 0	DESTANCE D PART ! /	

第 165 表 ピット内出土遺物(17)

第 165		ト内出土遺物(17)	
	グリッド		備考
P0306	た-8	白磁(1),龍泉窯系青磁(1),石器(1)	掘立柱建物
P0311	た-8	滑石製石鍋(1)	56号 (P9)
P0317	た-8	須恵器(1),朝鮮系無釉陶器(1),白磁(1)	10-10-10-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1
P0319	た-8	滑石製石鍋(1), 鉄滓(2), 軽石(1)	掘立柱建物 60号(P17)
P0321	た-8	石器(1)	
P0322	た-8	土師器(1)	
P0324	た-7	粘土塊(3), 石器(2)	
P0325	た-6	天目(1), 石器(1) 土師器(2), カムィヤキ(1), 粘土塊(5), 炭	堀六粒建物
P0326	た-8	化物(1)	59号 (P19)
P0329	た-8	龍泉窯系青磁(1)	
P0332	た-7	滑石二次加工品(1)	10 1127446
P0334	た-8	石器(1)	掘立柱建物 60 号(P4)
P0337	た-7	土師器(1),石器(1)	掘立柱建物 59号(P15)
P0343	た-7	鞴の羽口(1), 石器(1)	掘立柱建物 59号(P13)
P0347	た-7	土器(1)	掘立柱建物 59号(P12)
P0348	た-7	鉄滓(1), 石器(1)	2 (1 12)
P0352	そ-8	粘土塊(2)	
P0354	そ-8	粘土塊(2)	
P0360	そ-8	龍泉窯系青磁(1),粘土塊(1)	
P0370	た-7	粘土塊(4)	掘立柱建物 59号(P24)
P0371	た-7	土師器(1), 鉄滓(2), 鞴の羽口(2), 粘土塊(6), 炭化物(2)	掘立柱建物 58号 (P2)
P0373	-	粘土塊(1)	掘立柱建物 59号 (P3)
P0375	た-7	土師器(1), 粘土塊(5), 石器(1)	掘立柱建物 58 号(P3)
P0377	た-7	土師器(1),粘土塊(3)	掘立柱建物 58 号(P1)
P0379	た-7	石器(2)	掘立柱建物 59 号(P7)
P0380	た-7	土師器(1)	
P0383	た-7	粘土塊(1), 石器(1), 軽石(1)	掘立柱建物 59号(P10)
P0385	た-7	土師器(1)	
P0386	た-7	土師器(2), 粘土塊(1)	掘立柱建物 57号 (P3)
P0392	た-7	粘土塊(1)	3, 3 (13)
P0394	た-7	土師器(5)	掘立柱建物 54号 (P6)
P0402	た-6	施釉陶磁器(1)	
P0404	た-6	土師器(1)	
P0405	た-6	鞴の羽口(1)	
P0408	た-6	土師器(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0409	ち-6	土師器(1)	掘立柱建物 56 号(P2)
P0410	5-6	越州窯系青磁(1)	
P0413	た-6	土師器(2), 石器(1)	掘立柱建物 56 号(P4)
P0415	5-6	兼久式土器(1)	掘立柱建物 55 号(P9)
P0416	ち-6	石器(1)	
P0420	5-6	土師器(1),炭化物(17)	
P0425	5-6	土師器(1)	掘立柱建物 55 号(P4)
P0426	5-6	粘土塊(1)	
P0428	5-6	須恵器(3), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0432	そ-8	滑石製石鍋(1),粘土塊(1)	

第 166 表 ピット内出土遺物(18)

 遺構旧	第 166	表 ビッ	ト内出土遺物(18)	
PO437	遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
PO438 世·8 土師器(1)、粘土塊(1) PO440 そ·8 炭化物(8) PO446 そ·8 炭化物(8) PO447 世·8 粘土塊(3) 個立柱建物(6~6~(P4)) PO447 世·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(6~6~(P4)) PO448 世·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(4~(P6)) PO450 世·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(4~(P6)) PO451 世·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(4~(P6)) PO451 世·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(4~(P6)) PO452 世·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(4~(P6)) PO453 世·8 土塊(1) 掘立柱建物(5~(P5)) PO454 世·7 須康器(1)、須恵器(1) 掘立柱建物(5~(P9)) PO460 世·7 須康器(1)、和土塊(1)、石器(1) 掘立柱建物(5~(P9)) PO461 世·7 海の製工(1) 掘立柱建物(5~(P9)) PO462 世·7 ガロ製工(1) 掘立柱建物(5~(P9)) PO464 世·7 ガロ製工(1) 掘立柱建物(5~(P9)) PO470 せ·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(5~(P9)) PO471 老·8 粘土塊(1) 掘立柱建物(5	P0433	そ-8	土師器(1),粘土塊(2)	
PO440 そ-8 炭化物(8) PO446 そ-8 粘土塊(3) 加立柱建物(6号 PA) PO447 世-8 粘土塊(2) 石器(1) 銀立柱建物(6号 PA) PO449 世-8 監骨(1) 掘立柱建物(6号 PA) PO450 で-8 粘土塊(2) 加立柱建物(6号 PS) PO451 世-8 粘土塊(2) 加立柱建物(6号 PS) PO452 世-8 粘土塊(4) 石器(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO454 世-8 石器(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO455 サ-7 土師器(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO454 世-8 石器(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO455 サ-7 土師器(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO460 世-7 資恵製工(1) 無型(1) 無立柱建物(6号 PS) PO461 世-7 ガラス玉(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO462 世-7 ガラスエ(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO470 世-8 粘土塊(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO471 世-8 粘土塊(1) 掘立柱建物(6号 PS) PO482 方-6 粘土塊(1) 掘立柱建物(6号 PS)	P0437	そ-8	鉄滓(1),粘土塊(2)	
P0446 준-8 粘土塊3 据立柱建物(6号(P4)) P0447 世·8 粘土塊2,石器(1),數骨(1) 据立柱建物(6号(P4)) P0448 世·8 觀察案青磁(1) 据立柱建物(6号(P6)) P0450 て·8 粘土塊2) 据立柱建物(64号(P6)) P0451 世·8 粘土塊2) 据立柱建物(4号(P5)) P0452 世·8 石器(1) 据立柱建物(4号(P5)) P0454 世·8 石器(1) 据立柱建物(4号(P5)) P0458 5-7 土師器(1), 須恵器(1) 掘立柱建物(56号(P15)) P0458 5-7 土師器(1), 須恵器(1) 掘立柱建物(56号(P15)) P0459 世·7 潤売製石鍋(1), 粘土塊1), 石器(1), 軽石(1), 延立柱建物(56号(P9)) 掘立柱建物(56号(P1)) P0460 世·7 ガラス玉(1) 加立柱建物(56号(P1)) P0460 世·7 ガラス玉(1) 加立柱建物(56号(P1)) P0460 世·7 ガラス玉(1) 加立柱建物(56号(P3)) P0470 世·8 粘土塊1) 加立柱建物(56号(P4)) P0471 老·8 粘土塊1) 掘立柱建物(56号(P3)) P0472 老·6 土師器(1), 長漱(1), 新土塊(1) 掘立柱建物(55号(P3)) P0480 ち·6 <td< td=""><td>P0438</td><td>せ-8</td><td>土師器(1),粘土塊(1)</td><td></td></td<>	P0438	せ-8	土師器(1),粘土塊(1)	
P0444 世・8 粘土塊2)、石器(1)、獸骨(1) 掘立柱建物 66号 (P4) P0448 世・8 龍泉窯系青磁(1) 掘立柱建物 64号 (P6) P0449 世・8 獣骨(1) 掘立柱建物 64号 (P6) P0450 で・8 粘土塊2) 加立柱建物 64号 (P5) P0452 世・8 粘土塊4, 石器(1) 掘立柱建物 64号 (P5) P0454 世・8 石器(1) 掘立柱建物 56号 (P15) P0454 世・8 石器(1) 掘立柱建物 64号 (P5) P0450 世・7 連線系系青磁(1) 掘立柱建物 64号 (P5) P0460 世・7 濃度器(1)、須惠器(1) 掘立柱建物 64号 (P5) P0462 世・7 濃度器(1)、石器(3) 掘立柱建物 63号 (P9) P0464 世・7 濃度器(1)、海石製石鍋(1)、粘土塊(1)、石 200円(1)。 掘立柱建物 65号 (P4) P0460 世・7 満定製石鍋(1)、粘土塊(1)、石 200円(1)。 掘立柱建物 65号 (P4) P0470 せ・8 粘土塊1) 加立柱建物 55号 (P4) P0471 モ・6 土地塊1) 加立柱建物 55号 (P4) P0472 モ・6 土地塊1) 加立柱建物 55号 (P3) P0483 た・6 土地塊1) 掘立柱建物 55号 (P6) P0492 た・6 <t< td=""><td>P0440</td><td>そ-8</td><td>炭化物(18)</td><td></td></t<>	P0440	そ-8	炭化物(18)	
PO444 せ-8 松工児(人, 白級(人, 新育(工)) 66 号 (P4) PO448 せ-8 獣骨(1)	P0446	そ-8	粘土塊(3)	
P0449 世 - 8 獣骨(1) 掘立柱建物 64 号 (P6) P0450 て - 8 粘土塊(2) P0451 世 - 8 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 64 号 (P5) P0452 世 - 8 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 64 号 (P5) P0454 世 - 8 石器(1) 掘立柱建物 56 号 (P15) P0460 世 - 7 龍泉窯系青磁(1) 64 号 (P9) P0460 世 - 7 須惠器(1), 石器(3) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0462 世 - 7 須恵器(1), 石器(3) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0464 世 - 7 須恵器(1), 石器(3) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0466 世 - 7 ガラス玉(1) 振立柱建物 63 号 (P9) P0470 世 - 8 粘土塊(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 55 号 (P4) P0472 そ - 8 粘土塊(1) 加立柱建物 55 号 (P4) P0482 方 - 6 土師器(1), 鉄溶(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 55 号 (P3) P0493 方 - 6 土師器(1), 鉄溶(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 55 号 (P3) P0501 た - 6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物 54 号 (P4) P0503 た - 6 土師器(1), 総本地塊(1) 掘立柱建物 63 号 (P13)				
PO450 で-8 試育(1) 64 号 (P6) PO450 で-8 松土塊(2) 担・8 松土塊(3) 掘立柱建物 (4 号 (P5)	P0448	せ-8	龍泉窯系青磁(1)	
P0451 世・8 粘土塊2) 掘立柱建物 64号 (P5) P0452 世・8 粘土塊4, 石器(1) 掘立柱建物 64号 (P5) P0454 世・8 石器(1) 掘立柱建物 64号 (P5) P0458 ち・7 土師器(1)、須恵器(1) 掘立柱建物 56号 (P15) P0460 世・7 瀧泉器(1)、石器(3) 掘立柱建物 63号 (P9) P0462 世・7 濱東器(1)、石器(3) 掘立柱建物 63号 (P9) P0464 世・7 港石製石鍋(1)、粘土塊(1)、石器(1)、軽石(1)、反比物(1)、 井田県1)、石器(1)、 井田県1) 掘立柱建物 65号 (P4) P0470 世・8 粘土塊(1) 掘立柱建物 55号 (P4) P0471 老・8 粘土塊(1) 掘立柱建地 955号 (P4) P0472 そ・8 粘土塊(1) 掘立柱建地 955号 (P4) P0473 そ・8 粘土塊(1) 掘立柱建地 955号 (P4) P0482 方・6 土師器(1) 掘立柱建地 955号 (P3) P0483 た・6 土師器(1) 掘立柱建地 955号 (P3) P0492 た・6 土師器(1)、鉄率(1)、粘土塊(3) 掘立柱建地 955号 (P3) P0501 た・6 土師器(1)、 須東器(1)、石器(1) 掘立柱建地 954号 (P3) P0503 た・6 粘土塊(1) 掘立柱建地 963号 (P13) P0511				
P0452 せ-8 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 64 号 (P5) P0454 せ-8 石器(1) 掘立柱建物 56 号 (P15) P0458 ち-7 土師器(1), 須恵器(1) 掘立柱建物 56 号 (P15) P0460 せ-7 龍泉窯系青磁(1) 掘立柱建物 64 号 (P9) P0462 せ-7 須恵器(1), 石器(3) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0464 せ-7 須恵器(1), 沿石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1), 接石(1), 炭化物(1) 加立柱建物 65 号 (P4) P0470 せ-8 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 65 号 (P4) P0472 そ-8 粘土塊(1) 掘立柱建物 55 号 (P4) P0473 そ-8 粘土塊(1) 掘立柱建物 55 号 (P3) P0481 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P3) P0482 ち-6 土師器(1), 鉄澤(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 55 号 (P6) P0489 ち-6 土師器(3), 鉄澤(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 54 号 (P4) P0501 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物 54 号 (P4) P0505 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物 54 号 (P3) P0511 た-6 土師器(1), 施土塊(2) 掘立柱建物 54 号 (P13) P0512 を-7 共際(1), 施土塊(1), 炭化				
PO452 せ・8 石器(1)	P0451	せ-8	粘土塊(2)	+D
P0458 5 - 7 土師器(1), 須恵器(1) 掘立柱建物 56 号 (P15) P0460 せ - 7 龍泉窯系青磁(1) 掘立柱建物 64 号 (P9) P0462 せ - 7 須恵器(1), 石器(3) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0464 せ - 7 須恵器(1), 粘土塊(1), 石器(1), 軽石(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0470 せ - 8 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 65 号 (P4) P0472 そ - 8 粘土塊(1) 堀立柱建物 55 号 (P4) P0473 そ - 8 粘土塊(1) 堀立柱建物 55 号 (P4) P0482 ち - 6 土師器(1) 堀立柱建物 55 号 (P3) P0489 ち - 6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P3) P0490 た - 6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P6) P0490 た - 6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P6) P0501 た - 6 土師器(1) 掘立柱建物 54 号 (P4) P0505 た - 6 土師器(1) 掘立柱建物 54 号 (P3) P0507 た - 6 粘土塊(1) 掘立柱建物 54 号 (P3) P0511 た - 6 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0513 た - 6 粘土塊(1) 掘立柱建物 63 号 (P13)				
P0460 せ - 7 龍泉窯系青磁(1) 56 号 (P15) P0460 せ - 7 龍泉窯系青磁(1) 掘立柱建物 64 号 (P9) P0462 せ - 7 須恵器(1), 石器(3) 掘立柱建物 63 号 (P9) P0464 せ - 7 満石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1), 軽石(1), 炭化物(1) 加立柱建物 65 号 (P4) P0470 せ - 8 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 65 号 (P4) P0473 そ - 8 粘土塊(1) 加立柱建物 55 号 (P3) P0482 ち - 6 土師器(1), 鉄溶(1), 粘土塊(3) 振立柱建物 55 号 (P3) P0489 ち - 6 土師器(1), 鉄溶(1), 粘土塊(3) 据立柱建物 55 号 (P3) P0490 方 - 6 土師器(3), 鉄溶(1), 粘土塊(3) 据立柱建物 54 号 (P4) P0501 た - 6 土師器(3), 鉄溶(1), 石器(1) 掘立柱建物 54 号 (P4) P0505 た - 6 土師器(3), 鉄溶(1), 石器(1) 掘立柱建物 54 号 (P3) P0507 た - 6 粘土塊(2) P0511 た - 6 土師器(1), 指土塊(1) P0512 そ - 7 土師器(1), 施油陶磁器(1) P0513 た - 6 粘土塊(1), 施和陶磁器(1) P0523 そ - 7 白硫(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55	P0454	せ-8	石器(1)	10 1 12744
P0460 セ-7 龍坂無系青城(1) 64 号 (P9) P0462 せ-7 須恵器(1), 石器(3) 掘立柱建物(3 号 (P9) P0464 せ-7 炭化物(1) P0470 せ-8 出手師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石 掘立柱建物(55 号 (P4)) P0470 せ-8 粘土塊(1) P0471 そ-8 粘土塊(1) P0473 そ-8 粘土塊(1) P0482 5-6 土師器(1) 掘立柱建物(55 号 (P4)) P0483 た-6 基師器(1) 掘立柱建物(55 号 (P3)) P0489 5-6 粘土塊(1) 掘立柱建物(55 号 (P3)) P0490 た-6 土師器(1) 無立柱建物(55 号 (P3)) P0501 た-6 土師器(1) 掘立柱建物(54 号 (P4)) P0505 た-6 土師器(1) 掘立柱建物(54 号 (P4)) P0506 た-6 土師器(1) 掘立柱建物(54 号 (P3)) P0507 た-6 土師器(1) 無立柱建物(54 号 (P3)) P0507 た-6 土師器(1) 無立柱建物(54 号 (P3)) P0507 た-6 土師器(1) 掘立柱建物(54 号 (P3)) P0501 た-6 土師器(1) 掘立柱建物(54 号 (P3)) P0513 た-6	P0458	ち-7	土師器(1), 須恵器(1)	56号(P15)
P0462 セ・フ	P0460	せ-7	龍泉窯系青磁(1)	64号 (P9)
P0464 セ・フラス玉(1) P0470 せ・8 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石 掘立柱建物 65号 (P4) P0472 そ・8 粘土塊(1) P0483 た・6 鞴の羽口(1), 石器(1) P0483 た・6 鞴の羽口(1), 石器(1) P0489 ち・6 粘土塊(1) 掘立柱建物 55号 (P3) P0492 た・6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 55号 (P6) P0496 ち・6 土師器(3), 鉄滓(1) 掘立柱建物 54号 (P4) P0501 た・6 土師器(3), 鉄滓(1) 掘立柱建物 54号 (P3) P0508 た・6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物 54号 (P3) P0511 た・6 土師器(1), 独土塊(1) 掘立柱建物 63号 (P3) P0512 そ・7 土師器(6), 土器(1), 粘土塊(8) 掘立柱建物 63号 (P13) P0513 た・6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) 掘立柱建物 63号 (P13) P0523 そ・7 白磁(1) 掘立柱建物 55号 (P11) P0531 そ・6 土師器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55号 (P13) P0533 ち・6 無土塊(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55号 (P13) P0538 ち・6 土師器(1) 掘立柱建物 63号 (P13) P0541 と・7	P0462	せ-7	7	
P0470 世・8 器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 石 掘立柱建物 65 号 (P4) P0472 そ・8 粘土塊(1) P0473 そ・8 粘土塊(1) P0482 ち・6 土師器(1) P0483 た・6 鞴の羽口(1), 石器(1) P0489 ち・6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(3) P0490 た・6 土師器(2), 株土塊(1) P0501 た・6 土師器(3), 鉄滓(1) P0505 た・6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) P0508 た・6 土師器(1), 指土塊(1) P0511 た・6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ・7 土師器(6), 土器(1), 粘土塊(3) P0513 た・6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ・8 土師器(1) P0523 そ・7 白磁(1) P0531 そ・6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち・6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0531 そ・6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち・6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち・6 土師器(1), 炭化物(1) 振立柱建物(55 号 (P13) P0538 ち・6 土師器(1) 振立柱建物(55 号 (P13) P0539 ち・6 土師器(1) 振立柱建物(4) 長 (P1) P0541 と・7 土師器(1) 掘立柱建物(4) 長 (P1) P0542 と・7 土師器(1), 石器(4) 福立柱建物(3 号 (P12)			炭化物(1)	
PO470 10	P0466	せ-7		10 1 127 2 2 4 4
P0473 そ-8 粘土塊(1) P0482 ち-6 土師器(1) P0483 た-6 鞴の羽口(1),石器(1) P0489 ち-6 粘土塊(1) 掘立柱建物55号(P3) P0492 た-6 土師器(1),数字(1),粘土塊(3) 掘立柱建物55号(P6) P0496 ち-6 土師器(2),粘土塊(1) 掘立柱建物54号(P4) P0501 た-6 土師器(1),須惠器(1),石器(1) 掘立柱建物54号(P3) P0508 た-6 粘土塊(2) P0511 た-6 土師器(1),粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(6),土器(1),粘土塊(3) P0513 た-6 粘土塊(1),施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) P0523 そ-7 鉄滓(1),粘土塊(1) P0531 そ-6 土師器(3),数字(1),粘土塊(2) P0533 ち-6 兼久式土器(1),炭化物(1) 掘立柱建物55号(P13) P0538 ち-6 粘土塊(4),炭化物(1) 掘立柱建物55号(P13) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0541 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P14) P0546 そ-7 粘土塊(2),石器(1) 掘立柱建物63号(P14) <t< td=""><td></td><td></td><td>器(1)</td><td></td></t<>			器(1)	
P0482 ち - 6 土師器(1) P0483 た - 6 鞴の羽口(1),石器(1) P0489 ち - 6 粘土塊(1) 掘立柱建物55 号 (P3) P0492 た - 6 土師器(1),鉄滓(1),粘土塊(3) 掘立柱建物55 号 (P6) P0496 ち - 6 土師器(2),粘土塊(1) 掘立柱建物54 号 (P4) P0501 た - 6 土師器(1),須惠器(1),石器(1) 掘立柱建物54 号 (P3) P0508 た - 6 粘土塊(2) P0511 た - 6 土師器(1),粘土塊(1) P0512 そ - 7 土師器(6),土器(1),粘土塊(3) P0513 た - 6 粘土塊(1),施釉陶磁器(1) P0514 そ - 8 土師器(1) P0523 そ - 7 白磁(1) P0524 と - 7 共師器(3), 鉄滓(1),粘土塊(2) P0531 ぞ - 6 土師器(3), 鉄滓(1),粘土塊(2) P0533 ち - 6 兼久式土器(1),炭化物(1) 掘立柱建物55 号 (P13) P0538 ち - 6 粘土塊(4),炭化物(1) 掘立柱建物55 号 (P3) P0541 と - 7 粘土塊(1),石器(1) 掘立柱建物63 号 (P12) P0542 と - 7 土師器(1) 掘立柱建物63 号 (P12) P0543 ぞ - 8 鉄滓(1),石器(4) 掘立柱建物63 号 (P12) P0546 ぞ - 7 <				
P0489 た - 6 鞴の羽口(1)、石器(1) 掘立柱建物55 号 (P3) P0492 た - 6 土師器(1)、鉄滓(1)、粘土塊(3) 掘立柱建物55 号 (P6) P0496 ち - 6 土師器(2)、粘土塊(1) 掘立柱建物54 号 (P4) P0501 た - 6 土師器(3)、鉄滓(1) 掘立柱建物54 号 (P4) P0505 た - 6 土師器(1)、須恵器(1)、石器(1) 掘立柱建物54 号 (P3) P0508 た - 6 粘土塊(2) P0511 た - 6 土師器(1)、粘土塊(1) P0512 そ - 7 土師器(6)、土器(1)、粘土塊(3) P0513 た - 6 粘土塊(1)、施釉陶磁器(1) P0514 そ - 8 土師器(1) 掘立柱建物63 号 (P13) P0523 そ - 7 鉄滓(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物55 号 (P13) P0531 そ - 6 土師器(3)、鉄滓(1)、粘土塊(2) 掘立柱建物55 号 (P13) P0533 ち - 6 兼久式土器(1)、炭化物(1) 掘立柱建物55 号 (P13) P0538 ち - 6 粘土塊(4)、炭化物(1) 掘立柱建物56 号 (P3) P0539 ち - 6 土師器(1) 掘立柱建物63 号 (P13) P0541 と - 7 土師器(1) 掘立柱建物63 号 (P14) P0543 そ - 8 鉄滓(1)、石器(4) 編立柱建物63 号 (P2) P0546 そ - 7<	P0473			
P0489 ち-6 粘土塊(1) 掘立柱建物55号(P3) P0492 た-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物55号(P6) P0496 ち-6 土師器(2), 粘土塊(1) 掘立柱建物54号(P4) P0501 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物54号(P3) P0508 た-6 粘土塊(2) P0511 た-6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(1), 粘土塊(1) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物63号(P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物55号(P13) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物55号(P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物56号(P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0541 と-7 土師器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物63号(P12) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物63号(P12)				
P0492 た-6 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(3) 55 号 (P3) P0496 ち-6 土師器(2), 粘土塊(1) P0501 た-6 土師器(3), 鉄滓(1) 掘立柱建物54号 (P4) P0505 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物54号 (P3) P0508 た-6 土師器(1), 福土塊(1) P0511 た-6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(1), 粘土塊(1) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) 掘立柱建物63号 (P13) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物63号 (P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物55号 (P11) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物55号 (P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物55号 (P3) P0538 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物66号 (P3) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物63号 (P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(1) 掘立柱建物63号 (P12) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物63号 (P12) <t< td=""><td>P0483</td><td>た-6</td><td>鞴の羽口(1), 石器(1)</td><td></td></t<>	P0483	た-6	鞴の羽口(1), 石器(1)	
P0496 ち-6 土師器(1), 鉄洋(1), 粘土塊(1) P0501 た-6 土師器(2), 粘土塊(1) P0505 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物54号(P4) P0508 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物54号(P3) P0511 た-6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(1), 粘土塊(1) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物63号(P13) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物63号(P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物55号(P11) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物55号(P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物56号(P3) P0538 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物66号(P3) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物63号(P14) P0546 そ-7 株土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物63号(P2)	P0489	5-6	粘土塊(1)	55号 (P3)
P0501 た-6 土師器(3), 鉄滓(1) 掘立柱建物54号 (P4) P0505 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物54号 (P3) P0508 た-6 粘土塊(2) P0511 た-6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(6), 土器(1), 粘土塊(3) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物63号 (P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物55号 (P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物55号 (P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物56号 (P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物64号 (P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物63号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物63号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物63号 (P2)				
P0501 た-6 土師器(3), 鉄澤(1) 54号(P4) P0505 た-6 土師器(1), 須恵器(1), 石器(1) 掘立柱建物54号(P3) P0511 た-6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(1), 粘土塊(3) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物63号(P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物55号(P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物55号(P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物56号(P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物63号(P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物63号(P2)	P0496	5-6	土帥器(2),粘土塊(1)	10-1-127-41-
P0505 7c - 6 工師部(1), 須思語(1), 石語(1) 54 号 (P3) P0508 た - 6 粘土塊(2) P0511 た - 6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ - 7 土師器(6), 土器(1), 粘土塊(3) P0513 た - 6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0523 そ - 7 白磁(1) 掘立柱建物 F0525 と - 7 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0531 そ - 6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち - 6 土師器(1) 掘立柱建物 F0536 た - 6 土師器(1) 掘立柱建物 F0537 ち - 6 土師器(1) P0540 と - 7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 F0541 と - 7 土師器(1) 掘立柱建物 F0542 と - 7 土師器(1) 堀立柱建物 F0543 そ - 8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 F0544 そ - 7 土師器(1) 堀立柱建物 F0545 そ - 7 土地塊(2), 石器(1) 堀立柱建物 F0546 そ - 7 米土塊(2), 石器(1) 堀立柱建物 F0577 そ - 7 鉄滓(2) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 堀立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 田立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 田立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 田立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 田立柱建物 F0577 長子(7) 鉄字(2) 田立柱建物 F0577 長子(7) 長子(7) 田立柱建物 F0577 長子(7) 日本(7) 田立柱建物 F0578 長子(7) 日本(7) P0501	た-6	土師器(3), 鉄滓(1)	54号 (P4)	
P0511 た-6 土師器(1), 粘土塊(1) P0512 そ-7 土師器(6), 土器(1), 粘土塊(3) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0525 と-7 鉄滓(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 55 号 (P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 55 号 (P11) P0533 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物 56 号 (P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2)				
P0512 そ-7 土師器(6), 土器(1), 粘土塊(3) P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0514 そ-8 土師器(1) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0525 と-7 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55 号 (P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物 56 号 (P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2)				
P0513 た-6 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1) P0524 そ-8 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0525 と-7 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55 号 (P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物 55 号 (P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物 56 号 (P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63 号 (P2)				
P0514 そ-8 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0523 そ-7 白磁(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) 掘立柱建物 55 号 (P11) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55 号 (P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物 56 号 (P3) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63 号 (P2)				
P0523 そ -7 白磁(1) 掘立柱建物 63 号 (P13) P0525 と -7 鉄滓(1), 粘土塊(1) P0531 そ -6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち -6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物 55 号 (P11) 掘立柱建物 55 号 (P13) P0536 た -6 土師器(1) 掘立柱建物 56 号 (P3) P0538 ち -6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0541 と -7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0542 と -7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ -8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ -7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2)				
P0523 そ・7 日曜(1) 63 号 (P13) P0525 と・7 鉄滓(1)、粘土塊(1) 据立柱建物 P0531 そ・6 土師器(3)、鉄滓(1)、粘土塊(2) 掘立柱建物 P0536 た・6 土師器(1) 掘立柱建物 P0538 ち・6 粘土塊(4)、炭化物(1) 掘立柱建物 P0539 ち・6 土師器(1) 掘立柱建物 P0541 と・7 粘土塊(1)、石器(1) 掘立柱建物 64号(P1) 掘立柱建物 63号(P12) P0543 そ・8 鉄滓(1)、石器(4) 掘立柱建物 63号(P14) そ・7 粘土塊(2)、石器(1) P0577 そ・7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63号(P2) 掘立柱建物 63号(P2)	PU314		工 pl 4 4 (1)	据古杜净栅
P0531 そ-6 土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物55号(P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物55号(P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物56号(P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物63号(P14) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物63号(P2)				
P0533 ち-6 兼久式土器(1), 炭化物(1) 掘立柱建物55号(P11) P0536 た-6 土師器(1) 掘立柱建物55号(P13) P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物56号(P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物64号(P1) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物63号(P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物63号(P14) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物63号(P2)	-			
P0536 た-6 土師器(1) 据立柱建物 55 号 (P13) P0538 ち-6 粘土塊(4),炭化物(1) 掘立柱建物 56 号 (P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0541 と-7 粘土塊(1),石器(1) 掘立柱建物 64 号 (P1) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1),石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2),石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2)				
P0538 ち-6 粘土塊(4), 炭化物(1) 掘立柱建物 56号 (P3) P0539 ち-6 土師器(1) 掘立柱建物 64号 (P3) P0541 と-7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 64号 (P1) 掘立柱建物 63号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63号 (P12) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63号 (P2) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63号 (P2)				掘立柱建物
P0539 ち-6 土師器(1) P0541 と-7 粘土塊(1),石器(1) 掘立柱建物 64号 (P1) P0542 と-7 土師器(1) 掘立柱建物 63号 (P12) P0543 そ-8 鉄滓(1),石器(4) 掘立柱建物 63号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2),石器(1) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63号 (P2)				掘立柱建物
P0541 と -7 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 64号 (P1) P0542 と -7 土師器(1) 掘立柱建物 63号 (P12) P0543 そ -8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63号 (P14) P0546 そ -7 粘土塊(2), 石器(1) P0577 そ -7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63号 (P2)				56号(P3)
P0541 と -7 粘工塊(1), 石器(1) 64 号 (P1) P0542 と -7 土師器(1) 掘立柱建物 63 号 (P12) P0543 そ -8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ -7 粘土塊(2), 石器(1) P0577 そ -7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63 号 (P2)			工 mh 盘(l)	堀六粒神柵
P0542 と・/ 土師器(1) 63 号 (P12) P0543 そ・8 鉄滓(1), 石器(4) 掘立柱建物 63 号 (P14) P0546 そ・7 粘土塊(2), 石器(1) 掘立柱建物 63 号 (P2) P0577 そ・7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63 号 (P2)			粘土塊(1), 石器(1)	64号 (P1)
P0543 そ-8 鉄澤(1), 石器(4) 63 号 (P14) P0546 そ-7 粘土塊(2), 石器(1) P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63 号 (P2)	P0542			63 号 (P12)
P0577 そ-7 鉄滓(2) 掘立柱建物 63 号 (P2)		-		
P05// そ-/ ^{鉄滓(2)} 63 号 (P2)	P0546	₹-7	枯土塊(2),	+D → +>7±4+
ruɔoz て -/				
	PU582	て-/		

第 167 表 ピット内出土遺物(19)

	グリッド	出土遺物	備考
P0584			2.13
-	せ, そ-6	カムィヤキ(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘 土塊(9), 施釉陶磁器(1), 石器(2)	
P0586	せ-6	炭化物(7)	
P0591	そ-7	土器(1),粘土塊(9),施釉陶磁器(1),炭化物(6)	
P0599	た-6	石器(1)	
P0600	そ-6	施釉陶磁器(1)	
P0601	そ-6	鉄製品(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0604	そ-6	石器(1)	
P0613	そ-6	土師器(2),粘土塊(1),軽石(2)	掘立柱建物 49 号(P4)
P0618	そ-6	土師器(3), 鉄滓(1)	
P0619	せ-9	粘土塊(1)	
P0621	せ-6	鉄滓(1)	
P0626	た-6	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物 47 号(P4)
P0628	た-6	土師器(2)	
P0629	た-6	粘土塊(1), 青花(1)	
P0633	せ-10	粘土塊(1)	
P0637	せ-11	粘土塊(1)	
P0638	せ-11	土師器(1), 鞴の羽口(1), 石器(1)	
P0641	せ, そ-7	土師器(1)	掘立柱建物 64号(P7)
P0644	-	鉄製品(1), 石器(1)	掘立柱建物 59号 (P23)
P0653	そ-5	土師器(2)	掘立柱建物 47号(P3)
P0654	た-6	粘土塊(1)	
P0656	そ-11	粘土塊(2),石器(1)	
P0658	そ-11	土師器(4), 須恵器(1)	
P0659	せ-11	土師器(1), 須恵器(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P0668	せ-11	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0670	せ-11	土師器(2),粘土塊(3)	掘立柱建物 79 号(P8)
P0675	そ-11	粘土塊(1)	
P0677	せ-11	土師器(1), 粘土塊(3), 石器(1)	
P0678	そ-11	土師器(3)	
P0680	そ-11	土師器(2),粘土塊(1)	掘立柱建物 78 号(P1)
P0683	そ-11	土師器(1)	
P0687	そ-11	土師器(4),粘土塊(1)	
P0688		粘土塊(3)	掘立柱建物 82号(P11)
P0692	そ-12	土師器(1),滑石製石鍋(1)	
P0693	そ-12	炭化物(1)	
P0694	た-11	土師器(1),龍泉窯系青磁(2),粘土塊(5), 石器(3)	掘立柱建物 85 号(P2)
P0696	た-11	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0697	た-12	土師器(3), 粘土塊(2)	
P0698	た-12	龍泉窯系青磁(1),粘土塊(3),石器(1)	掘立柱建物 85号(P12)
P0699	た-12	土師器(1),土器(1)	
P0700	た-12	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0701	た-12	粘土塊(1)	
P0702	た-12	土師器(1),粘土塊(2)	
P0703	そ-12	土師器(1), 滑石製石鍋(3), 鉄滓(1), 粘土塊(7), 石器(1), 獣骨(4)	84号 (P1)
P0704		滑石製石鍋(1)	掘立柱建物 85号(P10)
P0705	た-12	土師器(3)	
P0707	た-12	粘土塊(1)	掘立柱建物 85号(P11)

第 168 表 ピット内出土遺物(20)

		ト内出土遺物(20)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0708	た-12	粘土塊(2),石器(2)	
P0709	た-12	土師器(4),鉄滓(1),粘土塊(2)	
P0711	た-12	土師器(1), 白磁(1), 龍泉窯系青磁(1), 粘 土塊(1)	
P0712	た-12	土師器(1),布目圧痕土器(1),白磁(1),粘 土塊(4)	
P0713	た-12	土師器(6), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0714	た-12	土師器(12), 粘土塊(3)	
P0715	た-12	土師器(11), 須恵器(2), 粘土塊(3), 石器(2)	
P0716	た-12	白磁(1)	
P0717	た-12	土師器(7),須恵器(1),布目圧痕土器(1),龍泉窯系青磁(2),鉄滓(2),粘土塊(7),施釉陶磁器(1)	
P0718	た-12	土師器(3),石器(1)	
P0719	た-12	土師器(2),粘土塊(1)	
P0720	た-12	土師器(3), 鉄滓(2), 粘土塊(3), 炭化物(2)	
P0723	た-12	土師器(4), 鉄滓(1), 粘土塊(2), 石器(2)	
P0725	た-12	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0727	た-12	土師器(1), 粘土塊(2)	
P0728	た-12	土師器(10), 鞴の羽口(1), 粘土塊(9), 石器(3), 炭化物(8)	
P0729	た-12	土師器(6),滑石製石鍋(1),鉄滓(1),粘土塊(7),石器(1)	
P0730	た-12	土師器(6), 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土塊(6), 石器(5), 炭化物(1)	
P0732	た-12	土師器(2), 粘土塊(2)	
P0734	た-12	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0735	た-12	土師器(3)	
P0736	た-12	土師器(9), 鉄滓(2), 粘土塊(5), 石器(3)	
P0738	た-12	黒色土器(1), 土師器(5), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0739	た-12	土師器(1), カムィヤキ(1), 粘土塊(4), 施 釉陶磁器(1)	
P0740	た-12	土師器(1), 須恵器(1), 粘土塊(3)	
P0743	5-98	鉄滓(1)	
P0744	5-98	粘土塊(1)	
P0746	ち-98	須恵器(1), 粘土塊(5)	
P0750	ち-97	石器(1)	
P0752	ち-97	鉄滓(1),粘土塊(2),石器(1)	
P0754	ち-97	土製品(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(2)	
P0760	つ-97	須恵器(1)	
P0771	せ-8	土師器(1)	
P0778	た-8	滑石製石鍋(1)	
P0780	た-8	土師器(1)	掘立柱建物 60号(P12)
P0784	そ-8	越州窯系青磁(1),石器(1)	
P0787	た-7	土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(1), 石器(2), 炭化物(1)	掘立柱建物 60号(P14)
P0791	て-4	粘土塊(2)	
P0808	ち-7	土器(1), 粘土塊(1), 石器(7)	掘立柱建物 56号(P1)
P0812	そ-10	土師器(1), 施釉陶磁器(1), 無釉陶磁器(1), 石器(1), 軽石(1)	
P0813	そ-12	粘土塊(1)	
P0817	そ-11	粘土塊(1)	
P0819	そ-11	石器(1)	
P0820	そ-11	土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	
P0821	そ-11	土師器(2), 鞴の羽口(3), 粘土塊(6), 石器 (1)	掘立柱建物 84 号(P2)

第 169 表 ピット内出土遺物(21)

遺構 ID P0822 P0825 P0826 P0830	グリッド そ -12 そ -12	出土遺物 土師器(2), 鉄滓(1), 粘土塊(7), 石器(1) 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 龍泉窯系青磁(1),	備考 掘立柱建物 83 号 (P4)
P0825 P0826			
P0826	そ-12	十師哭(1) 滑石製石鍋(1) 龍泉窒系青磁(1)	
		鉄滓(2), 粘土塊(4), 石器(1)	
P0830	そ-12	粘土塊(1)	掘立柱建物 84 号(P4)
	そ-8	土師器(2), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0832	そ-11	粘土塊(2)	掘立柱建物 82号 (P10)
P0836	そ-11	粘土塊(2)	
P0838	そ-11	粘土塊(2)	掘立柱建物 82 号(P1)
P0840	そ-11	石器(1)	
P0842	そ-11	粘土塊(1)	
P0844	た-11	土師器(7),龍泉窯系青磁(2),粘土塊(4)	
P0845	た-11	土師器(1), カムィヤキ(1), 粘土塊(4), 施 釉陶磁器(1)	
P0846	た-11	カムィヤキ(1), 鉄滓(2), 粘土塊(7), 石器 (2)	掘立柱建物 85 号(P3)
P0848	た-12	土師器(2),土製品(1),粘土塊(1)	
P0849	た-12	施釉陶磁器(1)	
P0852	ち-6	土師器(3),粘土塊(1),石器(1)	
P0853	た-12	布目圧痕土器(1),鉄滓(2)	
P0854	た-12	粘土塊(5)	
P0855	た-11	土師器(1), 土器(1), 粘土塊(2), 石器(1)	
P0856	た-12	粘土塊(1)	
P0859	そ-11	土師器(6), 須恵器(1), 滑石製石鍋(2), 鉄 滓(2), 鞴の羽口(1), 粘土塊(19), 軽石(1)	掘立柱建物 83 号(P2)
P0862	た-6	土師器(39),須恵器(2),粘土塊(1),石器(1)	掘立柱建物 54号(P1)
P0864	ち-7	土師器(8), 須恵器(1), 白磁(1), 炭化物(2)	
P0866	5-6	滑石製石鍋(1)	
P0868	ち-6	粘土塊(5)	
P0874	そ-11	土師器(5), 須恵器(1), 粘土塊(2)	
P0876	そ-12	土師器(2), 須恵器(1), 滑石製石鍋(1), 鉄 滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器(2)	掘立柱建物 83 号(P3)
P0877	そ-12	土師器(1), 鞴の羽口(1)	掘立柱建物 82 号(P8)
P0879	そ-12	土師器(1), カムィヤキ(1), 粘土塊(5)	
P0880	た-12	石器(1)	
P0881	た-12	鉄滓(1)	
P0885	そ-11	土師器(4), 滑石製石鍋(1), 白磁(1), 龍泉 窯系青磁(1), 粘土塊(6)	
P0887	た-12	鞴の羽口(1),粘土塊(5)	
P0896	た-11	土師器(1), 鉄滓(1)	10-1-127-01
P0897	た-6	土師器(1), 石器(1)	掘立柱建物 47号(P6)
P0902	そ-12	土師器(13),鉄滓(1),石器(2)	
P0904	そ-6	粘土塊(1)	
P0906	た-6	土師器(1)	
P0912	た-7	粘土塊(2),石器(1)	掘立柱建物 56号 (P14)
P0913	た-7	土師器(1)	
I T	ち-7	土師器(3)	
P0917		(TRE(4) W.	
P0917 P0922	て-5	土師器(1), 粘土塊(1), 石器(2)	

第 170 表 ピット内出土遺物(22)

第 170	表 ピッ	ト内出土遺物(22)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0927	た-8	石器(1)	
P0937	そ-9	土師器(1)	
P0939	そ-9	粘土塊(1),石器(2)	
P0960	ち-7	土師器(1)	
P0962	た-12	土師器(1)	
P0963	そ-11	石器(1)	
P0964	そ-11	土師器(2),粘土塊(1)	
P0965	そ-11	土師器(1)	
P0968	そ-12	龍泉窯系青磁(1)	掘立柱建物 84 号(P3)
P0976	そ-5	土師器(1)	
P0988	た-11	須恵器(1)	
P0992	た-11	土師器(2)	
P0997	そ-12	須恵器(1)	
P0998	そ-12	土師器(1)	
P1004	そ-11	滑石製石鍋(2),粘土塊(1)	掘立柱建物 85 号(P4)
P1006	そ-11	土師器(1), 石器(1)	掘立柱建物 85 号(P5)
P1007	た-11	土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物 85 号(P1)
P1010	た-12	土師器(10), 鉄製品(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(2)	
P1011	た-12	土師器(14)	
P1012	た-12	土師器(2), 粘土塊(1)	
P1013	た-12	土師器(2)	
P1014	た-12	土師器(11),粘土塊(7)	
P1015	た-12	土師器(7)	
P1016	た-12	鉄滓(1)	
P1021	た-12	土師器(1), 石器(1)	
P1025	た-12	土師器(5), 粘土塊(2)	
P1028	た-6	土師器(1), 石器(1)	
P1030	た-6	鉄滓(1), 粘土塊(6)	
P1031	た-7	カムィヤキ(1)	
P1033	た-7	土師器(1)	
P1036	た-7	土師器(1), 須恵器(2), 粘土塊(1), 石器(1)	掘立柱建物 54号(P8)
P1038	た-7	龍泉窯系青磁(1)	
P1041	た-12	土師器(8),石器(3)	
P1043	た-12	土師器(10), 粘土塊(8), 石器(1)	
P1048	そ-12	滑石製石鍋(1)	
P1051	5-4	龍泉窯系青磁(1), 粘土塊(1)	
P1052	5-4	龍泉窯系青磁(1),炭化物(1)	IB 1 15 -+ **
P1053	5-4	龍泉窯系青磁(2), 粘土塊(3)	掘立柱建物 46 号(P1)
P1054	5-5	土師器(1), 粘土塊(5), 石器(3), 炭化物(1)	
P1055	5-5	粘土塊(2), 石器(1)	
P1056 P1057	ち-5 ち-5	土師器(1) 鉄滓(1), 天目(1)	掘立柱建物
P1057	5-5		46 号 (P4) 掘立柱建物
P1059	5-5	上 ^{1 1}	46号 (P5)
P1060	5-5	土師器(3)	掘立柱建物
P1061	5-5	龍泉窯系青磁(1), 土製品(2), 鉄滓(1)	45 号 (P2) 掘立柱建物
P1063	5-5	土師器(1), 須恵器(1)	46 号 (P6) 掘立柱建物
P1064	ち-5	白磁(1), 粘土塊(1)	45 号 (P1) 掘立柱建物
P1065	5-4	 粘土塊(5),炭化物(1)	45 号(P4)
P1066	5-4	粘土塊(1)	
P1083	5-9	何上%(I) 須恵器(1)	
F 1083) つ-9	次心的(1)	<u> </u>

第 171 表 ピット内出土遺物(23)

第 171	表 ピッ	ト内出土遺物(23)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1088	た-11	土師器(1), 石器(1)	
P1104	ち-5	土師器(1)	掘立柱建物 45 号(P3)
P1113	た-4	土師器(3)	
P1118	た-4	粘土塊(1)	掘立柱建物 44 号(P4)
P1142	そ-6	粘土塊(1)	提去分類物
P1151	た-4	鞴の羽口(1), 粘土塊(2), 石器(27)	掘立柱建物 43 号(P1)
P1155	た-4	石器(1)	
P1157	た-4	石器(1)	
P1158	た-4	土師器(1), 滑石製石鍋(2), 鉄滓(2), 鞴の 羽口(1)	掘立柱建物 43 号 (P14)
P1159	た-4	鉄滓(2), 粘土塊(1), 石器(2)	
P1160	た-4	土師器(1), 鉄滓(4), 石器(2)	
P1161	た-4	土師器(1), 鉄滓(36), 鞴の羽口(4), 粘土塊(3)	
P1163	た-4	鞴の羽口(2)	
P1164	た-4	土師器(1)	掘立柱建物 43号(P12)
P1166	た-4	石器(1)	- \ -/
P1167	た-4	滑石製石鍋(1), 粘土塊(2)	
P1168	た-4	粘土塊(1), 石器(1)	
P1170	た-4	鉄滓(1), 石器(3)	
P1173	た-5	粘土塊(3)	
P1202	た-5	土師器(4)	掘立柱建物 42 号(P1)
P1203	た-5	須恵器(1)	掘立柱建物 42号 (P9)
P1204	た-5	土師器(2)	掘立柱建物 42号 (P8)
P1206	た-5	土師器(2),陶磁器(1)	掘立柱建物 42 号 (P7)
P1208	そ-5	土師器(5)	掘立柱建物 42 号 (P5)
P1211	た-4	滑石製石鍋(1)	3 (. 5)
P1212	そ-4	白磁(1)	
P1221	そ-4	土師器(1)	
P1232	そ-4	石器(3)	掘立柱建物 43 号(P9)
P1235	そ-4		15 (1)
P1242	そ-4	石器(1)	
P1249	た-4	粘土塊(1)	
P1254	た-4	粘土塊(1)	
P1262	そ-4	龍泉窯系青磁(1)	
P1283	た-4	土師器(1)	
P1287	た-3	(五即66(1)) 須恵器(1)	
P1307	た-3 そ-9	(月思奋(1) 上師器(2)	掘立柱建物
P1308	そ-9	軽石(1)	71号(P4) 掘立柱建物
P1309	5-6	滑石製石鍋(1)	71号 (P7)
P1310	-	土師器(2)	掘立柱建物 56号(P10)
P1314	た-6	土師器(1)	
P1317	た-7	カムィヤキ(1)	掘立柱建物 59号(P4)
P1328	せ-6	鉄滓(1), 石器(1)	
P1339	そ-6	土師器(1)	
P1347	そ-6	土製品(1)	掘立柱建物 49号(P5)
P1348	せ-6	石器(2)	
P1354	た-6	土師器(9), 鉄滓(1)	
P1358	た-5	土師器(6), 粘土塊(2)	
P1359	た-5	土師器(7), 粘土塊(4), 石器(1)	

第 172 表 ピット内出土遺物(24)

満様 ID グリッド 出土遺物 信巻 P1360 た-5 生の語の15、粘土塊2) 1 P1367 せ・10 大部図3 は一日 P1377 せ・10 須恵器11 担口 P1373 せ・11 大師器11 日本師器11 P1373 せ・11 大師器11 担い節器10 P1375 そ・2 土師器11 担心部器11 P1376 そ・2 土師器11 担心経費物 82 号 (P7) P1377 さ・2 土師器11 担心社業物 82 号 (P7) P1378 さ・6 須恵器3 担心社業物 82 号 (P8) P1387 さ・6 須恵器3 担心主機関 82 号 (P7) P1387 さ・1 土師器12 日本日本 12 P1391 そ・11 土師器12 日本日本 12 P1392 フ・9 カムイヤギ11、粘土塊11 二 工作建設 P1410 と・2 土師器12 担心主部器12 担心主建地 P1411 し・2 石器11 担心主部第2 担心主建地 P1415 し・2 石器11 担心主地域12 担心主地主地 P1416 し・	第 172	表 ピッ	ト内出土遺物(24)	
P1364 世 - 10 主節器3 据立柱建物71号(P2) P1367 世 - 10 須惠器(1) 据立柱建物71号(P2) P1371 世 - 11 土節器(1) 二 P1375 ぞ - 2 土節器(1) 加工社建物8 P1376 ぞ - 12 土節器(1) 掘立柱建物85号(P3) P1376 ぞ - 12 土節器(1) 掘立柱建物85号(P3) P1376 ぞ - 12 土節器(1) 掘立柱建物85号(P3) P1387 축 - 6 須惠器(3) 塩工社建地955号(P3) P1387 ぞ - 11 土節器(2) 二 P1387 ぞ - 12 土節器(2) 二 P1394 た - 12 土師器(2) 二 P1406 さ - 2 土師器(2) 塩口柱建物20 27 号(P2) 担口柱建地20 27号(P3) P1411 し - 2 石器(1) 塩口柱建地20 P1415 し - 2 石器(1) 塩口柱建地27号(P2) P1416 し - 2 石器(1) 塩口柱建地27号(P3) P1417 し - 2 石器(1) 塩口柱22 P1418 し - 2 土師器(1) 塩口柱22	遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
Pi367 世・10 須惠潔(1) 押込柱理物 71号(P2) Pi371 世・11 土師器(4) 上師器(1) 上師器(1) 私土地(2) 上師器(1) 私土地(2) 上師器(2) 上師器(3) 上師器(4) 上師器(5) 上師器(5) 上師器(5) 上師器(5) 上師器(5) 上師器(5) 上師器(5) 上師器(7) 上記 上述社理地(7) 上記 上述社理地(7) 上記 上述社理地(7) 上記 上述社理地(7) 上記 上記 上記 上記 上記 上記 上記 上	P1360	た-5	土師器(5),粘土塊(2)	
P1307 ゼ・10 規感部1 71号 (P2) P1371 ゼ・11 性の部の 1 性の部の 1 性の形の P1364	せ-10	土師器(3)		
P1373 世 - 11 數價(1) 工作 P1375 ぞ - 2 土師器(1) 据立柱建物器(2) P1376 ぞ - 12 土師器(1) 据立柱建物器(2) P1387 方 - 6 須惠器(3) 振立柱建物器(5) P1387 方 - 6 須惠器(3) 振立柱建物器(5) P1391 ぞ - 11 土師器(2) 二 P1392 少 9 力ムイヤキ(1)、粘土塊(1) 二 P1394 た - 12 土師器(2) 二 P1406 さ 2 土師器(7) 上 P1411 し - 2 土師器(7) 振立社建物 27号 (P2) P1414 し - 2 指五規(3) 近ろ号 (P2) P1415 し - 2 看到石鍋(2) 振立社建物 27号 (P2) P1416 し - 2 看到石鍋(2) 振立社建物 26号 (P2) P1417 し - 2 石器(1) 振立社建物 26号 (P2) P1417 し - 2 石器(1) 振立社建物 26号 (P2) P1417 し - 2 右師器(2) 振立社建物 30号 (P2) P1418 し - 2 右師器(3) 第石製工社議 20年 (P2) P1417 し - 2 <td< td=""><td>P1367</td><td>せ-10</td><td>須恵器(1)</td><td></td></td<>	P1367	せ-10	須恵器(1)	
P1375 そ-2 土師器(1) 掘立柱建物 82 号 (P8) P1376 そ-12 土師器(1) 掘立柱建物 82 号 (P8) P1387 表-6 須恵器(3) 振立柱建物 82 号 (P8) P1387 表-6 須恵器(3) 振立柱建物 85 号 (P8) P1391 老-11 土師器(2) 二十四 P1394 た-12 土師器(3) 本の土土器(2) 二十四 P1406 さ-2 土師器(7) 加立柱建物 26号 (P6) P1411 し-2 土師器(2) 掘立柱建物 26号 (P6) P1411 し-2 お土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P6) P1411 し-2 活力製石鍋(2) 掘立柱建物 26号 (P6) P1415 し-2 活出塊(3) 掘立柱建物 26号 (P6) P1416 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1417 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1419 し-2 土師器(2) 掘立柱建物 30号 (P1) P1420 し-2 土師器(3) 滑石製石製石鍋(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物 27号 (P1) P1421 し-2 粘土塊(3) 担助	P1371	せ-11	土師器(4)	
P1376 マ-12 土師器(1)、粘土塊(5) 掘立柱建物 82 号 (P7) R1381 マ-12 土師器(1) 掘立柱建物 82 号 (P8) R1387 す-6 須惠器(3) 掘立柱建物 55 号 (P12) P1391 マ-11 土師器(2)	P1373	せ-11	獣骨(1)	
P1376 で-12 土師器(1)、 粘土塊(3) 振立柱建物 振立柱理 振立右理 振立柱理 振立程理 振立柱理 振立 振立柱理 振立 振立柱理 振立 振立柱理 振立 振立 振立柱理 振立 振立 振立 振立 振立 振立 振立 振	P1375	そ-2	土師器(1)	
P1387 で-12 工師級1)	P1376	そ-12	土師器(1), 粘土塊(5)	82号 (P7)
Pi	P1381	そ-12	土師器(1)	85号 (P8)
P1392 つ-9 力ムイヤキ(1)、粘土塊(1) P1394 た-12 生師器(5)、兼久式上器(2) P1406 さ-2 生師器(7) P1411 し-2 土師器(2) 掘立柱建物 26号 (P6) P1414 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P6) P1415 し-2 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 26号 (P3) P1416 し-2 石器(1) 掘立柱建物 26号 (P3) P1417 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 し-2 輪の羽口(1) 掘立柱建物 26号 (P2) P1419 し,す・2 土師器(2) 掘立柱建物 30号 (P1) P1420 し-2 土師器(3)、滑石製石鍋(1)、粘土塊(7)、石 掘立柱建物 27号 (P4) P1421 し-2 右師器(4)、須恵器(1)、粘土塊(1) 掘立柱建物 27号 (P1) P1422 し-2 右師器(2) 掘立柱建物 27号 (P4) P1427 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P1) P1428 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P1) P1433 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P2) P1436 す-2 土師器(3)、鞴の羽口(1)、粘土塊(6)、石器 (1) 掘立柱建物 32号 (P3) P1445 し-1	P1387		須恵器(3)	
P1394 た-12 土師器(5)、兼久式土器(2) P1406 さ-2 土師器(7) P1411 し-2 土師器(2) 掘立柱建物 27号 (P2) P1414 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P6) P66 P1415 し-2 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 26号 (P3) P1416 し-2 石器(1) 掘立柱建物 26号 (P3) 26号 (P8) 棚立柱建物 30号 (P2) 担立柱建物 30号 (P2) P1417 し-2 右器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 し-2 補の羽口(1) 掘立柱建物 26号 (P8) P1419 し, す-2 土師器(2) 掘立柱建物 27号 (P4) P1420 し-2 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(7), 石 掘立柱建物 27号 (P4) P1421 し-2 右部器(3), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 26号 (P1) P1427 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P2) P1433 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P2) P1436 す-2 集色器(1), 土器(1) 掘立柱建物 32号 (P3) P1442 す-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 (1) 掘立柱建物 32号 (P3) P1443 す-2 土師器(1), 粘土塊(1), 石器(1) 掘立柱建物 32号 (P3)	P1391	そ-11	土師器(2)	
P1406 さ-2 土師器(2) 掘立柱建物 27号 (P2) P1411 U-2 土師器(2) 掘立柱建物 27号 (P2) P1414 U-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P6) P1415 U-2 滑石製石鍋(2) 近く号 (P6) P1416 U-2 石器(1) 掘立柱建物 26号 (P8) D1417 U-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 U-2 構の羽口(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 U-2 基の羽口(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 U-2 基の羽口(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 U-2 基の部口(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 U-2 基師器(2) 掘立柱建物 30号 (P1) P1420 U-2 土師器(3), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 27号 (P1) P1420 U-2 土師器(2) 掘立柱建物 27号 (P1) P1427 U-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P1) P1427 U-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P1) P1433 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P1) P1433 す-2 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 32号 (P1) <td>P1392</td> <td>つ-9</td> <td>カムィヤキ(1), 粘土塊(1)</td> <td></td>	P1392	つ-9	カムィヤキ(1), 粘土塊(1)	
P1411 し-2 土師器(2) 掘立柱建物 27 号 (P2) P1414 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26 号 (P6) P1415 し-2 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 27 号 (P3) P1416 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30 号 (P2) P1417 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30 号 (P2) P1418 し-2 右部器(2) 掘立柱建物 30 号 (P2) P1419 し、す・2 土師器(2) 掘立柱建物 30 号 (P1) P1420 し・2 芸師器(9), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(7), 石 掘立柱建物 27 号 (P1) P1420 し・2 五部(1) 掘立柱建物 27 号 (P1) P1426 し・2 石器(1) 掘立柱建物 27 号 (P1) P1427 し・2 土師器(1), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 32 号 (P1) P1429 す・2 土師器(2) 掘立柱建物 32 号 (P1) P1433 す・2 土師器(2) 掘立柱建物 32 号 (P2) P1436 す・2 黒色土器(1), 土器(1) 掘立柱建物 32 号 (P2) P1439 す・2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32 号 (P3) P1442 す・2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32 号 (P3) P1445 し・1 土師器(1), 粘土	P1394	た-12	土師器(5),兼久式土器(2)	
P1411 C-2 工師部(2) 27 号 (P2) P1414 U-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P6) P1415 U-2 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 27号 (P3) P1416 U-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1417 U-2 石器(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1418 U-2 籍の羽口(1) 掘立柱建物 30号 (P2) P1419 U, す2 土師器(2) 掘立柱建物 26号 (P8) P1420 U-2 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 27号 (P4) P1421 U-2 土師器(4), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 27号 (P1) P1427 U-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号 (P1) P1429 サ-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P10) P1433 サ-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P10) P1433 サ-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 32号 (P2) P1439 サ-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 加立柱建物 32号 (P2) P1442 サ-2 土師器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 32号 (P2) P1445 U-1 土師器(1), 粘土塊(2) エロ P1445 U-1 土師器(1), 粘土塊(1), 軽石(2) エロ P1450 サ-1 五部(1) エロ	P1406	さ-2	土師器(7)	
P1414 C-2 松工塊(3) 26 号 (P6) P1415 C-2 滑石製石鍋(2) 掘立柱建物 27 号 (P3) 掘立柱建物 26 号 (P7) P1417 C-2 石器(1) 掘立柱建物 26 号 (P7) P1418 C-2 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 30 号 (P2) R1418 C-2 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 30 号 (P1) R1419 C-2 土師器(9), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(7), 石 掘立柱建物 30 号 (P1) P1420 C-2 土師器(9), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)	P1411	L-2	土師器(2)	
P1416 し-2 宿福製石輌(2) 27号(P3) B1417 し-2 石器(1) 掘立柱建物 26号(P7) P1418 し-2 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 30号(P2) P1419 し,す-2 土師器(2) 掘立柱建物 30号(P1) P1420 し-2 土師器(9),滑石製石鍋(1),粘土塊(7),石 掘立柱建物 27号(P4) P1420 し-2 土師器(4),須恵器(1),粘土塊(1) 掘立柱建物 27号(P4) P1426 し-2 石器(1) 掘立柱建物 27号(P1) P1427 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 27号(P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P1) P1433 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P1) P1436 す-2 黒色土器(1),土器(1) 掘立柱建物 32号(P2) P1439 す-2 土師器(3),鞴の羽口(1),粘土塊(6),石器(3) 混立柱建物 32号(P12) P1442 す-2 土師器(1),粘土塊(1) 掘立柱建物 32号(P3) P1445 し-1 土師器(1),粘土塊(2) エ師器(1) P1448 す-1 鉄滓(1),粘土塊(1),軽石(2) エ師記は建物 32号(P3) P1450 す-1 石器(1) 堀立柱建物 29号(P3) P1453 し-1 土師器(4),滑石(2) 堀立柱建物 30号(P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱(2)	P1414	し-2	粘土塊(3)	26 号 (P6)
P1416 し-2 石器(1) 26号(P7) P1417 し-2 石器(1) 掘立柱建物 30号(P2) P1418 し-2 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 30号(P1) P1419 し,す-2 土師器(2) 掘立柱建物 30号(P1) P1420 し-2 土師器(9),滑石製石鍋(1),粘土塊(7),石 掘立柱建物 27号(P4) P1422 し-2 土師器(4),須恵器(1),粘土塊(1) P1426 し-2 石器(1) 掘立柱建物 27号(P1) P1427 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号(P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P10) P1433 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P10) P1436 す-2 黒色土器(1),土器(1) 掘立柱建物 32号(P12) P1439 す-2 土師器(3),鞴の羽口(1),粘土塊(6),石器 掘立柱建物 32号(P12) P1443 す-2 土師器(1),粘土塊(4),石器(1) 掘立柱建物 32号(P3) P1445 し-1 土師器(1),粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1),粘土塊(2) P1450 す-1 土師器(1) 掘立柱建物 30号(P3) P1453 し-1 土師器(4),滑石二次加工品(1),粘土塊(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30号(P4) P1456 <td< td=""><td>P1415</td><td>L-2</td><td>滑石製石鍋(2)</td><td>27号 (P3)</td></td<>	P1415	L-2	滑石製石鍋(2)	27号 (P3)
P1418 し-2 扫器の羽口(1) 30号(P2) P1418 し-2 鞴の羽口(1) 掘立柱建物 26号(P8) P1419 し,す-2 土師器(2) 掘立柱建物 30号(P1) P1420 し-2 土師器(9),滑石製石鍋(1),粘土塊(1) 掘立柱建物 27号(P4) P1422 し-2 土師器(4),須恵器(1),粘土塊(1) 掘立柱建物 27号(P4) P1426 し-2 石器(1) 掘立柱建物 27号(P1) P1427 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 32号(P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P1) P1433 す-2 土師器(2),鉄滓(1),鞴の羽口(1),石器(3) 掘立柱建物 32号(P2) P1436 す-2 黒色土器(1),土器(1) 掘立柱建物 32号(P2) P1439 す-2 土師器(1),粘土塊(1), 粘土塊(6),石器 掘立柱建物 32号(P2) P1442 す-2 土師器(1),粘土塊(2) エ師立柱建物 32号(P4) P1445 し-1 土師器(1),粘土塊(2) エ師社2 P1450 す-1 石器(1) エ師社2 P1451 し-1 土師器(4),滑石二次加工品(1),粘土塊(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30号(P4) P1455 し-2 土師器(3),石器(3) 掘立柱建物 30号(P4) P1456 す-2 土師器(3),石器(3) <t< td=""><td>P1416</td><td>し-2</td><td>石器(1)</td><td>26号 (P7)</td></t<>	P1416	し-2	石器(1)	26号 (P7)
P1418 C-2 編の別口(1) 26号(P8) P1419 L, す-2 土師器(2) 掘立柱建物 30号(P1) P1420 L-2 土師器(9), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(2), 石 掘立柱建物 27号(P4) P1422 L-2 土師器(4), 須惠器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 27号(P4) P1426 L-2 石器(1) 掘立柱建物 26号(P1) P1427 L-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 32号(P10) P1429 す-2 土師器(2), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(3) 掘立柱建物 32号(P2) P1430 す-2 土師器(2), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32号(P2) P1439 す-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32号(P3) P1442 す-2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32号(P3) P1445 L-1 土師器(1), 粘土塊(2) エー P1448 オ-1 鉄滓(1), 粘土塊(2) エー P1450 オ-1 大部器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1451 L-2 石器(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1453 L-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30号(P4) P1455 L-2 土師器(3), 石器(2) 掘立柱建物 30号(P4) P1450 オ-2 土師器(3), 石器(2) 掘立柱建物 30号(P4) P1459 オ-2	P1417	し-2	石器(1)	30号 (P2)
P1419 C, 9-2 工師部(2) 30号(P1) P1420 L-2 土師器(9), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(7), 石 掘立柱建物 27号(P4) P1422 L-2 土師器(4), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物 27号(P1) P1426 L-2 石器(1) 掘立柱建物 27号(P1) P1427 L-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 32号(P10) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P10) P1433 す-2 土師器(2), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(3) 掘立柱建物 32号(P12) P1436 す-2 黒色土器(1), 土器(1) 掘立柱建物 32号(P12) P1439 す-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32号(P2) P1442 す-2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32号(P3) P1445 し-1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1453 し-1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1455 し-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30号(P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(3) 掘立柱建物 30号(P9) P1459 す-2 土師器(1), 須恵器(2	P1418	し-2	鞴の羽口(1)	26号 (P8)
P1420 C-2 器(1) 27号(P4) P1422 L-2 土師器(4), 須恵器(1), 粘土塊(1) 掘立柱建物27号(P1) P1426 L-2 石器(1) 掘立柱建物27号(P1) P1427 L-2 粘土塊(3) 掘立柱建物32号(P10) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物32号(P10) P1433 す-2 土師器(2), 鉄澤(1), 鞴の羽口(1), 石器(3) 掘立柱建物32号(P12) P1436 す-2 黒色土器(1), 土器(1) 掘立柱建物32号(P12) P14439 す-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器掘立柱建物32号(P3) P14442 す-2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物32号(P3) P1445 L-1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1451 L-1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物30号(P3) P1453 L-1 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物30号(P4) P1454 L-2 石器(3) 掘立柱建物30号(P4) P1455 L-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物30号(P4) P1456 す-2 土師器(1) 掘立柱建物30号(P4) P1459 す-2 土師器(1) 掘立柱建物31号(P4)<	P1419	し, す-2		30号 (P1)
P1426 し-2 石器(1) 掘立柱建物 27 号 (P1) P1427 し-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26 号 (P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32 号 (P10) P1433 す-2 土師器(2), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(3) 掘立柱建物 32 号 (P2) P1436 す-2 黒色土器(1), 土器(1) 掘立柱建物 32 号 (P12) P1439 す-2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32 号 (P3) P1442 す-2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32 号 (P4) P1445 し-1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1452 し-1 粘土塊(2) P1453 し-1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1455 し-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1459 す-2 土師器(1), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4) P1460 オ-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)			器(1)	
P1427 C-2 石器(I) 27号(P1) P1427 C-2 粘土塊(3) 掘立柱建物 26号(P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号(P10) P1433 す-2 土師器(2)、鉄滓(1)、鞴の羽口(1)、石器(3) 掘立柱建物 32号(P2) P1436 す-2 黒色土器(1)、土器(1) 掘立柱建物 32号(P2) P1439 す-2 土師器(3)、鞴の羽口(1)、粘土塊(6)、石器 掘立柱建物 32号(P3) P1442 す-2 土師器(1)、粘土塊(4)、石器(1) 掘立柱建物 32号(P4) P1445 し-1 土師器(1)、粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1)、粘土塊(1)、軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1452 し-1 粘土塊(2) P1453 し-1 土師器(4)、滑石二次加工品(1)、粘土塊(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1455 し-2 土師器(6)、粘土塊(1) 掘立柱建物 30号(P4) P1456 す-2 土師器(3)、石器(3) 掘立柱建物 30号(P9) P1459 す-2 土師器(1)、須恵器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄 掘立柱建物 31号(P4) P1460 オ-2 土師器(6)、須恵器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄 掘立柱建物 31号(P4)	P1422	し-2	土師器(4),須恵器(1),粘土塊(1)	In Lancia
P1429 す-2 土師器(2) 26号 (P1) P1429 す-2 土師器(2) 掘立柱建物 32号 (P10) P1433 す-2 土師器(2)、鉄滓(1)、鞴の羽口(1)、石器(3) 掘立柱建物 32号 (P2) P1436 す-2 黒色土器(1)、土器(1) 掘立柱建物 32号 (P12) P1439 す-2 土師器(3)、鞴の羽口(1)、粘土塊(6)、石器 掘立柱建物 32号 (P3) P1442 す-2 土師器(1)、粘土塊(4)、石器(1) 掘立柱建物 32号 (P4) P1445 し-1 土師器(1)、粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1)、粘土塊(1)、軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1452 し-1 粘土塊(2) P1453 し-1 土師器(4)、滑石二次加工品(1)、粘土塊(3) 掘立柱建物 29号 (P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30号 (P3) P1455 し-2 土師器(6)、粘土塊(1) 掘立柱建物 30号 (P4) P1456 す-2 土師器(3)、石器(3) 掘立柱建物 30号 (P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1)、滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31号 (P4) P1459 す-2 土師器(6)、須恵器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄 掘立柱建物 31号 (P4)	P1426	L-2	石器(1)	27号 (P1)
P1429 g - 2 土師器(2) 32 号 (P10) P1433 す - 2 土師器(2), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(3) 掘立柱建物 32 号 (P2) P1436 す - 2 黒色土器(1), 土器(1) 掘立柱建物 32 号 (P12) P1439 す - 2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32 号 (P3) P1442 す - 2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32 号 (P4) P1445 し - 1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す - 1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す - 1 石器(1) P1452 し - 1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1453 し - 2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1454 し - 2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1455 し - 2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す - 2 土師器(3), 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1457 す - 2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す - 2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1427	し-2	粘土塊(3)	26号 (P1)
P1436 す - 2 土師器(2), 鉄澤(1), 幅の羽口(1), 石器(3) 32 号 (P2) P1436 す - 2 黒色土器(1), 土器(1) 掘立柱建物 32 号 (P12) P1439 す - 2 土師器(3), 鞴の羽口(1), 粘土塊(6), 石器 掘立柱建物 32 号 (P3) P1442 す - 2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32 号 (P4) P1445 し - 1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す - 1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す - 1 石器(1) P1452 し - 1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 契 号 (P3) P1453 し - 1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 契 号 (P3) P1454 し - 2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P3) P1455 し - 2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す - 2 土師器(3), 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1459 す - 2 土師器(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す - 2 土師器(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1460 オ - 2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1429	す-2	土師器(2)	32号(P10)
P1439 す - 2 無巴工器(1)、工器(1) 32 号 (P12) P1439 す - 2 土師器(3)、鞴の羽口(1)、粘土塊(6)、石器 掘立柱建物 32 号 (P3) P1442 す - 2 土師器(1)、粘土塊(4)、石器(1) 掘立柱建物 32 号 (P4) P1445 し - 1 土師器(1)、粘土塊(2) P1448 す - 1 鉄滓(1)、粘土塊(1)、軽石(2) P1450 す - 1 石器(1) P1452 し - 1 粘土塊(2) P1453 し - 1 土師器(4)、滑石二次加工品(1)、粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1454 し - 2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P3) P1455 し - 2 土師器(6)、粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す - 2 土師器(3)、石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1457 す - 2 朝鮮系無釉陶器(1)、滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す - 2 土師器(6)、須恵器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄 掘立柱建物 31 号 (P4) P1460 ま - 2 土師器(6)、須恵器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1433	す-2	土師器(2), 鉄滓(1), 鞴の羽口(1), 石器(3)	32号 (P2)
P1449 す - 2 (1) 32 号 (P3) P1442 す - 2 土師器(1), 粘土塊(4), 石器(1) 掘立柱建物 32 号 (P4) P1445 し - 1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す - 1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す - 1 石器(1) P1452 し - 1 粘土塊(2) P1453 し - 1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1454 し - 2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P3) P1455 し - 2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す - 2 土師器(3), 石器(32) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1457 す - 2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す - 2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4) P1460 オ - 2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1436	す-2		32 号 (P12)
P1442 9-2 土師器(1), 粘土塊(2) P1445 し-1 土師器(1), 粘土塊(2) P1448 す-1 鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1452 し-1 粘土塊(2) P1453 し-1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P3) P1455 し-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(32) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1439	す-2		32号 (P3)
P1448 す-1 鉄滓(1)、粘土塊(1)、軽石(2) P1450 す-1 石器(1) P1452 し-1 粘土塊(2) P1453 し-1 土師器(4)、滑石二次加工品(1)、粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P3) P1455 し-2 土師器(6)、粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す-2 土師器(3)、石器(32) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1)、滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す-2 土師器(6)、須恵器(2)、滑石製石鍋(1)、鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)				
P1450 す-1 石器(1) P1452 し-1 粘土塊(2) P1453 し-1 土師器(4),滑石二次加工品(1),粘土塊(3) 掘立柱建物 29号(P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30号(P3) P1455 し-2 土師器(6),粘土塊(1) 掘立柱建物 30号(P4) P1456 す-2 土師器(3),石器(32) 掘立柱建物 30号(P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1),滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1459 す-2 土師器(6),須恵器(2),滑石製石鍋(1),鉄 掘立柱建物 31号(P4)				
P1452 し-1 粘土塊(2) 振立柱建物 29 号 (P3) P1453 し-1 土師器(4),滑石二次加工品(1),粘土塊(3) 振立柱建物 29 号 (P3) P1454 し-2 石器(3) 振立柱建物 30 号 (P3) P1455 し-2 土師器(6),粘土塊(1) 振立柱建物 30 号 (P4) P1456 す-2 土師器(3),石器(32) 振立柱建物 30 号 (P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1),滑石製石鍋(1) 振立柱建物 31 号 (P4) P1459 す-2 土師器(6),須恵器(2),滑石製石鍋(1),鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1448	す-1	鉄滓(1), 粘土塊(1), 軽石(2)	
P1453 し-1 土師器(4), 滑石二次加工品(1), 粘土塊(3) 掘立柱建物 29 号 (P3) P1454 し-2 石器(3) 掘立柱建物 30 号 (P3) P1455 し-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30 号 (P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(32) 掘立柱建物 30 号 (P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31 号 (P4) P1459 す-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 31 号 (P4)	P1450	す-1	石器(1)	
P1453 C-1 土師器(4), 滑石一次加工品(1), 粘土塊(3) 29号 (P3) P1454 L-2 石器(3) 掘立柱建物 30号 (P3) P1455 L-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30号 (P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(32) 掘立柱建物 30号 (P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31号 (P4) P1459 す-2 土師器(1) 掘立柱建物 31号 (P4) P1460 オ-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 11号 (P4)	P1452	し-1	粘土塊(2)	
P1454 C-2 口部(3) 30号(P3) P1455 L-2 土師器(6), 粘土塊(1) 掘立柱建物 30号(P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(32) 掘立柱建物 30号(P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1459 す-2 土師器(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1460 オ-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物 11号(P4)	P1453	L-1	土師器(4),滑石二次加工品(1),粘土塊(3)	29号 (P3)
P1455 C-2 工師器(6), 粘工塊(1) 30号(P4) P1456 す-2 土師器(3), 石器(32) 掘立柱建物 30号(P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1459 す-2 土師器(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1460 オ-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物	P1454	し-2	石器(3)	30 号 (P3)
P1456 g-2 土師器(3), 石器(3) 30号(P9) P1457 す-2 朝鮮系無釉陶器(1), 滑石製石鍋(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1459 す-2 土師器(1) 掘立柱建物 31号(P4) P1460 オ-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物	P1455	し-2	土師器(6),粘土塊(11)	30号 (P4)
P1459 す-2 土師器(1) 掘立柱建物 31号 (P4) P1460 オ-2 土師器(6), 須恵器(2), 滑石製石鍋(1), 鉄 掘立柱建物	P1456	す-2	土師器(3),石器(32)	31
9 - 2 工即衙(1) 31 号 (P4) 31 号 (P4) 31 号 (P4) 4	P1457	す-2	朝鮮系無釉陶器(1),滑石製石鍋(1)	
	P1459	す-2	土師器(1)	
	P1460	す-2		

第 173 表 ピット内出土遺物(25)

第 173 ā		ト内出土遺物(25)	I
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1461	す-2	土師器(2), 鞴の羽口(1)	掘立柱建物 30号(P5)
P1467	す-2	土師器(3)	掘立柱建物 31号(P6)
P1475	た-1	カムィヤキ(1)	掘立柱建物 31号 (P9)
P1476	す -2	土師器(2), 粘土塊(2)	掘立柱建物 32号(P15)
P1477	す-2	粘土塊(1)	
P1480	す-2	土師器(2), 粘土塊(1)	
P1497	せ-1	土師器(2), 炭化物(1)	掘立柱建物 32号(P18)
P1500	せ-1	土師器(2), 粘土塊(1), 石器(1)	掘立柱建物 34 号(P4)
P1503	せ-1	土師器(2), 石器(1)	掘立柱建物 34号(P16)
P1509	せ-1	石器(2)	掘立柱建物 35号(P18)
P1510	せ-1	粘土塊(6), 施釉陶磁器(1), 石器(1)	掘立柱建物 35号(P8)
P1511	せ-1	粘土塊(1)	
P1518	せ-1	土師器(1)	
P1519	せ-1	土師器(3)	掘立柱建物 33号(P10)
P1551	せ-1	石器(1)	掘立柱建物 34号(P6)
P1556	せ-2	土師器(3),土器(3),粘土塊(3),石器(1)	掘立柱建物 34号(P17)
P1560	せ-1	土師器(14), 粘土塊(3), 石器(3)	2. 3 (17)
P1567	せ-2	石器(1)	
P1571	す -1	土師器(1)	
P1575	さ-2	土師器(3)	
P1580	す -1	土師器(1), 須恵器(1), 粘土塊(8), 石器(4)	
P1581	す -1	土師器(2)	
P1585	す -2	土師器(3), 粘土塊(6)	掘立柱建物 33 号(P4)
P1587	す -1	土師器(1)	掘立柱建物 33 号(P3)
P1591	せ-1	石器(1)	掘立柱建物 33 号(P9)
P1593	す -1	土師器(2)	掘立柱建物 32号(P20)
P1595	す -1	土師器(6), 粘土塊(2), 石器(1)	掘立柱建物 32号(P19)
P1596	< -99	土師器(8), 須恵器(1), 石器(1)	
P1597	< -97	布目圧痕土器(2), カムィヤキ(1), 粘土塊(5), 石器(1), 軽石(3)	
P1599	< −97	土師器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3)	
P1600	< -98	カムィヤキ(1), 石器(1)	
P1601	< -98	滑石混入土器(1),粘土塊(6)	
P1602	< -98	布目圧痕土器(1),粘土塊(4),石器(1)	
P1603	< -98	粘土塊(6)	
P1606	< -98	軽石(1)	
P1607	< −98	石器(1)	
P1608	< -98	土師器(2),布目圧痕土器(1),滑石混入土器(1),粘土塊(4)	
P1611	< -98	滑石混入土器(8),粘土塊(1),石器(2)	
P1613	< -98	布目圧痕土器(4),滑石混入土器(1)	
P1618	< -99	土師器(7), 鉄滓(1)	掘立柱建物 25 号(P9)
P1621	< -98	粘土塊(2),石器(1)	

第 174 表 ピット内出土遺物(26)

20 17 TS	K L7	ト内出土遺物(26)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1623	< -98	須恵器(1)	
P1626	< -98	土師器(2), 土器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(4), 石器(2), 軽石(1)	
P1627	< −98	土師器(12), カムィヤキ(3), 滑石製石鍋(4), 滑石二次加工品(1), 滑石混入土器(5), 白磁(2), 鞴の羽口(1), 施釉陶磁器(1), 石器(3), 炭化物(1)	
P1629	< -98	土師器(2), 滑石製石鍋(2)	
P1631	< -98	土師器(2),滑石二次加工品(1),鉄滓(3),石器(1)	
P1632	< -98	白磁(1), 石器(1), 炭化物(1)	
P1633	< -98	布目圧痕土器(12),石器(1)	
P1635	< -98	土師器(1), 粘土塊(1)	
P1636	< -98	土師器(14),須恵器(1),粘土塊(2)	
P1637	< -98	土師器(1), 布目圧痕土器(2), カムィヤキ(2), 石器(1)	
P1638	< -98	鞴の羽口(1), 粘土塊(3)	
P1639	< -98	土師器(1), 粘土塊(1)	
P1640	< -98	土師器(14),粘土塊(4),石器(1)	
P1641	< -98	布目圧痕土器(1),粘土塊(10),石器(1)	
P1643	< -98	土師器(1),滑石製石鍋(1),滑石混入土器(2),兼久式土器(1),粘土塊(1),石器(1)	
P1645	< -98	土師器(9)	
P1647	< -98	土師器(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(4), 獣骨(1)	
P1652	< -98	カムィヤキ(1), 滑石混入土器(1)	
P1655	< -98	石器(1)	
P1659	< -99	土師器(1),滑石製石鍋(1)	掘立柱建物 25 号(P6)
P1661	< -98	土師器(2), 粘土塊(1)	
P1665	< -98	布目圧痕土器(1), カムィヤキ(1), 粘土塊(1)	
P1668	< -98	越州窯系青磁(1),布目圧痕土器(2),粘土塊(1)	
P1668 P1669	< -98 -		
		塊(1)	
P1669	-	塊(1) 土師器(3),滑石製石鍋(1),粘土塊(3)	
P1669 P1674	- け -98	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1)	
P1669 P1674 P1679	- け -98 け -98	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3)	
P1669 P1674 P1679 P1680	- け -98 け -98 く -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683	- 17 -98 17 -98 < -99 < -99 < -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(12), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2),	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684	- tt-98 tt-98 <-99 <-99 <-99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(12), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685	- 17 -98 17 -98 < -99 < -99 < -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685	- 17 -98 17 -98	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688	- 17 -98 17 -98	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1688	-	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須惠器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 帝目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1689 P1693	-	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須惠器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1689 P1693 P1693	- 17 -98 17 -98	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(1), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須恵器(1) 石器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1689 P1693 P1695 P1697	- 17 -98 17 -98 17 -98 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 18 -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須恵器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1693 P1693 P1695 P1697 P1698	- 17 -98 17 -98 17 -98 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 17 -99 18 -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須恵器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3), 本自圧痕土器(2)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1699 P1693 P1695 P1697 P1698 P1699	-	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須惠器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(2)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1699 P1697 P1698 P1699 P1704	- 17 -98 17 -98 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99 2 -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(2), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(2) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須恵器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(2), 須恵器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1699 P1697 P1698 P1699 P1704 P1706	-	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須惠器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(2), 須恵器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1693 P1697 P1697 P1698 P1704 P1706 P1708	- It -98 It -98 C -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3), 本目圧痕土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(3), 本目圧痕土器(2) 土師器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1699 P1698 P1699 P1704 P1706 P1708 P1711	-	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須惠器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(2), 須恵器(1) 土師器(2), 須恵器(1) 土師器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1699 P1697 P1698 P1704 P1706 P1708 P1711 P1712	-	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(1), 石器(2) 土師器(1), 須惠器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須惠器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(1), 須惠器(1) 土師器(2), 須惠器(1) 土師器(1) 土師器(1)	
P1669 P1674 P1679 P1680 P1683 P1684 P1685 P1687 P1688 P1699 P1697 P1698 P1704 P1706 P1708 P1711 P1712 P17113	- IT -98 IT -98 IT -98 IT -98 IT -99	塊(1) 土師器(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(3) 土師器(1), 粘土塊(1) 粘土塊(3) 兼久式土器(2) 土師器(2), 須恵器(1), 布目圧痕土器(2), 粘土塊(1), 石器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 布目圧痕土器(3) 土師器(1), 滑石製石鍋(1) 土師器(3), 鉄滓(1), 石器(1) 須恵器(1) 石器(1) 布目圧痕土器(1) 土師器(3) 土師器(3), 布目圧痕土器(2) 土師器(2), 須恵器(1) 土師器(2), 須恵器(1) 土師器(1) 土師器(1) 土師器(1)	

第 175 表 ピット内出土遺物(27)

第 175	表 ビッ	ト内出土遺物(27)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1716	< -99	土師器(1), 須恵器(1)	
P1718	< −99	土師器(1)	
P1726	< -99	土師器(7)	
P1727	< -99	土師器(13), 粘土塊(1)	
P1732	し-98	土師器(1), 粘土塊(2), 石器(1), 炭化物(2)	
P1738	< -99	土師器(1)	
P1740	< -98	土師器(1), 白磁(1), 粘土塊(1)	
P1743	< -98	布目圧痕土器(4), カムィヤキ(2), 白磁(2), 土器(1), 兼久式土器(1), 土製品(1), 鉄滓(1), 粘土塊(4), 石器(5), 軽石(3)	
P1745	< -88	カムィヤキ(1), 粘土塊(1), 石器(3)	
P1749	< -98	土師器(1), カムィヤキ(2), 白磁(1), 鉄滓 (1)	
P1751	< -98	土師器(2), 粘土塊(1), 軽石(1)	
P1752	< -98	土師器(6), 須恵器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物 24 号(P1)
P1753	< -98	土師器(5)	
P1755	< -98	施釉陶磁器(1)	
P1757	< -98	土師器(6),布目圧痕土器(1),鉄滓(1)	
P1759	-	土師器(10),粘土塊(1)	
P1760	< -98	滑石製石鍋(1), 白磁(1), 石器(1)	
P1763	< -98	土師器(3)	
P1770	< -98	布目圧痕土器(1),粘土塊(1)	
P1772	< -99	土師器(1), 石器(1)	
P1774	< -99	白磁(1), 鉄滓(1), 粘土塊(8), 石器(1)	
P1777	< -98	カムィヤキ(4), 白磁(1), 粘土塊(1)	
P1780	< -98	カムィヤキ(1)	掘立柱建物 23号(P1)
P1783	< -99	布目圧痕土器(1), カムィヤキ(4), 鉄滓(1), 粘土塊(2), 石器(2), 軽石(1)	掘立柱建物 23 号(P6)
P1784	< -98	カムィヤキ(1), 粘土塊(4)	
P1785	< -99	粘土塊(1),炭化物(1)	掘立柱建物 23 号(P5)
P1792	< -99	土師器(1),布目圧痕土器(2)	
P1793	< -99	須恵器(1)	
P1795	< -99	布目圧痕土器(1)	
P1796	< -99	土師器(1)	
P1797	< -99	鉄滓(2)	
P1799	< -99	土師器(4),須恵器(1),滑石製石鍋(1)	
P1800	< -99	土師器(1), 布目圧痕土器(1), カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(1), 滑石混入土器(1), 石器(1), 軽石(1)	
P1801	< -99	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物 23 号(P3)
P1802	< -99	土師器(5), 須恵器(2), 粘土塊(1), 施釉陶磁器(1)	
P1804	< -99	土師器(1), 須恵器(1), 布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(1),滑石混入土器(1),粘土塊(2), 石器(2)	
P1805	< -99	土師器(1), 白磁(1), 粘土塊(1)	
P1806	< -1	土師器(1), 粘土塊(2)	
P1807	< -1	土師器(4),粘土塊(2)	
P1808	< -1	土師器(2), 粘土塊(4)	
P1815	< -3	滑石製石鍋(1)	
P1817	< -99	粘土塊(1)	
P1819	< -99	土師器(2)	
		<u>I</u>	

第 176 表 ピット内出土遺物(28)

第 176	大 ヒツ	ト内出土遺物(28) 	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1821	< -99	土師器(4)	
P1823	< −99	布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(4), 石器(1)	
P1825	< -99	土師器(2), 布目圧痕土器(4), カムィヤキ(4), 滑石製石鍋(2), 滑石混入土器(1), 白磁(1), 鞴の羽口(1), 粘土塊(5), 軽石(4)	
P1827	< -99	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P1829	< −99	須恵器(1)	掘立柱建物 24 号(P3)
P1830	< -99	土師器(1)	掘立柱建物 24 号(P4)
P1833	< -98	粘土塊(1)	
P1836	< -38	滑石製石鍋(1)	
P1838	< -99	石器(1)	
P1840	< -98	土師器(2)	
P1844	< -98	土師器(12), 須恵器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物 24号 (P6)
P1846	< -98	土師器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(2)	
P1847	< -98	土師器(1), 鉄滓(3)	
P1849	< -98	カムィヤキ(1), 滑石製石鍋(1)	
P1852	< -98	土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物 25 号(P1)
P1854	< −97	石器(1)	掘立柱建物 25 号(P3)
P1857	< -98	土器(1), 鉄滓(1), 鞴の羽口(2), 粘土塊(1)	
P1858	< -98	滑石二次加工品(1)	掘立柱建物 25 号(P5)
P1860	< -98	石器(1)	
P1862	L-98	須恵器(1), カムィヤキ(3), 施釉陶磁器(11), 石器(7)	
P1866	< -99	土師器(1)	
P1869	さ-99	土師器(1)	
P1874	す-1	兼久式土器(1)	掘立柱建物 29 号(P2)
P1875	< −98	鉄滓(1)	
P1876	< -98	土師器(1)	
P1878	せ-98	土師器(1)	掘立柱建物 40 号(P3)
P1883	そ-97	石器(8)	掘立柱建物 40 号(P6)
P1884	< -98	石器(1)	
P1885	< -99	土師器(1), 粘土塊(1), 軽石(2)	
P1887	< -99	石器(1)	
P1888	< -99	土師器(1), 石器(1)	
P1889	< −97	粘土塊(3)	
P1894	< −99	土師器(1)	
P1897	さ-3	土師器(1), 石器(1)	
P1901	さ-4	鉄滓(1)	
P1910	L-5	土師器(1)	
P1915	< -4	鉄滓(1)	柵列
P1919	L-4	炭化物(1)	3
P1920	L-4	石器(1)	柵列
P1927	L-1	土師器(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物 29 号 (P4)
P1932	L-1	 土師器(2),滑石製石鍋(1)	掘立柱建物 36 号 (P3)
P1936	し-1	 粘土塊(7)	20 3 (13)
P1937	L-1	粘土塊(2)	
P1939	L-1	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(1)	
P1942	す-1	大字(1), 相上地(1), 扫插(1) 土師器(2), 布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(1), 白磁(1), 粘土塊(1), 石器(1)	掘立柱建物 36 号(P4)
P1948	す -1	土師器(3),粘土塊(4)	20 -2 (1 -1)
, , , TU	/		

第 177 表 ピット内出土遺物(29)

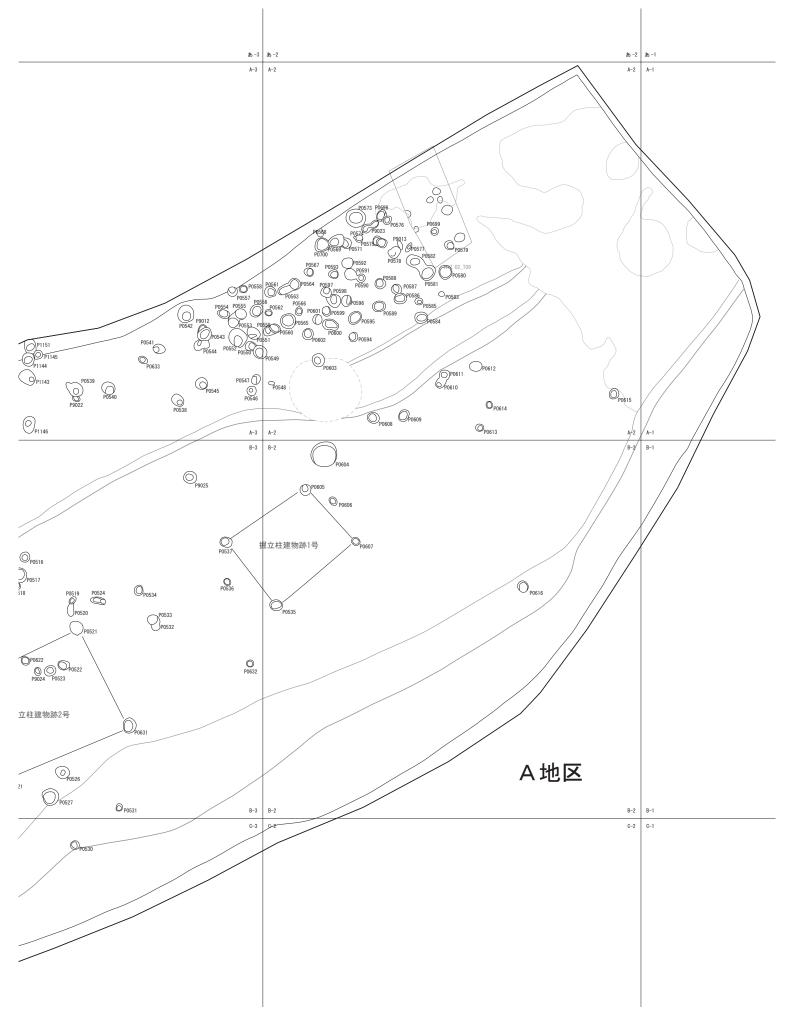
第 177	表 ピッ	ト内出土遺物(29)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1949	す -1	滑石製石鍋(1), 粘土塊(8), 陶磁器(1)	
P1950	す -1	鉄滓(1)	
P1953	す-99	鞴の羽口(1)	
P1954	す -1	土師器(1), 鞴の羽口(2)	
P1955	す -1	粘土塊(2)	
P1957	す -1	滑石製石鍋(1), 石器(1)	掘立柱建物 35 号(P4)
P1959	せ-1	石器(1)	
P1964	せ-1	施釉陶磁器(1)	
P1965	す -1	須恵器(1), 石器(1)	掘立柱建物 35号(P14)
P1972	す -1	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物 35号(P15)
P1973	せ-1	滑石製石鍋(1)	
P1974	せ-1	土師器(1)	
P1976	せ-1	 粘土塊(1)	
P1978	-	土師器(1)	掘立柱建物 35 号(P6)
P1987	せ-1		33 /3 (10)
P1991	せ-1	粘土塊(3)	掘立柱建物 35号(P11)
P1993	せ-1	須恵器(1)	掘立柱建物 35 号 (P10)
P1995	せ-1	粘土塊(1)	
P1999	せ-1	土師器(2), 粘土塊(1)	掘立柱建物 34号(P1)
P2001	せ-1	土師器(1)	掘立柱建物 34号 (P15)
P2002	せ-1	土師器(1), 粘土塊(3)	
P2003	せ-1	粘土塊(7), 石器(1)	掘立柱建物 35号(P23)
P2009	し-1	 石器(1)	33 13 (123)
P2011	L −1, 99	須恵器(1)	掘立柱建物 37 号(P5)
P2012	L-99	炭化物(1)	
P2014	L-99	滑石製石鍋(1), 石器(1)	
P2021	す -99	須恵器(1)	
P2023	す -1	粘土塊(1)	
P2026	す-99	粘土塊(2)	
P2027	す-99	14-74()	
		鉄滓(2), 粘土塊(1), 石器(1)	
P2030 P2032	す-99	石器(1)	
	9 -99	鉄滓(2)	
P2036	-	土師器(2), 鞴の羽口(2)	
P2038	す-99	越州窯系青磁(1), 粘土塊(1), 軽石(2)	
P2047	す-99	土師器(4)	掘立柱建物
P2049	す-99	土師器(3),鉄製品(1),粘土塊(4) 	41号 (P25)
P2050	す-99	(1)	41 号(P1)
P2052	す-99	須恵器(1)	掘立柱建物
P2054	す-99	土師器(1), 石器(1) 	41号 (P5)
P2057	す-99	施釉陶磁器(1)	掘立柱建物 37号 (P2)
P2068	す-99	土師器(3), 須恵器(2), 鞴の羽口(1)	掘立柱建物 41号(P4)
P2072	す-99	粘土塊(1)	掘立柱建物 41号 (P9)
P2077	す-99	石器(1)	掘立柱建物 41号(P11)
P2078	す-99	石器(2)	掘立柱建物 41 号(P3)
P2080	す-99	鞴の羽口(1)	

第 178 表 ピット内出土遺物(30)

第 178	大 ヒツ	ト内出土遺物(30) 	,
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P2081	す-99	土師器(1)	掘立柱建物 41号(P16)
P2083	す-99	滑石製石鍋(1),施釉陶磁器(1)	掘立柱建物 41号(P15)
P2084	す -98	土師器(1)	
P2085	す -98	滑石混入土器(1)	
P2087	す -98	土師器(1)	
P2088	す-98	土師器(3)	掘立柱建物 41号(P13)
P2093	す -98	粘土塊(1), 石器(1)	
P2099	せ-1	鞴の羽口(1)	
P2103	せ-1	粘土塊(2)	
P2108	せ-1	粘土塊(1)	
P2113	せ-1	施釉陶磁器(1)	
P2120	せ-1	粘土塊(6)	
12120	Q -1	**************************************	掘立柱建物
P2121	せ-1	滑石製石鍋(1)	35 号 (P24) 掘立柱建物
P2126	せ-99	土師器(3)	38号 (P6)
P2132	せ-99	土師器(4),粘土塊(1)	掘立柱建物 38号(P8) 掘立柱建物
P2139	せ-99	土師器(12),石器(1)	38号 (P3)
P2145	せ-99	石器(1)	掘立柱建物 41号 (P7)
P2151	せ-99	鞴の羽口(1)	掘立柱建物 35号(P13)
P2155	せ-99	須恵器(1)	掘立柱建物 35号(P1)
P2157	そ-99	土師器(1)	掘立柱建物 39号 (P5)
P2160	そ-99	土師器(1)	掘立柱建物 39号 (P8)
P2164	そ-99	土師器(1)	掘立柱建物 39 号(P2)
P2166	そ-99	土師器(2), 粘土塊(1), 炭化物(1)	
P2167	そ-99	土師器(15), 越州窯系青磁(2), 粘土塊(5), 獣骨(1)	掘立柱建物 39 号(P4)
P2168	そ-99	土師器(5), 越州窯系青磁(1), 粘土塊(1), 石器(1), 軽石(1)	掘立柱建物 39号(P3)
P2172	そ-99	土師器(1)	掘立柱建物 39 号(P1)
P2178	そ-99	炭化物(1)	
P2180	そ-99	炭化物(2)	
P2184	せ-99	土師器(1)	
P2187	せ-99	石器(2)	掘立柱建物 38号(P10)
P2200	す-98	土師器(1), 土器(1), 鞴の羽口(1), 石器(3), 炭化物(1)	
P2203	す-99	鞴の羽口(2)	掘立柱建物 41号 (P6)
P2204	せ-98	土師器(6)	掘立柱建物 40号 (P4)
P2206	す-99	鉄滓(5), 石器(2)	
P2207	す-99	カムィヤキ(1)	
P2213	す-1	土師器(1)	
P2214	す-1	粘土塊(2)	掘立柱建物 32号(P21)
P2218	せ-1	<u></u> 鉄滓(1)	-2 3 (121)
P2221	す-2	土師器(4), 粘土塊(1), 軽石(2)	掘立柱建物 30 号 (P7)
P2230	せ-2	石器(1)	掘立柱建物 34号(P10)
P2232	せ-2	石器(2)	掘立柱建物 34号 (P9)
P2233	す-2	土師器(2)	51.5 (17)
1 4433	y -Z	<u> </u>	

第 179 表 ピット内出土遺物(31)

20 17 2 5	L C /	1 F 3 HL 1 A B 1 M (5 1)	
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P2243	-	石器(1)	
P2244	す -1	須恵器(1)	
P2247	す -1	土師器(1)	掘立柱建物 37号(P7)
P2248	す -1	石器(1)	
P2252	す -1	滑石製石鍋(1),滑石二次加工品(1)	
P2255	す -1	施釉陶磁器(1), 無釉陶磁器(1), 石器(2)	
P2256	-	粘土塊(3)	
P2258	L -3	須恵器(1), 白磁(1), 粘土塊(7), 施釉陶磁器(1)	
SK019	た-6	土師器(3), 須恵器(1), カムィヤキ(3), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(21), 石器(2)	掘立柱建物 51号(P3)
SK021	た-6	龍泉窯系青磁(2)	掘立柱建物 51号(P1)
SK029	た-6	須恵器(1), カムィヤキ(1), 兼久式土器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物 50号(P4)
SK034	そ-11	鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(2), 獣骨(1)	掘立柱建物 83 号(P1)
SK040	そ-5	石器(1)	掘立柱建物 48 号(P1)



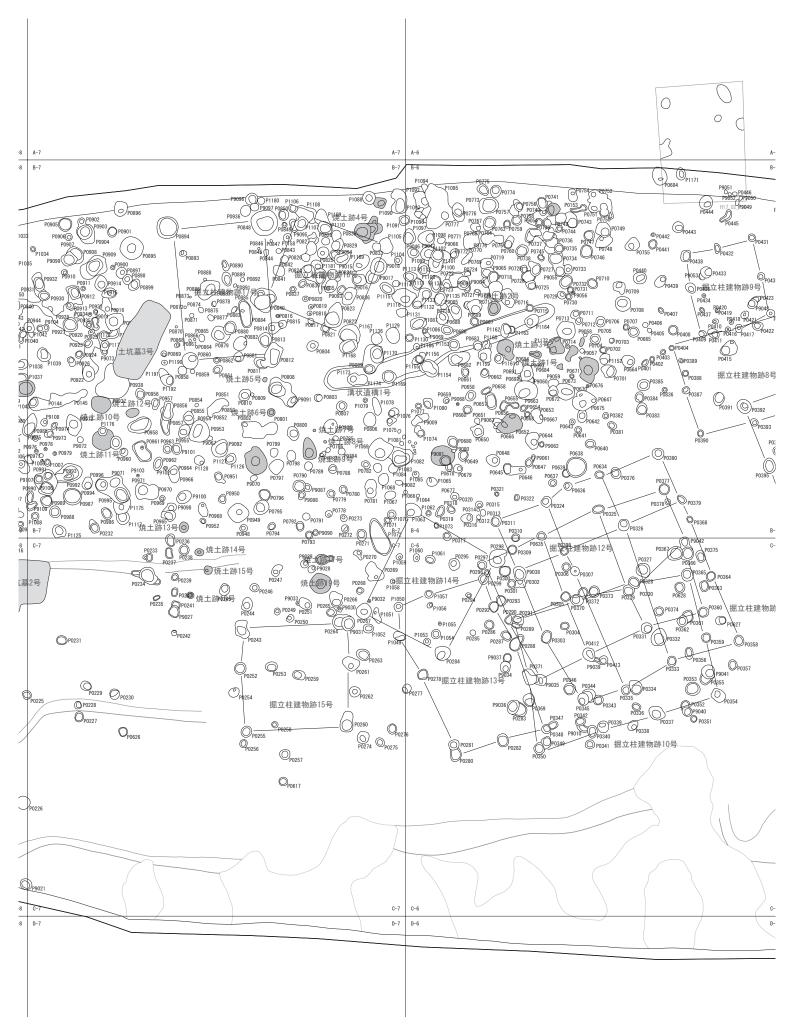
第211図 詳細遺構配置図(1)



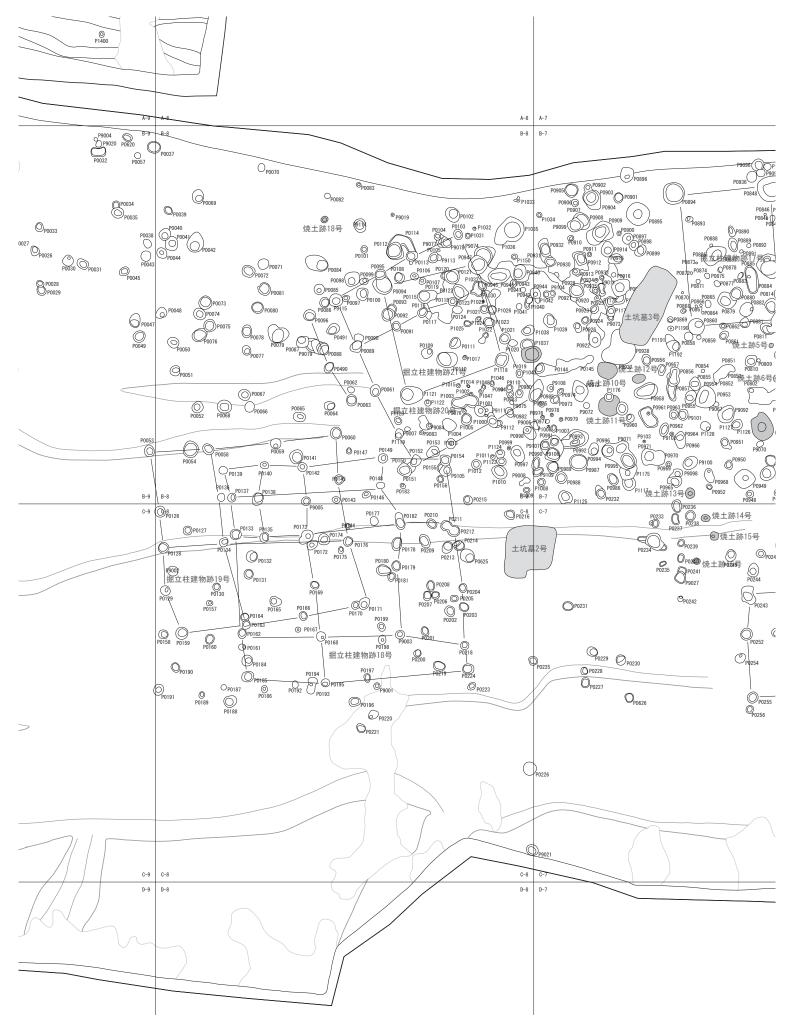
第212図 詳細遺構配置図(2)



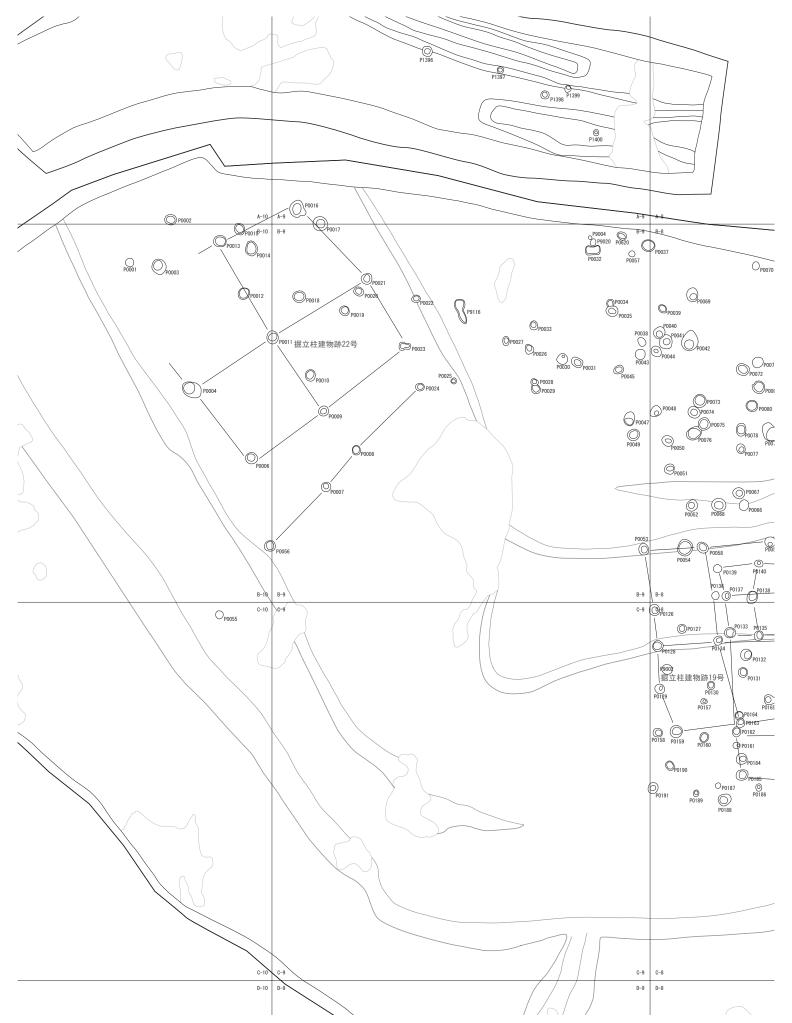
第213図 詳細遺構配置図(3)



第214図 詳細遺構配置図(4)



第215図 詳細遺構配置図(5)



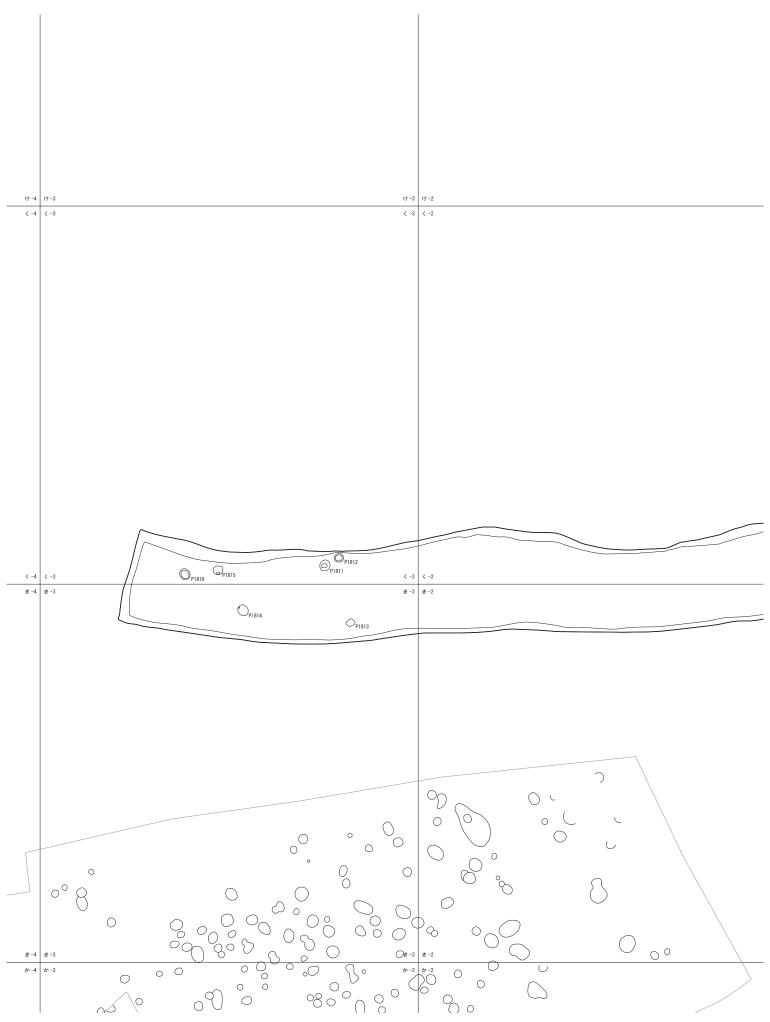
第216図 詳細遺構配置図(6)



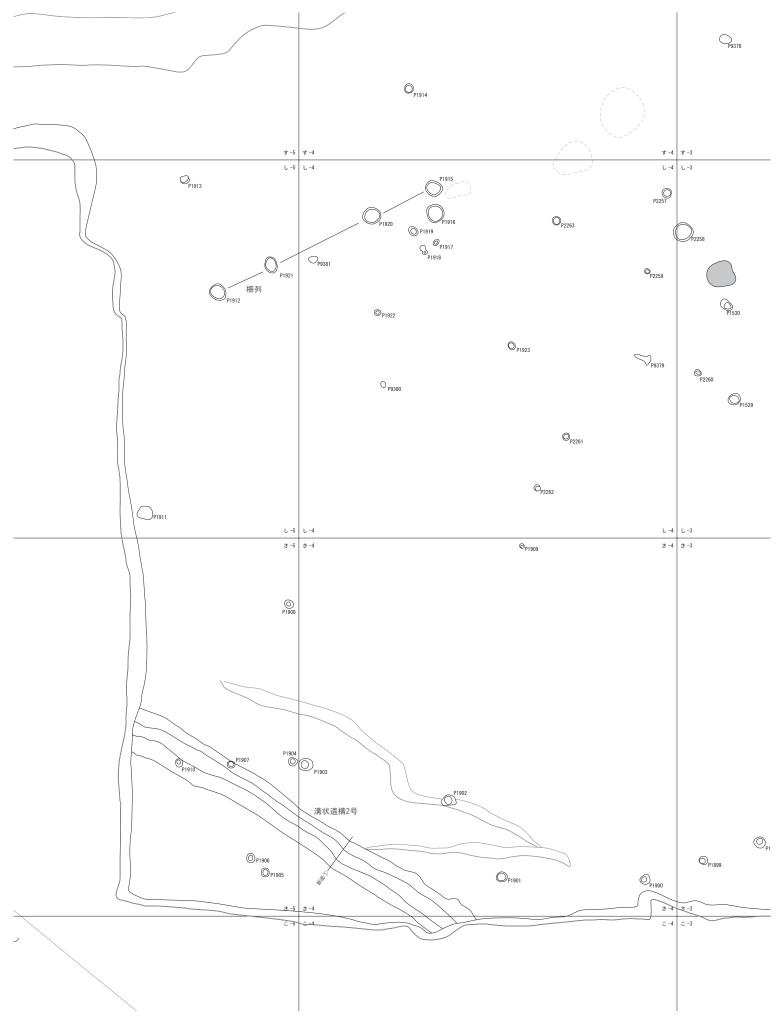
第217図 詳細遺構配置図(7)



第218図 詳細遺構配置図(8)



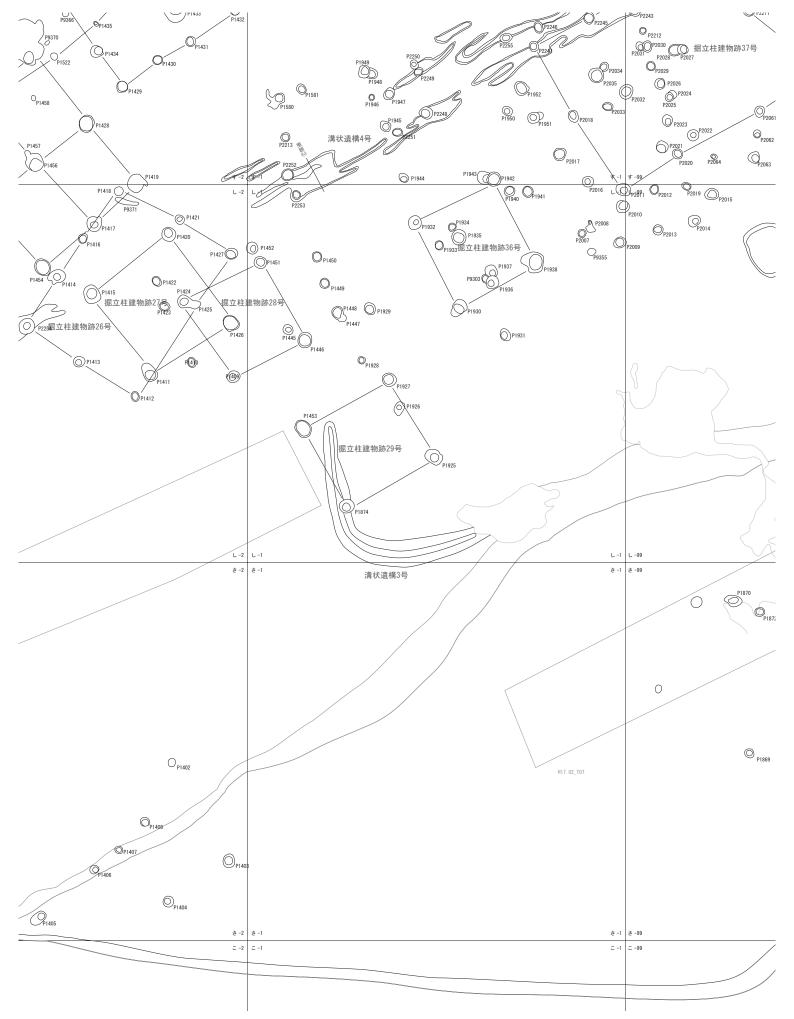
第219図 詳細遺構配置図(9)



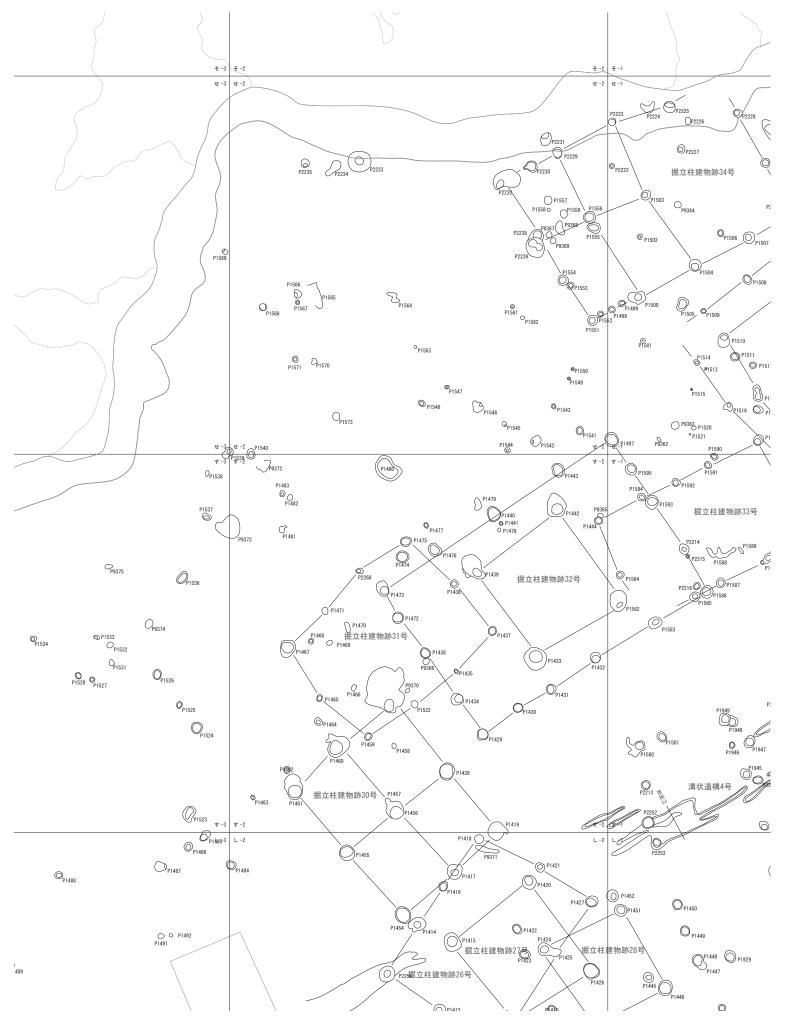
第220図 詳細遺構配置図(10)



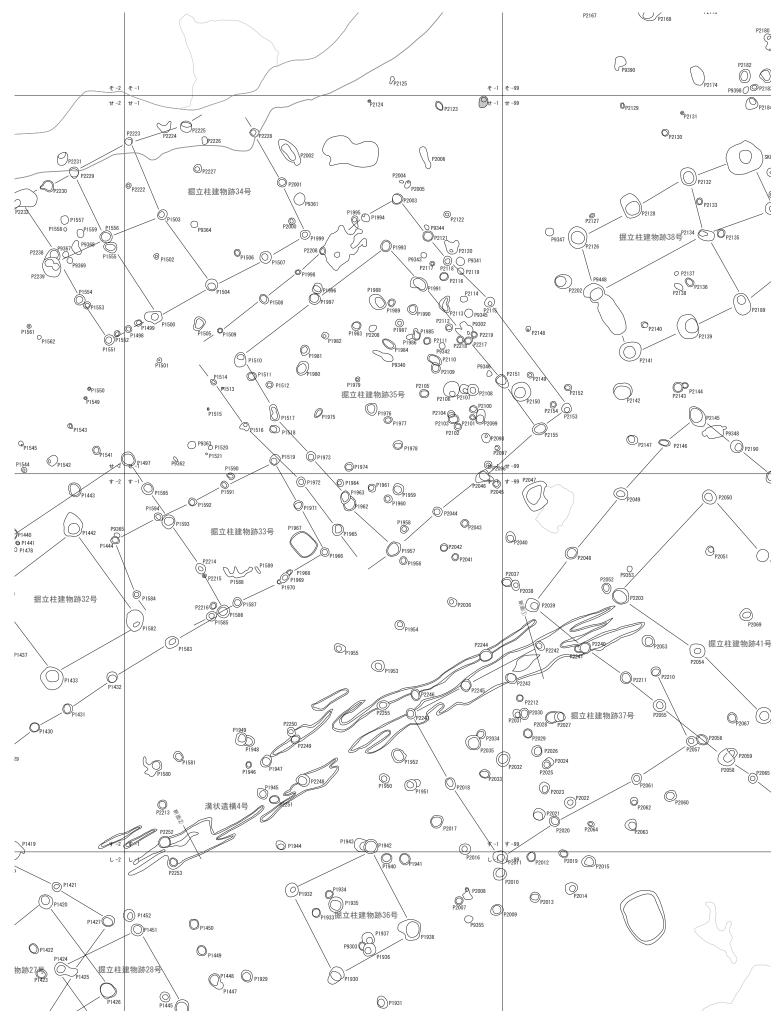
第221図 詳細遺構配置図(11)



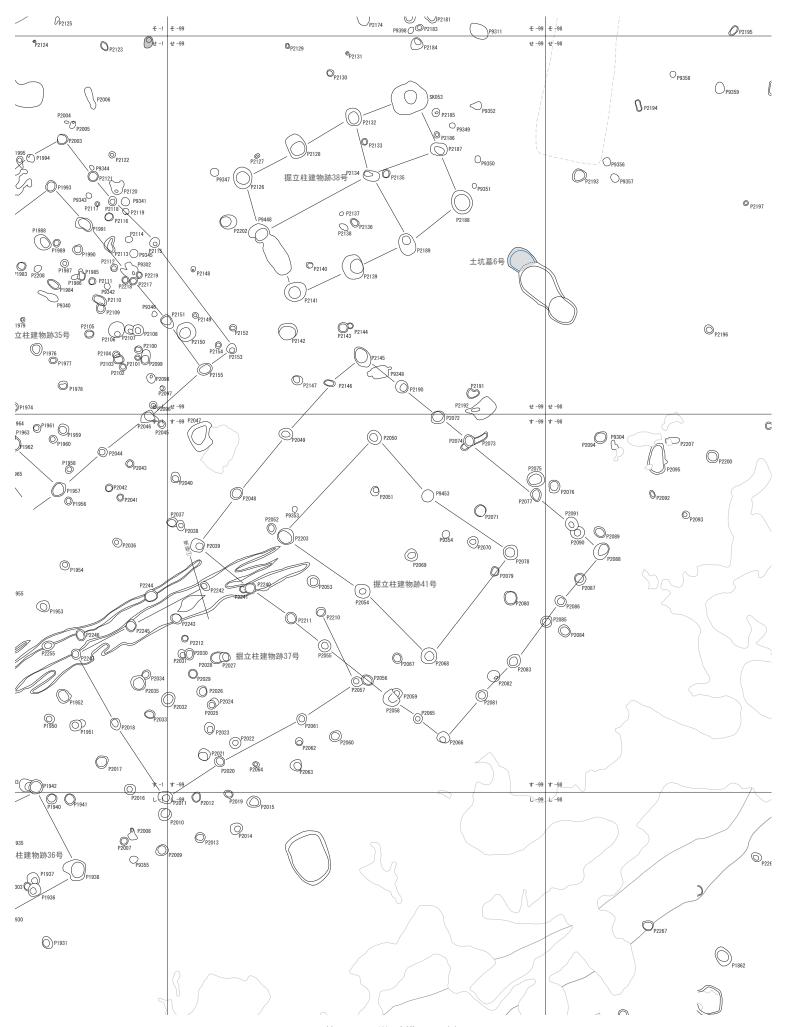
第222図 詳細遺構配置図(12)



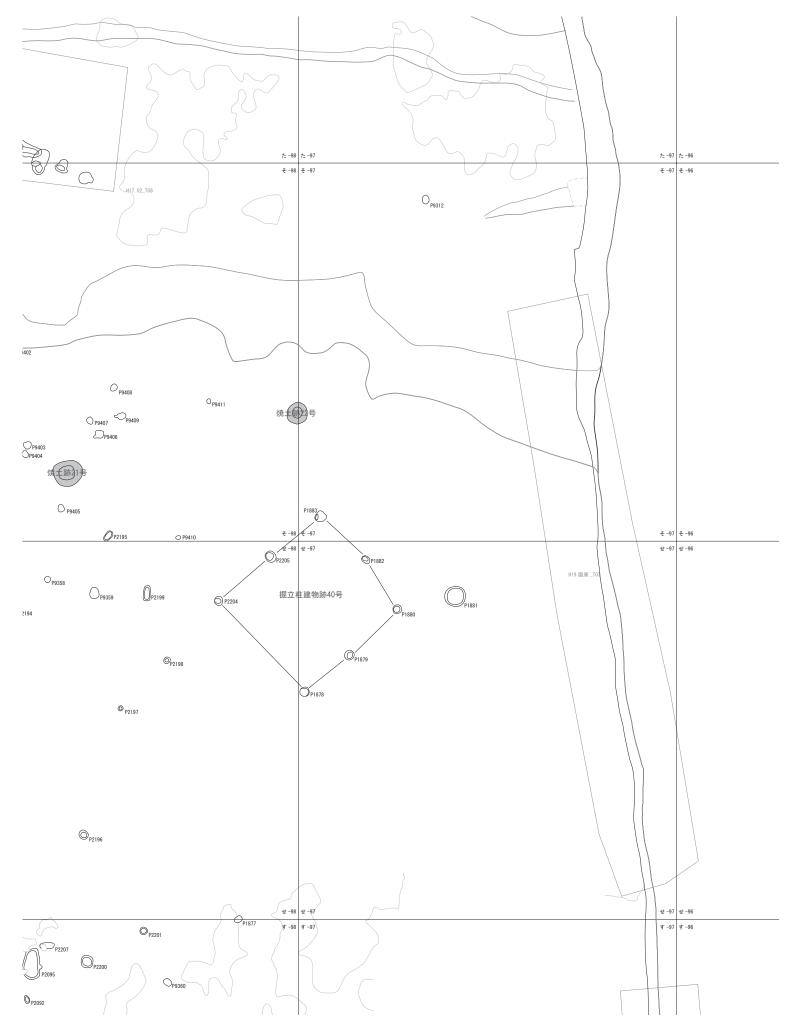
第223図 詳細遺構配置図(13)



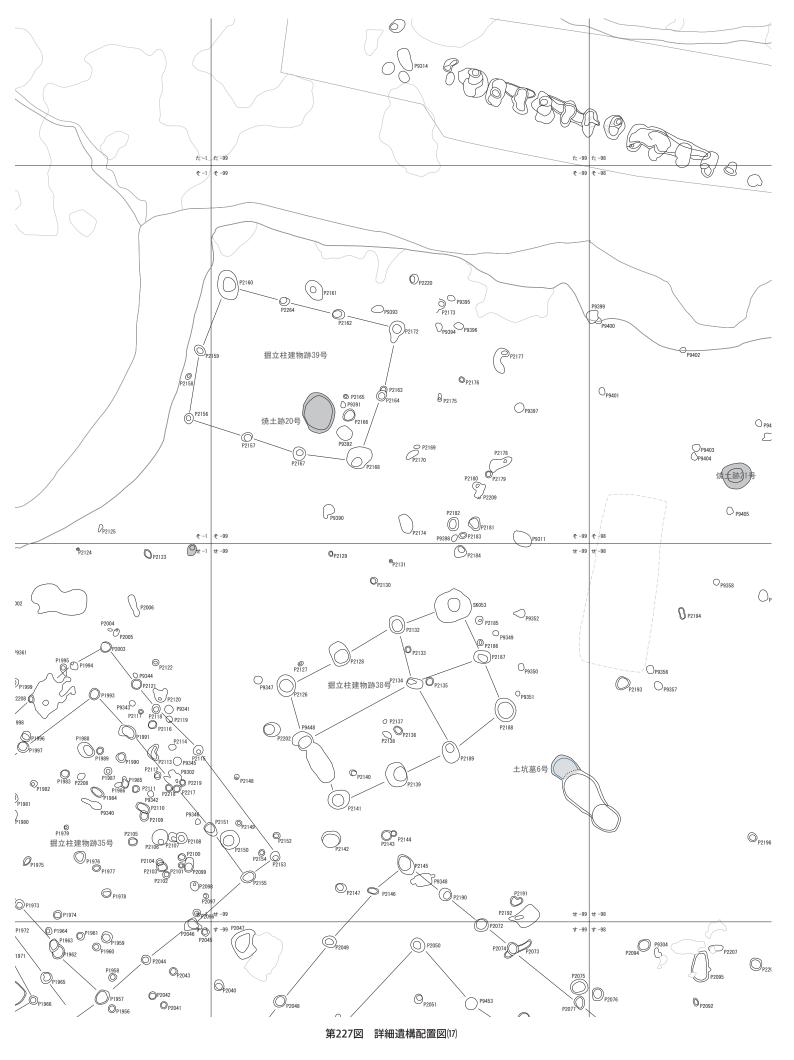
第224図 詳細遺構配置図(14)



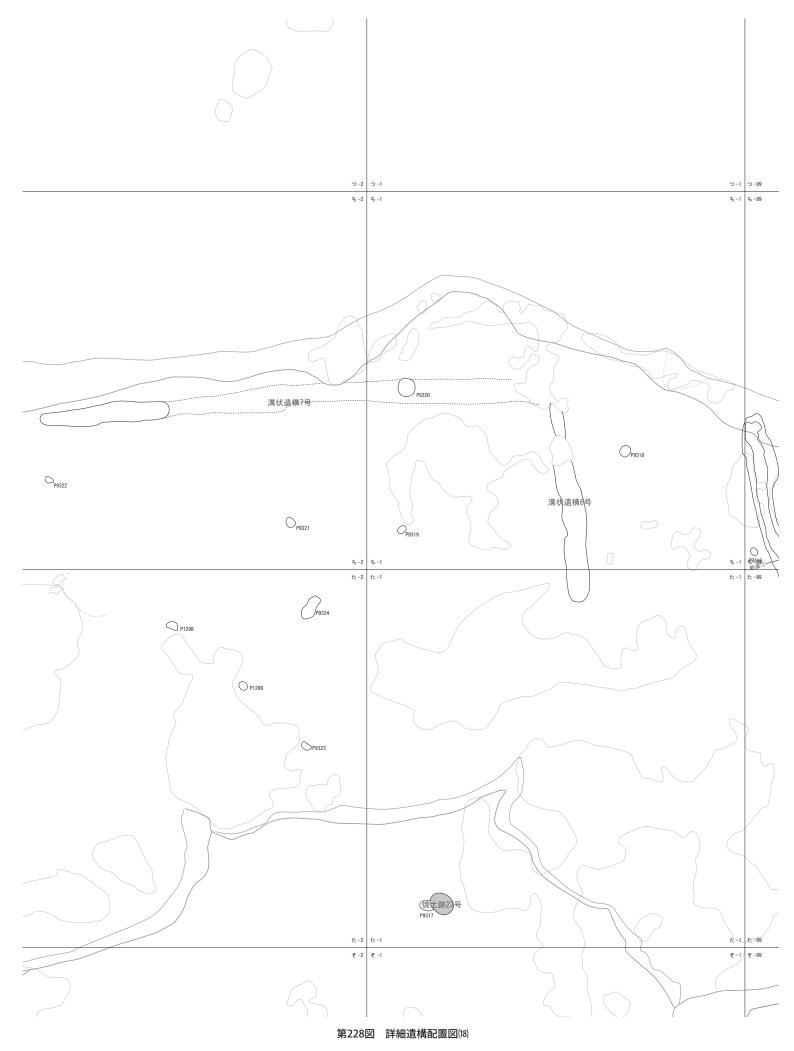
第225図 詳細遺構配置図(15)



第226図 詳細遺構配置図(16)



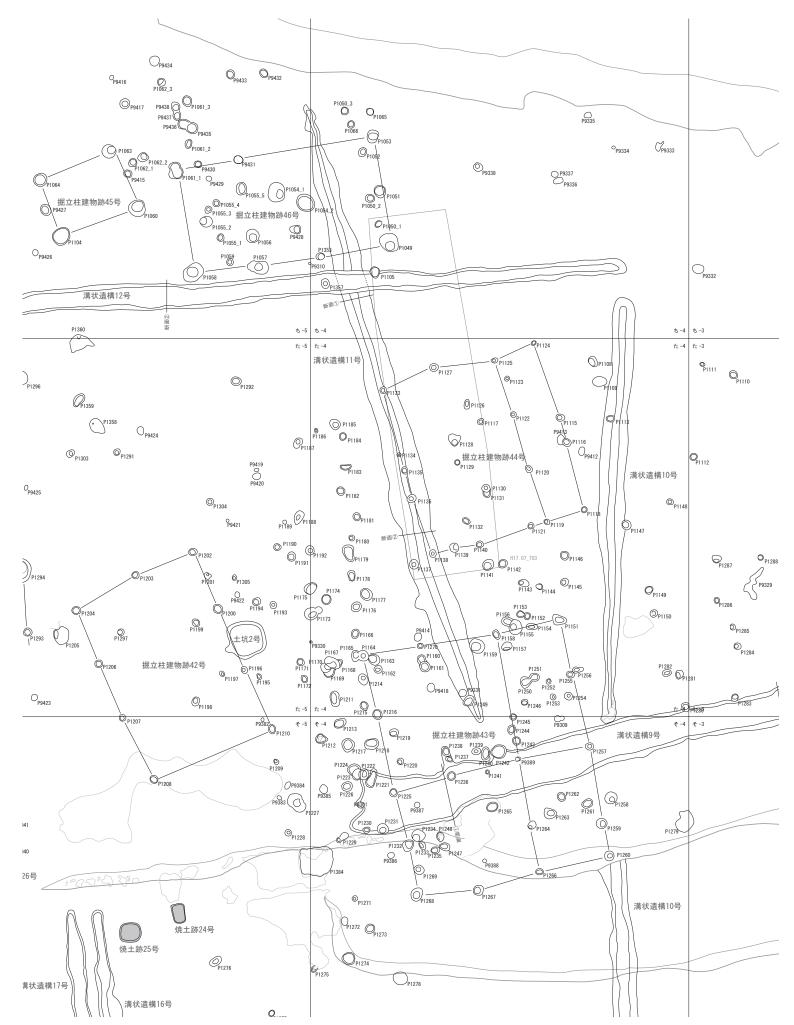
- 248 -



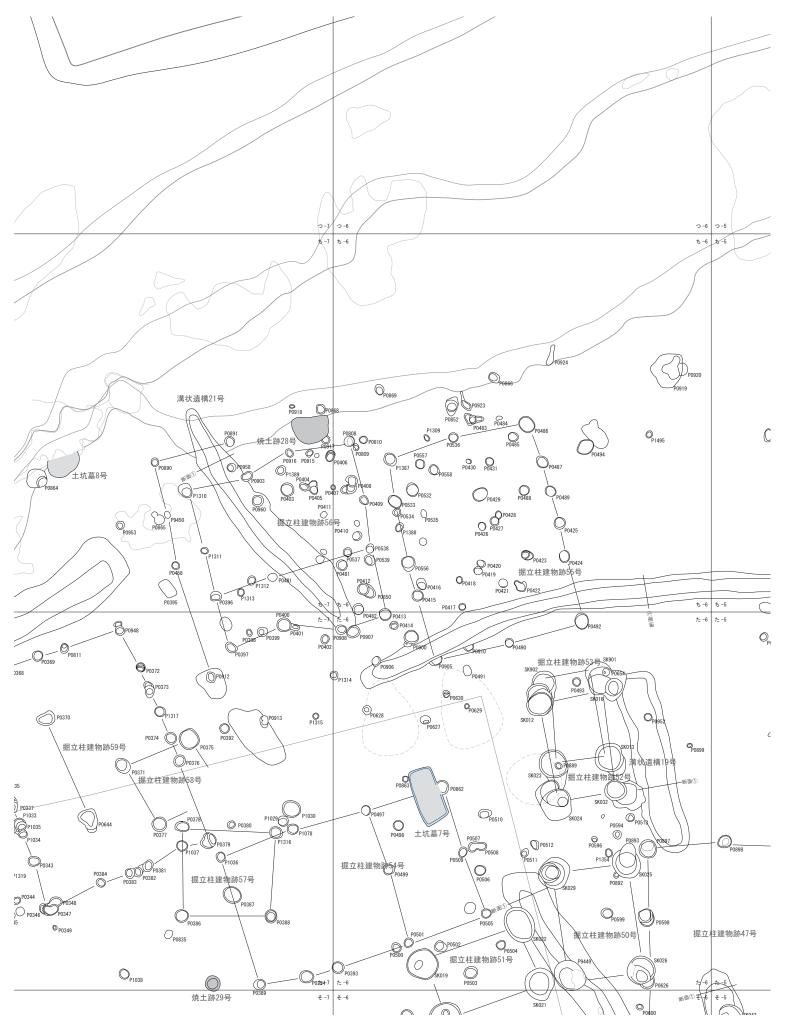
- 249 -



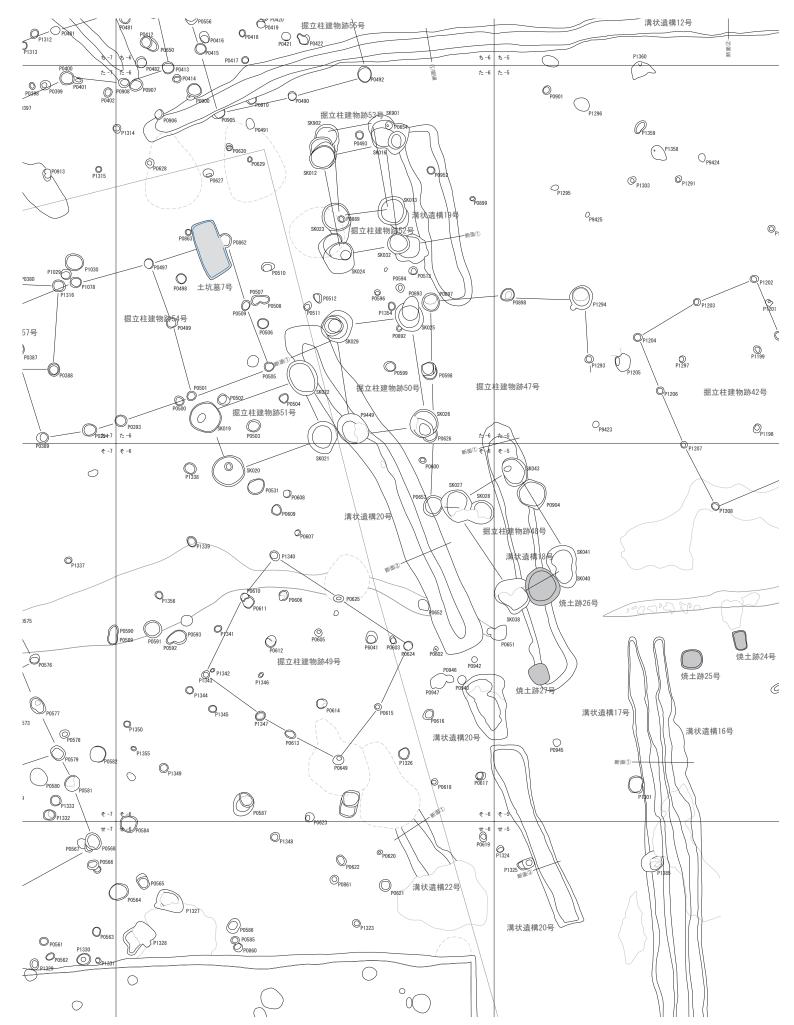
第229図 詳細遺構配置図(19)



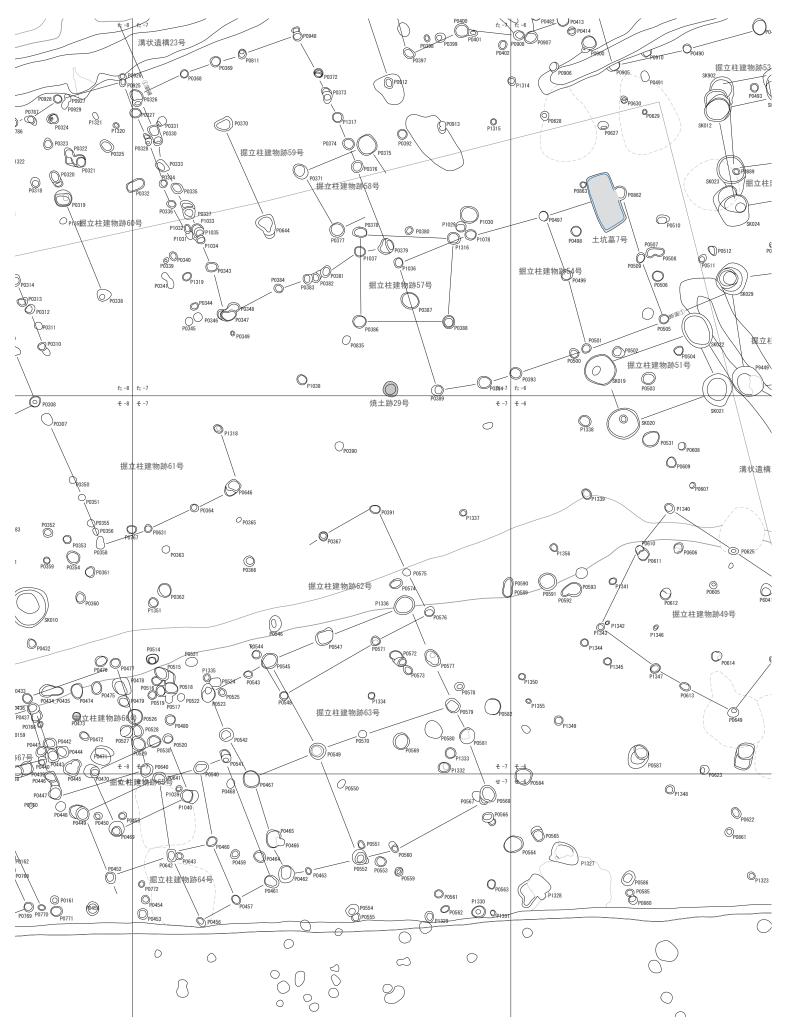
第230図 詳細遺構配置図(20)



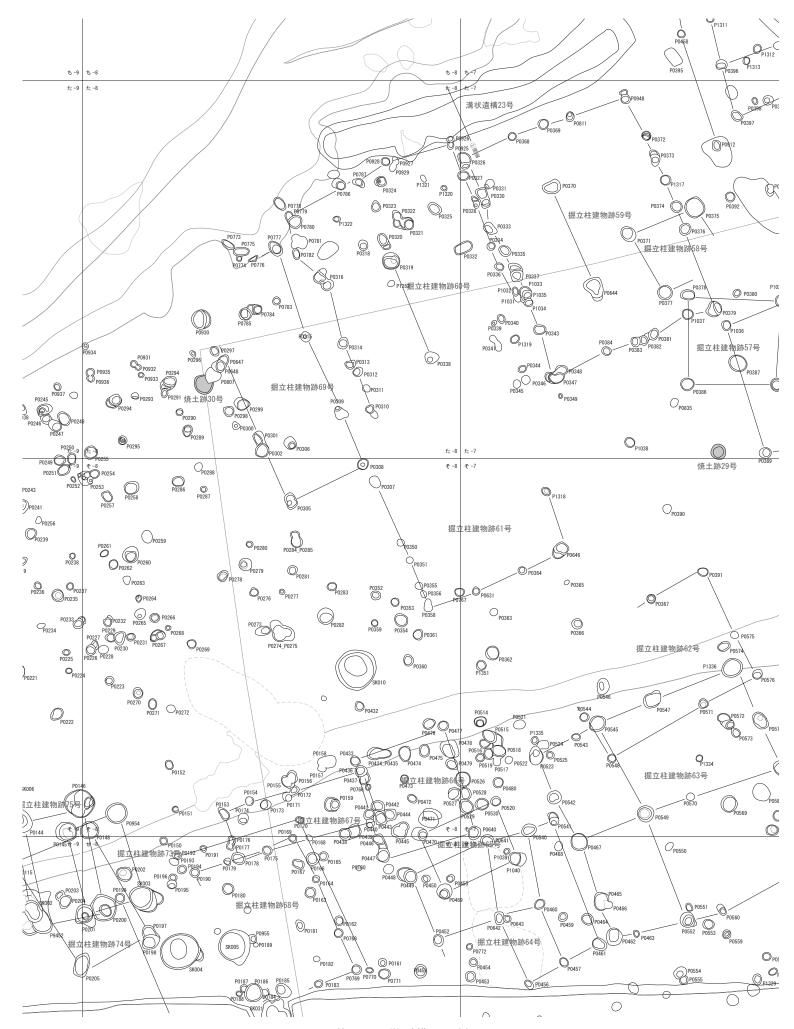
第231図 詳細遺構配置図(21)



第232図 詳細遺構配置図(22)



第233図 詳細遺構配置図(23)



第234図 詳細遺構配置図(24)



第235図 詳細遺構配置図(25)



第236図 詳細遺構配置図(26)



第237図 詳細遺構配置図(27)

半田遺跡

第四章 調査の概要

第1節 発掘調査の方法

ほとんどがトレンチ調査であったが、平成17年度からの調査では10 m間隔の調査用グリッドを設定して実施した。各年度とも伐採などの環境整備を実施した後、重機によって表土を除去し、遺物包含層であるⅡ層を人力で掘り下げ、Ⅲ層上面で遺構検出を行った。検出した遺構については、掘り下げを行い、写真撮影や50分の1の遺構配置図、10分の1の個別図の作成などを行った。なお、掘立柱建物跡の復元は、調査現場での復元と整理作業の段階での図上復元両方で行った。発掘調査終了後は、プレハブなどの撤収を終え鹿児島県農政部農地整備課(大島支庁喜界事務所農村整備課)へ調査現場を引き渡した。

第2節 発見された遺構・遺物

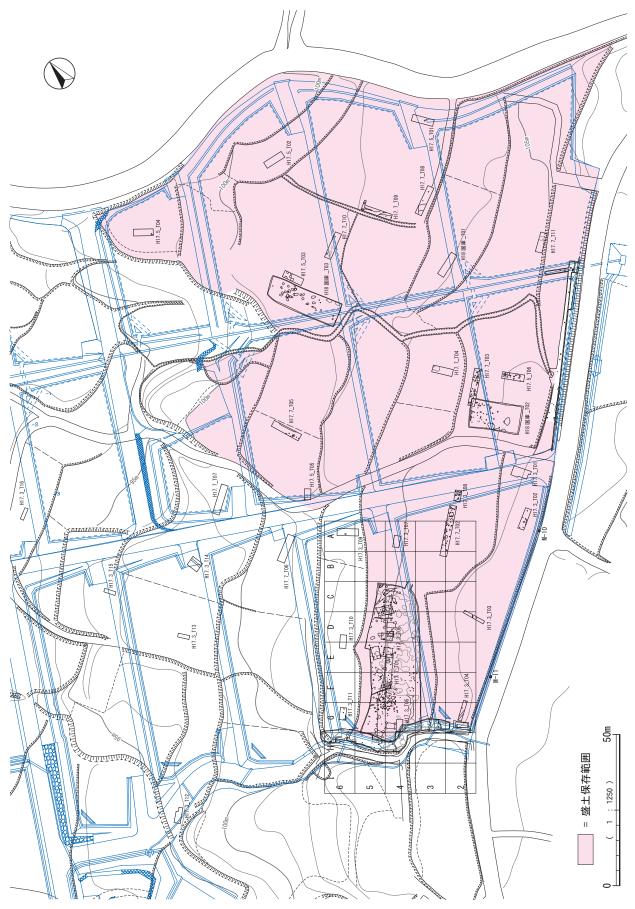
調査では、中世(14~15世紀主体)の遺構・遺物が発見された。遺構は、掘立柱建物跡 5棟、土坑墓 3基などを検出した。遺物は土師器・須恵器・兼久式土器・越州窯系青磁・布目圧痕土器・白磁・カムィヤキ・滑石製石鍋・滑石混入土器・青磁・ガラス玉・鞴の羽口・鉄滓・石器などが出土した。調査成果の詳細については、第IX章でふれることとする。

第3節 基本層位

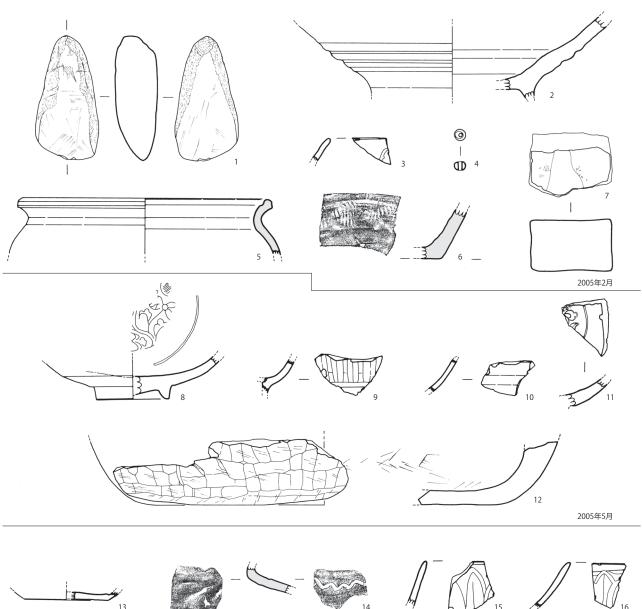
遺跡の土層は大きく4層に分けることができる。石灰岩の 風化土壌であるために堆積は薄く、表土から基盤層までの深 度は20cm程である。

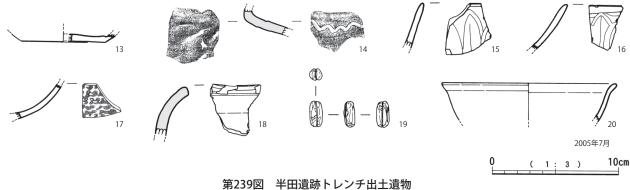
- I層--灰褐色粘質土で、サトウキビ畑の耕作土として利用されている。
- Ⅲ層 - 赤褐色粘質土で一般にマージと呼ばれる遺跡の基盤層である。(一部,細分化できる箇所もある)
- IV層 - 隆起珊瑚礁である。調査区の至る所に露頭がみられる。

第区章 半田遺跡発掘調査の成果



第238図 半田遺跡遺構配置図(1)





第1節 遺構

1 確認・試掘調査

確認・試掘調査は数年度に渡って行った。トレンチの配置 図は第238図の通りである。トレンチ番号については各年度で 1Tからあったため、「年度.月_トレンチ名」と表記している。

第239図は調査トレンチで得られた遺物である。

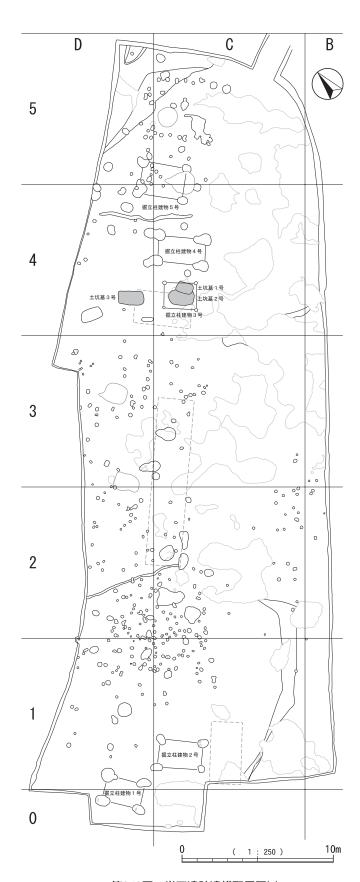
平成17年2月調査

1は石斧である。刃部は残っているが、基部は敲打痕が無数に見られる。2·7は6Tから出土したもので、2は陶器であ

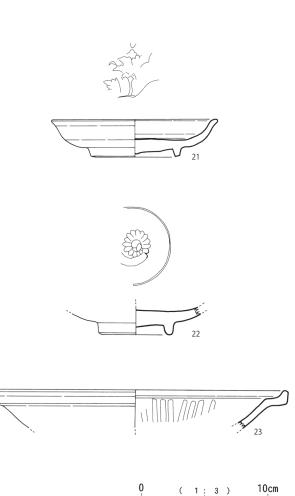
る。常滑焼かと見られる。3は龍泉窯系青磁である。4はガラス玉である。巻きつけ技法で制作されている。色調は青色である。5.6は9Tから出土している。カムィヤキである。

平成17年5月調査

8・9は1Tから出土している。8はビロースクタイプ白磁椀である。9は龍泉窯系青磁の坏と見られる。10~12は6Tから出土。12は滑石製石鍋の底部である。擦り切り痕などは見られない。



第240図 半田遺跡遺構配置図(2)



第241図 半田遺跡表採遺物

平成17年7月調査

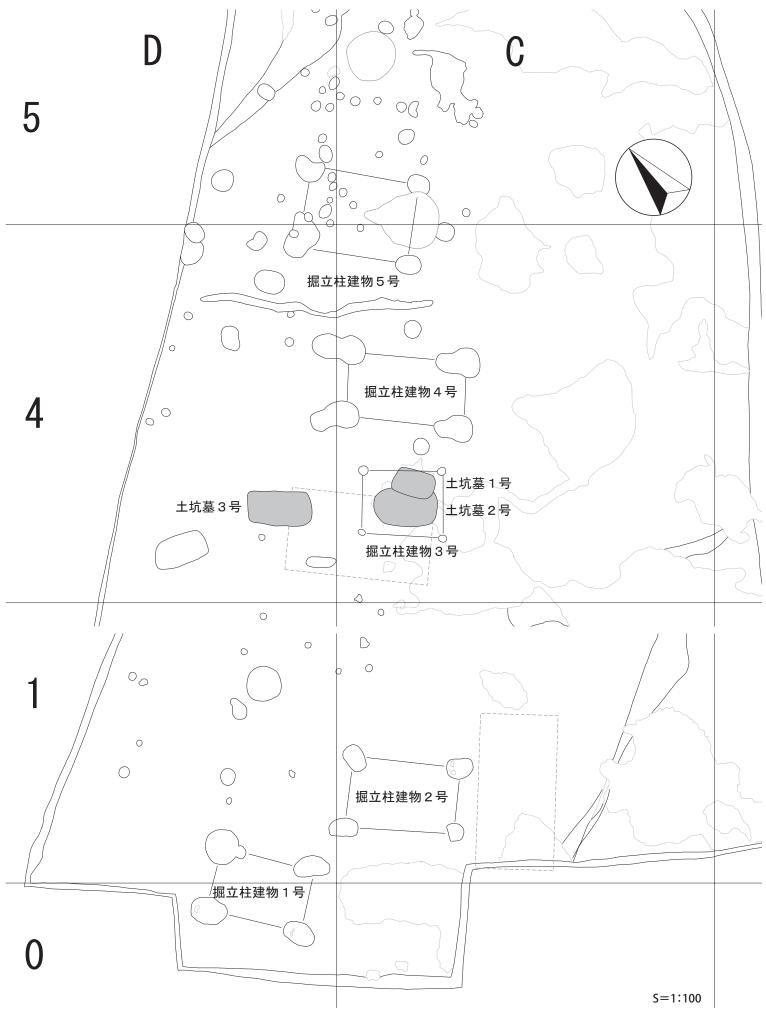
13·14は4Tからの出土である。13は白磁口禿げ皿,14はカムイヤキである。15~19は6Tから出土した。15·16は龍泉窯系青磁鎬連弁文椀である。19は滑石二次加工品である。縦方向に一条沈線が入っている。20は龍泉窯系青磁無文外反椀である。

平成17年調査

前年度の確認調査で人骨が出土した土坑を確認したため (1・2号墓), その周囲を広げて遺構内容を調査するために行うことになった。その範囲はグリッドで表示している範囲である。

遺跡全体の状況は、表土及び包含層を除去後、地山面まで掘り下げ遺構の検出を行った。掘立柱建物跡・土坑・溝状遺構などを確認している。

第241図21~23は表採資料である。いずれも龍泉窯系青磁である。 $21\cdot22$ は内面に印花文が描かれている。23は口径23.6cmを測る盤である。



第242図 半田遺跡 掘立柱建物跡

半田遺跡は協議によりほとんどが盛土保存されることとなった。そのため、発掘調査ではほとんどが遺構検出までに留めている。一部土坑は完掘を行っている。盛土保存の範囲はピンクで示した範囲で約20,000㎡である。

また、その後道路が取り付けられるか所が出てきたのでその範囲は緊急的に調査を行い、完掘をしている。

(1) 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡と考えられる遺構はいくつか確認できたが、 本遺跡は柱穴を掘っていないため、平面の検証しかできなかった。そのため、明瞭な建物跡のみを取り上げることとした。

掘立柱建物跡1号

D-0・1区で検出。 1×1 間の側柱建物跡で、梁行1.8m・桁行2.5mを測る。掘立2号と同じ主軸方向である。

掘立柱建物跡2号

C-1区で検出。 1×1 間の側柱建物跡で、梁行1.8m·桁行2.8mを測る。掘立1号と同じ主軸方向である。

掘立柱建物跡3号

C-4区で検出。 1×1 間の側柱建物跡で、梁行1.7m·桁行2.1mを測る。土坑墓 $1\cdot2$ 号の上に作られている。

掘立柱建物跡4号

C-4区で検出。 1×1 間の側柱建物跡で、梁行1.8m·桁行3m を測る。掘立 $1\cdot2$ 号と同じ主軸方向である。ピットの径は非常に大きい。

掘立柱建物跡5号

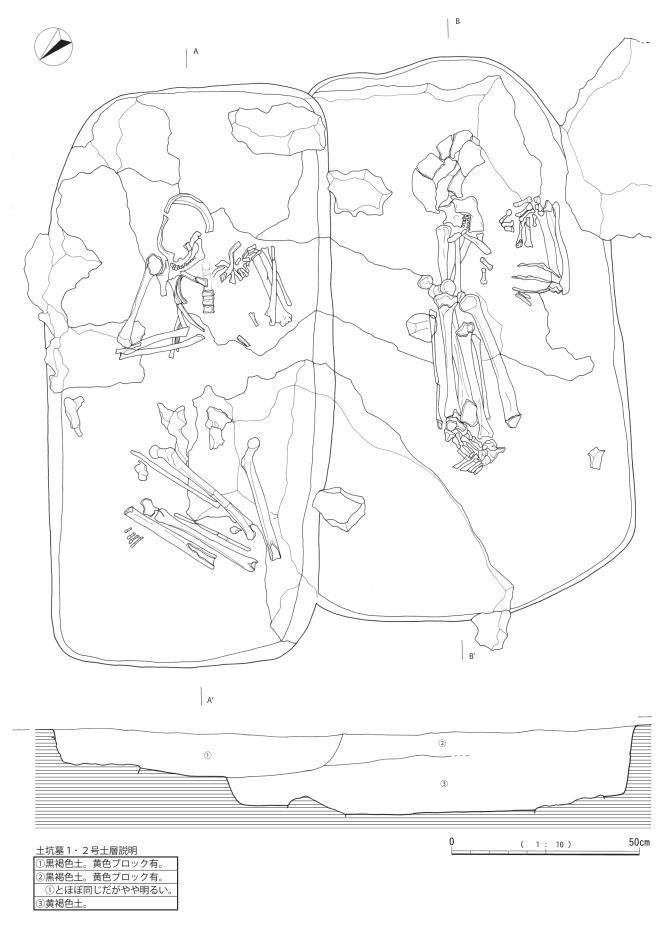
 $C \cdot D - 4 \cdot 5$ 区で検出。 1×1 間の側柱建物跡で,梁行 $2m \cdot$ 桁行 3mを測る。掘立4号とほぼ同じ規模 \cdot 主軸方向である。

第 180 表 半田遺跡トレンチ

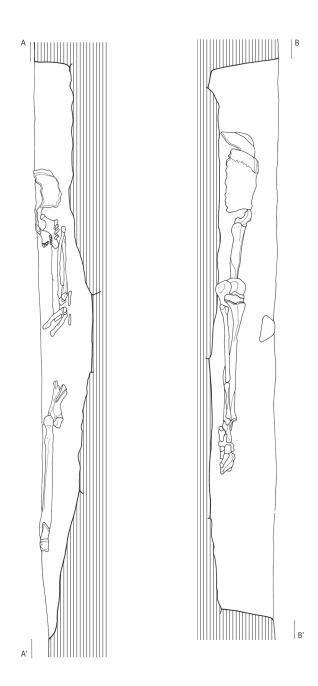
挿図	掲載番号	出土区	層位	分類 L1	分類 L2	分類 L3	部位	Ī	計測値 (cm)	調	整	重量	備考
No	拘蚁留写	山工区	冶位	刀規LI	刀類 LZ	万規 L3	即///	口径	底径	腰径	(内)	(外)	(g)	1佣与
	1	1T	一括	石器	石斧	転用品	-	-	-	-	-	-	232	0502
	2	4T	溝	陶器	-	常滑焼か	腰部	-	-	12.8	-	-	-	0502
	3	6T	土坑	龍泉窯系青磁	椀	無鎬連弁	口縁部	-	-	-	-	-	-	0502
	4	7T	II b	ガラス玉	-	-	完形品	-	-	-	-	-	-	0502
	5	9T	Ⅲ一括	カムィヤキ	-	-	口縁部	21.5	-	-	平行状	格子目状	-	0502
	6	9T	Ⅲ一括	カムィヤキ	-	-	底部	-	-	-	ナデ	平行状	-	0502
	7	4T	溝	石器	磨敲石	-	-	-	-	-	-	-	179	0502
	8	1T	II a	白磁	椀	ビロースク系	底部	-	5.8	-	-	-	-	0505
	9	1T	II a	龍泉窯系青磁	椀	-	腰部	-	-	-	-	-	-	0505
239	10	6T	包含一括	土師器	椀	-	-	-	-	-	-	-	-	0505
239	11	6T	包含一括	白磁	椀	ビロースク系	胴部	-	-	-	-	-	-	0505
	12	6T	包含一括	滑石製石鍋	-	-	胴部	-	-	-	-	-	430	0505
	13	4T	II	白磁	Ш	IX類	底部	-	6.5	-	-	-	-	0507
	14	4T	II	カムィヤキ	甕・壺	-	頚部	-	-	-	-	-	-	0507
	15	6T	II	龍泉窯系青磁	椀	鎬連弁	口縁部	-	-	-	-	-	-	0507
	16	6T	Ⅲ直上	龍泉窯系青磁	椀	鎬連弁	口縁部	-	-	-	-	-	-	0507
	17	6T	II	青花	椀	-	胴部	-	-	-	-	-	-	0507
	18	6T	II	カムィヤキ	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	0507
	19	6T	II	滑石二次加工品	錘状	-	-	-	-	-	-	-	3	0507
	20	9T	溝上	龍泉窯系青磁	椀	無文外反	口縁部	13.7	-	-	-	-	-	0507

第 181 表 半田遺跡表採

毎 101	久 十四周	3500公式木												
挿図	掲載番号	出土区	層位	分類 L1	分類 L2	分類 L3	部位		計測値 (cm))	調	整	重量	備考
No	拘製钳与	ШТС	冶业	刀規 LI	刀規 LZ	刀規 L3	미기자	口径	底径	腰径	(内)	(外)	(g)	湘石
	21	表採	-	龍泉窯系青磁	Ш	-	口縁部	12.8	6.2	3	-	-	-	-
241	22	表採	-	龍泉窯系青磁	椀	-	底部	-	5.3	-	-	-	-	-
1	23	表採	-	龍泉窯系青磁	盤	-	口縁部	23.6	-	-	-	-	-	_



第243図 土坑墓1・2号(1)



(2) 土坑墓

土坑墓1号・2号は平成17年2月調査6トレンチで検出した。2 基重複しており、左側が土坑墓1号、右側が土坑墓2号である。 土坑墓は石灰岩に近いところに作られており、1号墓が2号墓 を切っている。

土坑墓1号

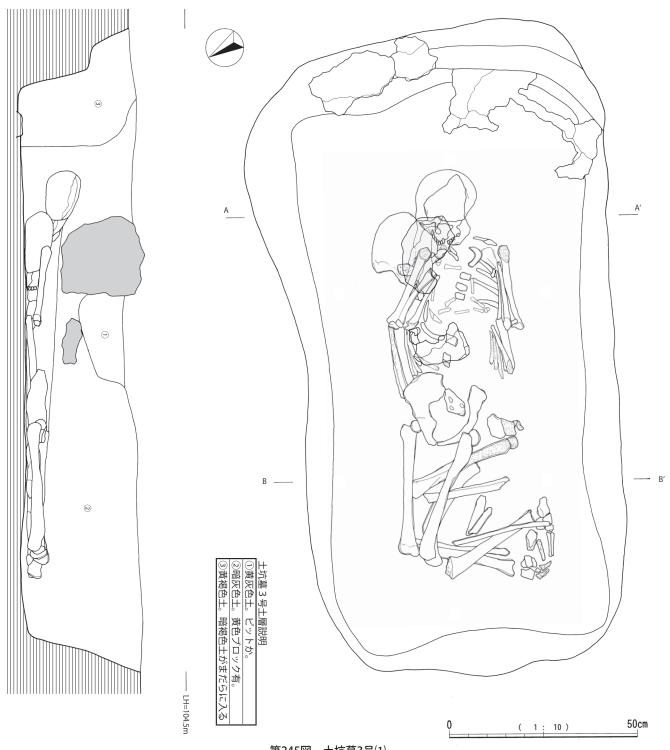
直径155cm×77cmの長方形状で、深さ11cmほどである。人骨を検出した。人骨は検出時点で顔面部分はなくなっていた。 埋葬方法は仰臥屈葬である。副葬品などは確認できなかった。

土坑墓2号

直径150cm×107cm程の長方形状で、深さ21cmであった。こちらも5~10cm掘り下げた所で、強く屈葬された人骨を検出した。熟年男性である。検出時点では残存が非常に良いのではないかと見られたが、取り上げてみると、腐食のためか、顔面の半分以上がなくなっていた。こちらも副葬品などは確認できなかった。



第244図 土坑墓1・2号(2)



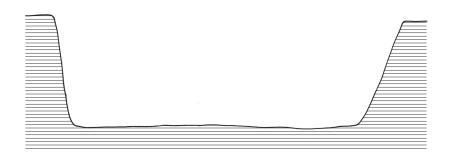
第245図 土坑墓3号(1)

土坑墓3号

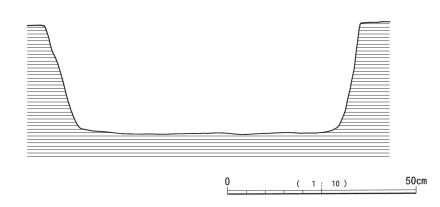
D-4区で検出。直径172cm×82cmの長方形状土坑である。土 坑の中央部分には石灰岩とピット状の凹みがあった。石灰岩 は人骨の少し上まで入っていた。②層が垂直気味に立ち上が ることから木棺状のものがあった可能性もある。人骨は床面 付近に安置されていた。人骨は13~25cmほど掘り下げたとこ ろで検出をした。人骨は2体重なっている様な状況で検出し た。上を1号人骨・下を2号人骨とした。

1号人骨は壮年の女性である。2号人骨は熟年の男性である。 また、この2体の人骨同士の間にはわずかに埋土が入ってい ることを確認した。このことから、一緒に埋葬されたのでは なく, 少し時間差があって追葬されたか, ほぼ同時期に亡く なり、2号人骨を埋葬→土をかぶせる→1号人骨を埋葬した可 能性などが考えられる。副葬品などは確認できなかった。

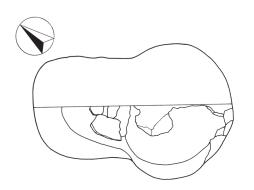
______ LH=104.5m



______ LH=104.5m

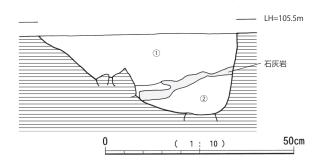


第246図 土坑墓3号(2)



(3) 土坑

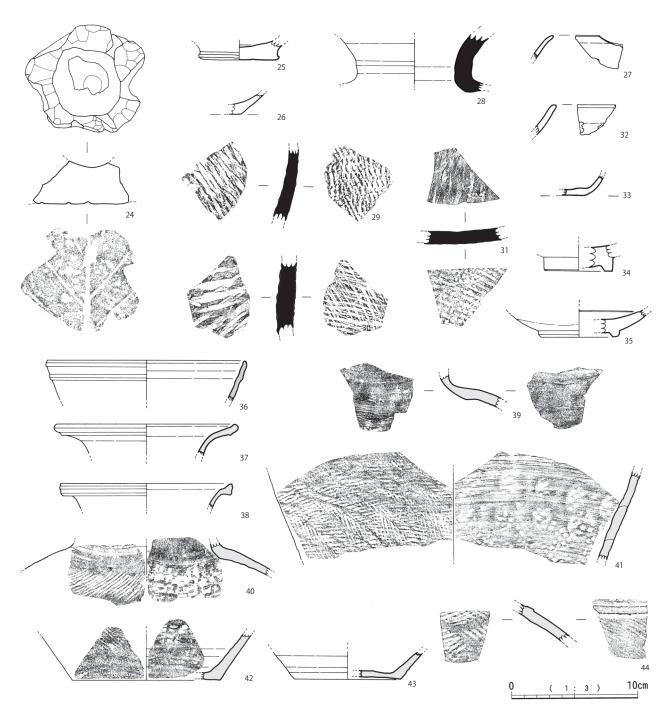
C-4区で検出。直径53cm×36cmほどの円形状土坑である。この土坑の周囲には同様のものが3基みられることから、土坑墓かどうか判断するため、半裁を行った。その結果、遺物は出土しなかったが、石灰岩の塊が下面にひろがっていた状況からピットと捉えた。掘立柱建物跡4号の南西隅の柱である。



土坑1号土層説明 ①暗灰褐色土。黄色ブロック有。

②暗褐色土。①よりブロック多。

第247図 土坑1号



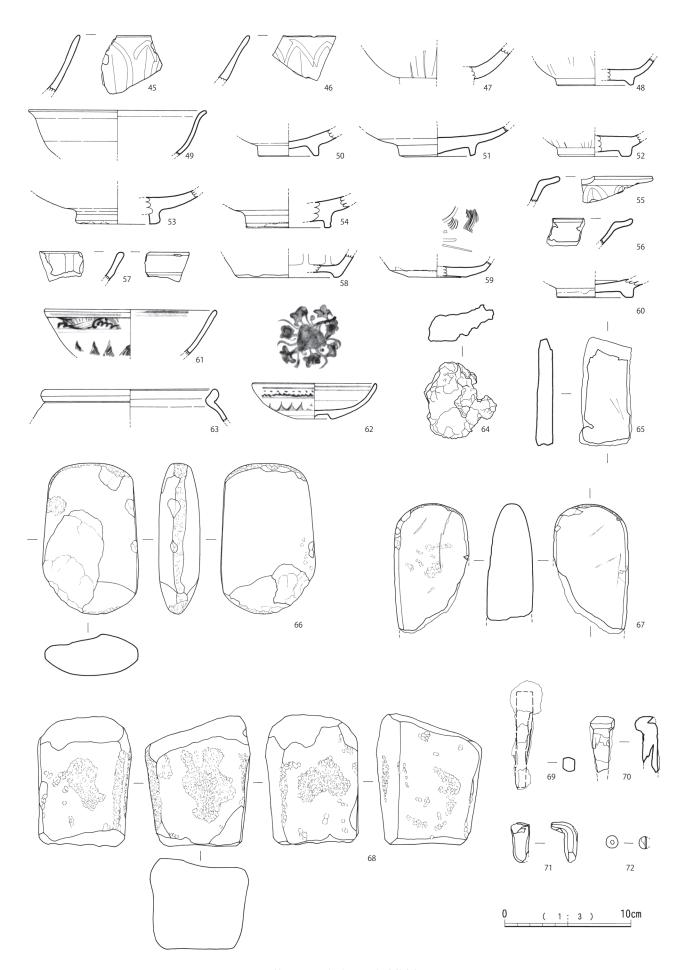
第248図 包含層出土遺物(1)

(4) 包含層出土遺物

24~72は包含層から出土した遺物である。

24は兼久式土器の底部と見られる。裏面に木葉痕がはっきりと残っていた。底部の整形は非常に荒く、ナデがよく観察できた。平面から見ると五角形状に見える。25・26は土師器の底部である。27は越州窯系青磁椀である。28~31は須恵器である。31は内面が擦られている。32~35は白磁である。33は口禿げ皿の底部である。32・33はビロースク系白磁椀である。34は今帰仁タイプ白磁椀である。36~43はカムィヤキである。36は椀と見られる。37~43は甕・壺になると見られる。

44は朝鮮系無雄陶器と見られる。肩部に凸帯が見られる。内外面に平行状タタキ・当て具痕が観察できる。 $45\sim60$ は龍泉窯系青磁である。 $45\sim54$ は椀である。 $45\cdot46$ は鎬連弁文椀である。 $47\cdot48$ は無鎬連弁文椀と見られる。 $55\cdot56$ は口折れ椀か坏である。 $57\cdot58$ は内面に幅広沈線が見られる。59は内面に文様が描かれている。 $61\cdot62$ は青花である。64は椀形鉄滓である。 $65\sim68$ は石器である。 $66\cdot67$ は石斧である。いずれも敲打痕が見られるため,敲打具として転用されている。 $69\sim71$ は鉄製品である。 $69\cdot70$ は釘である。72は鉛玉である。



第249図 包含層出土遺物(2)

第 182 表 半田遺跡包含層出土遺物 (1)

挿図	掲載番号	出土区	層位	分類 L1	分類 L2	 分類 L3	部位	Ī	計測値 (cm))	調	整	重量	備考
No	拘蚁留写	山工区	唐位	刀規口	刀類 LZ	万規 L3	即加	口径	底径	腰径	(内)	(外)	(g)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	24	D5	Пb	兼久式土器	甕	-	底部	-	7	-	-	-	-	底に木葉痕
	25	C5	Пb	土師器	坏	-	底部	-	5.2	-	-	-	-	-
	26	C3	Пb	土師器	坏	-	底部	-	-	-	-	1	-	-
	27	D2	II b	越州窯系青磁	椀	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	28	D5	II b	須恵器	甕	-	頸部	-	-	-	ナデ	ナデ	-	-
	29	C0	II b	須恵器	甕	-	胴部	-	-	-	平行状	平行状	-	-
	30	C2	II b	須恵器	甕	-	胴部	-	-	-	平行状	平行状	-	-
	31	D5	II b	須恵器	甕	転用品	胴部	-	-	-	格子目状	格子状	-	内面磨滅
	32	C2	II b	白磁	椀	ビロースク	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	33	C3	II b	白磁	ШIX	-	底部	-	-	-	-	-	-	口禿げ
248	34	C3	II b	白磁	椀	ビロースク	底部	-	5.6	-	-	-	-	-
	35	C5	II c	白磁	椀	今帰仁タイプ	底部	-	6	-	-	-	-	-
	36	C1	II b	カムィヤキ	椀	-	口縁部	15.4	-	-	-	-	-	-
	37	D5	II b	カムィヤキ	壺・甕	-	口縁部	13.8	-	-	-	-	-	-
	38	D5	II b	カムィヤキ	壺・甕	-	口縁部	13.3	-	-	ナデ	ナデ	-	-
	39	C4	II b	カムィヤキ	-	-	頚部	-	-	-	平行状	-	-	-
	40	C1	II b	カムィヤキ	壺・甕	-	胴部	-	-	-	平行状	格子状	-	-
	41	D5	II b	カムィヤキ	壺・甕	-	胴部	-	-	-	綾杉状	格子状	-	-
	42	C3	II b	カムィヤキ	壺・甕	-	底部	-	11.6	-	平行状	格子状	-	-
	43	D5	II b	カムィヤキ	壺・甕	-	底部	-	8.4	-	ナデ	ナデ	-	-
	44	D5	II b	陶器	-	-	胴部	-	-	-	平行状	平行状	-	外面凸带

第 183 表 半田遺跡包含層出土遺物 (2)

挿図	掲載番号	出土区	層位	分類 L1	分類 L2	分類 L3	部位	Ī	計測値 (cm))	調	整	重量	備考
No	拘蚁留写	田工区	増加	刀規 LI	刀類 LZ	刀規 L3	미기	口径	底径	腰径	(内)	(外)	(g)	1佣与
	45	D1	II b	龍泉窯系青磁	椀	鎬連弁	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	46	C4	II b	龍泉窯系青磁	椀	鎬連弁	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	47	D2	Пb	龍泉窯系青磁	椀	鎬連弁	腰部	-	-	-	-	-	-	-
	48	C1	II b	龍泉窯系青磁	椀	鎬連弁	底部	-	5.6	-	-	-	-	鎬弱い
	49	D2	II b	龍泉窯系青磁	椀	無文外反	口縁部	13.8	-	-	-	-	-	-
	50	B5	II b	龍泉窯系青磁	椀	-	底部	-	4.6	-	-	-	-	-
	51	C3	II b	龍泉窯系青磁	椀	-	底部	-	5.6	-	-	-	-	-
	52	C4	II a	龍泉窯系青磁	椀	-	底部	-	5.5	-	-	-	-	-
	53	C2	II b	龍泉窯系青磁	椀	-	底部	-	5.5	-	-	-	-	-
	54	C3	II b	龍泉窯系青磁	椀	-	底部	-	6.5	-	-	-	-	-
	55	C4	II c	龍泉窯系青磁	椀×坏	鎬連弁	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	56	C2	II b	龍泉窯系青磁	椀×坏	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	口折れ
	57	C2	II b	龍泉窯系青磁	坏	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
249	58	C3	II b	龍泉窯系青磁	坏・皿	-	底部	-	7.9	-	-	-	-	-
249	59	C2	II b	同安窯系青磁	Ш	-	底部	-	4.5	-	-	-	-	-
	60	C2	II b	青白磁	椀	-	底部	-	5.8	-	-	-	-	-
	61	C1	II b	青花	椀	小野C群Ⅰ類	口縁部	13.2	-	-	-	-	-	-
	62	D3	II b	青花	▥	小野C群Ⅰ類	口縁部	8.6	2.9	2.8	-	-	-	-
	63	D0	II b	陶器	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	64	C2	II b	鉄滓	椀形滓	-	-	-	-	-	-	-	101	-
	65	D5	II b	石器	砥石	-	-	-	-	-	-	-	76	-
	66	D5	II b	石器	石斧	転用品	-	-	-	-	-	-	523	-
	67	C4	II b	石器	石斧	転用品	-	-	-	-	-	-	339	-
	68	C5	II b	石器	磨敲石	-	-	-	-	-	-	-	989	-
	69	C5	II b	鉄製品	釘	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70	C2	II b	鉄製品	釘	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	71	C2	II b	鉄製品	釘	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	72	C4	II b	鉛玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第250図 土坑墓4号

2 緊急調査

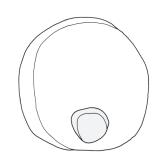
道路部分と排水溝が一部通るために調査を行い, 道路部分については完掘, 水路部分については影響がある範囲まで, 堆積していた層とピットの一部を掘削した。

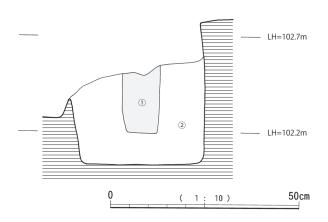
(1) 道路部分

 $G \cdot H \cdot 2 \sim 6$ 区の部分で遺構の密度は低く、わずかな柱穴跡・土坑を確認した。その中でも標高の高い所で人骨を検出している。

土坑墓4号

土坑墓4号は直径103cm×90cmの楕円形状土坑であった。石 灰岩の上に作られていた。人骨は強く屈葬されていた。土坑 内からは副葬品などは出土していない。





第251図 土坑2号

ピット

標高の一番低い段で出土したピットである。直径10cmほど の柱痕跡が残っていた。

(2) 水路部分

大ウフ遺跡に隣接する範囲で、H17.5_T06の南側の部分である。包含層と見られる暗褐色土の一部と、ピットの一部を 完掘している。包含層・ピット内からは遺物は出土していない。

土坑2号土層説明

①柱痕跡。

②暗黄褐色土。粘質有。

第X章 半田遺跡自然科学分析

第1節 鹿児島県喜界町半田遺跡3号墓出土の人骨

鹿児島女子短期大学 竹中 正巳

はじめに

2006年6月に鹿児島県大島郡喜界町(奄美諸島喜界島) に所在する半田遺跡が発掘調査され、3号墓から2体の人骨 が出土した。本稿では、この2体の人骨について人類学的精 査を行った結果を報告する。

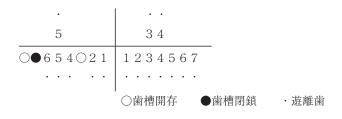
半田遺跡 3 号墓

2体が折り重なって埋葬されていた。2体とも左右両肘を強く曲げ、左右両膝を強く曲げた仰臥屈葬位で、東頭位の埋葬である。先に埋葬された2体の内の下にある人骨を1号人骨とし、上に位置する人骨を2号人骨とする。下に位置する1号人骨に骨格の大きな乱れはなく、2体は同時に埋葬されたと考えられる。

1号人骨 (男性・熟年)

保存状態は悪い。上述のとおり、左右両肘を強く曲げ、左右両膝を強く曲げた仰臥屈葬位で、東頭位の埋葬である。2 号人骨と同時埋葬であるが、墓壙に先に入れられた。

性判定は眉弓の突出が強いことから、男性と判定される。 年齢は咬耗が Martin の 2 度であることから、熟年と判定した。歯式は次のとおりである。

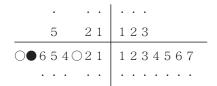


咬耗は特に前歯部で強い。これは、何らかの作業、たとえば植物の繊維や動物の皮なめしなどに前歯部を酷使したためであろう。

2号人骨 (女性・熟年)

保存状態は悪い。1号人骨と同様,左右両肘を強く曲げ,左右両膝を強く曲げた仰臥屈葬位で,東頭位の埋葬である。 1号人骨と同時埋葬であるが,墓壙に後に入れられた。

性判定は眉弓の突出が弱いことから、女性と判定される。 年齢は咬耗が Martin の 2 度であることから、熟年と判定した。歯式は次のとおりである。



○歯槽開存●歯槽閉鎖・遊離歯

咬耗は特に前歯部で強い。これは、何らかの作業、たとえば植物の繊維や動物の皮なめしなどに前歯部を酷使したためであろう。また、咬合は鋏状咬合で、被蓋が非常に深い(図1)。2号人骨の左大腿骨最大長は373mm(現場計測)であり、この値から Pearson 式で計算すると推定身長は145.3cmとなる。右大腿骨最大長は360mm(現場計測)であり、またこの値から Pearson 式で計算すると推定身長は142.9cmとなる。いずれにしても、身長は低い。



図 1 鹿児島県喜界町半田遺跡 3 号墓 2 号人骨(女性・熟年)の上顎前歯部舌側面の異常な咬耗 (3 | 2 1 12)

松下 孝幸・松下 真実

【キーワード】: 鹿児島県, 中世人骨, 仰臥屈葬, 低身長

はじめに

鹿児島県大島郡喜界町大字城久字半田に所在する半田遺跡の試掘調査が県営圃場整備事業に伴い,2004年度(平成16年度)におこなわれ、埋葬遺構から人骨が出土した。人骨は、ほぼ長軸が平行し、土坑が一部重複する2基の土壙墓から埋葬状態で出土した。人骨の保存状態は比較的良好であった。

喜界町(島)では、2004年(平成16年)に半田B遺跡から火葬骨を含む4体の人骨が出土している(竹中・他, 2009)が、保存状態はよくない。

奄美諸島での古人骨の出土例は少なく、縄文人骨は、奄美 大島笠利町の下山田 II 遺跡 (小片・他, 1988a), 沖永良部島 (知名町)の知名町中甫洞穴(松下,1984)から出土してい るにすぎない。弥生人骨は、奄美大島笠利町の宇宿貝塚(松 下, 1979), 宇宿港遺跡 (永井, 1981), 宇宿貝塚東地区 (峯, 1993). 馬毛島の椎の木遺跡 (中橋, 1980). 種子島の鳥ノ峯 遺跡(中橋, 1996), 徳之島の伊仙町面縄第1号貝塚(松下・ 他, 1983b) から出土しており, 奄美大島の長浜金久遺跡か らは弥生人骨と縄文人骨が出土している(松下,1985)。また、 弥生時代から古墳時代の人骨としては、薩南諸島の種子島の 広田遺跡(中橋・他, 2003, 2007) から出土した人骨が著名 である。奄美大島・奄美市のフワガネク遺跡群ナガガネク(長 金久) 地区からは古墳人骨が出土しており(松下, 2003a), 笠利町宇宿貝塚東地区からは12~13世紀のグスク時代の人 骨が (峰・他, 1993), 2004年には名瀬市の朝仁貝塚から 15 世紀(中世)の人骨が出土している。また、奄美大島笠利町 の和野トフル墓からは近世人骨が出土している(小片・他、 1988b)

今回,本遺跡から出土した人骨は中世人骨と推測されているが,奄美諸島の中世人骨の出土量は少なく,上述しているとおり,中世人骨は喜界町の山田半田B遺跡と笠利町の宇宿貝塚東地区および名瀬市の朝仁貝塚から出土した例しかない。

鹿児島県では、松之尾遺跡(松下、1981)と成岡・西ノ平遺跡(松下・他、1983a)から中・近世人骨が出土している。沖縄では、大里城(松下、2001)、北谷城、石垣貝塚(松下、1993b)、平川貝塚(松下、1993a)、後兼久原遺跡(松下、2003a)、テラガマ洞穴(松下、2006)から中世(グスク時代)人骨が出土しているので、これらを比較資料として用いた。

今回の調査では2体の人骨しか検出されなかったが、保存

状態は頭蓋を除けば2体とも比較的良好なものであったので、人類学的観察と計測をおこない、周辺の資料と比較したところ、興味ある所見が得られたので、その結果を報告しておきたい。

資料

今回の試掘調査で出土した人骨は2体のみである。表1に示すとおり、2体とも成人骨で、1体は男性骨、残りの1体は女性骨である。この2体の人骨は、考古学的所見より、中世(鎌倉)に属する人骨である。なお、年齢区分は表2のとおりである。

第 184 表 出土人骨一覧 (Table 1. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備	考(頭位,	埋葬姿勢)
1 号墓人骨	女性	不明	北頭位,	仰臥屈葬	(肘・膝関節屈曲)
2号墓人骨	男性	壮年	北頭位,	仰臥屈葬	(肘・膝関節強屈)

計測方法は、Martin-Saller (1957) によったが、脛骨の横径はオリビエの方法で計測した。なお、人骨の整理・復元などは中野江里子、松下玲子、磯部美恵子が担当した。

第 185 表 年齡区分 (Table 2. Division of age)

	年齢区分	年	齢	
未成人	乳児	1歳未満	岢	
	幼児	1歳~!	5歳	(第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳~1	15歳	(第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年	16歳~	20歳	(蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳~	39 歳	(40 歳未満)
	熟年	40歳~	59 歳	(60 歳未満)
	老年	60 歳以	上	

注)成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996) を参照されたい。

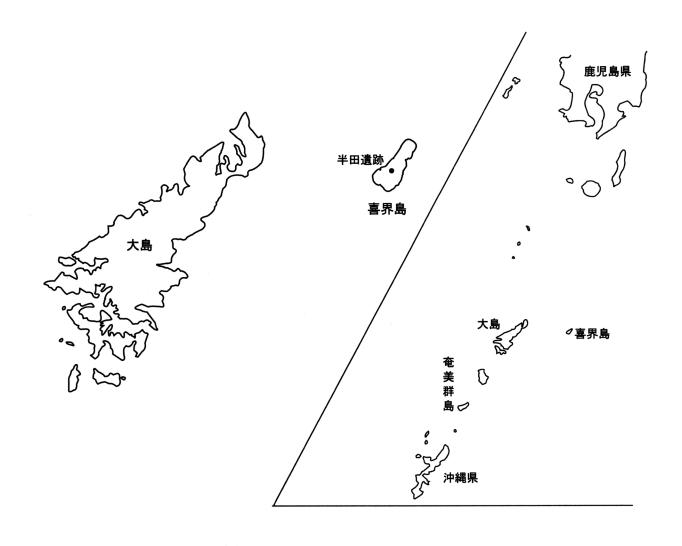
所 見

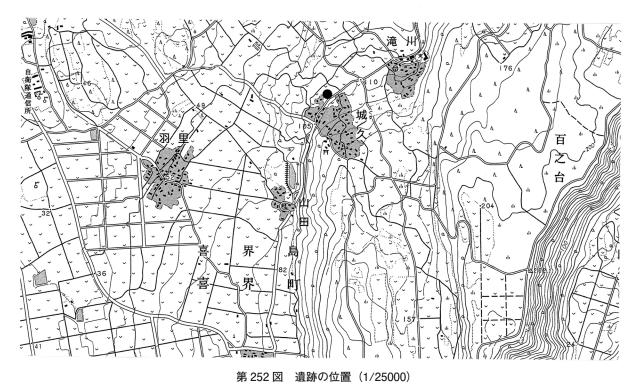
A 埋葬姿勢

1号墓人骨(女性・年齢不明)

埋葬遺構は長方形の土壙墓である。長軸はほぼ南北方向で、 埋葬姿勢は頭をほぼ北に向けた仰臥である。右側の肘関節は 約60度に曲げられ、手を胸に置いていた。左側肘関節は強 屈されて、手は肩にあった。膝関節は両側とも強く曲げられ、 左側に倒れていた。残存していたのは頭蓋、左右の鎖骨と肩

^{*} Takayuki MATSUSHITA、* * Masami MATSUSHITA
The Doigahama Site Anthropological Museum 〔土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム〕





(Fig. 1 Location of the Hanta site, Kikai Cho, Kagoshima Prefecture)

甲骨,左右の上腕骨と橈骨,尺骨,左右の寛骨,大腿骨,脛骨,腓骨および左側の膝蓋骨と左側の足根骨,中足骨の一部であった。また上部胸骨と肋骨も残存していたが,下部胸椎,腰椎は残存していなかった。粘質の土壌に土壙墓が掘られていた割には人骨の保存状態は良好であったが,土が乾燥するに従って,人骨と土とが分離できなくなり,人骨の取り上げがかなり困難になった。

人骨の位置に気になるところが3ヶ所ある。1ヶ所は左側 寛骨が内側に倒れていることである。2ヶ所目は右側大腿骨 頭が寛骨臼と離れすぎている点で、3ヶ所目は右側脛骨の近 位端が大腿骨の遠位端と離れすぎている点である。この3点 を説明するためには膝関節が立っていた、すなわち膝関節は 曲げられた状態でしかもやや立て膝状態になっており、しか も空間があったことを想定しなくてはならない。空間があっ た状態で、肉が腐り、土圧がかかって膝が左側に倒れたとき に左側大腿骨頭が寛骨臼を押したために、左側の腸骨翼が内 側に倒れ、同時に右側大腿骨も左側に倒れるので、右側大腿 骨頭が外側へ移動し、その際脛骨も膝関節部分に圧力がかか り脛骨の近位部が移動したものと思われる。

空間の想定は,木棺が使用されていた可能性を示唆している。

2号墓人骨 (男性・壮年)

1号墓によって切られた土壙墓から出土した。埋葬姿勢は 典型的な仰臥屈葬である。頭位は1号墓人骨と同じ北で、体 軸も1号墓人骨と平行している。頭蓋は右側を下にしていた。 肘関節は両側とも強屈しており、両側の膝関節も強屈状態で 下肢骨は腹部に乗った状態である。ほぼ全身骨が残存してお り、四肢骨の保存状態は良好で、手根骨、中手骨、指骨、足 根骨、中足骨も残っていた。右側の手は左胸に、左側の手は 肩にあった。肋骨と寛骨は一部が残存していたが、椎骨は残 存していなかった。

B 人骨の形質

各人骨の残存部は第253 図に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

1号墓人骨(女性・年齢不明)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

頭頂骨の破片と右側側頭骨が残存していたが、復元することができない。頭型も不明である。

(2) 顔面頭蓋

上顎骨と下顎骨が残存していたにすぎない。弱い歯槽 性突顎がみられる。下顎骨は保存状態が良好で、下顎体 が残存していた。径は大きく、高径もやや高く、下顎枝 は広い。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯

式で示すと、次のとおりである。

 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8

 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明, 番号は歯種〕〔1: 中切歯, 2:側切歯, 3:犬歯, 4:第一小臼歯, 5:第二小臼歯,6:第一大臼歯, 7:第二大臼歯, 8:第三大臼歯〕

咬耗度はBrocaの1度(咬耗がエナメル質のみ)で,咬耗 は弱い。左右の第一大臼歯,第二大臼歯の歯冠の頬側に齲蝕 がみられる。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨,鎖骨,上腕骨,橈骨,尺骨が残存していた。

② 上腕骨

右側は遠位端を,左側は近位部を欠損している。三 角筋粗面の発達は比較的良好である。

計測値は、中央最大径が 19mm (左), 中央最小径は 14mm (右), 14mm (左) で、骨体断面示数は 73.68 (左) となり、骨体は扁平である。骨体最小周は 53mm (左), 中央周は 56mm (左) で、骨体は細い。

③ 橈骨

骨体は細いが、骨間縁の発達は良好である。

④ 尺骨 長さはやや長く、骨体は細い。

(2) 下肢骨

寛骨, 大腿骨, 脛骨, 腓骨および膝蓋骨が残存していた。

① 寛骨

右側は大坐骨切痕部が残存していた。大坐骨切痕の角度は大きい。

② 大腿骨

両側とも遠位端などを欠損している。骨体は細く, 粗線の発達も悪い。また, 骨体上部は扁平である。

計測値は、骨体中央矢状径が23mm (右),24mm (左)、横径は21mm (右),23mm (左) で、骨体中央断面示数は109.52 (右),104.35 (左) とやや大きな値であるが、これは横径が小さいためで、実際は示数値ほど粗線や骨体両側面の後方への発達はよくない。骨体中央周は70mm (右),74mm (左) で、骨体は細い。また、骨体上横径は28mm (左),骨体上矢状径は20mm (左) で、上骨体断面示数は71.43 (左)となり、骨体上部は扁平である。

③ 脛骨

両側とも保存状態が悪く,計測はできないが,右側 は観察ができた。骨体は細く、扁平である。

4. 性別・年齢

大坐骨切痕の角度や恥骨下角が大きいことから,性別を女性と推定した。年齢は縫合の観察ができなかったので,不明である。

2号墓人骨 (男性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

前頭骨,頭頂骨,側頭骨,後頭骨のそれぞれ一部が残存していたが,接合することができない。骨壁は薄い。外後頭隆起の発達は良好である。三主縫合のうち,冠状縫合とラムダ縫合のそれぞれ左側部を観察することができたが、ともに内外両板は開離している。

脳頭蓋の計測はできないが、前頭骨と左側頭頂骨の状態から推測すれば、頭蓋最大長は長いようである。

(2) 顏面頭蓋

左側頬骨,左側上顎骨が残存していたが,顔面の計測はできない。眉上弓は強く隆起し,前頭鱗は後方へ傾斜している。弱い歯槽性突顎がみられる。

下顎骨は右側の下顎枝を欠損している。径は大きい。 下顎体の高径は高く,下顎枝は幅広く,下顎切痕は浅い。 咬筋粗面の発達も良好である。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 3 2 1 | 1 2 3 4 5 6 7 8

8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 **8**

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 / : 不明, 番号は歯種〕〔1: 中切歯, 2:側切歯, 3:犬歯, 4:第一小臼歯, 5:第二小臼歯,6:第一大臼歯, 7:第二大臼歯, 8:第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 (咬耗がエナメル質のみ)~2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。また,歯の咬合形式は鉗子状咬合である。

3.四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨, 鎖骨, 上腕骨, 橈骨, 尺骨が残存していた。

① 鎖骨

径はやや大きい。

② 上腕骨

両側とも残存していたが、左側はほぼ完全である。 長さは短く、骨体はやや太く、三角筋粗面の発達も良 好である。

計測値は,最大長が274mm(左),骨体最小周は63 mm(左),中央周は67mm(右),65mm(左)で,長厚 示数は22.99(左)となり,骨体は頑丈である。また, 中央最大径は 22mm (右), 22mm (左), 中央最小径は 18mm (右), 17mm (左) で, 骨体断面示数は 81.82 (右), 77.27 (左) となり, 骨体の扁平性は弱い。

③ 橈骨

左右とも残存しているが、左側は完全である。長さはやや長く、骨体はその割には細いが、骨間縁の発達は良好である。また、左側骨体には彎曲がみられる。

(4) 尺骨

両側ともほぼ完全である。長さは長く, 骨体はやや 大きい。

(2) 下肢骨

寛骨, 大腿骨, 脛骨, 腓骨および膝蓋骨が残存していた。

① 寛骨

両側の大坐骨切痕部が残存していたが,この大坐骨 切痕の様態を確認することができない。

② 大腿骨

両側とも骨頭を欠損している。長さはあまり長いも のではないが、粗線の発達は良好で、骨体上部は扁平 である。

計測値は、骨体中央矢状径が 27mm (右), 27mm (左), 横径は 25mm (右), 25mm (左) で、骨体中央断面示数は 108.00 (右), 108.00 (左) となり、粗線や骨体両側面の後方への発達は良好である。骨体中央周は 82 mm (右), 83mm (左) で、骨体は細い。また、骨体上横径は 31mm(右), 29mm(左), 骨体上矢状径は 21mm(右), 21mm (左) で、上骨体断面示数は 67.74 (右), 72.41 (左)となり、骨体上部は両側とも扁平であるが、とくに左側は扁平性が強い。

③ 脛骨

両側ともほぼ完全である。長さは長いものではなく、 骨体も細い。ヒラメ筋線は両側とも陥凹している。骨体の断面形は両側ともヘリチカのV型を呈している。 計測値は、脛骨最大長が331mm(右)、332mm(左)、 骨体周は75mm(右)、75mm(左)、最小周は68mm(右)、69mm(左)で、骨体は細く、長厚示数は21.23(右)で、 骨体が頑丈ではない。中央最大径は28mm(右)、28mm(左)、中央横径は19mm(右)、19mm(左)で、中央断面示数は67.86(右)、67.86(左)となり、中世人としては骨体はやや扁平である。

④ 腓骨

両側の骨体が残存していた。骨体の径はやや小さい。 緻密質が剥落して稜の発達の程度は不明である。

4. 推定身長値

本例は、上腕骨、橈骨、脛骨から Pearson および藤井の 公式を用いて推定身長値を算出することができた。左側上腕 骨最大長からは、149.94cm (Pearson)、150.45cm (藤井)、左 側橈骨最大長からは 161.16cm (Pearson), 159.30cm (藤井, 左)、 脛骨からは、155.88cm (Pearson, 左), 155.76cm (藤井, 右), 155.89cm (藤井, 左) となり、上腕骨と脛骨からの値は低身長値、橈骨からの推定値は高身長値が得られた。

5. 性別・年齢

眉上弓が強く隆起し、外後頭隆起の発達も良好であること から、性別を男性と推定した。年齢は観察できた冠状縫合と ラムダ縫合が内外両板ともまだ開離していることから、壮年 と思われる。

考 察

保存状態が比較的よかった上腕骨、大腿骨、脛骨および推 定身長値について、周辺資料と比較してみた。

1. 上腕骨

表3は男性上腕骨の比較表である。1号墓人骨の上腕骨最大長は274mmで、表3では最小値で、長さは短い。中央周は67mmで、後兼久原、北谷城、大里城に次いで大きく、吉母浜、由比ヶ浜南に近い。長厚示数は22.99となり、表3では最大値となり、骨体は頑丈である。骨体断面示数は81.82で、表3では最大となり、骨体の扁平性は弱い。

表 4 は女性上腕骨の比較表である。中央周は 56mmで、 石垣貝塚に次いで小さく、吉母浜に近く、骨体は細い。骨 体断面示数は 73.68 となり、朝仁貝塚に次いで大きく、吉 母浜に最も近い。

2. 大腿骨

表5は男性大腿骨の比較表である。骨体中央周は82mmで、大里城と同値で、表5では最小値となるが、松之尾と大差なく、骨体は細い。骨体中央断面示数は108.00で、北谷城、大里城と同値で、表5では最大値である。上骨体断面示数は67.74で、表5では最小値となり、骨体上部はかなり扁平である。

表6は女性大腿骨の比較表である。骨体中央周は70mmで、表6では最小値となり、骨体はかなり細い。骨体中央断面示数は109.52で、表6では最大値となる。上骨体断面示数は71.43で、宇宿貝塚東地区2号に次いで小さく、骨体上部は扁平である。

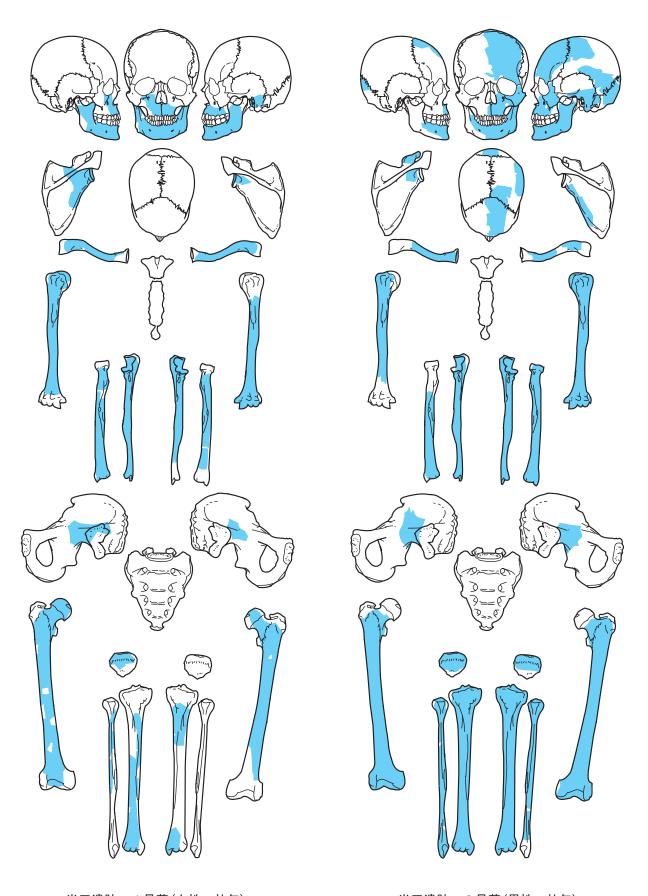
3. 脛骨

表7は男性脛骨の比較表である。脛骨最大長は331mmで、表7では最小値となり、長さは短い。骨体周は75mmで、表7では最小値で、骨体は細い。長厚示数は21.23で、表7では最小値となり、骨体はややきゃしゃである。中央断面示数は67.86で、後兼久原に次いで小さく、中世人としては骨体が扁平である。

4. 推定身長値

表8は男性の推定身長値の比較表である。上腕骨からの 推定値(Pearson)は表8では最小値を示し、橈骨からの 推定値は石垣貝塚2に次いで小さい。脛骨からの値は表8 では最小値となるが、石垣貝塚2にもっとも近い値である。 5. 上肢骨の比

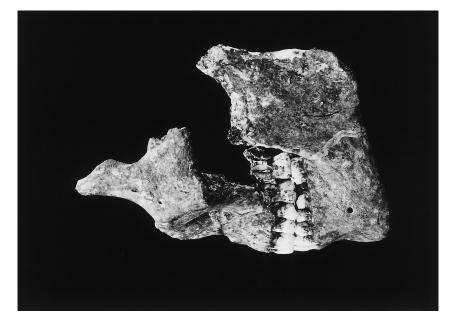
本例の注目される特徴のひとつは、上腕骨が短く、前腕 の骨が相対的に長いというとこである。表9は男性上肢骨 の最大長の比の比較表である。2号人骨の橈骨/上腕骨比 は83.94である。縄文人や縄文系弥生人では前腕の骨(橈 骨・尺骨) が上腕骨にくらべて相対的に長く、逆に渡来系 弥生人は前腕の骨が短い傾向にある。津雲縄文人や吉胡縄 文人の橈骨/上腕骨比はそれぞれ、80.55 と81.45 であるが、 渡来系弥生人である金隈弥生人と土井ヶ浜弥生人ではそれ ぞれ 78.07, 78.59 で、縄文人に比べて示数値が小さく、彼 らは縄文人に比較すれば前腕の骨が上腕骨の割には短いこ とがわかる。半田2号人骨の示数値は83.94となり、この 値は表9では木綿原弥生人に次いで大きな値で、橈骨が長 いことがわかる。一方、尺骨/上腕骨比は90.51となり、 表9では最大値を示しているが、浜郷弥生人の値と大差な く、尺骨が長いことがわかる。半田2号人骨は上腕骨が短 く、その割には橈骨や尺骨が長いという特徴がみられ、こ の特徴はきわめて縄文人的である。



半田遺跡・1号墓(女性・壮年)

半田遺跡・2号墓(男性・壮年)

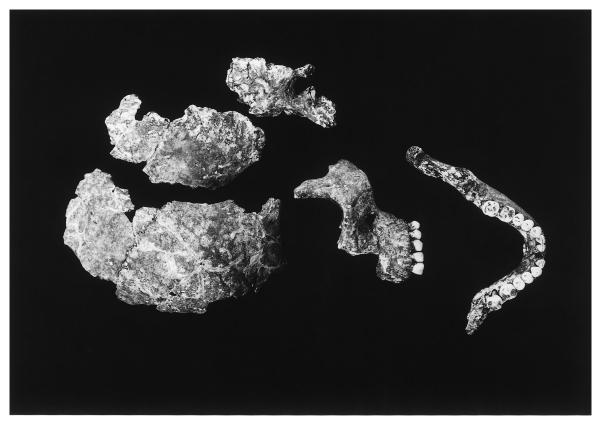
第253図 人骨の残存図(アミかけ部分) (Fig.2 Regions of preservasion of the skeleton. Shaded sreas are preser



頭蓋側面 (Lateral view of the skull) 半田 2号墓人骨 (男性·壮年) (The Hanta No, 2, young adult male)



下顎骨(The mandible) 半田 1号墓(女性・年齢不明) (The Hanta No, 1, female unknown age)



頭蓋 (The skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

半田 2号墓人骨 (男性・壮年) (The Hanta No, 2, young adult male)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

半田 1号墓(女性・年齢不明) (The Hanta No,1, female unknown age)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

半田 2号墓人骨 (男性·壮年) (The Hanta No, 2, young adult male)

第 186 表 上腕骨計測值(男性、右、mm)(Table 3. Comparison of measurements snd indices of male right humeri)

		半 田	北谷城	大里城	石:	垣貝塚	後兼久原	吉	母浜	由出	とヶ浜南
		中世人	グスク時代人	グスク時代人	中	世人	グスク時代人	中	世人	4	中世人
		鹿児島県	沖縄県	沖縄県	沖	縄県	沖縄県	山	口県	神	奈川県
		喜界町	北谷町	大里村	石	垣市	北谷町	豊	浦町	銵	兼倉市
		(松下·他)	(松下・他)	(松下)	(#	松下)	(松下)	(中村	喬・他)	(;	松下)
		2号	98-01	1号	n	М	1号	n	M	n	М
1.	上腕骨最大長	274 (左)	292	-	2	302.00	-	16	295.8	19	309.21
5.	中央最大経	22	26	23	4	22.75	27	20	22.9	41	22.22
6.	中央最小径	18	18	18	4	16.00	19	20	17.3	41	17.10
7.	骨体最小周	63 (左)	64	66	3	59.67	69	20	62.6	39	62.15
7(a).	中央周	67	72	69	4	65.60	75	20	66.4	42	66.00
6/5	骨体断面示数	81.82	69.23	78.26	4	70.29	70.37	20	75.6 (左)	41	77.04
7/1	長厚示数	22.99 (左)	21.92	-	2	20.88	-	17	21.2	19	20.13

北谷城:14次調査

第 187 表 上腕骨計測值(女性、右、mm)(Table 4. Comparison of measurements snd indices of female right humeri)

		半田	朝仁貝塚	宇宿貝塚	東地区	石垣貝塚	吉	母浜	由比	ヶ浜南
		中世人	中世人	中世	人	中世人	中	世人	中	世人
		鹿児島県	鹿児島県	鹿児	島県	沖縄県	山	口県	神系	泉川県
		喜界町	名瀬市	笠利	JET	石垣市	下	関市	鎌	倉市
		(松下・他)	(松下)	(鹿児島	大学)	(松下)	(永井	‡・他)	(木	公下)
	_	1号	04-1 号	1号	2号	1号	n	М	n	М
5.	中央最大径	19 (左)	21	21	21	18	28	20.0	10	20.40
6.	中央最小径	14	16	14	14	13	28	14.5	10	14.80
7.	骨体最小周	53 (左)	56	55	55	-	28	54.0	9	55.33
7(a).	中央周	56 (左)	60	59	59	49	28	57.4	10	59.90
6/5	骨体断面示数	73.68 (左)	76.19	66.7	66.7	72.22	28	73.0	10	72.94

第 188 表 大腿骨計測値(男性、右、mm)(Table 5. Comparison of measurements and indices of male right femora)

		半 田	杜	公之尾	成岡]・西ノ平	北谷城	石	垣貝塚	大里城	後兼	久原	吉	母浜	由上	とヶ浜南	鎌倉	討材木座
		中世人	中・	近世人	中・	近世人	グスク時代人	-	中世人	グスク時代人	<i>ሳ</i> ˚ ጸታ <u></u>	诗代人	中	世人	-	中世人	4	中世人
		鹿児島県	鹿	児島県	鹿	児島県	沖縄県	9	中縄県	沖縄県	沖絲	黒 県	Ц	口県	神	奈川県	神	奈川県
		喜界町					北谷町	7	5垣市	大里村	北名		下	関市	金	兼倉市		
		(松下・他)	(松下)	(松下)	(松下・他)	(松下)	(松下)	(松	下)	(中:	橋・他)	(松下)	(香原)
		2号	n	М	n	М	98-01	n	М	1号	1号人骨	2号人骨	n	М	n	М	n	М
6.	骨体中央矢状径	27	11	26.55	3	28.00	27	4	27.26	27	28	24	19	27.7	81	27.32	65	27.27
7.	骨体中央横径	25	11	25.64	4	29.00	25	4	26.75	25	29	29	19	27.5	81	26.27	65	26.50
8.	骨体中央周	82	11	82.64	3	90.33	84	4	84.00	82	90	84	19	87.5	81	84.90	64	84.50
9.	骨体上横径	31		-	4	33.25	29	4	30.50	29	33	-	19	32.1	80	31.01	57	31.31
10.	骨体上矢状径	21		-	2	26.00	25	4	25.00	24	25	-	19	24.6	80	23.95	57	24.20
6/7	骨体中央断面示数	108.00	11	104.03	3	98.12	108.00	4	101.86	108.00	96.55	82.76	19	100.6	81	104.49	65	104.94
10/9	上骨体断面示数	67.74	11	77.35	2	79.08	86.21	4	82.46	82.76	75.76	-	19	76.5	79	77.68	57	77.86

北谷城:14次調査

第 189 表 大腿骨(女性、右、mm)(Table 6. Comparison of measurements and indices female right femora)

		半 田	朝仁貝塚	宇宿貝切	冢東地区	テラガマ洞穴	吉	母浜	由上	とヶ浜南	鎌倉	材木座
		中世人	中世人	中t	世人	グスク時代人	中	世人	4	中世人	4	世人
		鹿児島県	鹿児島県	鹿児	島県	沖縄県	山	口県	神	奈川県	神	奈川県
		喜界町	名瀬市	笠和	ijet	宜野湾市	下	関市	翁	兼倉市		
		(松下・他)	(松下)	(鹿児島	島大学)	(松下)	(中梢	喬・他)	(:	松下)	(香原)
		1号	04-1 号	1号	2号	FE-11	n	М	n	М	n	М
6.	骨体中央矢状径	23	25	26	23	-	28	23.4	16	25.06	25	23.42
7.	骨体中央横径	21	24	27	26	-	28	24.9	16	24.13	25	23.64
8.	骨体中央周	70	79	81	75	-	28	76.2	16	77.69	21	75.90
9.	骨体上横径	28 (左)	29	32	30	25	28	29.2	16	28.69	24	27.67
10.	骨体上矢状径	20 (左)	22	23	21	20	29	21.3	16	21.94	24	20.85
6/7	骨体中央断面示数	109.52	104.17	96.3	88.5	-	28	94.5	16	104.20	25	100.20
10/9	上骨体断面示数	71.43 (左)	75.86	71.9	70.0	80.00	27	73.3	16	76.54	24	76.00

第 190 表 脛骨(男性、右、㎜)(Table 7. Comparison of measurements and indices of male right tibiae)

		半 田	北谷城	後兼久原	大里城	石	垣貝塚	吉	母浜	由出	 ヒヶ浜南
		中世人	グスク時代人	グスク時代人	グスク時代人	þ	中世人	中	世人	4	世人
		鹿児島県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	ř	神縄県	Щ	口県	神	奈川県
		喜界町	北谷町	北谷町	大里村	Æ	垣市	下	関市	銷	(倉市
		(松下・他)	(松下・他)	(松下)	(松下)	(松下)	(中村	喬・他)	(;	松下)
	•	2号	98-01	1号人骨	1号	n	М	n	М	n	М
1.	脛骨全長	325 (左)	-	-	-	2	340.50	14	335.8	23	332.00
1a.	脛骨最大長	331	-	-	-	2	345.50	13	345.2	25	338.52
8.	中央最大径	28	29	34	29 (左)	4	28.50	20	29.4	73	29.26
9.	中央横径	19	21	22	23 (左)	4	20.50	20	21.5	73	21.05
10.	骨体周	75	81	89	82 (左)	4	78.50	20	80.2	73	79.63
10b.	最小周	68	74	81	78 (左)	4	70.75	20	74.2	68	72.88
9/8	中央断面示数	67.86	72.41	64.71	79.31 (左)	4	73.03	20	73.3	73	72.12
10b/1	長厚示数	21.23 (左)	-	-	-	2	21.63	14	22.3	23	22.06

北谷城:14 次調査

第 191 表 推定身長値(男性、右、cm)(Table 8. Comparison of estimated male statures)この表は体数で平均値を算出、両側あるものは右側を使用

		半 田	北谷城		石垣貝塚		石	垣貝塚	吉	母浜	由」	北ヶ浜南		才木座
		中世人	グスク時代人		中世人		ı	中世人	4	世人		中世人	-	中世人
		鹿児島県	沖縄県		沖縄県		;	沖縄県	Ц	1口県	神	奈川県	神	奈川県
		喜界町	北谷町		石垣市		:	石垣市			ś	謙倉市	金	鎌倉市
		(松下・他)	(松下・他)		(松下)			(松下)	(中:	橋・他)		(松下)	(香原)
		2号	98-01	2	Α	В	n	М	n	М	n	М	n	М
Pearson の式	上腕骨	149.94	155.15	154.86	158.04	161.22	3	158.04		-	35	159.45		-
	橈骨	161.16	-	156.58	163.12	166.39	3	162.03		-	13	162.52		-
	大腿骨	-	156.88	-	-	-		-	18	159.7	41	159.64	10	159.72
	脛骨	155.88	-	156.36	-	162.77	2	159.57		-	42	157.96		-
藤井の式	上腕骨	150.45	154.71	154.43	158.37	160.57	3	157.79		-	35	159.18		-
	橈骨	159.30	-	154.06	160.52	163.75	3	159.44		-	13	160.33		-
	大腿骨	-	154.20	-	-	-		-		-	42	157.76		-
	脛骨	155.76	-	155.76	-	162.93	2	159.35		-	43	157.94		-

北谷城:14次調査

第 192 表 上腕骨/橈骨・尺骨比(男性、右、mm)(Table 9. Measurements and indices of male right humeri. radii and ulnae)

	半 田	石垣!	貝塚	由比	ケ浜南	津	雲	吉	胡	木	綿原	真志	喜安座間原	J.	太田		浜 郷	7	大 友	金	隈	土井	⊧ヶ浜
	中世人	中世	人	中	世人	縄	文人	縄	文人	弥	生人	縄文明	免期~弥生人	弥生	~古墳人		弥生人	5	尔生人	弥	生人	弥	生人
	鹿児島県	沖縄	県	神系	奈川県	岡	山県	愛	知県	沖	縄県	ì	中縄県	鹿」	凡島県		長崎県	t	左賀県	福	岡県	山	口県
	喜界町	石垣	i市	鎌	倉市					読	谷村	宜	野湾市	南和	重子町		五島市	р	乎子町	福	岡市	下	関市
	(松下)	(松	下)	(#	公下)	(清	野•他)	(3	青野)	(#	公下)	(松	下•他)		1州大 学)		(松下)	(松下)	(中)	橋•他)	(則	(津)
	2号	2	В	n	М	n	М	n	М	n	М	n	М	n	М	n	М	n	М	n	М	n	М
上腕最大長	274(左)	291	313	19	309.21	15	292.0	28	282.5	1 27	'8(左)	2	276.50	5	269.4	10	290.2	9	294.33	5	306.4	18	299.4
橈骨最大長	230(左)	216	246	6	232.83	12	235.2	26	230.1	1 23	9(左)	3	228.67	6	221.0	8	235.63	11	233.82	9	239.2	15	235.3
尺骨最大長	248(左)	231	262	3	257.67	13	252.5	19	249.0	-		1	234		-	6	262.00 (左)	7	255.71	6	260.5	8	263.3
尺骨/上腕骨	90.51(左)	79.38	83.71		83.33		86.47		88.14	-			84.63		-		90.28 (左)		86.88		85.02		87.94
橈骨/上腕骨	83.94(左)	74.23	78.59		75.3		80.55		81.45	8.	5.97(左)		82.70		82.03		81.20		79.44		78.07		78.59

要約

鹿児島県大島郡喜界町大字城久字半田に所在する半田遺跡の試掘調査で人骨が2体出土した。喜界町はもとより鹿児島県での中世人骨の出土例はきわめて珍しく、本例は貴重な資料である。人類学的観察と計測をおこない、以下の結果を得た。

- 1.2体とも成人骨で,1体は壮年の男性骨,残りの1体は 年齢不明の女性骨である。
- 2. 頭蓋の保存状態は著しく悪く、頭型を知ることはできなかったが、男性頭蓋はやや長そうである。
- 3. 顔面頭蓋の保存状態も悪く、鼻根部の様態や顔面のプロポーションなどを明らかにすることはできなかったが、弱い歯槽性突顎が男女ともにみられる。
- 4. 男性上腕骨は短く、太いが、扁平性はみられない。大腿骨はやや細いが、粗線や骨体両側面の後方への発達は良好で、骨体上部も変形である。脛骨はやや細く、中世人としてはやや扁平である。
- 5. 女性の上腕骨, 大腿骨, 脛骨はともに細く, 上腕骨と脛骨は扁平であるが, 大腿骨は粗線や骨体両側面の発達はあまりよくない。
- 6. 男性四肢骨には際だった特徴が認められる。それは前腕 の骨(橈骨,尺骨)が長く,上腕骨が短い ことである。 この傾向は女性にも認められる。
- 7. 男性の推定身長値は、橈骨からは 161.16cm (Pearson)で、高身長値であるが、上腕骨からは 149.94cm (Pearson)、脛骨からは 155.88cm (Pearson)となり、上腕骨からは著しい低身長値が得られ、脛骨からの推定値も低身長値である。上腕骨はより短く、橈骨がより長いために差が大きくなったものと考えられる。実際の身長は、おそらく脛骨から得られた値に近いものではないかと推測している。
- 8. 半田遺跡から出土した男女各1体の中世人骨は、頭型や鼻根部の様態を知ることができなかったので、中世人の特徴である、「長頭性」「鼻根部の扁平性」「歯槽性突顎」のうち歯槽性突顎のみが 認められたが、その程度は強いものではない。しかし、四肢骨のプロポーションは特異的で、上腕骨が短く、前腕の骨(橈骨、尺骨)が長いという特徴がみられた。このような特徴は渡来系弥生人にはみられない特徴で、縄文人や縄文系弥生人のプロポーションである。この特徴が喜界島の中世人に普遍的にみられる特徴であるのかどうかは、例数が少なく不明であるが、今後喜界島やその周辺で出土する人骨を慎重に検討していく必要があろう。

謝辞

擱筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただい た喜界町教育委員会の皆様に感謝致します。

≪参考文献≫

1. 香原志勢, 1956:四肢骨特に大腿骨の形質。鎌倉材木座発見の中世遺跡とその人骨, 岩波書店: 149-154.

- Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie.
 Bd.1.Gustav Fisher Verlag, Stuttugart: 429-597.
- 松下孝幸,1979:宇宿貝塚出土の人骨。宇宿貝塚, 鹿児 島考古,13:210-220.
- 4. 松下孝幸, 1981: 鹿児島県松之尾遺跡出土の人骨。松之 尾遺跡(枕崎市松之尾土地区画整理事業に伴う埋蔵文化 財調査報告書(1)): 215-228.
- 5. 松下孝幸・他, 1983a:成岡・西ノ平遺跡出土の中世・ 近世人骨。成岡・西ノ平・上ノ原遺跡(鹿児島県埋蔵文 化財調査報告書 28): 355-382.
- 6. 松下孝幸・他, 1983b: 鹿児島県伊仙町面縄第1 貝塚出 土の弥生時代人骨。面縄第1・第2 貝塚(伊仙町埋蔵文 化財調査報告書1): 51-64.
- 7. 松下孝幸, 1984: 鹿児島県知名町(沖永良部島) 中甫洞 穴出土の人骨。中甫洞穴(鹿児島県知名町埋蔵文化財発 掘 調査報告書): 33-58.
- 8. 松下孝幸, 1985: 鹿児島県笠利町長浜金久遺跡出土の人骨。 長浜金久遺跡(鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書 32): 213-222.
- 9. 松下孝幸・他, 1988: 与論島における形質人類学的研究, 奄美諸島における日本基層文化とその変容に関する総合 的研究 [昭和60年-62年度文部省科学研究費補助金(総 合研究A) 研究成果報告書]: 6-26.
- 10. 松下孝幸, 1993a:沖縄県石垣市石垣貝塚出土の人骨。 石垣貝塚(石垣市文化財調査報告書第17):31-50.
- 11. 松下孝幸, 1993b:沖縄県石垣市平川貝塚出土の人骨。 平川貝塚(石垣市文化財調査報告書第18号):87-91.
- 12. 松下孝幸,2001:沖縄県大里村大里城出土のグスク時代 人骨。大里城-都市公園計画に係わる緊急確認発掘調査 報告書(2):109-122.
- 13. 松下孝幸, 2002a:神奈川県鎌倉市由比ヶ浜南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ浜南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉:1-99.
- 14. 松下孝幸,2002b:鎌倉市由比ヶ浜南遺跡集骨墓出土人骨の埋葬と個体数および受傷人骨。神奈川県・鎌倉市由 比ヶ浜南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉:101-134.
- 15. 松下孝幸, 2003a:沖縄県北谷町後兼久原遺跡出土のグス ク時代人骨。後兼久原遺跡 - 庁舎建設に係る文化財発掘調 査報告書 - (北谷町文化財調査報告書第21集):385-399.
- 16. 松下孝幸,2003b:小湊フワガネク遺跡群ナガカネク(長金久) 地区出土の人骨について。奄美大島名瀬市小湊フワガネク 遺跡群遺跡範囲確認発掘調査報告書(名瀬市文化財叢書4): 86-96.
- 17. 松下孝幸,2006: 宜野湾市嘉和テラガマ洞穴遺跡出土の 縄文・グスク時代人骨。嘉和テラガマ洞穴遺跡(宜野湾 市文化財調査報告書第35集): 81-102.
- 18. 峰和治・他,1993:笠利町宇宿貝塚東地区出土の人骨。 宇宿貝塚東地区(ダンベ山) ~一般地方道佐仁・万屋・

- 赤木名線埋蔵文化財包蔵地に伴う発掘調査~(笠利町文化財報告第18集): 37-52.
- 19. 永井昌文, 1981: 宇宿港遺跡出土の人骨について。宇宿港遺跡 (研究室活動報告 10): 30-32. 熊本大学文学部考古学研究室。
- 20. 内藤芳篤, 1973:人骨。尾窪-熊本県下益城郡城南町尾窪中世墳墓群の調査(熊本県文化財調査報告12):62-78.
- 21. 中橋孝博・他, 1980: 椎ノ木遺跡出土人骨について。馬 毛島埋葬址-西之表市椎ノ木遺跡-(研究室活動報告6): 24-34.
- 22. 中橋孝博·他, 1985: 人骨(山口県下関市吉母浜遺跡出土人骨)。吉母浜遺跡: 154-225.
- 23. 中橋孝博・他, 1996: 鹿児島県種子島・鳥ノ峯遺跡出土 の弥生時代人骨。種子島・鳥ノ峯遺跡(中種子町埋蔵文 化財発掘調査報告書(2)): 72-88.
- 24. 中橋孝博, 2003: 鹿児島県種子島広田遺跡出土人骨の形質人類学的所見。種子島廣田遺跡(本文編): 281-294.
- 25. 小片丘彦・他, 1988a: 鹿児島県奄美大島下山田Ⅱ遺跡 出土の縄文時代人骨。竜郷-新奄美空港線の改良工事に 伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(鹿児島県埋蔵文化財発 掘調査報告書(5)): 311-314.
- 26. 小片丘彦・他, 1988b: 鹿児島県奄美大島和野トフル墓 出土の人骨。竜郷 - 新奄美空港線の改良工事に伴う埋蔵 文化財発掘調査報告書 (鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報 告書(5): 263-310.
- 27. 鈴木尚・他, 1956: 頭骨の形質。鎌倉材木座発見の中世 遺跡とその人骨: 75-148. 岩波書店, 東京。
- 28. 竹中正巳・他, 2009:山田半田遺跡出土の人骨。城久遺跡群 山田半田遺跡(山田半田A遺跡・山田半田B遺跡(喜界町埋蔵文化財発掘調査報告書(10)):169-170.

第 193 表 下	顎骨(mm、度)(Mandi	bula)	
		半田	半田
		1 号	2号
		女性	男性
65.	下顎関節突起幅	-	-
65 (1).	下顎筋突起幅	-	-
66.	下顎角幅	-	-
67.	前下顎幅	51	-
68.	下顎長	-	-
68 (1).	下顎長	-	-
69.	オトガイ高	30	36
69(1).	下顎体高(右)	31	-
	(左)	31	36
69 (2).	下顎体高(右)	26	-
	(左)	27	29
70.	枝高(右)	-	-
	(左)	-	-
70(1).	前枝高(右)	59	-
	(左)	-	-
70 (2).	最小枝高(右)	-	-
	(左)	45	52
70 (3) .	下顎切痕高(右)	-	-
	(左)	-	-
71 (1).	下顎切痕幅(右)	-	-
	(左)	-	-
71.	枝幅(右)	-	-
	(左)	36	-
71a.	最小枝幅(右)	-	-
	(左)	-	-
79.	下顎枝角(右)	-	-
	(左)	-	-
66/65	下顎幅示数	-	-
68/65	幅長示数	-	-
68 (1) /65	幅長示数(右)	-	-
69 (2) /69	下顎高示数(右)	86.67	-
	(左)	90.00	80.56
71/70	下顎枝示数(右)	-	-
	(左)	-	-
71a/70(2)	下顎枝示数(右)	-	-
	(左)	-	-
70 (3) /71	下顎切痕示数(右)	_	_
(1)			
	(左)	-	-

第 194 表	鎖骨(mm)(Clavicula)		
		半田	半田
		1 号	2号
		女性	男性
1.	鎖骨最大長(右)	-	-
	(左)	-	-
2 a	骨体彎曲高(右)	-	-
	(左)	-	-
2(1)	肩峰端彎曲高(右)	-	-
	(左)	-	-
4.	中央垂直径(右)	7	12
	(左)	8	12
5.	中央矢状径(右)	10	13
	(左)	10	12
6.	中央周(右)	30	41
	(左)	31	39
6/1	長厚示数 (右)	-	-
	(左)	-	-
2a/1	彎曲示数 (右)	-	-
	(左)	-	-
4/5	鎖骨断面示数(右)	70.00	92.31
	(左)	80.00	100.00
2(1)/1	肩峰端彎曲示数(右)	-	-
	(左)	-	-

		半田 1 号	半田 2号				半田 2号
		女性	男性			半田 1号女性 - - - - 34 - 14 14 12 12 - - - 10 - - - - - - - - - - - - - - -	男性
1.	上腕骨最大長(右)	-	-	1.	最大長(右)	·	-
	(左)	-	274		(左)	-	230
2.	上腕骨全長(右)	-	-	1b.	平行長(右)	-	-
	(左)	-	273		(左)	-	228
3.	上端幅(右)	-	-	2.	機能長(右)	-	-
	(左)	-	47		(左)	-	217
3(1).	横上径(右)	-	-	3.	最小周(右)	34	40
	(左)	-	51		(左)	-	40
4.	下端幅(右)	-	-	4.	骨体横径(右)	14	-
	(左)	-	57		(左)	14	16
5.	中央最大径(右)	-	22	4a.	骨体中央横径(右)	12	15
	(左)	19	22		(左)	12	15
6.	中央最小径(右)	14	18	4(1).	小頭横径(右)	-	-
	(左)	14	17		(左)	-	21
7.	骨体最小周(右)	-	-	4(2).	頚横径(右)	-	-
	(左)	53	63		(左)	-	13
7 (a) .		-	67	5.	骨体矢状径(右)	10	-
	(左)	56	65		(左)	-	11
3.	頭周(右)	-	-	5a.	骨体中央矢状径(右)	10	12
	(左)	-	-		(左)	-	12
9.	頭最大横径(右)	-	-	5(1).	小頭矢状径(右)	-	-
	(左)	-	-		(左)	-	-
10.	頭最大矢状径(右)	-	-	5 (2).	頚矢状径 (右)	-	-
	(左)	-	43		(左)	-	15
11.	滑車幅(右)	-	-	5 (3) .		-	-
	(左)	-	-		(左)	-	-
12.	小頭幅(右)	-	-	5 (4) .	頚周 (右)	-	-
	(左)	-	8	- (-)	(左)	-	45
12 (a) .	滑車幅および小頭幅(右)	-	-	5 (5) .			43
	(左)	-	-	5 (0)	(左)	-	44
13.	滑車深(右)	-	-	5 (6)	. 骨下端幅(右)	-	-
	(左)	-	-				20
14.	肘頭窩幅(右)	-	-	2/2	(左) 長厚示数(右)	-	28
	(左)	19	25	3/2	(左)	-	- 10 //
15.	肘頭窩深(右)	-	-	5/4	(左) 骨体断面示数(右)		18.43 -
0.75	(左)	-	-	5/4	(左)		- 68.7
6/5	骨体断面示数(右)	-	81.82	5a/4a	中央断面示数(右)	83.33	80.00
7/4	(左)	73.68	77.27	Ja/4a	(左)	-	80.00
7/1	長厚示数(右) (左)	-	- 22.99		(在)	-	00.00

第198表 大腿骨 (mm) (Femur)

10/9 上骨体断面示数(右)

(左)

67.74

72.41

71.43

弗 19/ 本	そ 八肎 (MM) (UINa)	N/ FF	N/ EE	弗 198 a	大 大腿官 (MM) (Femur)	W.EE	W EE
		半田	半田			半田	半田
		1号	2号			1号	2号
		女性	男性			女性	男性
1.	最大長(右)	-	-	1.	最大長(右)	-	-
	(左)	-	248		(左)	-	-
2.	機能長(右)	-	-	2.	自然位全長(右)	-	-
	(左)	-	-		(左)	-	-
2(1).	肘頭尺骨頭長(右)	-	-	3.	最大転子長(右)	-	-
	(左)	-	245		(左)	-	-
3.	最小周(右)	-	36	4.	自然位転子長(右)	-	-
	(左)	-	35		(左)	-	-
6.	肘頭幅(右)	-	-	6.	骨体中央矢状径(右)	23	27
	(左)	17	-		(左)	24	27
6(1).	上幅(右)	-	-	7.	骨体中央横径(右)	21	25
	(左)	25	-		(左)	23	25
7.	肘頭深(右)	-	-	8.	骨体中央周(右)	70	82
	(左)	17	22		(左)	74	83
8.	肘頭高(右)	-	-	9.	骨体上横径(右)	-	31
	(左)	16	21		(左)	28	29
11.	尺骨矢状径(右)	11	12	10.	骨体上矢状径(右)	-	21
	(左)	10	14		(左)	20	21
12.	尺骨横径(右)	13	16	15.	頚垂直径(右)	25	-
	(左)	14	16		(左)	-	-
S	中央最小径(右)	10	12	16.	頚矢状径(右)	-	-
	(左)	10	14		(左)	-	_
L	中央最大径(右)	13	15	17.	頚周 (右)	-	_
	(左)	14	15		(左)	-	_
С	中央周(右)	39	47	18.	頭垂直径(右)	-	_
	(左)	40	48		(左)	-	_
3/2	長厚示数(右)	_	-	19.	頭横径(右)	-	_
	(左)	_	_		(左)	_	_
11/12	骨体断面示数(右)	84.62	75.00	20.	頭周(右)	_	_
	(左)	71.43	87.50		(左)	_	_
S/L	中央断面示数(右)	76.92	80.00	21.	上顆幅(右)	_	76
O, L	(左)	71.43	93.33		(左)	_	-
	\ <u>*</u> /	71.40		8/2	長厚示数(右)	_	_
				0, <u>L</u>	(左)	_	_
				6/7	骨体中央断面示数(右)	109.52	108.00
				0/1	(左)	104.35	108.00
					(在)	104.33	100.00

第 199 表	脛骨(mm)(Tibia)	
		半田
		2号
		男性
1.	脛骨全長(右)	-
	(左)	325
1a.	脛骨最大長(右)	331
	(左)	332
1b.	脛骨長(右)	321
	(左)	331
2.	顆距間距離(右)	310
	(左)	307
3.	最大上端幅(右)	-
	(左)	-
3a.	上内関節面幅(右)	29
	(左)	30
3b.	上外関節面幅(右)	-
	(左)	-
4a.	上内関節面深(右)	-
	(左)	41
4b.	上外関節面深(右)	-
	(左)	-
6.	最大下端幅(右)	-
_	(左)	48
7.	下端矢状径(右)	-
	(左)	37
8.	中央最大径(右)	28
0 -	(左)	28
8a.	栄養孔位最大径(右) (士)	31
0	(左)	32
9.	中央横径(右)	19
00	(左) 栄養孔位横径(右)	19 21
9a.	未受化位例性(右) (左)	20
10.	骨体周(右)	75
10.	(左)	75 75
10a.	(左) 栄養孔位周(右)	73 84
ioa.	(左)	84
10b.	最小周(右)	68
100.	(左)	69
9/8.	中央断面示数(右)	67.86
o, o.	(左)	67.86
9a/8a	、全/ 栄養孔位断面示数(右)	67.74
	(左)	62.50
10b/1	長厚示数(右)	-
	(左)	21.23
	\ <u></u> /	

		半田
		2号
		男性
1.	最大長(右)	-
	(左)	-
2.	中央最大径(右)	-
	(左)	13
3.	中央最小径(右)	-
	(左)	11
4.	中央周(右)	-
	(左)	40
4a.	最小周(右)	-
	(左)	36
4b.	頚横径 (右)	-
	(左)	11
4c.	頚矢状径 (右)	-
	(左)	13
4(1).	上端幅(右)	-
	(左)	-
4 (1a) .	上端矢状幅(右)	-
	(左)	-
4(2).	下端幅(右)	-
	(左)	-
4 (2a) .	下端矢状幅(右)	-
	(左)	-
3/2	中央断面示数(右)	-
	(左)	84.6
4a/1	長厚示数(右)	-
	(左)	-

<i>/</i> 17 = 0 .	式 冰皿片 (IIIII) (I G C C I	. α,
		半田
		2号
		男性
1.	最大高(右)	-
	(左)	-
2.	最大幅(右)	45
	(左)	-
3.	最大厚(右)	19
	(左)	19
4.	関節面高(右)	-
	(左)	-
5.	内関節面幅 (右)	22
	(左)	-
6.	外関節面幅 (右)	25
	(左)	25
1/2	膝蓋骨高幅示数(右)	-
	(左)	_

第 201 表 膝蓋骨 (mm) (Patella) 第 202 表 推定身長値 (cm) (Stature)

半田 2号 男性	
Pearsonの式 上腕骨(右) -	
(左) 149.	94
橈骨 (右) -	
(左) 161.	16
大腿骨(右) -	
(左) -	
脛骨 (右) -	
(左) 155.	38
藤井の式 上腕骨(右) -	
(左) 150.4	45
橈骨 (右) -	
(左) 159.5	30
大腿骨(右) -	
(左) -	
脛骨 (右) 155.	76
(左) 155.8	39

第203表 最大長の比

	半田
	2号
	男性
	右
橈骨 / 上腕骨	83.94
橈骨 / 尺骨	92.74
橈骨 / 大腿骨	-
橈骨 / 脛骨	69.28
上腕骨 / 大腿骨	-
上腕 / 脛骨	82.53
脛骨 / 大腿骨	-
腓骨 / 脛骨	-
鎖骨 / 上腕骨	-
上肢骨 / 下肢骨	

第204表 中央周の比

		半田	半田
		1 号	2号
		女性	男性
橈骨 / 尺骨	(右)	89.74	91.49
	(左)	-	91.67
橈骨 / 上腕骨	(右)	-	64.18
	(左)	-	67.69
鎖骨 / 上腕骨	(右)	-	61.19
	(左)	55.36	60.00
上腕骨 / 大腿骨	(右)	-	81.71
	(左)	75.68	78.31
上腕骨 / 脛骨	(右)	-	89.33
	(左)	-	86.67
脛骨 / 大腿骨	(右)	-	91.46
	(左)	-	90.36
腓骨 / 脛骨	(右)	-	-
	(左)	-	53.33

		半		半	
			号	_	号
		—— <u>——</u> 右	性 左 左	—————————————————————————————————————	性 左 左
1.	Medial palatine canal (内側口蓋管)		左		
2.	Pterygospinous foramen (翼棘孔)	/	/	/	,
3.	Hypoglossal canal bridging (舌下神経管二分)	/	/	/	/
3. 4.	Clinoid bridging (床状突起間骨橋)	/	/	/	,
		,	-	•	,
5.	Condylar canal absent (顆間欠如)	/	/	/	/
6.	Tympanic dehiscence, Foramen of Huschke (>1mm)	/	/	/	/
_	(フシュケ孔、鼓室骨裂孔)	,	,	,	,
7.	Jugular foramen bridging	/	/	/	/
8.	Precondylar tubercle	/	/	/	/
9.	Supra-orbital foramen (incl.frontal foramen) (眼窩上孔)	/	/	/	/
10.	Accesory infraorbital foramen (副眼窩下孔)	/	/	-	/
11.	Zygo-facial foramen absent	/	/	-	/
12.	Aural exostosis(外耳道骨腫)	-	/	-	/
13.	Metopism(前頭縫合)	,	/		-
14.	Os incae(インカ骨)	,	/		-
15.	Ossicle at the lambda(ラムダ小骨)	,	/		-
16.	Parietal notch bone (頭頂切痕骨)	/	/	/	/
17.	Transverse zygomatic suture (>5mm)	/	/	/	/
18.	Asterionic ossicle	/	/	/	/
19.	Occipitomastoid ossicle	/	/	/	/
20.	Epipteric ossicle	/	/	/	/
21.	Frontotemporal articulation	/	/	/	/
22.	Biasterionic suture (>10mm)	/	/	/	/
23.	Mylohyoid bridging (顎舌骨筋神経溝骨橋)	/	-	/	-
24.	Accessory mental foramen (副オトガイ孔)	-	-	/	-
25.	Mandibular torus(下顎隆起)	-	-	-	-
26.	滑車上孔(上腕骨)	-	_	/	_

1. はじめに

喜界町からの動物遺体の出土例は、城久遺跡群の大ウフ遺跡の報告書でも述べたように、古墳末期から中世の遺跡として先山遺跡(7~12世紀)、提り遺跡(中世)および和早地遺跡(14~15世紀)などがあり、半田遺跡と同じ城久遺跡群の大ウフ遺跡からは、ウシの遺体を中心に、ヤギ、ウマ、イノシシおよびネズミの遺体も少数ながら検出されている。今回調査を依頼された半田遺跡は、喜界町大字城久字半田にあり、県営畑地帯総合整備事業のために喜界町教育委員会が平成17年、18年に確認調査を行い、古墳末から中世の遺構、遺物が出土した遺跡である。動物遺体は発掘後当方に持ち込まれたものであり、ここではウシ、ウマおよびイヌの遺体の出土状況や出土量について、その概要を報告する。なお、計測可能な歯や骨については Driesch の方法に従いノギスを用いて測定を行い、筆者らの方法で年齢や体高の推定を試みた。

2. 動物遺体の出土量

半田遺跡の調査区は、B、C、D区と表土一括、1 T、4 T、9 Tからなり、調査区別、動物別出土量は第 206 表に示した。総重量 577.9 g、75 個の骨片が検出され、その内訳は B-4 区からは細骨片 1.5 g(1 点)の出土で、C区は $1\sim5$ 区まであり、合計 117.8 g、21 個が出土している。また、C・D-3 区からは 1 点(26.1 g)が、D-5 区からは 285. g(42 骨片)が出土している。また、半田表土一括から 7 点の 24.7 gが、1 T、4 T、9 T からは各 1 点の合計 122.2 g が出土している。動物別ではウシの遺体が 477.2g(38 骨片)で、最も多く、ウマの遺体が 2 点(38.6 g)とイヌは 7 点(14.3 g)が出土している。また、細骨片のため種の同定できないものが 47.3 gある。

3. 動物遺体の出土状況とその概要

1) B区

B-4 区 IIb から出土した遺体は微細な骨片で動物種や骨の 種類を同定不可能である。

2) C区

C区は1から5区まであり、C-1区IIbからは2点細骨片が、C-2区IIbからは1点のウシの臼歯片が出土している。C-3区IIaからはウシの左下顎第三後臼歯片など3点が、IIbからはウシの臼歯片1点と細骨片が出土している。C-4区IIaからはウマの右臼歯片1点が、IIbからはウシの左下顎第二後臼歯、臼歯片、長骨の細骨片、手根骨片など4点、ウマの右下顎第一後臼歯1点が出土している。ウシの左下顎第二後臼歯(図版の5)の歯冠長、幅、中心高は28.6×12.8×40.5

mmであり、歯冠長から臼歯列長、下顎全長を推定し、筆者らの方法で体高を求めると、体高 121.1cmと推定され、これは現生の口之島野生化牛の雄と同じ大きさである。また、推定年齢は中心高より 4.4歳である。ウマの第一後臼歯(図版の 12)の歯冠長、幅、中心高は 25.4 × 14.9 × 45.9mmで、歯冠長から臼歯列長、下顎全長を求め、林田らの方法で体高を求めると 115.8cmとなり、現生のトカラウマと同じ大きさである。中心高より年齢を推定すると 9.2歳である。C-5 区 IIb からはウシの左下顎第三後臼歯片など 2 点の出土である。

3) C ⋅ D ⊠

 $C \cdot D$ -3 区 sk10 からはウシの左上顎第三後臼歯 1 点(図版の 2)が検出され、その歯冠長、幅、中心高は $31.6 \times 20.7 \times 31.4$ mmであり、歯冠長から体高推定すると 110.8cmであり、これは現生の口之島野生化牛の雌の大きさであり、年齢は 7.5 歳と推定される。

4) D区 (図版の3,4,7,9~11,13~17参照)

D-5 区 IIb からはウシの右下顎第二・三前臼歯、子ウシの左切歯、沢山の上下顎臼歯片、肋骨片、寛骨片、右踵骨、趾骨片その他細骨片およびイヌの左尺骨片、右大腿骨片、左脛骨片など合計 28 点が出土している。ほぼ完全な右下顎第三前臼歯(図版の 4)の歯冠長、幅、中心高は 18.3 × 9.7 × 14.1mmで、推定体高 118.4cm、年齢 8 歳と推定される。また、保存長 131.5mmの右踵骨(図版の 10)の幅と径は 52.4 × 53.9 mmで、これらの計測値から体高を推定すると、125.3cmで、雄のものと推定される。イヌの大腿骨(図版の 14)の中央幅と径は 11.7 × 10.16mmで、これらより筆者らの方法で体高を推定すると 42cmであり、これは現生の中型犬に属する大きさである。IIc からはウシの右上顎臼歯片多数が検出されているが、計測不能である。

5) その他

表土一括からはウシの右切歯片,左右の下顎第二後臼歯片, 長骨の細骨片など7点が出土しているが,計測不可能である。 また,1 Tからウシの臼歯片,4 Tからは左上腕骨の遠位滑 車の一部(図版の8)が,9 Tからは細骨片が出土しているが, いずれも計測不可能な資料のみである。

4. 考 察

城久遺跡群の大ウフ遺跡からは、ウシを中心に少量のウマ、ヤギ、イノシシの出土がみられ、また、ネズミの下顎骨片1点とサメの歯や椎骨などが検出されているが、今回の半田遺跡からは、殆どがウシのもので、僅かにウマとイヌの遺体が出土している。

喜界町からのウシの出土例は、先山遺跡や前報の大フク遺

跡などにみられ、出土時代は中世である。本遺跡から出土したウシの遺体は、完形骨は極めて少なく、殆どが臼歯片や長骨の一部と細骨片であり、同定するのに時間を要した。

計測可能な本遺跡から出土したウシは、 $C \cdot D \cdot 3$ 区から出土したウシは推定体高 110.8cm, 5 歳前後で、 $C \cdot 4$ 区の個体は 4.4 歳で 121.1cm, $D \cdot 5$ 区から出土したウシは臼歯の計測値から 118cm, 8 歳と踵骨から 125.3cmの 2 体が検出されている。これらはわが国の在来牛である口之島野生化牛の雌(110.9 ± 3.4 cm)と雄(122.0 ± 2.5 cm)とほぼ同じ大きさであり、歯の形状も良く似ていることが示唆された。

一方, 喜界島からのウマの出土例は, 先山遺跡や大フク遺跡にみられ, 大きさは現生のトカラウマとほぼ同じ大きさであったと報告されている。本遺跡のウマの臼歯の計測値から年齢と体高を推定すると, 9歳で115.8cmであり, 現生のトカラウマ(体高雄115cm, 雌114cm)によく似たタイプのウマであったことが想像される。

ウシやウマがいつ頃、どこからわが国へ渡来したかは明らかでないが、前方でも述べたように、在来牛の祖先は、欧州系のウシが中国華北から、ウマは蒙古系のウマが朝鮮半島を経由して、弥生時代以降に民族の移動に伴って北部九州に入り、日本列島を南下、北上して伝播したと言われている。その末裔として現在の十島村の口之島野生化牛や萩市の見島牛に、ウマは御崎ウマやトカラウマにその姿をみることができる。奄美諸島から出土するウシやウマは恐らく日本列島を南下したウシやウマの系統である可能性が考えられる。

イヌは縄文早期からすでに狩猟犬や番犬として飼われていたと言われ、奄美諸島からもこれまで宇宿貝塚、面縄貝塚、犬田布貝塚、住吉貝塚、上城遺跡など8ヶ所から出土している。しかし喜界町からのイヌの出土例は初めてであり、貴重な史料である。縄文時代のイヌは殆ど小型犬であるが、中世以降になると中、大型犬が出土する。これは全国的な傾向であり、本遺跡のイヌも体高42cmの中型犬であることから、奄美諸島では小型犬の出土が多い中、中型犬が混在して当時の人々の伴侶として飼われていたことが考えられる。

以上のことから本遺跡のウシの用途はよくわからないが、一般的には当時のウシは農耕や運搬に使役されていたと言われ、本遺跡では農耕や運搬の他に、乳臼歯をもつ子ウシもみられたことから、繁殖生産も行われていたことがうかがわれる。本遺跡を遺した人々は、ウマも農耕、運搬用として飼育して農作物を生産して、魚介類の出土が少ないが海に囲まれた島故に、恐らく動物蛋白源として魚介類を採集して食していたことが想像される。また、イヌは当時の人々の番犬や愛玩用などとして飼われていたのであろう。

5. まとめ

喜界町半田遺跡(平成17・18年度,古代末~中世)から出土した動物遺体について調査したので,その概要を報告する。

- 1. 半田遺跡の調査区は B ~ D 区およびその他の区からなり,動物遺体の出土量は B 区 1.5 g (骨片数 1 個), C 区 117.8 g (21 個), D 区 285.1 g (42), その他 122.2 g など,総重量 577.9 g (75 個)であり,調査区別,動物種別の出土状況は第 206 表に示した。ウシが最も多く 477.2g(38 個)で,ウマは 38.6g (2),イヌは 14.3 g (7)と少ない。
- 2. ウシは調査区の全区画から臼歯片や細骨片が出土し、計測可能な臼歯などから体高や年齢を推定すると、C-4 区出土のウシは 121.1cm、4.4歳で、C・D-3 出土のウシは体高 110.8cm、7.5歳であり、D-5 区のウシは 8歳で118cmと 125cmである。大きいきい方は雄で、小さい方は雌と思われ、現生の口之島野生化牛に臼歯の形状や大きさは類似している
- 3. ウマは C-4 区から臼歯 2 点が出土し、右下顎第一後臼 歯の計測値から、体高 115.8cm、9.2 歳と推定され、現生 のトカラウマの大きさである。
- 4. イヌは D-5 区から大腿骨など 3 点が出土し、その大き さから体高 42cmの中型犬に属し、当時の人々の伴侶と して飼われていたことが示唆される。
- 5. 半田遺跡を遺した人々は、ウシを中心にウマも農耕や 運搬用として飼育し農作物を生産して、動物蛋白源とし ては魚貝類を食していたことが想像される。

参考文献

- 1 Driesch, A: A guide to the measurement of animal bones from archaeological sites. Pub. Peabody Museum, Harvard Univ., USA, pp. 1-137 (1976)
- 2. 江坂輝弥:縄文時代におけるイヌの埋葬骨格,考古学 ジャーナル,40,6-14 (1970)
- 3. 林田重幸・山内忠平: 馬における骨長より体高の推定法, 鹿大農学術報告, 4, 70-77 (1957)
- 4. 鹿児島県教育委員会:鹿児島県市町村別遺跡地名表, pp. 1-175 (1977)
- 5. 金子浩昌他:第2方形周溝墓西溝出土の家ウシ頭骨,伊 子皿子貝塚,pp.476-486 港区伊皿御貝塚遺跡調査会, 東京(1973)
- 6. 喜界町教育委員会: 先山遺跡, 喜界町埋蔵文化財発掘調 査報告書(1), 36-37 (1987)
- 7. 喜界町教育委員会:大ウフ遺跡(未発表)
- 8. 並河鷹夫:遺伝学より見た牛の家畜化と系統史, 日畜会報, 51 (4,235-246 (1980)
- 9. 西中川 駿他:古代遺跡出土骨からみたわが国の牛,馬 の渡来時期とその経路に関する研究,平成2年度文部省 科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書,ppl-197 (1991)
- 10. 西中川 駿他: 鹿児島の縄文, 弥生遺跡出土の自然遺物 特に動物遺体について-, 鹿児島考古, 33, 1-13 (1999)

- 11. 西中川駿先生古希記念論集刊行会:遺跡から出土する動物たち,pp.1-970 南九州縄文研究会(2011)
- 12. 野沢 謙: 東亜と日本在来馬の起源と系統, 日本ウマ学会誌, 3(1), 1-18 (1992)
- 13. 芝田清吾:日本古代家畜史の研究, pp.190-293, 学術出版会 (1969)
- 14. 在来家畜研究会編: アジアの在来家畜, pp.117-159, 名 古屋大学出版会 (2009) (鹿児島大学名誉教授)

図版説明

1~11:ウシ 12:ウマ 13~17:イヌ

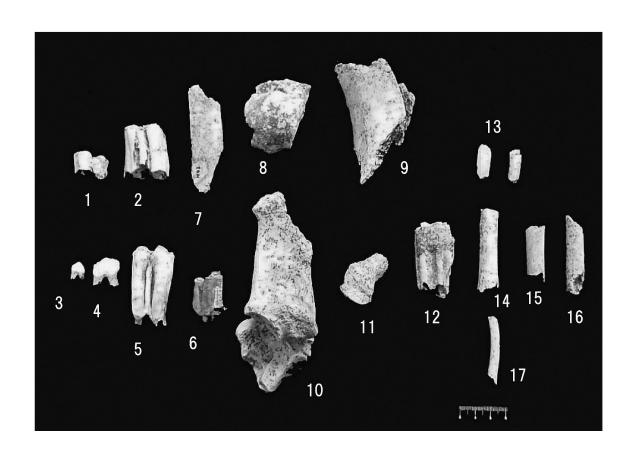
1. 右上顎第一後臼歯 (D-5II c) 2. 左上顎第三後臼歯 (CD-3) 3. 右下顎第二前臼歯 (C-5IIB) 4. 右下顎第三前臼歯 (C-5II b) 5. 左下顎第二後臼歯 (C-4II b) 6. 右下第三後臼歯 (C-5II b) 7. 左 肋骨 (D-5II b) 8. 左上 腕骨 (4T 溝) 9. 左 腸骨 (D-5II b) 10. 右踵骨 (D-5II b) 11. 左第四趾列基節骨 (D-5II b) 12. 右下顎台地後臼歯 (C-4II b) 13. 右肋骨 (D-5II b) 14. 右大腿骨 (D-5II b) 15. 左脛骨 (D-5II b) 16. 右脛骨 (D-5 いい b) 17. 左第五中手骨 ((D-5II b)

第 206 表 半田遺跡の調査区別、動物別出土量

	ウシ	ウマ	イヌ	種不明	調査区別 出土量	
B-4				1.5 (1)	1.5 (1)	
C-1				3.7 (2)	3.7 (2)	
C-2	1.1 (1)				1.1 (1)	
C-3	12.0 (3)			1.7 (1)	13.7 (4)	
C-4	34.1 (4)	38.6 (2)		4.3 (4)	77.0 (10)	
C-5	20.1 (2)			2.2 (2)	22.3 (4)	
CD-3	26.1 (1)				26.1 (1)	
D-5	243.3 (21)		14.3 (7)	27.5 (14)	285.1 (42)	
表土一括	18.3 (3)			6.4 (4)	24.7 (7)	
半田1T	10.8 (1)				10.8 (1)	
半田4T	110.9 (1)				110.9 (1)	
半田9T	0.5 (1)				0.5 (1)	
動物別 出土量	477.2 (38)	38.6 (2)	14.3 (7)	47.3 (28)	577.9 (75)	

重量: g (): 骨片数、細骨片のため1袋を1個と数えたものを含む。

種不明:細骨片のため同定不可能な資料。



1. はじめに

城久遺跡群半田遺跡から出土したガラス小玉について、観察および分析化学的手法により製作技法および基礎ガラスの種類、着色因子の調査をおこなった。以下、その結果について報告する。

2. 資料と方法

本調査の対象とした資料は、半田遺跡 7T 区包含層(4)から 出土した淡青色不透明ガラス小玉 1 点である。 亀裂が多数認 められるものの、表面に形成された風化層は比較的薄く、保 存状態が比較的良好な資料である。

本ガラス小玉について、実体顕微鏡観察により保製作技法の推定をおこなった。次に、表面の風化層を除去した上で、未風化部分の蛍光 X 線分析をおこなった。測定結果については、ガラス標準試料を用いて FP (Fundamental Parameters) 法によって規格化し、酸化物重量百分率で表示した。分析に用いた装置は、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置 (EDAX 社製 EAGLE III) である。蛍光 X 線分析の測定条件を第 207 表に示す。また、アルキメデス法により比重を測定した。

3. 結果と考察

本ガラス小玉は不透明を呈するため、気泡の配列を確認することはできなかったが、孔と直行方向にめぐる色ムラが認められた(第254図)。軟化したガラスを芯棒に巻き付けた痕跡と考えられ、巻き付け法で製作されたと推察される。

比重測定および未風化部分の蛍光 X 線分析の結果, 比重が 3.2 で, SiO2 を約 67.5%, K2O を 5.60%, PbO を 16.17%

第207表 蛍光 X 線分析法の測定条件

測定条件項目	概要					
X 線源	Mo 管球					
X 線照射径(μm)	φ 112					
管電圧(kV)	20、40					
電流(µA)	100					
測定時間(秒)	300					
試料室雰囲気	真空					

含有することからカリ鉛ガラスに属するものと言える。カリ鉛ガラスは、少なくとも宋代の中国では存在していたことが知られており、日本列島においても、12世紀以降かなり流通したものと考えられている。

着色に関与する成分として Fe2O3 を 0.31%, CuO を 0.60% 含有することから、これらの成分によって淡青色を呈するものと考えられる。ただし、Fe2O3 は基礎ガラスの原料となる石英砂などにも由来する可能性があるため、着色材として意図的に添加されたものであるかどうかは不明である。また、ごく微量の錫(Sn)が検出された。





第 254 図 半田遺跡 7T 区包含層出土ガラス小玉

第208表 蛍光 X 線分析結果 (FP 法による定量値)

資	料	色調		重 量 農 度 (wt%)									備考	
	17		Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	K2O	CaO	TiO	MnO	Fe2O3	CuO	PbO	加 专
	遺跡 7T 区 出土ガラス玉	淡青色 不透明	1.35	0.59	3.62	67.49	5.60	3.80	0.03	0.09	0.31	0.60	16.17	Sn 検出

第21章 総 括

大ウフ・半田遺跡は古代~中世にかけての遺跡である。遺構・遺物はこれまで城久遺跡群で出土したものと同様の部分もあるが、それぞれの遺跡で特徴的な側面が見られた。以下、それらについて若干の考察を加え、まとめとしたい。

1 遺構

(1) 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は大ウフ遺跡で85棟、半田遺跡で5棟検出 した。出土した掘立柱建物跡は柱穴や主軸方向が異なるもの が切りあっているものや、ほぼ同じ位置で繰り返し建てられ ていた状況が確認できた。

A地区では $B\cdot C\cdot 6\sim 8$ 区に柱穴が密集して出土した。比較的柱穴の少なかった周辺部分は復元ができたが、密集部分に関しては復元が非常に困難であった。復元できた建物跡は地形に沿って建てられている。

B地区でも柱穴が密集しており、うまく復元することができなかったが、復元できた建物跡はほぼ同じ主軸方向をであった。

C地区では比較的柱穴の重複が少なく、4面庇状建物跡などを確認することができた。ピットや溝状遺構4号との重複関係、柱穴内出土遺物から検討した結果、掘立39号からは越州窯系青磁、土師器坏・椀が出土しており、検出した中では最も古い建物跡と考えられる。土師器坏などの年代観からおよそ9世紀後半~10世紀頃の建物跡と考えられる。また、建物跡内には被熱した焼土面(焼土跡20号)が見られる。

掘立柱建物跡 41 号は溝状遺構 4 号より古く,構成される柱穴内から滑石製石鍋などが出土している。山田半田遺跡掘立 40·41 号に類似するが,本建物跡の方が柱筋が整っていることや,白磁椀が出土していないことを考えると,山田半田40·41 号よりもやや古い,11 世紀前半の年代を想定したい。ほぼ同じ軸の建物跡として掘立 27·29·30·35 号などがあり,同時期に展開していた可能性がある。

掘立 $31 \sim 34$ 号 \cdot 38 号などは溝状遺構 4 号に並行するように見られることや掘立 31 号の柱穴内からはカムィヤキが出土していることから,11 世紀後半~12 世紀までの建物跡と考えられる。溝状遺構 4 号は浅く,表面が硬化していることなどから道の可能性を考えている。

D地区ではせ~た $4\sim9$ 区に多くみられた。この範囲の特徴は掘立柱建物跡とともに溝状遺構が多く検出できたことである。調査グリッドと縦軸に並行する $10\cdot16\cdot17$ 号は近世代の溝状遺構である。斜めに走る遺構は龍泉窯系青磁無文外反椀などが出土するため $14\sim15$ 世紀ごろを想定している。

掘立柱建物跡は西へ 40°前後傾く主軸の建物跡が多く見られた。その中でも掘立 59·60 号は中央に中柱をもつ建物跡で、沖縄県読谷村吹出原遺跡で類型化された吹出原型建物跡の母

屋に類似する。同主軸方向の 1×1 間の建物跡(掘立52.53など周辺)も付近に見られ、セット関係にあるものと推察している。

これまでの調査では 1×1 間の建物跡の平面プランは方形であったが、D 地区では長方形である。これは時代差を示していると見られる。また、柱穴径の大きい 2×1 間や 2×2 間などが見られなくなることも特徴である。

(2) 土坑墓

大きく分けると焼けた人骨が見られるものと土葬のみのも のがある。

焼けた人骨を伴う土坑墓

これまでの調査では長方形もしくは円形土坑内に焼骨が置かれ、カムィヤキ・白磁などを副葬する土坑墓(山田中西6号、山田半田3号墓など)がよく検出されていたが、大ウフ遺跡1号墓では中央部分に須恵器壺を埋納した、これまで見られなかったスタイルの墓である。

この墓の形状は円形で、須恵器壺の周囲に炭化物が充填され、壺の中には焼けた人骨が充填されていた。須恵器壺は形態から9~10世紀代と想定され、南九州で生産された可能性が高い。炭化物の年代測定結果からは1,180 ± 20BPで8世紀後半~9世紀前半頃の数値が得られており、型式学的検討よりはやや古く出ている。須恵器壺を蔵骨器としたものは奄美地域では奄美市笠利宇宿貝塚に一例報告があるのみである。鹿児島県内には杉本寺遺跡など10遺跡で類例がある。鹿児島県では本遺跡で得られた形態のものは10世紀代ととらえられている。

土坑墓 $4\cdot5$ 号は副葬品にカムィヤキ壺・白磁皿・ガラス玉とこれまで城久遺跡群で確認できたものとほぼ同様の形態ものである(註 1)。炭素年代測定からも 910 ± 20 BP の年代が得られ、11 世紀~ 12 世紀頃の年代が想定される。

土坑墓6号は土坑墓4·5号とは異なり、長方形土坑の北端部に小型土師器甕の上に焼けた人骨塊が置かれていた。こちらもいままでのパターンに当てはまらない土坑墓で、土師器に付着していた炭化物から年代測定を行った所、1230±20BPの年代が得られた。8世紀後半~9世紀頃で土坑墓1号に近い測定結果である。

土葬墓

今回の調査では土葬の墓は大ウフ遺跡で3基,半田遺跡で4基検出した。いずれも長方形・楕円形を呈する。

大ウフ3号墓は内側に木棺状の痕跡を確認している。木棺とみられる部分は粘土質化しており、幅2cmの痕跡が見られた。内部にはガラス玉を装着した人骨が安置され、カムィヤキ鉢・白磁皿を頭骨の上に埋納されていた。副葬品の年代観

から 12 世紀中頃の土坑墓と見られ、同時期の遺構としては 小ハネ遺跡土坑墓6号などが該当する。木棺状痕跡が見られ る土坑墓は鹿児島県内では上野城などで見られるが、類例は ほとんど見られず、貴重な成果である。

大ウフ 7.8 号墓はいずれも $13 \sim 15$ 世紀頃を主体とする遺構面で検出されており、墓の径は小さく、深さも浅くなる傾向がある。また、仰臥屈葬の状態で見つかっており、伸展葬の人骨とは時期差があると見られる。

半田遺跡 $1\sim4$ 号墓は $13\sim15$ 世紀頃を主体とする遺構面で検出されており、大ウフ $7\cdot8$ 号墓とほぼ同時期の遺構である。

半田1~3号墓は、明瞭な方形状土坑で、仰臥屈葬であった。いずれも副葬品などは確認できなかった。3号墓では埋土が垂直気味に堆積しているところがあり、木棺の可能性もある。また、人骨が2体重なって出土しており、下が男性人骨・上が女性人骨であった。半田1・2号も同様に先に埋葬されたのが2号墓の男性人骨で、次に埋葬されたのが1号墓の女性人骨である。いずれの墓にも頭~胸の上に石灰岩が置かれていた。これは山田半田土坑墓6号や前畑土坑墓8号でも見られたが、土葬する際には頭や胸の上に石を置く風習があった可能性が考えられる。

(3) 燒土跡

大ウフ遺跡からは多数の焼土跡を確認した。これらはいく つかのグループに細分できる。(註2)

1類:平面形状は2つ重複し一方がやや深くなるもの。

2類: 20-30cmの円形状のもの。被熱面のみ残存している ものもある。

3類: 2類よりも二回りほど大きく下部に炭化物層を有するもの。

4類:不定形な被熱面のみ残存するもの。

1類はA地区のみで見られ、焼土跡 1·3·4·11号などが該当する。特に4号では炉底付近がかき出された際に、かき出しを免れた大型鉄滓が炉底状に残存していた。これは金属学的分析の結果、砂鉄製錬滓とされている。また、微細遺物の中にも製錬滓や砂鉄などの製鉄関連遺物が多数出土していることや、他の小型の焼土跡には見られない厚みと被熱度を呈しており、炉壁を立てた製鉄炉があったと推測される。焼土跡 3·11号も同様の形状をしており、これに類するものと推察される。焼土跡 1号は全体的に残存状況が良くなかった。

2類は焼土跡 $2\cdot5\sim8\cdot10\cdot12\sim16\cdot18$ 号などが該当する。 焼土跡 2 号はこれらのなかで最も残存状況がよく,内部からは精錬鍛冶滓・粒状滓・鍛造剥片などが出土していることや, 焼土跡 10 号からは鍛錬鍛冶滓が出土していることから,2 類遺構では精錬〜鍛錬鍛冶工程(板状・棒状の半仕上げ製品 まで)が行われていた可能性が高い。

3類は焼土跡 19·21~28·30·31 号などが該当する。いず

れも被熱面は弱く、床面は平坦なものがほとんどである。今回の資料は年代測定を行っていないが、城久遺跡群山田半田遺跡で類似する遺構を測定した結果 181 ± 20BP の年代が得られている。このことから、近世代の炭窯的な用途に用いられた遺構と考えられる。

4類は焼土跡9号などが該当する。2類とは異なり、幅広く地面が被熱しているが性格は不明である。

以上のことから、本遺跡の特徴は $1\cdot2$ 類がまとまって検出できたことで、1類は製鉄炉、2類は精錬〜鍛錬鍛冶を行う炉跡と考えられる。

製鉄・鍛冶炉は炭素年代の測定値や周辺の遺構の状況から 10~12世紀頃の遺構と見られる。南西諸島ではこれまでの調査でこの前後の時期の製鉄炉は見つかっていないことから、想像をたくましくすれば、城久遺跡群で生産された鉄塊が南西諸島に広く普及している可能性も考えられる。鉄器の普及は農耕の普及とも大きく関わっていると推察でき、城久遺跡群が城久遺跡群たる大きな要因の一つと考えられる。

(4) 波板状遺構

た-99・98 区で検出。波板状の凸凹面は北は盛岡県から南は鹿児島県まで検出されている(註3)。凸凹面の芯々距離は、8割がた60~70cmに収まると言われており、本遺跡で検出した遺構も約62~70cmであるので矛盾は見られない。波板状凸凹面の成因については諸説あるが、その中に牛馬歩行跡説がある。ぬかるみや坂道を牛馬が同じ場所に足を置くことによって等間隔の窪みができるものであり、現在の牧場でも条件が良ければ観察できる。現在の牛馬は体高が160cmを超え、歩幅も80~90cmであるが、中世の牛馬は体高が130cm前後であり、歩幅は60~70cmに復元できるといわれている。本遺跡で出土した牛骨も西中川氏によって体高108~123cmと推定されており、おおむね中世の牛と波板状凸凹面の規模は一致していることがうかがえる。これらのことから、本遺跡で検出した遺構は波板状凸凹面であると考えられ、国内最南端の事例とみられる。

また,溝状遺構 6 号に続いているようにもみえることから,波板状凸凹面の凸面が崩れたものである可能性も考えられる。

2 遺物

(1) 古代相当の遺物

土師器

土師器は甕を主体とし、椀・坏類は少量出土している。 椀・坏は精製された胎土が使用されていることなどから、本 土からの搬入品であると考えられる。椀・坏のほとんどは9 世紀後半~10世紀前半の資料と見られる。

甕については、口縁部の特徴からいくつかに細分可能とみられる。 鹿児島県の土師器甕を集成した松田氏(松田 2004)によると口縁部が長いものから短くなる傾向があるとされる。

C地区掘立39号から出土している土師器甕(318·319)は口縁部がやや長く「く」の字型にしっかりと作られている。同じ建物内から越州窯系青磁が出土しているため、ほぼ同時期のものと考えられる。これに対し、194回568~571など口縁部が短い一群も確認できることから、鹿児島と同様の変遷を追う可能性が考えられる。

須恵器

須恵器は壺・甕が出土し、椀類は出土していない。このことは、①壺・甕だけが選択されて搬入された②この2種類のみ生産されていた時代③この2種類のみが生産されていた産地の製品などが考えられる。

大ウフ遺跡で出土した須恵器は肥後のものはなく、時期は9世紀後半以降のもので、南九州産が主体のようである(註4)。南九州でその時期の窯は南さつま市金峰町中岳山麓などが知られている。

須恵器の破片を転用した加工品も出土しており、内外面や 破断面が擦られている。墨痕は観察ができなかったため、転 用硯があるかどうかは不明である。

初期貿易陶磁器

越州窯系青磁 I~Ⅲ類が出土している。そのなかでも越州 窯系青磁械Ⅱ類が多く出土している。

(2) 中世相当の遺物

貿易陶磁器

両遺跡とも出土した中世相当の陶磁器には白磁・青磁・陶器が認められる。白磁は太宰府分類椀IV・V・III類,龍泉窯系青磁,初期高麗青磁・青花が出土している。白磁椀はこれまでの調査成果と同様にIV・V類が圧倒的主体を占めている。大ウフD地区・半田遺跡ではビロースクタイプ白磁椀・今帰仁タイプ白磁椀が見られた。龍泉窯系青磁は鎬連弁・無鎬連弁・細連弁・無文椀などが出土している。

無釉陶器

無釉陶器には朝鮮系無釉陶器とカムィヤキが相当する。朝鮮系無釉陶器は北部九州を中心に研究がなされ、本土系須恵器と胎土や焼成、調整等が異なる点を手がかりに分類されている(山本 2003、山崎 1993、赤司 1991)。

朝鮮系無釉陶器とカムィヤキとは非常によく似ているが、以下の特徴から判別が可能である。

- ① カムィヤキは朝鮮系無釉陶器と比べ胎土は粗く、混和 される砂粒の量も多い。
- ② カムイヤキの割れ口の破面は凹凸が認められ、隙間も多い。
- ③ カムィヤキはナデ調整が徹底されていないため、内外 面ともに成形痕を多く残している。

カムィヤキはカムィヤキA群がほとんどであるが、わずか

に B 群がみられる (伊仙町教育委員会 2005)。年代的には A 群が 11 世紀後半代から 13 世紀前半代頃に位置付けられる。

滑石製品

出土した総重量は約25kgである。これまでの調査のものを含めると70kg出土している。出土した滑石製石鍋は縦耳を有するもののみであり、木戸編年 II 類 (11世紀頃)、山本・山村編年中世 I 期(11世紀後半~12世紀前半)に該当する(木戸1995、山本・山村1997)。

大型の製品もあることから、完形品に近い形で持ち込まれたものと考えられる。滑石製石鍋に対しては様々な加工が施されており、破断面に擦り切り技法を用いた痕跡が見られるものや貫通穿孔が施されているものがあった。穿孔部には鉄が混入したままの状態のものがある。

これらは石鍋としての機能を終えた際に加工された可能性 と、元々破片の状態で持ち込まれた可能性が考えられる。い ずれにせよ、擦り切り技法を用いてある一定のサイズへ加工 し、二次加工品への素材としているようである。

二次加工品に関してはバレン状・棒状・錘状など様々な形がある。バレン状製品は平面を方形状もしくは円形状に加工し、つまみの部分に横位貫通穿孔が施されているのが特徴である。つまみ部分の穿孔か所の上部から破損しているものが多い。宮崎県八児遺跡では補修具としての利用方法が発見されている。本遺跡での資料はつまみ部分上部が破損し、加工後に被熱しているものが多く見られる。前例と同様に補修具として使用されて、熱や使用などの要因でつまみ部分が脆弱になり破損した可能性が考えられる。

また、奄美・沖縄地域では滑石粉を混入した土器が出土する。本報告では滑石製石鍋を模倣した製品と、兼久式土器風にくびれている底部が出土している。

ガラス玉

大ウフ遺跡では多量のガラス玉装着した人骨を検出した。 ガラス玉はネックレスとブレスレットと見られる。ネックレ ス状のものは白色化した丸玉と青色の管玉がある。白色玉は ある一定のサイズがあるようで大型から小型のものまで確認 することができた。

ガラス玉は城久遺跡群以外にも喜界町七城周辺からカムイヤキ壺の中から白色を呈するガラス玉が出土している(白木原 1971)。今後産地なども含め、検討を進めていきたい。

まとめ

大ウフ遺跡

掘立柱建物跡では主軸方向が異なる建物跡を検出している。 $A \sim C$ 地区では $10 \sim 12$ 世紀頃,D 地区では 15 世紀頃までの建物跡を確認できた。C 地区では 4 面を庇状にとりかこむ建物跡を検出した。D 地区では吹出原型建物跡の母屋と類似する遺構を検出した。

土坑墓は火葬・再葬・土葬を確認した。副葬品や年代測定の結果から①須恵器の蔵骨器を伴う火葬(大ウフ1号)→②カムィヤキ・白磁・ガラス玉等を副葬品とする再葬墓(大ウフ4·5号)→③副葬品をもつ土葬墓(大ウフ3号)→④副葬品を持たない土坑墓(大ウフ7·8号)への時間変遷が想定できる。火葬と土葬の境は12世紀半ば頃と考えられる。

また、D地区ではこれまでの調査ではほとんど見られなかった溝状遺構が多く見つかった。溝状遺構内からは龍泉窯系青磁とともにウシなどの獣骨を多く検出した。

焼土跡は製鉄炉・鍛冶炉などを検出した。特に製鉄に関しては南西諸島の鉄供給を考える上で非常に重要な成果である。

出土遺物はこれまでの調査成果と同様で、ほぼ島外産のもので占められるという特徴がある。 $A \sim C$ 地区までは $10 \sim 12$ 世紀頃、D地区は 13世紀以降を主体とする。

古代では越州窯系青磁や土師器・須恵器などが出土している。城久遺跡群の中では土師器の椀・坏の出土量が多かった。 中世では初期高麗青磁,朝鮮系無釉陶器,縦耳の滑石製石 鍋といった鹿児島県内でもほとんど出土していないものがま とまって出土している。

半田遺跡

遺跡の大部分が盛土保存されることになり、ピット内は少し掘り下げるだけで、完掘は行っていない。狭い調査範囲の中で墓が5基と多く出土した。いずれも副葬品を伴っていなかったが、周囲の状況から13世紀以降の墓であると見られる。

出土遺物は大ウフ遺跡 D 地区と同様で、13 世紀以降の龍泉窯系青磁を主体とする。

今回の報告の中では建物跡の分類、遺物編年を十分に行う ことができなかった。今後城久遺跡群全体の資料整理を通じ て検討していきたい。

(註)

- 1 狭川真一氏はこの工程を「焼骨再葬」という用語を用い 整理されている(狭川 2008)。
- 2 愛媛大学村上恭通氏の御教示による。
- 3 鹿児島県立埋蔵文化財センター東和幸氏の御教示による。
- 4 熊本市文化振興課 網田龍生氏の御教示による。

引用・参考文献

赤司善彦 1991「朝鮮系無釉陶器の流入 - 高麗期を中心として-」『九州歴史資料館研究論集』16

池田榮史 2007「律令体制の南進問題」 『季刊考古学』第 100 号

伊仙町教育委員会 2005「カムィヤキ古窯跡IV」 伊仙町埋蔵文化財発掘調査報告書 12

池畑耕一 1998「考古資料から見た古代の奄美諸島と南九州」 『渡辺誠先生還暦記念論集列島の考古学』

亀井明徳 1993「南西諸島における貿易陶磁器の流通経路」 『上智アジア学』第11号

喜界町教育委員会 2006 ~ 2011 『城久遺跡』 喜界町埋蔵文化財発掘調査報告書(8~11)

新里亮人 2003 「琉球列島における窯業生産の成立と展開」 『考古学研究』第49巻第4号

狭川真一 2008「城久遺跡群の中世墓」 『古代中世の境界領域 – キカイガシマの世界 – 』 高志書院

太宰府市教育委員会 2000「大宰府条坊跡 X V - 陶磁器分類 編-」太宰府市の文化財第49集

中村和美 1997「鹿児島県内における古代の在地土器」 『鹿児島考古』第31号

松田朝由 2004「高篠遺跡 第Ⅲ章 まとめ 第1節 土器の製作 技術と土器様相」『九養岡・踊場・高篠遺跡』 鹿児島県立埋蔵文化財センター (71)

高志書院 2008『古代中世の境界領域-キカイガシマの世界-』